令和８年度

ふれあい交流センター大芝の湯　リニューアル工事(建築工事)

図面番号	図　面　名　称	図面番号	図　面　名　称	図面番号	図　面　名　称
D-00	表紙・図面リスト	D-35	展開図-９(浴室(1)【松の湯】)	K-21	既存平面詳細図・展開図(プリン工房)
D-01	特記仕様書-１	D-36	展開図-１０(浴室(1)【松の湯】)	K-22	既存平面詳細図・展開図(家族風呂)
D-02	特記仕様書-２	D-37	展開図-１１(浴室(2)【桧の湯】)	K-23	既存展開図(家族風呂,サブロビー)
D-03	特記仕様書-３	D-38	展開図-１２(浴室(2)【桧の湯】)	K-24	既存平面詳細図・展開図(玄関,事務室)
D-04	特記仕様書-４	D-39	展開図-１３(体験・交流室)	K-25	既存展開図(玄関,事務室)
D-05	案内図・配置図	D-40	建具キープラン＜新設＞	K-26	既存展開図(玄関ホール,ロビー)
D-06	求積図	D-41	建具表＜新設＞	K-27	既存平面詳細図・展開図(トイレ,食堂)
D-07	仕上表-１	D-42	家具・その他工事キープラン	K-28	既存展開図(トイレ)
D-08	仕上表-２	D-43	家具図＜新設＞	K-29	既存平面詳細図・展開図(研修室,厨房)
D-09	仕上表-３	D-44	外構図・仮設図	K-30	既存展開図(研修室,厨房)
D-10	全体平面図	D-45	外構詳細図-１	K-31	既存平面詳細図(体験・交流室)
D-11	天井伏図	D-46	外構詳細図-２	K-32	既存展開図(体験・交流室)
D-12	屋根伏図	D-47	機械室棟詳細図-１	K-33	既存展開図(脱衣室)
D-13	立面図-１	D-48	機械室棟詳細図-２	K-34	既存展開図(休憩室)
D-14	立面図-２・断面図			K-35	既存建具キープラン
D-15	矩計図-１(プリン工房)	K-01	解体特記仕様書	K-36	既存建具表-１
D-16	矩計図-２(事務室)	K-02	既存配置図	K-37	既存建具表-２
D-17	矩計図-３(倉庫(6))	K-03	既存全体平面図	K-38	既存建具表-３
D-18	矩計図-４(倉庫(6),プリン工房,事務室)	K-04	既存立面図-１	K-39	既存建具表-４
D-19	矩計図-５(研修室,厨房)	K-05	既存立面図-２・断面図	K-40	既存建具表-５
D-20	矩計図-６(ゴミ庫,食品庫,厨房)	K-06	既存天井伏図	K-41	浴室棟平面詳細図(3)
D-21	矩計図-７(外通路,ゴミ庫)	K-07	既存屋根伏図	K-42	浴室棟展開図(4)
D-22	矩計図-８(バックヤード)	K-08	既存矩計図-１(家族風呂,サブロビー)	K-43	機械室平面詳細図・展開図
D-23	矩計図-９(キッズスペース)	K-09	既存矩計図-２(事務室,売店)		
D-24	矩計図-１０(キッズスペース)	K-10	既存矩計図-３(研修室,厨房)	S-01	構造設計標準仕様書
D-25	平面詳細図-１(プリン工房,事務室,玄関,ロビー)	K-11	既存矩計図-４(体験交流室)	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)
D-26	展開図-１(プリン工房,事務室,倉庫(6))	K-12	既存矩計図-５(休憩コーナー,機械室)	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)
D-27	展開図-２(玄関,受付,ロビー)	K-13	既存矩計図-６(浴室(1)【松の湯】)	S-04	鉄骨構造標準図(1)
D-28	平面詳細図-２(研修室,厨房)	K-14	既存矩計図-７(浴室(1)【松の湯】)	S-05	鉄骨構造標準図(2)
D-29	展開図-３(研修室,厨房)	K-15	既存矩計図-８(サウナ(1)【松の湯】)	S-a1	事務室増築構造図
D-30	展開図-４(食品庫,ゴミ庫,洗濯スペース)	K-16	既存矩計図-９(露天風呂(1)(2)【松の湯】【桧の湯】)	S-b1	宴会場増築構造図
D-31	平面詳細図-３・展開図-５(キッズスペース)	K-17	既存平面詳細図(浴室(1)【松の湯】)	S-c1	子育て増築構造図
D-32	平面詳細図-４・展開図-６(トイレ)	K-18	既存平面詳細図(浴室(1)【松の湯】)	S-d1	別棟機械室構造図(1)
D-33	平面詳細図-５・展開図-７(脱衣室(1)【松の湯】)	K-19	既存平面詳細図(脱衣室(1)【松の湯】)	S-d2	別棟機械室構造図(2)
D-34	平面詳細図-６・展開図-８(脱衣室(2)【桧の湯】)	K-20	既存平面詳細図(脱衣室(2)【桧の湯】)	S-d3	別棟機械室構造図(3)

発注者：　南箕輪村

設計者：　株式会社 城取建築設計事務所

令和８年度 ふれあい交流センター大芝の湯リニューアル工事(建築工事)仕様書

Ⅰ 工事概要

１．工事場所　　長野県上伊那郡南箕輪村2358番地5

２．敷地面積（㎡）　58,072㎡

３．工事種目　　増築・改修

建　物　別	種　別	構　造	階　数	梁間(m)	桁行(m)	建築面積(㎡)	延面積(㎡)
大芝の湯・ふれあいプラザ	増築	S・RC	1	－	－	3,078.08	3,002.53
※他配置図参照							

４．用途区分	大芝の湯・ふれあいプラザ
建築基準法施行規則の用途区分	温泉活用研修・運動施設(08990)
消防法施行令別表第一の区分	(1)項ロ　集会場(特定防火対象物)
バリアフリー法	特別特定施設

Ⅱ 建築工事仕様（構造関係を除く）

１．共通仕様

（１）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和４年版」（以下「標仕」という。）による。

（２）標準仕様書で、「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令等（条例を含む）と異なる場合には、具体的な対応策について監督職員と協議すること。

（３）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの標準仕様書を適用する。

２．特記仕様

（１）項目は、番号に◯印の付いたものを適用する。

（２）特記事項は、・印の付いたものを適用する。
◯印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
◯印と※印の付いた場合は、共に適用する。

（３）特記事項に記載の(．．)内の表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（４）特記事項に記載の(別 ．．)は（5.3.7）による別図「各部配筋」の当該項目を示す。

（５）製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。

章	項　目	特　記　事　項	
1 一般共通事項	①適用基準等	◯ 建築工事標準詳細図	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和４年版）
		・ 敷地調査共通仕様書	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和３年版）
		・ 建築構造設計基準	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和３年版）
		◯ 営繕工事写真撮影要領	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和３年版）
		◯ 長野県建築工事の手引	長野県建設部施設課監修
		◯ 公共建築改修工事標準仕様書	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和４年版）
		・ 公共建築木造工事標準仕様書	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和４年版）
		◯ 建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編）	建設省建設経済局建設業課・住宅局建築指導課監修
		◯ 長野県建設リサイクル推進指針	
	②工事実績情報の登録	※ 適用する　・ 適用しない	(1.1.4)
	③品質計画	建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による	(1.2.2)
		※ 風速（Vo＝ 30 ）	
		※ 地表面粗度区分（ ・ Ⅰ ・ Ⅱ ◯ Ⅲ ・ Ⅳ）	
		※ 積雪区分　建告示第1455号　別表（ 27 ）	
	④電気保安技術者	※ 適用する　・ 適用しない	(1.3.3)
	⑤施工条件明示項目		(1.3.5)
		・工事期間中は、休館（休業）での改修工事とする。	
		・概成工期は、令和８年10月30日（金）とする ただし当施設リニューアルオープンの準備に支障ないものは協議によるものとする。	
		・原則、作業時間は午前８時から午後６時までとする事。	
		・低騒音型・低振動型の建設機器を使用し騒音・振動の軽減を図るとともに、適宜散水を行い粉塵の飛散の軽減を図る事。	
		・工事用車両の出入り口には誘導員を配置し、一般車両、歩行者等の安全確保を行うこと。	
		・障害物の撤去又は移設が必要な場合は監督職員と協議を行うこと。	
		・再利用する器具等は、十分な養生を施し大切に保管し取付けの際も破損等無いように十分に注意すること。	
		・本工事用地内にある樹木は、工事に支障がある場合には監督職員と協議の上、剪定、伐採、もしくは仮植後原状復旧すること。	
		・催し物等で不特定多数の方が公園を利用する時は、工事の内容実施の有無等を監督職員と協議の上判断すること。	
		・施工中の環境保全 本工事においては「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関わる規程」（平成9年7月31日建設省告示第1536号　最終改正　平成13年4月9日　国土交通省告示487号）に基づき国土交通大臣が型式指定を行った低騒音型建設機械を使用するものとする。ただしこれによりがたい場合は、監督職員と協議の上、必要書類を提出し使用する事。 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」（平成17年法律第51号）に基づく技術基準に適合する機械、、または「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3年10月8日建設省経機発第249号　最終改正平成14年4月1日国総施第225号）、「排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程」（平成18年3月17日付け国土交通省告示第348号）もしくは「第３次排出ガス対策型建設機械指定要領」（平成18年3月17日付け国総施第215号）に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、監督職員と協議の上、必要書類を提出し使用する事。	(1.3.11)
	⑥発生材の処理等	※ 別紙解体工事仕様書による　◯ 構外搬出適正処理　・ 現場説明書による また、収集・運搬・中間処理・最終処分等の処理について予め監督職員と協議すること。	(1.3.12)
		・ 引渡しを要するもの	
		・ 再生資源の利用を図るもの	
	⑦環境への配慮	化学物質を放散させる建築材料等 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するとと共に、次の(1)から(5)を満たすものとする。 (1)合板、木質系ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ、構造用ﾊﾟﾈﾙ、集成材、単板積層材、MDF、ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ、その他の木質建材、ﾕﾘｱ樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙はﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (2)保温材、緩衝材、断熱材はﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ及びｽﾁﾚﾝを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (3)接着剤はﾌｪﾉｰﾙ樹脂ｼﾞｰﾛｰﾌﾞﾗﾙ及びﾌｪﾉｰﾙ樹脂ｼﾞｰ2-ｴﾁﾙﾍｷｼﾙを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ｱｾﾄｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (4)塗料はﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (5)上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 なお、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させないものとは放散量が規制対象外のものを、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。 規　制　対　象　外 ①JIS及びJASの F☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 ａ．非ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ系接着剤使用 ｂ．接着剤等不使用 ｃ．非ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ系接着剤及びﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させない材料使用 ｄ．ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させない塗料等使用 ｅ．非ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ系接着剤及びﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させない塗料使用 ｆ．非ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ系接着剤及びﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散させない塗料等使用 第　三　種 ①JIS及びJASの F☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのEo規格品 ④旧JASのFco規格品	
	⑧建築材料等	建築材料等 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能と同等以上のものを使用する。ただし、製造業者等が記載されている場合に同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける。なお、JIS及びJASの表示のない材料及び製造業者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。 (1)品質及び性能に関する試験ﾃﾞｰﾀが整備されていること (2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること (3)安定的な供給が可能であること (4)法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること (5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること (6)販売、保守等の営業体制が整えられていること これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。 なお、(社)公共建築協会で発行する「建築材料・設備材料等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（最新版）」に指定された材料については上記(1)～(6)に該当するものとする。 また、備考欄に商品名が記載された材料については、当該商品同等の性能を有するものとし、監督職員の承諾を受けた材料とする。	(1.4.2)
	⑨特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品所の指定する工法による。	
	⑩技　能　士	※ 適用する（一級技能士を採用している現場である旨の表示をすること。） ・ 適用しない	(1.5.2)

適用工事種別	技能検定作業
仮設工事	・ とび作業
鉄筋工事	◯ 鉄筋組立作業
ｺﾝｸﾘｰﾄ工事	◯ 型枠施工　◯ ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送工事作業
鉄骨工事	・ 構造物鉄工作業　・ とび作業
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ALCﾊﾟﾈﾙ・押出成形セメント板工事	・ ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工事作業 ・ ｴｰｴﾙｼｰﾊﾟﾈﾙ工事作業
防水工事	・ ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　・ ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業 ・ ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業　・ 合成ｺﾞﾑ系シート防水工事作業 ・ 塩化ﾋﾞﾆﾙ系シート防水工事作業　・ ｾﾒﾝﾄ系防水工事作業 ◯ ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業　◯ 改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ・ﾄｰﾁ防水工事作業 ・ FRP防水工事作業
石工事	・ 石張り作業
タイル工事	◯ ﾀｲﾙ張り作業
木工事	◯ 大工工事作業
屋根及びとい工事	◯ 内外装板金作業　・ かわらぶき　・ ｽﾚｰﾄ工事作業
金属工事	・ 鋼製下地工事作業　・ 内外装板金作業
左官工事	◯ 左官作業
建具工事	・ 建具製作　◯ ｻｯｼ施工作業　◯ ｶﾞﾗｽ工事作業　・ 自動ﾄﾞｱ施工作業
ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事	・ 金属製ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事作業　・ ｻｯｼ施工作業　・ ｶﾞﾗｽ工事作業
塗装工事	◯ 建築塗装作業
内装工事	・ ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床仕上げ工事作業　◯ ｶｰﾍﾟｯﾄ系床仕上げ工事作業 ◯ ﾎﾞｰﾄﾞ仕上げ工事作業　◯ 壁装作業
排水工事	・ 建築配管作業
舗装工事	・ 溶融ﾍﾟｲﾝﾄﾞﾏｰｶｰ工事作業　◯ 加熱ﾍﾟｲﾝﾄﾏｼﾝﾏｰｶｰ工事作業
植栽工事	・ 造園
その他	・ 景製作　◯ 家具製作　・ 樹脂接着剤注入施工

⑪化学物質の濃度測定	測定方法	※ ﾊﾟｯｼﾌﾞ法（拡散法）　・ ｱｸﾃｨﾌﾞ法（吸引法）　(1.5.9)
		検査機関
		※ 環境計量証明事業の知事登録がある者で、監督員が承諾した者
	測定物質	※ ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ　※ ﾄﾙｴﾝ　※ ｷｼﾚﾝ　※ ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ　※ ﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ　※ ｽﾁﾚﾝ
	測定個所(室)	事務室・研修室(1)(2)・体験交流室・キッズスペース
		計　４室

※ 試料採取に当たっては、監督員又は監督員が指定する者が立ち会いの下に行う。

化学物質の室内汚染濃度指針値

ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	ﾄﾙｴﾝ	ｷｼﾚﾝ	ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	ﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ	ｽﾁﾚﾝ	備　考
0.08ppm	0.07ppm	0.05ppm	0.88ppm	0.04ppm	0.05ppm	

⑫完成図等（完成写真共）	※ 作成する 監督員の指示による。	(1.7.1～1.7.3)(表1.7.1)
⑬設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。	
⑭設計GL	※ 図示　・ 設計GL=現状GL	

2 仮設工事	①足場その他	足場を設ける場合、「標仕」2.2.4(b)によるほか、設置においては、「手すり先行方法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 (2.2.4)
	②監督員事務所	※ 設ける　◯ 設けない (2.3.1) 規模　※ 10㎡程度　・ 20㎡程度　・（　　）㎡程度
	③工事用水	構内既存の施設　・ 利用できる（ ※ 有償　・ 無償）　※ 利用できない (2.3.1)
	④工事用電力	構内既存の施設　・ 利用できる（ ※ 有償　・ 無償）　※ 利用できない (2.3.1)
	⑤請負者事務所	構内に設けることが　※出来る　・出来ない　・ 隣接地に出来る
3 土工事	①埋戻し及び盛土	種別　・ Ａ種　※ Ｂ種　・ Ｃ種　・ Ｄ種 (3.2.3)(表3.2.1)
	②建設発生土の処理	※ 構外搬出適切処理 (3.2.5) ・ 構内の造成に利用　・ 構内の指定場所にたい積　・ 構内の指定範囲に敷きならし
	③建設発生土情報交換システム	本工事は、建設発生土情報交換システム（以下「システム」という）の登録対象工事であり、請負者は工事の実施に当たっては土量、土質、土工期等に変更があった場合、速やかに当該システムのデータ更新を行うものとする。なお、これにより難い場合には、監督職員と協議しなければならない。
	④根切土の仮置	構内に根切土の仮置が　※出来る　・出来ない（片道運搬距離　Ｋｍ）
4 地業工事	①再生クラッシャーラン	最大粒径　◯ 40㎜ (4.6.2)
	②床下防湿層	ポリスチレンフォーム　◯ 0.15㎜ (4.6.6) その他は、特記仕様書（構造関係）による
5 鉄筋工事		特記仕様書（構造関係）による
6 コンクリート工事		特記仕様書（構造関係）による
7 鉄骨工事		特記仕様書（構造関係）による
8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	1.補強コンクリートブロック造	※ 空洞ブロック16　・ 空洞ブロック16-W (8.2.2) 各部の配筋　※ 図示 (8.2.5)
	2.コンクリートブロック帳壁及び塀	※ 標仕表8.3.1及び下表による (8.3.2)

適用箇所		厚さ(㎜)
・ 間仕切壁　・ 地下二重壁　・ 外壁		・
・ 塀	高さ 2m以下	・ 120
	高さ 2mを越える	・ 150
・ 衛生配管用裏積みブロック　使用場所：屋外靴洗		・ 100 。

各部の配筋　※図示　・ D10@400縦横共 (8.3.4)

3. ALCパネル (8.4.2～8.4.6)(表8.4.2～表8.4.4)

種　類	単位荷重（N/㎡）	厚さ（㎜）	取付け工法（種別）
・ 外壁パネル	・ 1180　・ 1960	※ 100　・	・ Ａ種　・ Ｂ種　・ Ｃ種
・ 間仕切パネル		※ 100　・	・ Ｂ種　・ Ｃ種　・ Ｄ種　・ Ｅ種
・ 屋根パネル	・ 980	※ 100　・	※ Ｆ種(標仕8.4.5による)
・ 床パネル	・ 2350　・ 3530	※ 100　・150	

・ 床パネルの耐火性能（　・ 1時間　・ 2時間　） (8.4.2)
外壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合ならびにパネルと他部材との取り合い部の目地幅(㎜)
※ 20　・ (8.4.3)
伸縮目地への耐火目地材の充てん　・ 適用する (8.4.3)

3. 押出成形セメント板(ECP) (8.5.2～8.5.5)(表8.5.1)(表8.5.2)

施工箇所	表面形状	厚さ(㎜)	幅(㎜)	工法種別
◯ 外壁パネル	※ Ｆ　・ Ｆ－Ｒ	18	300	・ Ａ種
	・ Ｄ　・ Ｄ－Ｒ			◯ Ｂ種
	・ Ｔ　・ Ｔ－Ｒ			
・ 間仕切パネル	※ Ｆ　・ Ｆ－Ｒ			・ Ｂ種
	・ Ｄ　・ Ｄ－Ｒ			・ Ｃ種
	・ Ｔ　・ Ｔ－Ｒ			

耐火性能　・ 有り（　　）　・ 無し

9 防水工事	1.アスファルト防水	(9.2.2)(9.2.3)(表9.2.3～表9.2.8)

種　別	施工箇所
※ Ａ１－２	
・ Ａ－２	
・Ｄ－２	
・ＢＩ－２	
・	

アスファルト　※ 3種　・ 4種 (9.2.2)
断熱工法の断熱材　厚さ（㎜）　※ 25　・ (9.2.2)
ただし、ノンフロンのものとする。
立上り部の保護
・ れんがの種類　※ 見え隠れ部分は市販品のれんが又は、市販品のれんが形ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸとする。
・ 乾式保護材の材料　※ 押出成形セメント板（厚さ 15㎜） (9.2.5)
製造所　評価名簿による

2.改質アスファルトシート防水 種別　・ ＡＳ－１　・ ＡＳ－２　厚さ（　） (9.3.2～9.3.4)(表9.3.1)
施工箇所　・

3.合成高分子系ルーフィング・シート防水 (9.4.2)(9.4.3)(表9.4.1)

種　別	厚さ（㎜）	施工箇所	仕上げ塗料塗り	使用分類
・ＳＲ１	※ 1.2　・		・ シルバー	※ 非歩行
・ＳＲ２	※ 2.0　・		・ カラー	・ 軽歩行
・ＳＭ１	※ 1.5　・			
・ＳＭ２	※ 1.5　・			
・ＳＭ３	※ 1.2　・			

10 石工事	1.石材	石の品質 (10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2) 床用石材　※２等品　・１等品（施工箇所　　） 壁及びその他の石材　※１等品　・２等品（施工箇所　　） ・ 天然石張り 天然石の種類・表面仕上げ

施工箇所	種　類	産地・名称	厚さ(㎜)	仕上げの種類

・ テラゾ張り
種石の種類　※ 大理石　・ (10.2.1)(表10.2.2)
表面仕上げ　※ 本磨き　・
形状・寸法　※ 図示

	2.壁の石張り工法	外壁石張り (10.3.2)(10.3.3)(10.5.2)(10.5.3) 工法 ・ 外壁湿式工法（ ※ 流し筋工法　・　　） ・ 乾式工法 石裏面処理　・ 行わない　・ 行う（ ・ 小口共） 裏打ち処理　・ 行わない　・ 行う ドレインパイプ　※ ステンレスＳＵＳ３０４　・ 内壁石張り (10.4.2)(10.4.3)(10.5.2)(10.5.3) 工法 ・ 内壁空積工法（ ※ あと施工アンカー横筋流し工法　・ あと施工アンカー工法） ・ 乾式工法 石裏面処理　・ 行わない　・ 行う（ ・ 小口共） 裏打ち処理　・ 行わない　・ 行う
	③床及び階段の石張り	床石張りの裏面処理　・ 行わない　・ 行う (10.6.2) 階段石張りの裏面処理　・ 行わない　◯ 行う（既存） (10.6.3) 屋内のワックス掛け　・ 行わない　・ 行う (10.1.5)
	④既存石の処理	◯ クリーニング　◯ 研磨　箇所図示による
11 タイル工事	①陶磁器質タイル	タイルの種類 (11.2.1)

主な用途による区分・施工箇所	形状・寸法（㎜）	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 無釉	施釉	役物 有	役物 無	色 標準	特注	再生材の適用	耐凍害性 有	耐凍害性 無	備　考
浴室(1)(2)【床】	300角	◯	・	・	・	◯	・	◯	◯	・	・	◯	・	※仕上表参照
	－	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする
タイルの見本焼き　※ 行わない　・ 行う（ ※　外壁タイル　・　　）
・浴室(床)：LIXIL：サーモタイル ヒノキ
(浴槽内部)：LIXIL：インテリアモザイク ルンゴ
(壁)：LIXIL：インテリアモザイク ニュアンス
・露天風呂(床)：LIXIL：アコルディＧ 100口

	2.張り付け用材料	既製調合モルタル (11.2.3)

保水率(%)	単位容積質量(kg/ｌ)	接着強さ(N/mm2) 標準時	温冷繰返し後	長さ変化率(%)	曲げ強さ(N/mm2)
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以下	4.0以上

接着剤のホルムアルデヒド放散量の等級　※ 規制対象外　・ 第三種 (11.2.3) |
| | 3.壁タイル張りの工法 | 内装タイル　※ 壁タイル接着剤張り　・ 改良積上げ張り (11.3.3)(表11.3.2)
外装タイル　※ 密着張り　・ マスク張り
躯体表面の処理　・ 行わない　※ 行う（施工範囲　※ 図示　・　　）
躯体表面の処理方法　ＭＣＲ工法又は目荒し工法
ＭＣＲ工法を行う場合は、せき板面にＭＣＲ工法用気泡ポリエチレンシート張りとし、仕上がり面を凹凸状態とする。
高圧水洗工法の目荒しを行う場合は、水圧50N/mm2以上かつ2.5分/㎡以上とし、施工計画書を監督職員に提出し承諾を受ける。また、目荒しの状態は、事前に監督職員に承諾を受ける。
下地モルタル塗り　※ 標仕15.2.2～15.2.5による
タイルの試験張り　※ 行わない　・ 行う（ ※ 外壁タイル　・　　） (11.2.1) |
| | 4.陶磁器質タイル型枠先付け工法 | (11.2.2)(11.4.2)(表11.4.1)

種　別	適用タイル	タイル型枠先付け面のせき板
※ タイルシート法	・ 小口タイル	※ 標仕6.9.3[材料](b)(2)又は金属製ﾀｲﾙ先付け用パネル
・ 目地棟工法	・ 二丁掛タイル	
・ 桟木法	大型タイル	・

	⑤セラミックタイル	・トイレ床 汚だれ石：TOTO：ハイドロセラフロアタイル ＰＵ(薄型)

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録　長野県知事登録(伊那)M第7Y051号
図面を作成した建築士　一級建築士 大臣登録第177957号　井上 勉

凡例　備考

工事名称　令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）

図面名称　特記仕様書-1　＜改修＞

SCALE　[A1] －　[A3] －

年月日　R7.9

No.　D-01

12 木工事

①木材

木材の品質
木材の工事現場搬入時の含水率　※ Ａ種　・ Ｂ種
※ 標仕12.2.1による　・ 信州木材認証製品又は同等品　・ 市販品　(12.2.1)
・ 保存処理木材を適用する箇所（　　）
・ 間伐材等　・ 使用する（使用個所　　）
間伐材等：間伐材、林地残材又は小径木であること。

樹種
※ 標仕表12.2.3による　(12.2.1)(表12.2.3)
・ 地域産材の使用

部材	樹種・等級	材寸法	産地	その他
家具天板(受付)	−	−	南箕輪村	
羽目板(ｷｯｽﾞｽﾍﾟｰｽ)	−	−	南箕輪村	

②集成材等

(12.2.1)

種　別	施工個所	強度等級・材面の品質 性能・使用環境・樹種名・規格等	間伐材等の適用
・ 構造用集成材		※ 図示	・
・ 構造用単板積層材		※ 図示	・
・ 造作用集成材		※ 図示　・ 桧　1等材程度	・
・ 化粧ばり造作用集成材		※ 図示	・

ホルムアルデヒド放散量　※ 規制対象外　・ 第三種
間伐材等：間伐材、合板、製材工場から発生する端材等の残材、林地残材又は小径木の体積比割合が10%以上であること。

③接 着 剤

接着剤に含まれる可塑剤は、揮発性のものとする。　(12.2.2)
ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤を用いた接着剤のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種

④防腐・防蟻処理

防腐処理　※ 行う（ ※ 標仕12.3.1による　・ 図示　）・行わない　(12.3.1)
防蟻処理　・ 行う（ ※ 図示　・　　）・ 行わない
防腐、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存剤(防腐・防蟻剤)は監督職員の承諾するものとする。
（クロルピリホスを含むものを添加しないこと）

5.防虫処理

行う箇所（　　）　(12.3.2)

⑥床板張り用合板及びその他の合板

(12.2.1)

種　別	施工個所	厚さ(mm)	接着の程　度	表板の樹種名・品質・等級・性能等	防虫処理	その他の処理	間伐材等の適用
普通合板（耐水）	ﾗｲﾆﾝｸﾞ	9.0	※ １類	※ 図示	・あり	・難燃処理	
コンパネ	壁・床下地	12.0	・ ２類		なし	・防炎処理	・
構造用合板	床下地	24.0	※ 特類 ※ １類	※ 図示	・あり なし	・難燃処理 ・防炎処理	・
・ 天然木化粧合板			・ １類 ・ ２類	※ 図示	・あり ・なし	・難燃処理 ・防炎処理	・
・ 特殊加工化粧合板			・ １類 ・ ２類	※ 図示	・あり ・なし	・難燃処理 ・防炎処理	・

間伐材等：間伐材、合板、製材工場から発生する端材等の残材、林地残材又は小径木の体積比割合が10%以上であること。

⑦建築材料

クロルピリホスをあらかじめ添加したものを使用しないこと。ただし、発散するおそれがないものとして、国土交通大臣が認める材料についてはこの限りでない。

13 屋根及びとい工事

①長尺金属板葺き

(13.2.2)(13.2.3)(表13.2.1)

屋根葺形式	材　種	塗装種別	板厚(mm)
・ 瓦棒葺（心木なし） ・ 立はぜ葺（嵌合立平） ・ 横葺（・定尺　・長尺） ※ 図示	※ 塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（GGLCCR-20-AZ150） ・	※ ポリエステル樹脂	※ 0.4 ・ 0.5

雪止　※ 設ける　ｱﾝｸﾞﾙ（L-40×40×3・亜鉛メッキ　、素地金物：SUSU製
下葺材料　※ アスファルトルーフィング940　・ 改質アスファルトルーフィング　(表13.2.2)
（・ 一般タイプ　・　粘着層付　）

2. 粘土瓦（陶器瓦）葺

(13.4.2)(13.4.3)

形　式	※ Ｊ形　・ Ｊ形　（防災型）
形状(mm)	桟瓦　・　５３Ａ型　・　一文字瓦

雪止　※ 設ける　雪止瓦
下葺材料　※ アスファルトルーフィング940　・　改質アスファルトルーフィング　(表13.2.2)
・　2021年改訂版　瓦屋根標準設計・施工ガイドラインにより施工のこと

③と い

材　種　※ 配管用鋼管　・ 硬質塩化ビニル管　(13.5.2)(表13.5.1)(表13.5.2)
・ ステンレス鋼板　・ 表面処理鋼板
・ 図示による

軒樋　・ 既製品

4. ルーフドレーン

材　種　※ 鋳鉄製　(13.5.3)
・塗布防水用　（・　デッキ用　）　第一機材 RKECM-DR65　同等品

⑤保証書（1及び2についての保証）

※ 引渡日から10年間の保証書（メーカー、施工業者、請負業者連名）を提出する。
・ 長野県板金工業組合認定の施工図により施工したものは同組合及び請負者連名の保証書（10年）を提出すること。
・ 上記組合認定以外の施工図により施工したものはメーカー、屋根施工業者及び請負者連名の保証書（10年）を提出すること。

14 金属工事

1. ｽﾃﾝﾚｽの表面仕上げ

(14.2.1)

種　類	施　工　箇　所
※ ＨＬ程度	
・ No. 2B程度	
・ 鏡面仕上げ	
・	

②ｱﾙﾐﾆｳﾑ及びｱﾙﾐﾆｳﾑ合金の表面処理

(14.2.2)(表14.2.1)

種　別	施　工　箇　所
・ Ｂ－１種（無着色）	巾木見切り
・ Ｂ－２種（・ﾌﾞﾗｳﾝ系　・ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾃﾝｶﾗｰ）	浴室パネル見切り
・	

3. 鉄の亜鉛めっき

(14.2.3)(表14.2.2)

表面処理方法	種 別	施　工　箇　所
溶融亜鉛めっき	・ Ａ種	
	・ Ｂ種	
	・ Ｃ種	
電気亜鉛めっき	・ Ｄ種	
	・ Ｅ種	
	・ Ｆ種	

④軽量鉄骨天井下地

天井のふところが屋内1.5m以上、屋外が 1.0 m以上の場合　(14.4.4)
※ 吊りボルトの補強を行う　・
天井のふところが3mを超える場合の補強　※ 図示
耐震性を考慮した補強　※ 図示
屋外の軒天井及びピロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強　※ 図示

⑤軽量鉄骨壁下地

スタッドの高さが5mを超える場合　※ 図示　(14.5.3)(表14.5.1)

⑥金属成形板張り

(14.6.2)(表14.2.1)

形　状	製　法	材　種	寸法(mm)	厚(mm)	表 面 処 理
・ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ形	・ 押出し	・ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製	・ 巾120	・ 0.6	・ Ｂ－１種
	・ ロール	・ GLｶﾗｰ鋼板	・ 巾120	・ 0.5	・ Ｂ－２種（　）
・ﾊﾟﾈﾙ形	※ プレス ・	・			

伸縮調整継手　※ 設けない　・ 設ける（施工箇所は図示）　(14.6.3)

7. ｱﾙﾐﾆｳﾑ製笠木

(14.7.2)(表14.2.1)(表14.7.1)

種　類	呼称肉厚(mm)	表面処理	固定間隔	備　考
・ ２５０形	１．６以上	※ Ａ－１又は Ｂ－１種 ・ Ｂ－２種 （　）	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造所の仕様による。
・ ３００形	１．８以上			
・ ３５０形	２．０以上			
・ １００形				
・ １７５形	１．６以上			

8. 手すり及びタラップ

(14.2.1)(14.8.2)(14.8.3)(表14.2.2)

種　類	材料の種別	表　面　処　理
・ 手すり	※ ステンレスＳＵＳ３０４	※ ＨＬ程度　・ 鏡面程度　・
	・ 鉄	・ 亜鉛めっき　外部 ※ Ｃ種
	・ アルミ	内部 ※ Ｅ種
・ タラップ	※ ステンレスＳＵＳ３０４	※ 研磨無し　・
	・ 鉄	亜鉛めっき　内外部 ※ Ｃ種 ・

⑨排水金物

図示による

15 左官工事

①モルタル塗り材料

吸水調整材　(15.2.2)

全固形分(%)	吸水量(g)	接着強度(N/mm2)	界面破断率(%)
表示値　±1.0	30分で1g以下	1.0以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

防水剤（防水モルタル塗りの混入剤）　(15.2.2)
防水剤の種類　建築用のモルタルに用いるセメント防水剤　(JIS A 1404による試験)

混合割合	凝結時間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
ｾﾒﾝﾄ重量の5%以下	JIS R5201の試験　8において 始発　1時間以上 終結　10時間以内	70%以下	95%以下	80%以下 294.0KPa/h

安全性 膨張性のひび割れおよびそりがないこと。JIS R5201の試験9

②床ｺﾝｸﾘｰﾄの直均し仕上げ

下表以外は、標仕表6.2.4及び標仕15.3.2による　(表6.2.4)(15.3.1)(15.3.2)

施　工　箇　所	平 た ん 差(mm)	備　考
浴室	図示による	

③仕上塗材仕上げ

(15.5.2)(表15.5.1)

種　類	呼 び 名	仕上げの形状等
・ 薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材Ｓｉ	・
	・ 可とう形外装薄塗材Ｓｉ	・
	・ 外装薄塗材Ｅ	・ 砂壁状　・ 着色骨材砂壁状
	・ 内装薄塗材Ｅ	砂壁状じゅらく
	・ 可とう形外装薄塗材Ｅ	・ 砂壁状　・ ゆず肌状　・ さざ波状
	・ 防水形外装薄塗材Ｅ	・ ゆず肌状　・ さざ波状　・ 凹凸状
	・ 外装薄塗材Ｓ	砂壁状
	・ 内装薄塗材Ｃ	・
	・ 内装薄塗材Ｌ	・
	・ 内装薄塗材Ｓｉ	・
	・ 内装薄塗材Ｗ	京壁状じゅらく
・ 複層仕上塗材	・ 複層塗材ＣＥ	
	・ 可とう形複層塗材ＣＥ	・ ゆず肌状　・ 凸部処理　※ 凹凸模様
	・ 複層塗材Ｓｉ	耐候性　※ 3種
	・ 複層塗材Ｅ	上塗材　溶媒　※ 水系　・ 溶剤系
	※ 複層塗材ＲＥ	樹脂　※ アクリル系　・
	・ 複層塗材ＲＳ	外観　※ つやあり　・ つやなし
	・ 防水形複層塗材ＣＥ	・ メタリック
	・ 防水形複層塗材Ｅ	防水形の増塗材　※ 行う
	・ 防水形複層塗材ＲＥ	
	・ 防水形複層塗材ＲＳ	
・ 軽量骨材仕上塗材	・ 吹付用軽量塗材	砂壁状
	・ こて塗用軽量塗材	平たん状

建築内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量の等級
※ 規制対象外　・ 第三種

防火材料の指定
※ 屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。

・ 可とう形外装薄塗材Ｅ

④珪藻土

JIS A 6909（建築用仕上塗材）により、製造所において指定された色及びつや等に調合し、有効期間を経過したものは使用しない。
・ アイカ工業（株）　ジョリパッド　不燃JQ-200　コテ　同等品

16 建具工事

1. 見本の製作等

・ 特殊な建具の仮組（建具番号：　　）　(16.1.4)

2. 防犯建物部品

・ 適用あり（図示）　(16.1.6)

③ｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具

外部に面する建具　・ 下記性能は基本性能とし、メーカー仕様による　(16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)

種　別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み（mm）	備　考
・ アルミニウム製	Ｓ－５	Ａ－４	Ｗ－５	７０	ビル用
・ アルミ樹脂複合	Ｓ－４	Ａ－４	Ｗ－５	８０	住宅用

表面処理　※ BA－１種　・ BA－２種（ ・ ﾌﾞﾗｳﾝ系　・ ﾌﾞﾗｯｸ　・ ｽﾃﾝｶﾗｰ）　(表14.2.1)

防音ドアセット　・ 防音サッシ　・ 適用する　遮音性の等級（　）
断熱ドアセット　・ 断熱サッシ　・ 適用する　断熱性の等級（　）
耐震ドアセット　・ 適用する　面内変形追随性の等級（　）

屋内建具
表面処理　※ Ｃ種又はBA－１種　(表14.2.1)
・ Ｃ種又はBA－２種（ ・ ﾌﾞﾗｳﾝ系　・ ﾌﾞﾗｯｸ　・ ｽﾃﾝｶﾗｰ）

④網　戸

防 虫 網
網の種別　・ ガラス繊維入り合成樹脂製　・ ｽﾃﾝﾚｽ製(SUS316)　・ 合成樹脂製　(16.2.3)
形　式　※ 外部可動式　・ 固定式

⑤鋼製建具

簡易気密型ドアセット　(16.3.2)(表16.3.1)
※ 適用する（適用箇所は建具表による）　・ 適用しない
耐風圧性　(16.3.2)(表16.2.1)
※ 適用する（適用箇所は建具表による）　・ 適用しない
特定防火設備の戸　・ 適用する
標準型鋼製建具　・ 適用する　(16.3.6)

⑥鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセット　(16.4.2)
※ 適用する（適用箇所は建具表による）　・ 適用しない
片開き、親子開き及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合の鋼板類の厚さ　※ 図示　(16.4.4)
標準型鋼製軽量建具　・ 適用する　(16.4.5)

7. ｽﾃﾝﾚｽ製建具

簡易気密型ドアセット　(16.5.2)
※ 適用する（適用箇所は建具表による）　・ 適用しない
耐風圧性　(16.5.2)
※ 適用する（適用箇所は建具表による）　・ 適用しない
表面仕上げ　※ ＨＬ仕上げ　・ 鏡面仕上げ　・　(16.5.4)
曲げ加工　※ 普通曲げ　・ 角出し曲げ（補強あり）　(16.5.5)
特定防火設備の戸　・ 適用する　(表16.5.1)

施工個所	鋼材の種類
屋外	※ SUS304又はSUS430JIL
屋内	※ SUS430　・ SUS304又はSUS430JIL

⑧木製建具

建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量の等級　(16.7.2)
※ 規制対象外　・ 第三種
かまち戸の框材　かまち（　　）　鏡板（　　）　(16.7.2)
ふすまの上張り　※ 新鳥の子又はビニル紙程度(押入等の裏面は除く)　・ 鳥の子　(表16.7.3)
縁仕上　・ 塗り縁　・ 生地縁（素地）　・ 生地縁（ウレタンクリヤー塗装）　(表16.7.9)

⑨建具用金物

マスターキー　※ 製作する　・ 製作しない　(16.8.4)
建築用金物　**(16.8.6)(16.8.6)**
錠類は、シリンダー箱錠（レバーハンドル）とする
なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける
吊り金物
・丁番（内部建具については、軸を鉄芯としてもよい）　・ﾋﾞﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ

10. 自動ドア開閉装置

(16.8.2)(16.8.3)(表16.8.1～3)

開 閉 方 法	セ ン サ の 種 類
※ スライディングドア 種類 ・ SSLD-1　・ SSLD-2 ・ DSLD-1　・ DSLD-2	・ 熱線スイッチ　・ マットスイッチ　・ ペダルスイッチ ・ 光電スイッチ　・ タッチスイッチ　・ 音波スイッチ ※ 光線反射スイッチ　・ 電波スイッチ　・ 押ボタンスイッチ

※ 凍結防止措置（適用箇所は建具表による）

⑪自閉式上吊り引戸装置

材料　※ SUS304アルミニウム製等防錆性能を有するもの
・ 製造所標準仕様による　(16.9.2)(16.9.3)
性能等　※ 標仕16.9.1による
・ 製造所標準仕様による

12. 重量ｼｬｯﾀｰ

(16.10.2)

シャッターの種類	
・ 一般重量シャッター	耐風圧性能（　）N/㎡
・ 外壁用防火シャッター	耐風圧性能（　）N/㎡
・ 屋内用防火シャッター	
・ 屋内用防煙シャッター	

開閉機能　※ 上部電動式（手動併用）　・ 上部手動式　(16.10.2)(表16.10.1)
危害防止機構
※障害物感知装置（自動閉鎖型）　・ ｼｬｯﾀｰの二段降下方式
一般重量ｼｬｯﾀｰのｼｬｯﾀｰｹｰｽ　※ 設ける　・ 設けない　(16.10.2)

⑬軽量ｼｬｯﾀｰ

開閉形式　※ 手動式　・ 上部電動式（手動併用）　(16.11.2)(表16.11.1)
ｽﾗｯﾄ　材質　※ JIS G3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)又はJIS G3318(塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯)　(16.11.3)
・ 鋼板
形状　※ ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ形　・ ｵｰﾊﾞｰﾗｯﾋﾟﾝｸﾞ形　(16.11.4)
ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ等　※ 鋼板製　・ ｽﾃﾝﾚｽ製SUS304（厚さ1.0mm）　(表16.11.2)
耐風圧性能　（　　）N/㎡

14. ｵｰﾊﾞｰﾍｯﾄﾞﾄﾞｱ

(16.12.2)(16.2.3)

ｾｸｼｮﾝ材料	開閉方式	収納形式	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ
※ ｽﾁｰﾙﾀｲﾌﾟ ・ ｱﾙﾐﾆｳﾑﾀｲﾌﾟ ・ ﾌｧｲﾊﾞｰｸﾞﾗｽﾀｲﾌﾟ	※ ﾊﾞﾗｽ式 ・ ﾁｪｰﾝ式 ・ 電動式	・ ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ型 ・ ﾛｰﾍｯﾄﾞ形 ・ ﾊｲﾘﾌﾄ形 ・ ﾊﾞｰﾃｶﾙ形	・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ※ ｽﾃﾝﾚｽ鋼板（SUS304）

耐風圧性能　（　　）N/㎡

17 カーテンウォール工事

1. ﾒﾀﾙｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ

設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会JASS14による。

ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ材料の種類　(17.2.2)

種　類	規　格　等
※ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製	※ 標仕16.2.3のｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具の材料による
・	・

ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ材料の方式
・ 方立方式
・ ﾊﾟｯｸﾘﾌｨﾝ方式（ ・ 単純２辺支持構法　・ ＳＳＧ構法）
・ ﾊﾟﾈﾙ方式
・ ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ方式
・ 小型ﾊﾟﾈﾙ組み合わせ方式（ ・ ﾉｯｸﾀﾞｳﾝ方式　・ ﾕﾆｯﾄ方式）

ｼｰﾘﾝｸﾞ材及びｶﾞﾗｽ取付材料　(9.6.2)(17.2.2)(表9.6.1)
下記以外は標仕表9.6.1による

被着体の組合せ		シーリング材の種別		
		記　号	主成分による区別	耐久性による区別
金　属	ガラス			
	石、タイル			
ガラス	ガラス			

構造用ガスケット　※ 適用しない　(17.2.2)
・ 適用する　（施工箇所：　　）
断 熱 材　※ 適用しない　(17.2.2)
・ 適用する　（種類：　　厚さ(mm)：　　施工箇所　※図示）
製品の寸法許容差　※ 標仕表17.2.1による　(17.2.3)(表17.2.1)
・ 製造所標準製作規定寸法許容差による

ｱﾙﾐﾆｳﾑの表面処理　(17.2.3)(表14.2.1)

種　別	色 彩 等
・ Ａ－１種　・ Ｂ－１種	無着色
・ Ａ－２種　・ Ｂ－２種	※ ﾌﾞﾗｳﾝ系　・ ﾌﾞﾗｯｸ系　・ ｽﾃﾝｶﾗｰ　・
・ 着色塗膜　塗装材料（　　）焼付け方法（　　）ｺｰﾄ（　　）ﾍﾟｰｽ	

耐風圧性能　(17.1.3)
性能値　※ 建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対し安全であること
・ 正圧（　　N/㎡以上及び負圧（　　）N/㎡以上に対して安全であること

主要部材のたわみ

支点間距離（h）	たわみ量	状　態
※ 4m以下	※ 1/150）×h かつ絶対量20mm以下	※ 各部の破損、残留変形、有害な変形が起こらないこと
・ 4mを超える	・	

耐震性能　(17.1.3)
設計用震度　水平方向（KH）　※ 1.0　・
垂直方向（KV）　※ 0.5　・

構 造 種 別	層間変位量（h＝支点間距離）	状　態
鉄骨造	※ 1/100）×h以上 ・	※ 部材の脱落、ｶﾞﾗｽの破損及び主要部材に有害な歪が起こらない。 ｼｰﾘﾝｸﾞは補修程度。
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 鉄骨鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造	※ 1/200）×h以上 ・	

水 密 性　・ Ｗ－４　・ Ｗ－５　・　(17.1.3)
気 密 性　・ Ａ－３　・ Ａ－４　・　(17.1.3)
耐火性能　※ 適用しない　・ 適用する（　　時間、施工箇所：図示）
耐熱温度差性（℃）　・ ６０　・ ７０　・ ８０
遮 音 性　・ Ｔ３　・ Ｔ４　・ Ｔ５
断 熱 性　・ Ｈ－２　・ Ｈ－３　・ Ｈ－４　・ Ｈ－５
映像調整　※ 行わない　・ 行う（建具表による）
製造所　性能等の確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける

⑮ｶﾞﾗｽ

※ 建具表による　(16.13.2)(16.13.5)
・ ガラスブロック

表面形状	呼び寸法(mm)	色　調	防火性能
・ 正方形	・ 150×150	※ クリア　・ 熱線反射	※ 無し
・ 長方形		・ 乳白　・ カラー（　）	・ 有り

⑯ｶﾞﾗｽ留め材及び溝

ｶﾞﾗｽ留め材　(16.13.2)(表9.6.1)

建具の種類	材　種
アルミニウム製	※ シーリング材　・ ガスケット（ＦＩＸ部はシーリング材）
鋼製及び軽量鋼製	※ シーリング材
ステンレス製	※ シーリング材

ただし、防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする。
板ガラスをはめ込む溝の大きさ　(16.13.3)
標仕16.13.3以外のｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具及び板ｶﾞﾗｽの場合は（社）日本建築学会JASS17ｶﾞﾗｽ工事「3.1納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける

⑰ｶﾞﾗｽ用ﾌｨﾙﾑ（内張り用）

用途による区分	記　号
・ ガラス飛散防止フィルム	※ GS-A-B
・ 日射調整フィルム/ガラス飛散防止フィルム	・ SC-A/GS-A-B　・ SC-B/GS-A-B
・ ガラス貫通防止フィルム	※ SF-A
・ 日射調整フィルム/ガラス貫通防止フィルム	・ SC-A/SF-A
・	

品質　JIS　A5759による

⑱片引き折れ戸

・ ノンレールタイプ　（株）TOKO　だんねーざ　同等品

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録　長野県知事登録（伊那）M第7Y051号
図面を作成した建築士　一級建築士 大臣登録第177957号　井上　勉

凡例　備考

工事名称　令和８年度 ふれあい交流センター　大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）

図面名称　特記仕様書－２　＜改修＞
SCALE　[Ａ１]－　[Ａ３]－
年 月 日　Ｒ７．９
No.　Ｄ－０２

CAD FILE No.D-02 特記仕様書-2
Print out：26-02-04

17 カーテンウォール工事

2. PCｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ

設計図書による規定の他、特記無き事項は(社)日本建築学会JASS14による。

コンクリートの種類及び品質 (17.3.2)

※ 標仕17.3.2による。

・ 下表による。ただし、下表以外は標仕17.3.2による。

コンクリートの種類	設計基準強度（Fc）	所用スランプ（cm）

鉄筋　※ SD295A　・

取付け用金物の表面処理（鉄の亜鉛めっき）及び材質 (14.2.3)(表14.2.2)

下記以外はカーテンウォール製作所の仕様による

金物種類及び部位	内　部	外　部
PC版打込み金物	※ E種　・	※ A種　・
PC版打込み取付ボルト	※ E種　・	※ ステンレスボルト
2次ファスナー	※ E種　・	※ A種　・
取付けボルト	※ E種　・	※ A種　・
レベル調整ボルト	※ E種　・	※ A種　・

シーリング材料 (9.6.2)(17.3.2)(表9.6.1)

下記以外は標仕表9.6.1による

施　工　箇　所	シーリング材の種別		
	記　号	主成分による区分	耐久性による区分
カーテンウォール板間目地			

耐火目地材　・ 適用する　※ 図示

断 熱 材　※ 適所しない

・ 適用する（種類　　厚さ(mm)：　　施工箇所：※図示）

製品の寸法許容差　※ 標仕表17.3.1による (17.3.3)(表17.3.1)

・ 製造所標準製作規定寸法許容差による

表面仕上げ　（　　）

耐火材料

施　工　部　位	種　別	規格等
・ ファスナー部		
・ 取付ブラケット		
・ パネル目地部		
・ 層間ふさぎ		

耐風圧性能 (17.1.3)

性能値　※ 建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対し安全であること

・ 正圧（　　）N/㎡以上及び負圧（　　）N/㎡以上に対して安全であること

耐震性能 (17.1.3)

設計用震度　水平方向（KH）　※ 1.0　・

垂直方向（KV）　※ 0.5　・

構 造 種 別	層間変位量（h＝支点間距離）	状　態
鉄骨造	※ ±（1／100）×h以上 ・	※ 部材が損傷せず破損脱落もしない。ガラス等の破損もない。シーリングは補修程度。
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	※ ±（1／200）×h以上 ・	

18 塗装工事

①材　料

屋内の壁、天井仕上げ材は防火材料とする (18.1.3)

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量 (18.1.3)

※ 規制対象外　・ 第三種

②塗装業者（保　証）

・ 日本塗装工業会の会員　・ 監督職員の承諾する業者

※ 塗装業者、請負者連名の保証書（3年）を提出すること。

③素地ごしらえ

木部の素地ごしらえ (18.2.2)(表18.2.1)　改修 (7.2.2)

種別　（・A種　・B種 ）　種別　（・ RB種：着板塗り替え）

鉄鋼面の素地ごしらえ (18.2.3)(表18.2.2)

種別　（・A種　・B種　※C種 ）

亜鉛メッキ鋼面の素地ごしらえ (18.2.4)(表18.2.3)

種　別	施 工 部 位 別 及 び 塗 料 種 別
・ A 種	鋼製建具及び、2液形ｳﾚﾀﾝｴﾅﾒﾙ塗り、常温乾燥形ふっ素樹脂ｴﾅﾒﾙ塗りの場合
・ B 種	A種、C種以外
・ C 種	下塗りに変成エポキシ樹脂塗料を塗装する場合

モルタル面及びプラスター面の素地ごしらえ (18.2.5)(表18.2.4)

種別　※ B種　・ A種（施工箇所：　　）

コンクリート面及びALCパネル面の素地ごしらえ (18.2.6)(表18.2.5)

種別　※ B種　・ A種（施工箇所：　　）

2-UE、2-ASE、2-FUEの場合のｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面の素地ごしらえ (18.2.6)(表18.2.6)

種別　※ B種　・ A種（施工箇所：　　）

せっこうボード面及びその他のボード面の素地ごしらえ (18.2.7)(表18.2.7)

種別　※ B種　・ A種（施工箇所：　　）

④錆止め塗料塗り

鉄鋼面 (18.3.2)(18.3.3)(表18.3.1)(表18.3.3)

塗料の種別　屋 外（※ A種 JIS K 5674 ）　屋 内（※ A種 JIS K5674 ・ B種　　）

塗りの種別　見掛り部 ※ A種　　見隠れ部（※ B種 ・　　）

亜鉛めっき鋼面 (18.3.2)(18.3.3)(表18.3.2)(表18.3.4)

塗料の種別　※ A種　・ B種　・ C種

塗りの種別　鋼製建具　※ A種　・ B種　・ C種

その他　・ A種　・ B種　※ C種

⑤合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り（ＳＯＰ）

木部 (18.4.2)(18.4.3)(表18.4.1)

塗料の種類　※ 1種　・

塗りの種別　屋外　※ A種　・ B種

屋内　・ A種　※ B種

鉄鋼面 (18.4.4)(表18.4.2)

塗料の種類　※ 1種　・

塗りの種別　・ A種　※ B種

亜鉛めっき鋼面 (18.4.5)(表18.4.3)

塗料の種類　※ 1種　・

⑥ｸﾘｱﾗｯｶｰ塗り（ＣＬ）

塗りの種別　※ A種　・ B種 (18.5.2)(表18.5.1)

7.ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散型塗料塗り（ＮＡＤ）

塗りの種別　・ A種　※ B種 (18.6.2)(表18.6.1)

⑧耐候性塗料塗り（ＤＰ）

鉄鋼面の上塗り等級 (18.7.2)(表18.7.1)

等　級	塗 料 の 種 別
・ 1級	ふっ素樹脂塗料
・ 2級	アクリルシリコン樹脂塗料
・ 3級	ポリウレタン樹脂塗料

亜鉛めっき鋼面の上塗り等級 (18.7.3)(表18.7.2)

等　級	塗 料 の 種 別
・ 1級	ふっ素樹脂塗料
・ 2級	アクリルシリコン樹脂塗料
・ 3級	ポリウレタン樹脂塗料

コンクリート面及び押出成形セメント板面 (18.7.4)(表18.7.3)

塗りの種別　・ A種　・ B種　・ C種

⑨つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り（ＥＰ－Ｇ）

ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面、ﾌﾟﾗｽﾀｰ面、せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面等 (18.8.2)(表18.8.1)

塗りの種別　・ A種　※ B種

鉄鋼面 (18.8.4)(表18.8.3)

塗りの種別　・ A種　※ B種

⑩合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り（ＥＰ）

塗りの種別　・ A種　※ B種 (18.9.2)(表18.9.1)

⑪合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ模様塗料塗り（ＴＭ）

塗りの種別　・ A種　※ B種 (18.10.2)(表18.10.1)

・エスケー化研（株） マルチファンシーＤＸ 同等品

⑫ｳﾚﾀﾝ樹脂ｳﾆｽ塗り（ＵＣ）

塗りの種別　・ A種　※ B種 (18.11.2)(表18.11.1)

⑬木材保護塗料塗り（ＷＰ）

塗りの種別　・ A種　※ B種 (18.14.2)(表18.14.1)　改修 (7.13.2)(表7.13.1)

14.ﾏｽﾃｨｯｸ塗材塗り

塗りの種別　・ A種　・ B種 (18.14.2)(表18.14.1)

⑮床用塗料塗り

材質　ウレタン樹脂系塗料（ ※ 標準色　・　）

仕上種別　※ 平滑仕上げ　・ 防滑仕上げ

塗布量　プライマー塗りの上、主剤2回塗りとし、総塗布量は0.5kg/㎡以上とする

⑯防塵用塗料塗り

材質　水性アクリル系樹脂塗料（ ※ 標準色　・　）

仕上種別　コーティング（ローラー刷毛塗り）

塗布量　主剤2回塗りとし、総塗布量は0.25kg/㎡以上とする

19 内装工事

①接 着 剤

壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒド放散量

※ 規制対象外　・ 第三種 (19.2.2)(19.3.3)(19.8.2)

※ 接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする

②ビニル床シート張り (19.2.2)

種　類	記　号	色 柄 他	厚さ（mm）
※ 発泡層のないもの	※ NC　・	※ 無地　・ マーブル柄	※ 2.5　・ 2.0
※ 発泡層のないもの		・ 消臭機能型 使用箇所：各トイレ	・ 2.0
・ 発泡層のあるもの		※ 柄物　・ 無地	・ 2.0

工法　※ 熱溶接工法　・ 突付け（施工箇所：　　） (19.2.3)

(A)：ﾛﾝﾚｲﾄﾞ ASｺﾝﾌｫｰﾄ（厨房用）/ﾛﾝｼｰﾙ工業㈱ 同等品

(B)：消臭NSﾄｳﾙNW、(C)：SFﾌﾛｱ（発泡層あり）、(D)：ﾌﾛｱｰﾘｭｰﾑ/東リ㈱ 同等品

3. ビニル床タイル張り (19.2.2)

種　類	記　号	厚さ（mm）	備　考
※ コンポジションビニル床タイル（半硬質）	CT	※ 2.0	東リ　ﾏﾁﾝV同等品
・ コンポジションビニル床タイル（軟　質）	CTS	・	
・ ホモジニアスビニル床タイル	HT	・	
・			

4. 帯電防止床ﾀｲﾙ張り (19.2.2)

種　類	厚さ(mm)	性　能
・ コンポジションビニル床タイル	※ 2.0　・	体積抵抗値（JIS K 6911による）1.0×10⁹Ω
・ ホモジニアスビニル床タイル	※ 4.0又は4.5	以下、又は漏えい抵抗値（JIS A 1454による）
・	・	1.0×10¹⁰Ω未満

⑤ﾋﾞﾆﾙ幅木　・ ﾋﾞﾆﾙ幅木　高さ（mm）　・ 60　※ 75　・ 100　・ 300 (19.2.2)

⑥ｶｰﾍﾟｯﾄ敷き

・ 織じゅうたん (19.3.3)(19.3.4)(表19.3.1)(表19.3.2)

種別	パイル形状	帯電性	色柄等	備考
・ A種	・ カットパイル	人体帯電圧	※ 単一色（無地）	
・ B種	・ ループパイル	※ 3kV以下	・ 柄物（標準品）	
・ C種	・ カット、ループパイル併用	・	・	

・ タフテッドカーペット (19.3.3)(19.3.4)(表19.3.2)

パイル形状	パイル長(mm)	工法	帯電性
・ カットパイル	※ 5～7　・	※ 全面接着工法	人体帯電圧
・ ループパイル	※ 4～6　・	・ グリッパー工法	※ 3kV以下
・ カット、ループ併用	・		・

・ タイルカーペット (19.3.3)(表19.3.2)

パイル形状	種類1	種類2	総厚さ(mm)	備考
※ ループパイル	※ 第一種	※ 500×500	※ 6.5	GA-400ｼﾘｰｽﾞ／東リ㈱ 同等品
・ カットパイル	・ 第二種	・	・ 7.0	
・ カット、ループ併用				
・ 図示				

帯電性　※ 人体帯電圧3kV以下（ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱｰ敷設範囲）

・ 藤タイル　（株）サンゲツ　防炎品　同等品

7. 合成樹脂塗床 (19.4.2)(19.4.3)(表19.4.1～表19.4.7)

種　別	仕 上 げ の 種 類
・ 弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床材	※ 平滑仕上げ　・ 防滑仕上げ　・ つや消し仕上げ
・ ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床材	※ 薄膜流し展べ仕上げ ・ 厚膜流し展べ仕上げ（※ 平滑　・ 防滑） ・ 樹脂モルタル仕上げ（※ 平滑　・ 防滑） ・ 防滑仕上げ
・ 図示	

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種

8. ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ張り (19.5.2～19.5.7)(表19.5.1～表19.5.4)

種　別		樹　種	工　法	仕上塗料等	間伐材等の適用
単層	・ フローリングボード	※ なら	・ ﾓﾙﾀﾙ埋込み工法	※ ｳﾚﾀﾝ樹脂 ワニス塗り	・
	・ フローリングブロック	・ ひのき	・ 釘留め工法（A種）	・ ｵｲﾙﾌｨﾆｯｼｭ塗り のうえ ﾜｯｸｽ塗り	
	・ モザイクパーケット		・ 釘留め工法（B種）	・ 生地のまま ワックス塗り	
複合	・ 複合1種フローリング		※ 釘留め工法（C種）	・ 無塗装	
	・ 複合2種フローリング		・ 接着工法		
	・ 複合3種フローリング				

複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞの化粧加工の方法は、天然木化粧とする。 (19.5.2)

ホルムアルデヒド放散量　※ 規制対象外　・ 第三種

・ ﾓﾙﾀﾙ埋込み工法のﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸの厚さ　（　　mm） (19.5.4)

・ ﾓﾙﾀﾙ埋込み工法のﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸの大きさ　（　　×　　mm）

・ 接着工法のﾓｻﾞｲｸﾊﾟｰｹｯﾄの厚さ　（　　mm） (19.5.6)

・ 接着工法のﾓｻﾞｲｸﾊﾟｰｹｯﾄの大きさ　（　　×　　mm）

接着工法のﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ裏面の緩衝剤　※ 合成樹脂発泡ｼｰﾄ　・ (19.5.6)

9. 畳敷き (19.6.2)(表19.6.1)

下地の種類	畳の種別	備　考
標仕表12.4.1による床組	※ B種　・	ヘリ（・ あり　・ 無し）
ポリスチレンフォーム床下地	※ C種　・	

畳表及び畳床は揮発生有機化合物含有量が少ないものとする。　畳表　・ 紙製

10. ポリスチレンフォーム床下地材

ノンフロンのもの

畳下地　厚さ(mm)　※ 40　・ 65　・ 80　（不燃）

フローリング類　厚さ(mm)　・ 65　※ 80　・ 95　（不燃）

⑪せっこうボードその他ボード張り (19.7.2)(表19.7.1)

種　類	JISの記号	厚さ（mm）、規格等
・ 高圧木毛セメント板	HW	・ 15　・ 20　・ 25　・
・ 普通木毛セメント板	NW	・ 15　・ 20　・ 25　・
・ 硬質木片セメント板	NF	・ 15　・ 20　・ 25　・
・ けい酸カルシウム板	0.8FK	ﾀｲﾌﾟ2（無石綿）（・ 6　・ 8　・　）
・ ロックウール化粧吸音板（内部用）	DR	※ ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ（※ 9(不燃)　・ 12　・　）
・ ロックウール化粧吸音板（外部用）		※ ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ（※ 9(不燃)　・ 12　・　）
・ せっこうボード	GB-R	・ 9.5（・ 不燃　・ 準不燃）　・ 12.5（不燃）
・ 不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5（不燃）　化粧無（下地張り用） 化粧有（トラバーチン模様）
・ シージングせっこうボード	GB-S	12.5(不燃)（※ 12(不燃)　・ 15　・ 19　・　）
・ 強化せっこうボード	GB-F	・ 12.5（不燃）　・ 15.0（不燃）
・ せっこうラスボード	GB-L	9.5
・ 化粧せっこうボード	GB-D	9.5（※ 準不燃　・ 不燃）
・ 化粧せっこうボード（木目）		12.5（不燃）　幅440程度 模様（※ 柾目　・ 板目）専用下地材付き
・ 普通合板 ・ しな合板（難燃処理）		・ 生地、透明塗料塗り（ラワン合板程度） ・ 不透明塗料塗り（しな合板程度）
・ メラミン樹脂化粧板		JIS K6903による　厚さ1.2
・ ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ	MDF	・ 素地MDF(RS)　・ 化粧MDF(・DV　・D0　・PC) ・ 3　・ 7　・ 9　・ 12
・ 単板張りパーティクルボード		・ 無研磨板VN　・ 研磨板VS ・ 10　・ 12　・ 15　・ 18
・ ハードボード（素地）	HB	・ 素地　・ RN-HB　・ RS-HB ・ 2.5　・ 3.5　・ 5　・ 7
・ インシュレーションボード	IB	・ T-IB　・ A-IB　・ S-IB ・ 9　・ 12　・ 15　・ 18
・ アクリル樹脂系塗装ケイカル板（不燃化粧板）		・ 6　・ 9　・ 12　・ 15 ｱｲｶ工業　ﾑｷｶﾗｲﾄ・ｶﾗｰ　同等品

⑫吸音材 (表19.7.1)

種　類	JISの記号	厚 さ（mm）
・ ロックウール吸音ボード1号	RW-B	※ 25　・
※ グラスウール吸音ボード32K	GW-B	※ 25　・
・ グラスウールマット24K	GW-B	・ 100　・ 50

⑬壁紙張り

・ 図示による (19.8.2)

施 工 箇 所	壁紙の種類 紙	繊維（織物）	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ（ビニル）	その他（化学繊維）	無機質	防火性能の級別	備考
全て	・	・	・	・	・	※ 不燃　・ 準不燃　・ 難燃	
	・	・	・	・	・	※ 不燃　・ 準不燃　・ 難燃	

素地ごしらえ (表18.2.4)(表18.2.7)

モルタル面、プラスター面　※ B種　・ A種（施工箇所：　　）

せっこうボード面　※ B種　・ A種（施工箇所：　　）

壁紙のホルムアルデヒド放散量 (19.8.2)

※ 規制対象外　・ 第三種

⑭断熱材 (19.9.2)(19.9.3)

種　類		施 工 箇 所	厚さ(mm)	品 質 等
・ ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ(EPS)		・ 根廻り	※20	
・ 押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板(XPS)	※2種b	※ 一般部 ・ 土間下　・ ﾋﾟｯﾄ部	※25・20 ・50	ノンフロンのもの
・ 現場発泡断熱材（吹付硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ）	※A種1 ・	※ 断熱材補修部分 ・ 階段段裏 ・ 基礎廻り	※25 ・30	ノンフロンのもの ※ 難燃性
・ フェノールフォーム保温板(PF)	※1種2号のII	※ 屋根	・25	ノンフロンのもの

ﾛｯｸｳｰﾙ、ｸﾞﾗｽｳｰﾙ、フェノールホーム、ユリア樹脂又はﾒﾗﾐﾝ樹脂を使用した断熱材のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量

※ 規制対象外　・ 第三種

・ グラスウール　t=100mm　（・ 24Kg品　）

⑮浴室天井

市販品

材　質	表面仕上げ	性　能	幅（mm）	備　考
※ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製	※ 焼付け塗装品	・ 準不燃品	※ 200	廻り縁は樋付きとし、製造所の標準品とする。
	・ アルマイト処理品		・ 100	
・ 硬質塩ビ製	※ 塗装品		※ 300	
	・ 木目調		・ 100	

⑯単板羽目板張り

材種　※ 信州産唐松（信州木材認証製品又は同等品）

・ 上伊那地域産材　赤松

・ 南箕輪村産材　桧

20 ユニット及びその他工事

1. フリーアクセスフロア (20.2.2)

施 工 箇 所	構　法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材
事務室 放送室	・ ﾊﾟﾈﾙ構法	・ 100	・ 1.0G	・ 3,000N	・ 帯電防止ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ
	・ 溝構法	※ 50未満	・ 0.6G	・ 5,000N	・ ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ
	・ ﾊﾟﾈﾙ構法	・	・ 1.0G	・ 3,000N	・ 帯電防止ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ
	・ 溝構法	※ 50未満	・ 0.6G	・ 5,000N	・ ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ
	・ ﾊﾟﾈﾙ構法	・	・ 1.0G	・ 3,000N	・ 帯電防止ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ
	・ 溝構法	※ 50未満	・ 0.6G	・ 5,000N	・ ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ

耐震性能5,000N、高さ300mm以上については、平成元年建設省告示第1322号「耐震型ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。

表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事による

スロープ及びポーダー　※ 製造所の標準仕様　・ 図示

コンセント等の取付け対応　※ 製造所の標準仕様（コンセント本体は別途設備工事）

コンセントの箇所数は図示

配線用取り出しパネル　配線取り出し開口：ﾊﾟﾈﾙ1枚につき40mm×80mm程度の開口1ヶ所以上

ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ全体面積に対する設置割合　※ 20～30%　・

空調用吹き出しパネル　※ 無し

・ 有り　（※ 固定式　・ 可変式　：施工箇所は図示）

2. 可動間仕切 (20.2.3)

構造形式	ﾊﾟﾈﾙ部の総厚さ(mm)	構成基材	表面材種 厚さ(mm)	仕上げ	遮音性能	防火性能
・ ﾊﾟﾈﾙ式 ・ ｽﾀｯﾄﾞ式 ・ ｽﾀｯﾄﾞﾊﾟﾈﾙ式	・	・	※ 鋼板（※0.6　・0.8）	※ ﾒﾗﾐﾝ樹脂又はｱｸﾘﾙ樹脂焼付 ・	・ 有（　） ・ 無	・ 有 ・ 無

③移動式間仕切 (20.2.4)

遮音性能	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	パネルの操作方法	圧接装置
・ 一般タイプ	45	※ 鋼板 ・	・ 焼付け塗装 ・ 壁紙張り	・ 手動式　・ 電動式 ・ 部分電動式	・ ﾊﾝﾄﾞﾙ式 ・
・ 遮音タイプ（　dB以上(500Hz)）		※ 鋼板 ・	・ 焼付け塗装 ・ 壁紙張り	・ 手動式　・ 電動式 ・ 部分電動式	・ ﾊﾝﾄﾞﾙ式 ・

表面仕上げの壁紙張りの品質は19章内装工事による

遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する

ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ取付け下地の補強方法（　　）

ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙの固定の際のあと施工ｱﾝｶｰ　（種類：　　材質：　　寸法：　　）

④トイレブース

表面仕上げ材　※ メラミン樹脂化粧板（標準色　アルミ製コーナーエッジ付き） (20.2.5)

・ ポリエステル樹脂系化粧板

構成基材　・ MDF（　mm）　・ ﾍﾟｰﾊﾟｰｺｱ+ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ（9.0mm）　・ フラッシュ

足形状　※ 幅木型　・ 足金物型

5. 階段滑止め

材種　ＳＵＳ３０４ (20.2.6)

形状　ビニルタイヤ入り

両端フラットエンド　・ 無　※ 有（・ ＳＵＳ３０４　※ ビニル製）

幅（mm）　約３５

取付け工法　※ 接着工法　・ 埋込み工法

6. 階段・通路手すり

※ 集成材クリアラッカー仕上げ（径：50x30mm）

・ ビニル製ハンドレール（幅約　mm）

・ 樹脂被覆手摺（・ 市販品　径34mm　受け ・ アルミ製）

・ アルミ製

7. 黒板及びホワイトボード (20.2.8)

	種　類	寸法（mm）	色　彩	備　考
・ 黒板	※ 焼付け		※ 緑 ・ 黒	※ 平面　・ 曲面　・ ｽｸﾘｰﾝ付引分
			※ 緑 ・ 黒	
・ ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ	※ ほうろう		※ 白	※ 平面　・ 曲面　・ ｽｸﾘｰﾝ付引分
			※ 白	

8. 鏡 (20.2.9)

寸法(mm)　・ 図示

厚さ(mm)　※ 5

⑨表示 (20.2.10)

衝突防止表示　※ 図示（市販品 ※ ステンレス製 径約３０mm　・　）

（・ 両面　・ 片面）

・ 無し

表示標識　案内用図記号についてはJIS Z 8210 による

誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。　・室名札等（図示）

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録 長野県知事登録（伊那）M第7Y051号
図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上 勉

凡例 備考

工事名称：令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）

図面名称：特記仕様書-3 ＜改修＞

SCALE：[A1] - [A3] -

年月日：Ｒ７．９

No.：Ｄ-03

20 ユニット及びその他工事

10. 煙突ﾗｲﾆﾝｸﾞ他 (20.2.11)
・煙突用成形ﾗｲﾆﾝｸﾞ材　最高使用温度　・400℃　・650℃
・ｷｬｽﾀﾞﾌﾞﾙ耐火材　工法　※ こて押さえ　最高使用温度　※ 400℃
・ペレットストーブ用煙突　（ＳＵＳ製　黒塗装品）1階天井より上は2重煙突)

⑪ブラインド (20.2.12)

形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)
※ 横型	※ ギア式　・コード式 ・ 操作棒式	※ アルミニウム合金製 ・	※ 25 ・
・ 縦型	・ １本操作コード ※ ２本操作コード	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100

⑫ロールスクリーン 防炎性能　※ 有り　・ 無し (20.2.13)

操作方式	幅(mm)	高さ(mm)	材種	品質	備考
チェーン操作	図示	図示			

⑬カーテン・レース ⊙図示による (20.2.14)

施工箇所	形式 片引	形式 引分	装置 電動	装置 紐引	装置 手引	ひだの種類	性能	備考
授乳室	○				○	ﾌﾟﾚｰﾝひだ	防炎・衛生	

⑭カーテンレール 材種　※ アルミニウム製　⊙ステンレス製（W）　・ステンレス製（中空吊ﾀｲﾌﾟ） (20.2.14)
形式　⊙片引き　・引分け

⑮ブラインドボックス及びカーテンボックス
・市販品（アルミニウム製　押出し型材）
溝幅×深さ（mm）　・90×150　※ 120×80　・120×150　・150×80　・
色彩　※ Ｂ－１　・Ｂ－２（※ ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）
⊙図示

16. 耐震スリット

方向	タイプ	耐火性能	防水性能
・ 垂直方向	※ 完全（全貫通型）スリット	・ 耐火型	・ 有り
・ 水平方向		・ 非耐火型	・ 無し

目地	内壁（幅×深さ）	外壁（幅×深さ）
目地材	シーリング材（見え掛かりのみ）	シーリング材（内外とも）
目地寸法（mm）	※ ２０×１０　・	※ ２０×１０　・

17. 止水板 形状　・差込式　・据置式　・壁張り式
寸法

⑱天井点検口 材質　アルミニウム製（※ 額縁タイプ　・目地タイプ）

⑲床点検口 材質　アルミニウム製　受け枠（※ アルミ製　・ステンレス製）

20. 鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	ＪＩＳによる種類
・ 鋼製書架	JISS 1039の規格による	・ 1種　・ 2種　・ 3種
・ 鋼製物品棚		・ 4種　・ 5種　・ 6種　・

21. 鍵箱 市販品
形式　・ 30組　・ 60組用　・ 120組用　・

22. 靴ふきマット 市販品
材質　・ 塩化ビニル製（コイル状　ステンレス製受枠）　・ ビニル製（ステンレス製受枠）
・ 硬質アルミニウム製（受枠とも）　・ ステンレス製（受枠とも）

㉓流し台ユニット

種類	寸法（Ｌ＝mm）	適用内容	規格・品質等
⊙ 流し台	※ 1200　・ 1500　⊙ 1100	ﾄﾗｯﾌﾟ付き	※ 優良住宅部品
・ コンロ台	※ 600　・ 700　・	ﾊﾞｯｸｶﾞｰﾄﾞ　※ 有り	
・ つり戸棚	※ 1200　・ 900　・ 600		・
・ 水切り棚	※ 1200　・ 900　・	ｽﾃﾝﾚｽ製　※ １段式	※ 市販品
・ 図示			

24. 屋内掲示板 枠の材質　※ アルミニウム製　・ 木枠
表面の材質　※ 塩ビ発泡シート張り　・

25. 洗面カウンター 材 種　・ メラミン樹脂化粧板張り（芯材：集成材）　・ 人工大理石（品質　※ 図示）
奥行き（mm）　・ 約450　・ 約600

㉖防煙垂れ壁 ・ 固定式

材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考
※ 網入り磨板ガラス	※ 6.8	※ 500	アルミ製枠付き
⊙ 線入り磨板ガラス	・	・	

27. 誘導用及び注意喚起用床材 ﾌﾞﾛｯｸﾊﾟﾀｰﾝはJIS T 9251による (19.2.2)
色彩は黄色を原則とする
屋内　※ 塩化ビニル製　・ 磁器又はせっ器質タイル（※ 300　・　）
・ＳＵＳ製鋲及び線条
屋外　※ レジンコンクリート製　・ 磁器又はせっ器質タイル（※ 300　・　）
・ＳＵＳ製鋲及び線条

28. 旗竿 材　質　※ アルミニウム合金製
形　式　※ テーパー型　・ 同一断面型
地上高さ（m）　・ 6　・ 8　・ 10　・ 12
操作方法　※ ハンドル式　・ ロープ式
固定方法　・ 埋込式　・ ベース式　・バンド式

29. 旗竿受金物 材種　SUS304

30. フェンス ・ エキスパンドフェンス（※ 樹脂塗装　・ 溶融亜鉛めっき）
・ メッシュフェンス　（※ 樹脂塗装　・　）

31. 屋外掲示板 照明器具　※ 有り　・ 無し
施　錠　※ 有り　・ 無し

屋外掲示板：壁付アルミ掲示板 跳上げタイプ（ポステージPKA-P型／杉田エース㈱ 同等品）

32. 車止め支柱 スチール製（固定式）　径60.5mm　t=2.8mm　H=GL＋650　、+800mm
※ スプリング付き　・ スプリング無し
・ コンクリート製石（固定式）　径200mm　H=GL＋450mm

33. 収納家具 材　質　※ 図示　・
形状・寸法　※ 図示
ホルムアルデヒド放出量　※ 規制対象外　・ 第三種

⑭エキスパンション・ジョイント金物 材質　・ アルミ　・ ステンレス　⊙ 樹脂
クリアランス　・ 50　⊙ 100　・ 150　・
耐火性能　・ 有り（　）　・ 無し
防水型　※ 適用する　・ 適用しない

⑮その他
⊙システムスノコ　TOEI LIGHT T1120　同等品

21 排水工事

①排水管 排水管用材料 (21.2.1)(表21.2.1)(21.3.3)

材種	管の種類	管形状（接合方法）
※ 遠心力鉄筋コンクリート管	※ 外圧管（※ １種　・ ２種）	Ｂ形（ゴム接合）
⊙ 硬質塩化ビニル管	※ ＶＰ　・ ＶＵ	
・ ﾘﾌｧｲﾝﾗｲﾆﾝｸﾞ硬質ﾎﾟﾘ塩化ビﾆﾙ発泡三層管	・ ＲＳ－ＶＵ　・ ＲＳ－ＶＰ	

車道部の排水管の敷設　※ 図示 (21.3.1)(21.3.3)
・ 砂基礎（地業厚さ20cm以上　材料　山砂の類）

2. 排水桝及びふた 鋳鉄製マンホールふた (21.2.2)

種類	適用荷重
・ 水封形　・ 密閉形（テーパー・パッキン式）	・ T- 2用　・ T-6用
・ 簡易気密形（パッキン式）　・ 中蓋付密閉形	・ T-14用　・ T-20用

グレーチングふた (21.2.2)

材質	形式	種類	適用荷重	メンバーピッチ	上面形状
・ 鋼製 ・ ステンレス製	※ 受枠付き ・ ボルト固定 ※ 無し ・ 図示	・ 溝ふた用 ・ 桝ふた用 ・ 嵩上げ用 ・ Ｕ字溝用	・ 歩行用 ・ Ｔ－2用 ・ Ｔ－6用 ・ Ｔ－14用 ・ Ｔ－25用	※ 細目 ※ 普通目 ・ 細目	※ 凹凸形 ※ 平形 ・ 凹凸形

3. 浸透管及び浸透桝 製造所　・ 図示による

④その他の材料
地業の材料　※ 標仕4.6.2による (21.2.3)
コンクリート発注強度　※ 18N/mm² ・ (21.2.3)
鉄筋の種別　※ SD295A ・ (21.2.3)(表5.2.1)
埋戻し土　※ B種 ・ (21.2.3)(表3.2.1)

22 舗装工事

1. 盛土に用いる材料 ・ A種　※ B種　・ C種　・ D種 (22.2.3)(表3.2.1)

2. 遮断層及び凍上抑制層の材料 ・ 遮断層　※ 川砂、海砂又は良質な山砂　・ (22.2.2)(22.2.3)
・ 凍上抑制層　※ 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ　・ ｸﾗｯｼｬﾗﾝ　・ 切り込み砂利　・ 砂
厚さは図示

3. 路床安定処理 ※ 添加材料による安定処理 (22.2.2)(22.2.3)(表22.2.2)
種類　・ 普通ポルトランドセメント　・ フライアッシュセメントB種
・ 生石灰（　）　・ 消石灰（　）
添加量　kg/m³（目標ＣＢＲ　※ 5以上　・　）

4. 路床土の支持力比試験 ※ 行う　（※ 乱した土　・ 乱さない土） (22.2.5)

5. 路床締固め度の試験 ※ 行う (22.2.5)

6. 砂の粒度試験 ※ 行う

⑦路盤材料 (22.3.3)
※再生クラッシャラン（ＲＣ－４０）
・クラッシャラン鉄鋼スラグ（ＣＳ－４０）
・クラッシャラン（Ｃ－４０）又はクラッシャランスラグ（ＣＳ－４０）
透水性アスファルト舗装にもちいる場合は透水性の高いもの

8. 路盤の締固め度の試験 ※行う

⑨アスファルト舗装 車道部の基層　※ 無　・ 有（厚さ ※ 50　・　） (22.4.2)(表22.4.1)
アスファルト　※ 再生アスファルト　・ ストレートアスファルト (22.4.3)
(22.4.4)(表22.4.6)
再生加熱アスファルト混合物
※長野県（平成31年4月1日適用）「溶融スラグの利用基準」に基づく
溶融スラグ（上伊那クリーンセンター製造）を利用した再生建設資材同等品

シールコート　※ 行わない　・ 行う（施工範囲　） (22.4.5)
アスファルト混合物の抽出試験　※ 行わない　・ 行う (22.4.6)

10. コンクリート舗装 早強セメント　※ 使用しない　・ 使用する (22.5.3)
注入目地材料　※ 低弾性タイプ　・ 高弾性タイプ (22.5.3)(表22.5.3)
溶接金網　※ 有り　・ 無し (22.5.3)(22.5.4)
厚さ試験　※ 行わない　・ 行う (22.5.6)

11. カラー舗装 (22.6.2)(22.6.3)(表22.6.1)(表22.6.2)

種類	材料	区分	車道部の基層
※ 加熱系	・ 有色骨材(焼成)　・ 着色骨材(樹脂被覆)　・ 自然石	・ 車道	※ 無　・ 有
・ 常温系	・	・ 歩道	

12. 透水性アスファルト舗装 アスファルト混合物 (22.7.3)(表22.7.1)
※ ポリマー改質アスファルトⅠ型　・ ポリマー改質アスファルトⅡ型
アスファルト混合物の抽出試験　※ 行わない　・ 行う (22.7.6)

13. 排水性アスファルト舗装 アスファルト混合物 (22.8.3)(表22.7.1)
・ ポリマー改質アスファルトⅠ型　※ ポリマー改質アスファルトⅡ型
タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類 (22.8.3)(表22.8.2)

適用時期	種類
下記以外	ＰＫＲ－Ｔ１
冬　期	ＰＫＲ－Ｔ２

アスファルト混合物の抽出試験　※ 行わない　・ 行う (22.8.6)

14. ブロック系舗装 ・ コンクリート平板舗装（コンクリート平板は、JIS A 5371の平板） (22.9.2)(22.9.3)

種類	寸法（mm）	厚さ（mm）	目地材
※ 普通平板（Ｎ）	※ 300角	※ ６０	※ 砂
・ 透水平板（Ｐ）	・		・ モルタル

・ インターロッキングブロック舗装 (22.9.2)(22.9.3)

種類	厚さ（mm）	色彩及び表面加工等
※ 普通ブロック（Ｎ）	車道部　※ ８０　・	※ 標準品
・ 透水性ブロック（Ｐ）	歩道部　※ ６０　・	・
・ 誘導、注意喚起用ブロック		誘導、注意喚起用は黄色系とする
・ 植生ブロック（Ｖ）	※ ８０　・ １００	

インターロッキングブロック（JIS A 5371）

項目		品質・性能
材料	セメント	JIS R 5210 ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ、JIS R 5211 高炉ｾﾒﾝﾄ、JIS R 5212 ｼﾘｶｾﾒﾝﾄ、JIS R 5213 ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄ、白色ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄとする。
	骨材	清浄、強硬、耐久性で、適当な粒度をもち、ごみ、泥、有機物、薄い石片、細長の石片を含んでいない。
	混和材料	ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸの品質に有害な影響を及ぼさない。
	着色材料	無機質材料を用い、耐候性に優れ、かつｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸの品質及び環境上有害な影響を及ぼさない。
外観		使用上有害なきず、ひびわれ、欠け、変形等がない。

寸法許容差（mm）	長さ	幅	厚さ
普通タイプ	±３	±３	±３
透水性タイプ	±３	±３	＋５～－１
植生用タイプ	±３	±３	±３

曲げ強度（Ｎ／mm²）	普通タイプ	５．０以上
	透水性タイプ	３．０以上
	植生用タイプ	４．０以上
透水係数（cm／sec）	透水性タイプ	１×１０⁻²　以上
圧縮強度（Ｎ／mm²）	普通タイプ	３２．０以上
	透水性タイプ	１７．０以上

・ 舗石舗装（石材は、JIS A 5003の2等品） (22.9.2)(22.9.3)

種類	厚さ（mm）	施工方法	基層
※ 小舗石（花こう岩）	※ ８０～１００　・	※ うろこ張り	※ ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装
・	・	・	・ ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装

⑮砂利敷き ・ Ａ種　⊙ Ｂ種 (表22.9.1)

⑯路面標示用塗料 JIS K 5665（路面標示用塗料）による

種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)	揮発性有機溶剤の含有率
・ １種	常温	液状	※ 白	※ 150	※ 1.0	塗料総質量に対して5%以下
・ ２種	加熱		・	・	・	
※ 3種1号	溶融	粉体状				

17. 特殊舗装 ・自然石調デザイン舗装

18. 車止めブロック ・ＰＣコンクリート製（ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装用ｱﾝｶｰ共）

19. 車止め ・鋼管製

23 植栽工事及び屋上緑化工事

①樹木の植栽基盤整備 芝及び地被類 (23.2.2)(23.2.3)(表23.2.1)(表23.2.2)

適用	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲
※ 行う　・ 行わない	※ 20　・	※ Ｂ種　・	※ 植栽範囲　・ 図示

樹木 (23.2.2)(23.2.3)(表23.2.1)(表23.2.2)

樹木の樹高	有効土層の厚さ（cm）	工法	整備範囲
・ 12以上	※ 100　・ 120　・ 150	※ Ａ種	・ 葉張りの範囲
・ 7以上～12未満	※ 80　・ 100	・ Ｂ種	ただし、低木は植栽範囲
・ 3以上～7未満	※ 60　・ 80	・ Ｃ種	・ 図示
・ 3未満	※ 50	・ Ｄ種	

工法Ｄ種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植え込み用土で盛土を行う。

②植込み用土 ※ 現場発生土の良質土　・ 客 土（※ 畑土　・ 黒土） (23.3.2)

3. 土壌改良材 ※ 適用する (23.2.3)(23.2.4)
施工箇所　※ 植栽範囲　・ 図示
パーク堆肥
有機物の含有量（乾物）：70%以上
炭素窒素比（C/N比）：35以下　窒素全量（現物）：0.5%以上
陽ｲｵﾝ交換容量（乾物）：70meq/100g以上　リン酸全量（現物）：0.2%以上
pH：5.5～7.5　アルカリ全量（現物）：0.1%以上
水分：55～65%
幼植物試験の結果：生育阻害その他の異常を認めない

発酵下水汚泥コンポスト
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする。
有機物の含有量（乾物）：35%以上　窒素全量（現物）：0.8%以上
炭素窒素比（C/N比）：20以下　リン酸全量（現物）：1.0%以上
pH：8.5以下　アルカリ全量（現物）：15%以下
水分：50%以下　（ただし、土壌の酸度を矯正する目的で使用する場合はこの限りでない）

4. 支柱材 ※ 杉、ひのき又はから松（皮はぎもの、間伐材）　※加圧式防腐処理 (23.3.2)
・ 真竹（良質な2年生以上）

5. 幹巻き用材料 ※ 幹巻き用テープ　・ わら及びこも (23.3.2)

6. 芝張り 種類　※ こうらい芝　・ 野芝 (23.4.2)
工法　・ 目地張り　・ べた張り

7. 枯補償等 新植樹木の枯補償の期間　※ １年　・ (23.3.4)
移植樹木の枯損処理の期間　※ １年　・ (23.3.6)
芝及び地被類の枯補償の期間　※ １年　・ (23.4.7)(23.3.4)

8. 屋上緑化 植栽基盤及び材料 (23.5.2)(23.5.3)
・ 屋上緑化システム
土壌層の厚さ　・ 図示　・ 管理型
保水・排水層　・ 軽量骨材（層の厚さ：　）　・ 板状成形品
植込み用土　※ 改良土　・ 人工軽量土
樹木の樹種、寸法、株立数、寸法等　※ 図示　・
・ 屋上緑化軽量システム
芝及び地被類の樹種並びに種類等　※ 図示　・
見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等　※ 図示　・

工法 (23.5.4)
支柱　・ 設置する　（種類　・ 図示　・　）
かん水装置　・ 設置する　（工事区分は図示による）

24 その他

①工事現場の環境改善について
工事現場のイメージアップ
⊙ 仮囲い周辺の美化　・
地域住民への情報提供
・ 完成予想図の設置　・ 情報掲示板の設置　・ パンフレットの作成
地域住民とのコミュニケーション
・ 現場見学会の開催　・
住民に対する災害防止関係
・ 現場出入口周辺への誘導員の配備　・

②不具合の確認 工事しゅん工後3ヶ月、12ヶ月に不具合の確認を行い、その結果を書面で施設担当課長あて報告する。
（施設管理者からの聞き取り調査を含め、調査には必ず施設管理者の立会いを要する。）

③設備工事との取合区分

他工事との取合い		建築工事	電気設備工事	機械設備工事
はり、床、壁貫通部	補強	○	・	・
	スリーブ	・	○	○
埋込分電盤、端子盤、ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ	補強	○	・	・
	仮枠	・	○	○
軽量鉄骨下地天井、壁ボード類の切込み	補強有りの場合（補強供）	○	・	・
	補強なしの場合	・	○	○
床デッキプレート	切込み	・	・	・
既製間仕切壁の位置ﾎﾞｯｸｽ、及びその取付け		・	○	・
発電機の基礎		・	・	・
配電盤、制御盤等の基礎	屋内	・	・	・
	屋外	・	・	・
自立型テレビアンテナの基礎（屋上）		・	・	・
避雷針の基礎（屋上）		・	・	・
配線ピット及びふた		・	・	・
自動閉鎖装置を取付ける防火戸の切込み補強及びドアチェック、フロアーヒンジ		○	・	・
設備機器、ダクト、照明用器具、幹線等の吊りボルト用インサート		・	○	○
別途機器などへの接続（直接に接続するもの）		・	○	○
機器付属の制御盤以降の配管配線（接地等）		・	○	○
機器付属の制御盤への電源供給及び操作回路の渡り配管配線		・	○	・
天井吊り型ＦＣＵ及び全熱交換型換気扇と操作スイッチとの渡り配管配線		・	○	○
煙感知器から連動制御盤を経て防煙ﾀﾞﾝﾊﾟに至る配管配線		・	○	・
小便器用節水装置の制御盤以降の配管配線		・	・	○
自動扉及び電動シャッターなどの制御装置に至る配管配線（一次側のみ）		・	・	・
防油提		・	・	・
天井点検口・床点検口		○	・	・
流し台セット		○	・	・
洗面カウンター		・	・	○
鏡		・	・	○
ＷＣ内手摺		・	・	○
消火器・消火器ボックス		○	・	・
給気口（ガラリ、レジスター）		○	・	○
既存回収にかかわる既存舗装表層の撤去・処分		○	・	・

（別表）しゅん工時提出物（○印を付けたものを提出する。作成方法は手引きによる。）

① 提出書類等目録	⑦ 官公署届出書類等
② 完成図（原図・製本※・CADデータ）	⑧ 工具・予備品等
③ 設計図（原図・CADデータ）	⑨ 引渡書
④ 工事施工関係書類	10 試運転用油等（　）の納品書写
⑤ 工事完成資料	⑪ その他監督職員の指示によるもの又は特記によるもの
⑥ 保守管理資料	

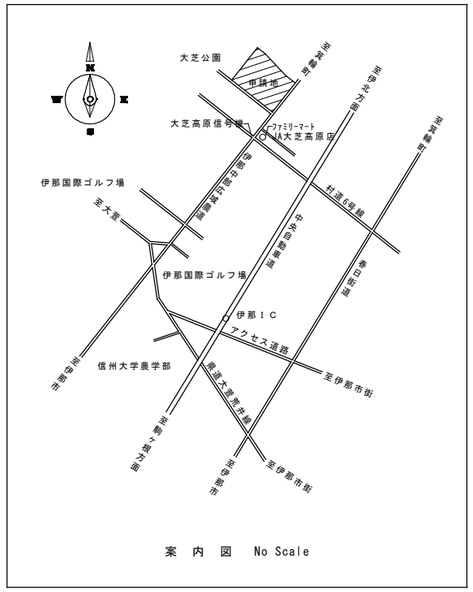
注）完成図面の種類は、設計図面に準じて作成すること。
※　完成図の製本は　A-3版　2部

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録　長野県知事登録（伊那）M第7Y051号
図面を作成した建築士　一級建築士 大臣登録第17967号　井上　勉

凡例　備考

工事名称　令和８年度 ふれあい交流センター　大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）

図面名称	SCALE	年月日	No.
特記仕様書-4 ＜改修＞	[A1] - [A3] -	R7.9	D-04



案　内　図　　No Scale

■工事概要	
工事名称	令和８年度 ふれあい交流センター大芝の湯 増築工事
工事種別	増築
■敷地概要	
所在地	長野県上伊那郡南箕輪村2358番地5
都市計画区域	都市計画区域内
用途地域	第一種住居地域
防火地域	指定なし
容 積 率	200%
建 蔽 率	60%
斜線制限	1.25
前面道路	幅員：12.40m　接道長さ：221.40m
敷地面積	58,072㎡
■関連法規	
建築基準法	用途記号：温泉活用研修・運動施設(08990)
消防法	用途区分：(1)ロ 集会場(特定防火対象物)　収容人員：500人
バリアフリー法	特別特定施設
建築物省エネ法	非住宅、4地域
景観条例	山地・森林地域、沿道
埋蔵文化財包蔵地	指定地外

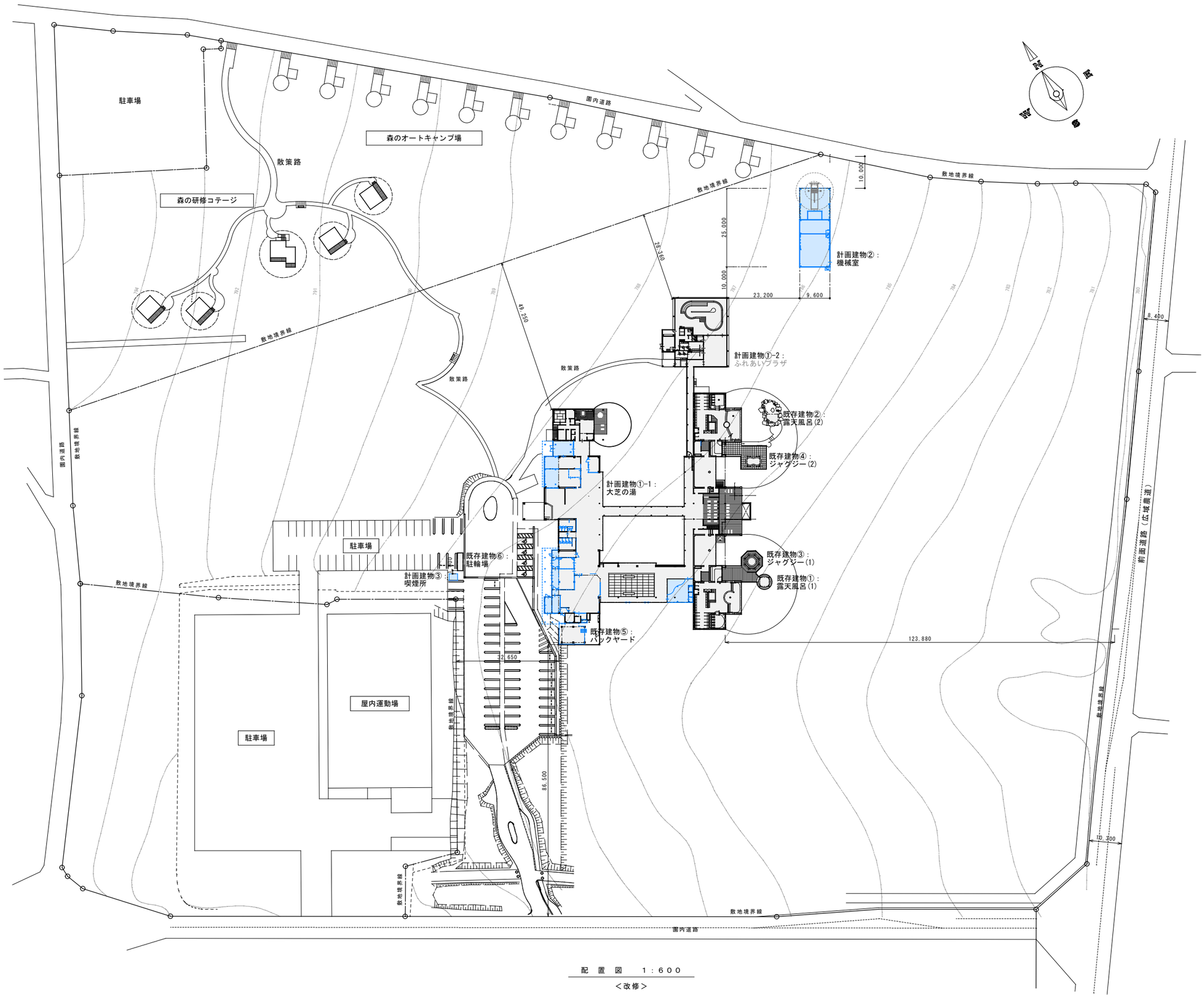
■面積表

建　物　別	種　別	耐火種別	構　造	階　数	建築面積[㎡]	延床面積[㎡]
大芝の湯 ふれあいプラザ	既存	準耐火	S・RC造	平屋	2,815.78	2,802.50
	増築	準耐火	S造	平屋	262.30	200.03
				小　計	3,078.08	3,002.53
露天風呂①	既存	その他	W造	平屋	8.00	8.00
露天風呂②	既存	その他	W造	平屋	12.96	12.96
ジャグジー①	既存	その他	W造	平屋	14.32	14.32
ジャグジー②	既存	その他	W造	平屋	12.80	12.80
バックヤード	既存	その他	S造	平屋	36.50	36.50
駐輪場	既存	その他	S造	平屋	9.52	9.52
機械室棟	増築	その他	S造	平屋	240.00	240.00
喫煙所	増築	その他	S造	平屋	5.94	5.94
				合　計	3,418.12	3,342.57

凡　例

…既存部分

…増築部分



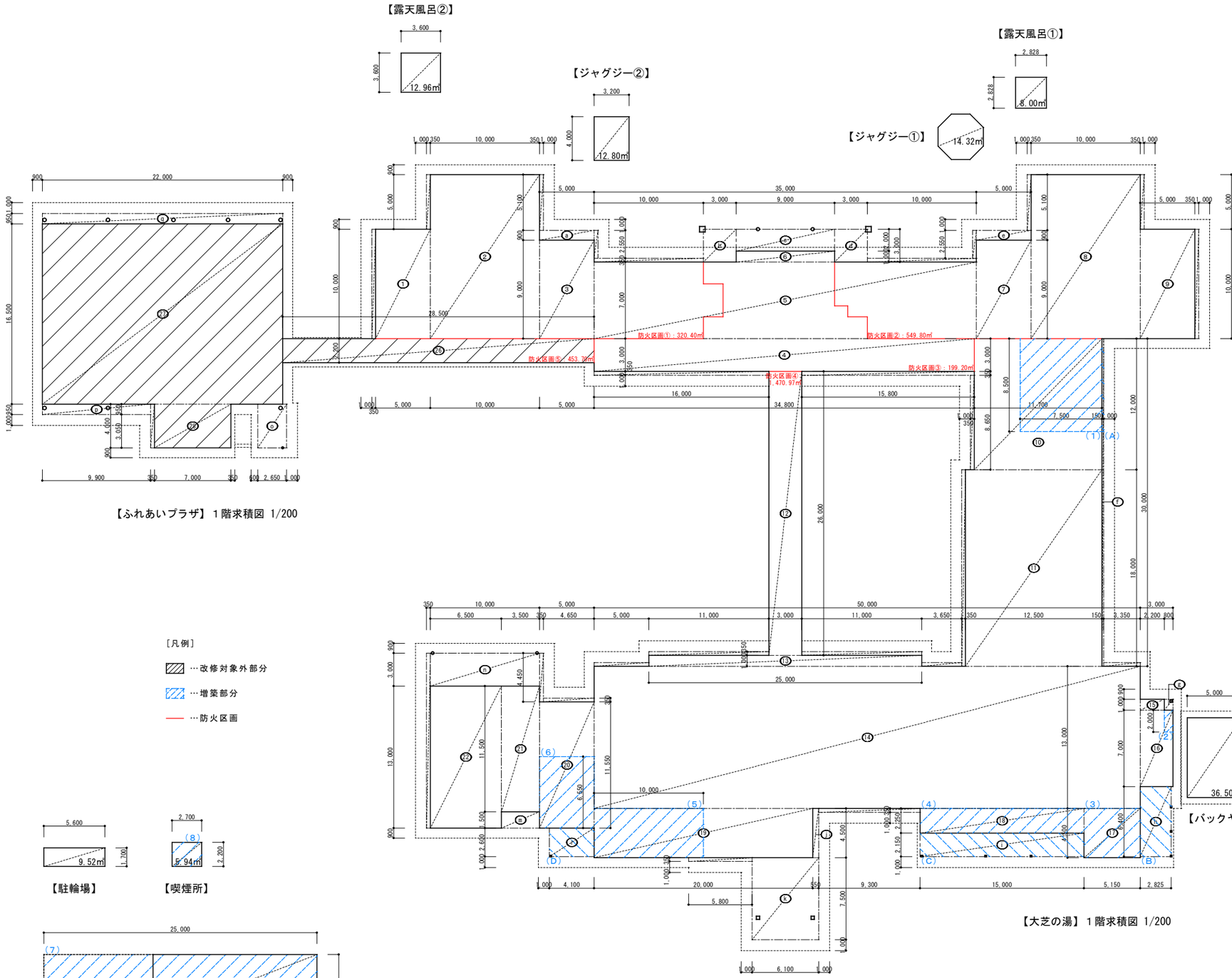
配　置　図　　１：６００

＜改修＞

株式会社 城取建築設計事務所 〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271	一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)M第7Y051号	図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上　勉	凡例　備考	工事名称 令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）	図面名称 案内図・配置図 ＜改修＞	SCALE [A1]　１：６００ [A3]　１：１２００	年月日 R7.9	No. D-05

CAD FILE No.D-05 案内図・配置図(訂)

Print out : 26-02-02



［凡例］

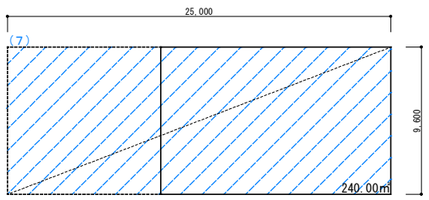
…改修対象外部分

…増築部分

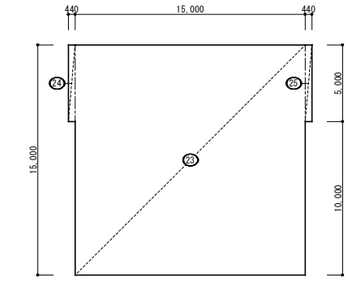
…防火区画

【駐輪場】

【喫煙所】



【機械室棟】



【大芝の湯】地階求積図 1/200

■延べ床面積算定表

No.	計算式(m)	面積(㎡)
①	5.000 × 10.000	50.000
②	10.000 × 15.000	150.000
③	5.000 × 9.000	45.000
④	34.800 × 3.000	104.400
⑤	35.000 × 7.000	245.000
⑥	9.000 × 1.000	9.000
⑦	5.000 × 9.000	45.000
⑧	10.000 × 15.000	150.000
⑨	5.000 × 10.000	50.000
⑩	11.700 × 12.000	140.400
⑪	12.500 × 18.000	225.000
⑫	3.000 × 26.000	78.000
⑬	25.000 × 1.000	25.000
⑭	50.000 × 13.000	650.000
⑮	2.200 × 1.000	2.200
⑯	3.000 × 7.000	21.000
⑰	5.150 × 4.500	23.175
⑱	15.000 × 2.250	33.750
⑲	20.000 × 4.500	90.000
⑳	5.000 × 11.550	57.750
㉑	3.500 × 11.500	40.250
㉒	6.500 × 13.000	84.500
合計		2319.425
	【大芝の湯】１階床面積	2319.43㎡ …(ⅰ)
㉓	15.000 × 15.000	225.000
㉔	0.440 × 5.000	2.200
㉕	0.440 × 5.000	2.200
合計		229.400
	【大芝の湯】地階床面積	229.40㎡ …(ⅱ)
㉖	28.500 × 2.200	62.700
㉗	22.000 × 16.500	363.000
㉘	7.000 × 4.000	28.000
合計		453.700
	【ふれあいプラザ】１階床面積	453.70㎡ …(ⅲ)
(ⅰ)＋(ⅱ)＋(ⅲ)		3002.530
	延べ床面積	3002.53㎡

§増築部分床面積算定表

(1)	7.500 × 8.500	63.750
(2)	0.800 × 2.000	1.600
(3)	5.150 × 4.500	23.175
(4)	15.000 × 2.250	33.750
(5)	10.000 × 4.500	45.000
(6)	5.000 × 6.550	32.750
計		200.025 …【大芝の湯】
(7)		240.000 …【機械室棟】
(8)		5.940 …【喫煙所棟】
合計	200.025 ＋ 240.000 ＋ 5.940 ＝	445.965
		445.97㎡ …増築部分床面積

■建築面積算定表

No.	計算式(m)	面積(㎡)
ⓐ	5.000 × 0.900	4.500
ⓑ	3.000 × 3.000	9.000
ⓒ	9.000 × 2.000	18.000
ⓓ	3.000 × 3.000	9.000
ⓔ	5.000 × 0.900	4.500
ⓕ	0.150 × 30.000	4.500
ⓖ	0.800 × 1.000	0.800
ⓗ	2.825 × 6.400	18.080
ⓘ	15.000 × 2.150	32.250
ⓙ	0.550 × 4.500	2.475
ⓚ	6.100 × 7.500	45.750
ⓛ	4.100 × 2.600	10.660
ⓜ	3.500 × 1.500	5.250
ⓝ	10.000 × 3.000	30.000
ⓞ	2.650 × 4.000	10.600
ⓟ	9.900 × 0.950	9.405
ⓠ	22.000 × 0.950	20.900
計		235.670
	0.350×(10.000+5.000+5.100+2.550+10.000+10.000	
	+2.550+5.100+5.000+10.000+3.350+9.300+5.800	
	+16.000+4.450+4.650+5.000+11.000+11.000+3.650	
	+18.000+8.650+15.800+16.000)＝	69.282
合計	235.670 ＋ 69.282 ＝	304.952 …(Ⅰ)
(Ⅰ)＋(ⅰ)＋(ⅲ)＝		3078.082
	建築面積	3078.08㎡

§増築部分建築面積算定表

(A)	0.150 × 8.500	1.275
(B)	2.825 × 6.400	18.080
(C)	15.000 × 2.150	32.250
(D)	4.100 × 2.600	10.660
合計		62.265
		62.27㎡

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)M第7Y051号
図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上 勉

凡例 備考

工事名称：令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）

図面名称：求積図

SCALE：[A1] 1：200 [A3] 1：400

年月日：R7．9

No.：D-06

CAD FILE No.D-06 求積図

Print out：25-12-26

外　部　仕　上　表

基　礎	[既存]塗装合板型枠打放しコンクリート＋浸水剤吹付け [増築部分]合板型枠打放しコンクリート＋断熱材：ＰＦ板(防蟻処理品)ｔ＝25貼り＋樹脂モルタル塗り
外　壁	[既存]Ｓ造部分：ＧＢ－Ｆ12.5＋防水ｼｰﾄ下貼＋中空セメント成形板t=26＋アクリル系吹付タイル　内側現場発泡ウレタン吹付t=30
	[既存]ＲＣ造部分：外断熱パネルt=50打込＋アクリル系吹付タイル
	[増築部分]ＧＢ－Ｓ12.5＋防水ｼｰﾄ下貼＋中空セメント成形板t=18＋アクリル系吹付タイル　内側現場発泡ウレタン吹付t=30 [改修部分]　断熱材付フライアッシュボード（40+通気5+ボード10）張替、アクリル系吹付タイル　一部塗り替えのみ　　塗り替えのみ部分は、高圧洗浄+下地処理共
屋　根	[既存]高圧木毛板t=20＋ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ940＋フッ素鋼板成型瓦t=0.4（一部平葺）　渡り廊下：防水シート＋ＩデッキＰＬ　内側現場発泡ウレタン吹付t=30
	[増築部分]高圧木毛板t=20＋改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ＋カラーＧＬ鋼板t=0.4 立ハゼ葺き　内側現場発泡ウレタン吹付t=30　[既存・増築部分共]雪止め金物 [改修部分]　既存屋根（鋼板）撤去ｼｰﾄ防水増し貼り
軒　天 ポーチ・外通路天井	[既存]ＬＧＳ＋ＦＫ６（Ｖ目地）ＡＥＰ　ポーチ：ＬＧＳ＋ベニヤt=5.5下張り＋羽目板t=１２ ＭＰ　ﾃﾞｯｷﾗｽ：ＬＧＳ＋ラワン合板t=5.5下張＋軒天ﾋﾞﾘﾝｸﾞt=4
	[増築部分]ＬＧＳ＋ＦＫ６　ＥＰ
軒樋・竪樋	[既存]軒樋：化粧鋼製樋t=1.4(130×110)　竪樋：化粧鋼製樋t=1.4　75Φ [増築部分]軒樋：化粧鋼製樋t=1.4(150.120)×165　竪樋：カラーＶＰ　75Φ

■準耐火構造(ロ-2)の仕様

部位	耐火性能等	材料名	認定番号等
柱・梁	不燃材料	鉄骨・鉄筋コンクリート	平12建告示1400
屋根	不燃材料	フッソ素鋼板成型瓦t=0.4（一部平葺）　渡り廊下：デッキＰＬ　増築部分：カラーＧＬ鋼板t=0.4立ﾊｾﾞ葺き	平12建告示1400
外壁 (非耐力壁)	防火構造	<延焼部分>ＧＢ－Ｓ12.5＋透湿防水シート＋セメント押出成形板t=18　内側ＧＢ－Ｒ　t12.5　張り	PC030BE-9202
	準不燃材料	<延焼部分以外>ＧＢ－Ｓ12.5＋透湿防水シート＋セメント押出成形板t=18　鉄筋コンクリート	NM-5180(2) 平12建告示1400
開口部	防火設備	<延焼部分>20分両面遮炎性能　※建具表参照	-

■防火区画の仕様

区面壁	防火設備	＜既存部分＞ ＜改修部分＞　LGS（65）GB-F21+21　片面張り
開口部建具	特定防火設備	＜既存部分＞ ＜改修部分＞　常時開放式　鋼製防火戸（煙感知器連動）

内　部　仕　上　表　（１）

共通事項
・クロルピリホスの含有建材を使用しないこと。
・内装仕上げ材、製作家具（木質建材・断熱材・接着剤・塗料・仕上塗材ほか）は、JIS･JAS規格Ｆ☆☆☆☆以上とする。
・天井裏等の措置は、JIS･JAS規格Ｆ☆☆☆☆以上とする。
・外壁胴縁室内側、特記なき柱型は、軽量鉄骨壁下地19型とする。

火気使用室：仕上げ 準不燃材料 ・・・㊎
告示第1436号四へ(2)の摘要：防煙壁(H=500)による区画・・・②
告示第1436号四へ(5)の摘要：下地・仕上共に不燃材料・・・⑤

	床暖	室　名	区分	床	巾　木	腰　壁	壁	天　井	廻り縁	天井高	備　考	室　名	
1階	○	玄　関	既存	御影石　本磨	御影石　本磨	同右	ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋ＴＭ	ＬＧＳ＋ベニヤt=5.5＋羽目板t=１２　ＷＰ	木	3.0～3.9			
			改修	既存のまま	既存のまま	同右	既存部分：ＴＭ塗替え	羽目板t=12<準不燃材>張替え(下張り合板t=5.5共)	木	同上		玄　関	
	○	下　足　室	既存	Ｃ金ゴテ＋ＴＣt=6.5	米松縁付　H=90	同右	ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋ＴＭ	ＬＧＳ＋ＧＢ-R9.5＋ＤR9	塩ビ	3.0			
			改修	ＴＣ(ａ)t=6.5張替え	既存ＣＬ塗り替え	同右	既存部分：ＴＭ塗替え　新設壁：ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5+9.5＋ＴＭ	ＤR9張替え(下張りＧＢ-R9.5共)	塩ビ (目透かし型)	同上	鍵付下足入れ(既製品)	下足室	
	○	受付・玄関ﾎｰﾙ	既存	Ｃ金ゴテ＋ＴＣt=6.5	米松縁付　H=90	同右	ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋ＴＭ ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋米松合板t=６	ＬＧＳ＋ＧＢ-R9.5＋ＤR9 一部：ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5+9.5＋ＴＭ	塩ビ	3.0　2.3			
			改修	ＴＣ(a)t=6.5張替え　一部、モルタル金ゴテ補修の上張替え	既存ＣＬ塗り替え	同右	米松合板部分：既存仕上げの上、ＧＢ－R9.5＋ＴＭ 既存部分：ＴＭ塗替え　一部、既存LGSの上GB-R12.5+9.5ＴＭ	ＤR9張替え(下張りＧＢ-R9.5共) 一部：ＴＭ塗替え	塩ビ (目透かし型)	3.0	受付カウンター	受付・玄関ﾎｰﾙ	
	○	事　務　室	既存	Ｃ金ゴテ＋ＴＣt=6.5	塩ビ巾木　H=90	同右	ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋ＶＣ	ＬＧＳ＋ＧＢ-D9.5,ＧＢ-R9.5　２重貼　ＡＥＰ	塩ビ	2.7　2.4	ブラインドボックス → 撤去		
			改修	既存：ＴＣ(a)t=6.8張替え　一部、土間ｺﾝ撤去復旧モルタル金ゴテの上張替え 増築部：乾式二重床＋合板ｔ12の上ＴＣt=6.5張	ソフト巾木　H=100	同右	既存部分：ＶＣ張替え　増築部分：ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋ＶＣ貼り	既存：ＧＢ-D9.5 増築部分：ＬＧＳ＋ＧＢ-D9.5	塩ビ	2.25～2.7	流し台　ＥＰＪ	事務室	
		プリン工房	既存	Ｃ金ゴテ＋ビニル床シート	床材巻上げ　H=300	同右	ＬＧＳ＋化粧ＦＫ6貼り	ＬＧＳ＋ＦＫ６　ＥＰ	塩ビ	2.7　2.3			
			改修	既存：ビニル床シート(Ａ)張替え　一部、土間ｺﾝ撤去復旧モルタル金ゴテの上張替え 増築部：乾式二重床＋合板ｔ12の上ビニル床シート(Ａ)	床材巻上げ　H=300	同右	既存部分：化粧ＦＫ6(突付)張替え（ＧＢ-Ｓ　t=12.5 下張共） 増築部分、新設間仕切り：ＬＧＳ＋ＧＢ-S12.5＋化粧ＦＫ6(突付)	既存部分：ＦＫ6(突付)　ＥＰ-Ｇ 増築部共：ＬＧＳ＋ＦＫ6(突付)　ＥＰ-Ｇ	塩ビ (コの字型)	2.25～2.7	ＥＰＪ　ライニング	プリン工房	㊎
		倉　庫（１）	既存	Ｃ金ゴテ＋ＴＣt=6.5	塩ビ巾木　H=90	同右	ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋ＴＭ	吹き抜け（ロビー天井）	塩ビ	4.8			
			改修	ＴＣ(a)t=6.5張替え	ソフト巾木　H=100	同右	新設壁：ＬＧＳ（100）＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋ＶＣ	吹き抜け（ロビー天井） つなぎ材：木（100×100）表し	塩ビ (目透かし型)	同上		倉庫(1)	
	○	ロビー・売店 授乳室・物入 アルコーブ（トイレ前）	既存	Ｃ金ゴテ＋ＴＣt=6.5	米松縁付　H=90	同右	ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋ＴＭ　ＶＣ(授乳室.物入) ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋米松合板t=６	ＬＧＳ＋ＧＢ-R9.5＋ＤR9　木化粧縁 ＦＫ６　ＥＰ(アルコーブ.授乳室.物入)	塩ビ	4.8 (2.3)	コインロッカー → 撤去		
			改修	ＴＣ(a)t=6.5張替え　一部床暖房用複合フローリング t=15	木　ＣＬ　H=100	同右	既存部分：ＴＭ塗替え　米松合板部分：既存仕上げの上、ＧＢ-R9.5＋ＴＭ 新設間仕切り：ＬＧＳ（100）ＧＢ－R12.5+9.5 ＴＭ	ＤR9張替え(下張りＧＢ-R9.5共)	塩ビ (目透かし型)	同上		ロビー・売店	
	○	男子トイレ	既存	Ｍ下地＋200角磁器タイル　(小便器)前御影石水磨　一部ビニル床シート	SUSt=1.2　H=50	小便器前： LGS＋GB-R12.5＋化粧ＦＫt=６	ＧＢ-Ｓ12.5＋セラミックタイル　t=5.5貼	ＬＧＳ＋ＧＢ-R9.5＋ＤR9	塩ビ	2.5　2.3	棚板 → 撤去		
			改修	既存御影石、一部既存ビニル床シート撤去 既存ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙの上、ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ材t=10＋ビニル床シート(Ｂ)張り　汚垂れ石	床材巻上げ　H=100	小便器前： LGS＋GB-S12.5＋ﾒﾗﾐﾝ化粧板t=3.0	ＧＢ-Ｓ12.5＋ﾒﾗﾐﾝ化粧板t=3.0　[ｾﾗｰﾙ消臭ﾀｲﾌﾟ/ﾌｧｲﾙ工業㈱ 同等品]	ＬＧＳ＋ＦＫ6(突付)　ＥＰ	塩ビ (目透かし型)	2.5	防煙垂れ壁（ガラススクリーン）	男子トイレ	②
	○	女子トイレ	既存	Ｍ下地＋200角磁器タイル　一部ビニル床シート	SUSt=1.2　H=50	同右	ＧＢ-Ｓ12.5＋セラミックタイル　t=5.5貼	ＬＧＳ＋ＧＢ-R9.5＋ＤR9	塩ビ	2.5　2.3	棚板 → 撤去		
			改修	一部既存ビニル床シート撤去 既存ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙの上、ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ材t=10＋ビニル床シート(Ｂ)張り	床材巻上げ　H=100	同右	ＧＢ-Ｓ12.5＋ﾒﾗﾐﾝ化粧板t=3.0　[ｾﾗｰﾙ消臭ﾀｲﾌﾟ/ﾌｧｲﾙ工業㈱ 同等品]	ＬＧＳ＋ＦＫ6(突付)　ＥＰ	塩ビ (目透かし型)	2.5	防煙垂れ壁（ガラススクリーン）	女子トイレ	②
	○	<旧ﾊﾝﾃﾞｨｰｷｬｯﾌﾟﾄｲﾚ> みんなのトイレ	既存	ビニル床シート	SUSt=1.2　H=50	同右	ＧＢ-Ｓ12.5＋セラミックタイル　t=5.5貼	ＬＧＳ＋ＧＢ-R9.5＋ＤR9	塩ビ	2.5	手摺 → 撤去 ライニング → 撤去		
			改修	ビニル床シート(Ｂ)張替え	床材巻上げ　H=300	同右	ＧＢ-Ｓ12.5＋ﾒﾗﾐﾝ化粧板t=3.0　[ｾﾗｰﾙ消臭ﾀｲﾌﾟ/ﾌｧｲﾙ工業㈱ 同等品]	ＤR9張替え(下張りＧＢ-R9.5共)	塩ビ (目透かし型)	2.5		多機能トイレ	
		<旧研修室・食堂> 研修室(1)(2)	既存	研修室：Ｃ金ゴテ＋床暖用畳t=30 木下地複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt=15 食堂：Ｃ金ゴテ＋ＴＣt=6.5	米松縁付　H=90	同右	ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋ＭＣ ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋羽目板t=15張り	ＬＧＳ＋ＧＢ-R9.5＋ＤR9 ＧＢ-D9.5(竿縁共),一部ＧＢ-R9.5 ＶＣ	木	3.0　2.4	ブラインドボックス(食堂) → 撤去	<旧研修室・食堂>	
			改修	既存仕上げ撤去の上、 ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ(一部Ｃ金ゴテ)＋ＴＣ(b)	木巾木　H=100	同右	ＬＧＳ（100、一部50）＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋ＶＣ貼り ＬＧＳ内：ＧＷ充填（100、50）	ＬＧＳ＋ＧＢ-R9.5＋ＤR9	塩ビ (目透かし型)	2.3～2.7	移動間仕切り（天井上：補強材共）　ＥＰＪ	研修室(1)(2)	
		<旧倉庫(2)の一部> 倉　庫（２）	既存	Ｃ金ゴテ＋ビニル床タイル	塩ビ巾木　H=90	同右	シナ合板t=5.5	ＬＧＳ＋ＧＢ-D9.5	塩ビ	2.4	棚板 → 撤去	<倉庫(2)一部>	
			改修	既存仕上げ撤去の上、ビニル床シート(Ｄ)張り	ソフト巾木　H=100	同右	ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＶＣ貼り	ＬＧＳ＋ＧＢ-D9.5	塩ビ (コの字型)	2.3	ＥＰＪ	倉庫(2)	②
		<一部旧研修室.食品庫> 厨　房	既存	食品庫：Ｃ金ゴテ＋長尺塩ビシート（ｂ）（厨房用）一部同時金ゴテの上 研修室：Ｃ金ゴテ＋床暖用畳t=30 木下地複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt=15	床材巻上げ　H=100	同右	ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋化粧ＦＫt=６（目地シール）	ＬＧＳ＋ＦＫ６ Ｖ目地　ＶＰ	塩ビ	3.0		<一部旧研修室>	
			改修	既存仕上げ撤去の上、ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ(一部Ｃ金ゴテ)＋ビニル床シート(Ａ)張替え 一部、土間ｺﾝ撤去復旧モルタル金ゴテの上張替え	床材巻上げ　H=200	同右	既存部分：ＧＢ-Ｓ12.5＋化粧ＦＫ6張替え 新設壁：ＬＧＳ＋ＧＢ-Ｓ12.5＋化粧ＦＫ6(突付)	ＬＧＳ＋ＦＫ6(突付)　ＥＰ-Ｇ	塩ビ (コの字型)	同上	ｻｰﾋﾞｽｶｳﾝﾀｰ、下膳棚　ライニング　ＥＰＪ	厨　房	㊎
		(一部旧研修室) <増築部分> 食　品　庫	既存	研修室：Ｃ金ゴテ＋床暖用畳t=30 木下地複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt=15	塩ビ巾木　H=90	同右	ＬＧＳ＋ＦＫt=８　Ｖ目地　ＶＰ	ＬＧＳ＋ＦＫ６ Ｖ目地　ＶＰ	塩ビ	2.7		(一部旧研修室)	
			改修	既存仕上げ撤去の上、 ビニル床シート(Ａ)張り　一部モルタル金ゴテ下地	ソフト巾木　H=100	同右	ＬＧＳ＋ＧＢ-S12.5＋化粧ＦＫ6(突付)	ＬＧＳ＋ＦＫ６(突付)　ＥＰ-Ｇ	塩ビ (コの字型)	2.3	ＥＰＪ	<増築部分> 食品庫	②
		<旧研修室> 前　室	既存	Ｃ金ゴテ＋床暖用畳t=30 木下地複合フローリングt=15	米松縁付　H=90	同右	ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋ＶＣ	ＬＧＳ＋ＧＢ-D9.5	塩ビ	2.4		<旧研修室>	
			改修	既存仕上げ撤去の上、ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ＋ビニル床シート(Ａ)張り 一部、土間ｺﾝ撤去復旧モルタル金ゴテの上張替え	床材巻上げ　H=200	同右	ＬＧＳ＋ＧＢ-S12.5＋化粧ＦＫ6(突付)	ＬＧＳ＋ＦＫ６(突付)　ＥＰ-Ｇ	塩ビ (コの字型)	2.3		前　室	
		厨房休憩室	既存	ユニットフロアー＋ＴＣt=6.5	塩ビ巾木　H=90	同右	ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋ＶＣ	ＬＧＳ＋ＧＢ-D9.5	塩ビ	2.5			
			改修	既存のまま	既存のまま	同右	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま		厨房休憩室	

凡　例

ＧＢ-R	石膏ボード t=12.5	NM-8619	ＧＢ-D	化粧石膏ボード t=9.5	NM-1864	ＤＲ	化粧岩綿吸音板(天井)	NM-8599	Ｃ	コンクリート	ＥＰ	合成樹脂エマルション塗料	ＴＭ	内装用吹付材			ＴＣ(a)･･･t=6.8 タピスフローラインＤ　同等品　防炎品	床シートＡ･･･特殊防滑床シートt=2.0	ﾛﾝﾘﾄﾞAS ｺﾝﾌｫｰﾄ(厚床用)／ﾛﾝｼｰﾙ工業㈱ 同等品
〃	石膏ボード t=9.5	QM-9828	〃	化粧石膏ボード t=9.5(和室)	NM-0127	ＦＫ	珪酸カルシウム板	NM-8578	Ｍ	モルタル　樹脂Ｍ：樹脂モルタル	ＥＰ-Ｇ	つや有合成樹脂エマルション塗料	ＭＣ	珪藻土塗仕上げ・ジョリパット仕上げ			ＴＣ(b)･･･t=8.0 アーバンリフレクション　同等品　防炎品	床シートＢ･･･複層ビニル床シート(FS)t=2.0	消臭NSｼｰﾄ/ﾘﾝﾃﾚ㈱／東リ㈱ 同等品
ＧＢ-Ｆ	強化石膏ボード	NM-8615	〃	化粧石膏ボード t=12.5(押入)	NM-0128	化粧ＦＫ	化粧珪酸カルシウム板	NM-8579	ＣＩ	シンダーコンクリート(ワイヤーメッシュ 6×100×100)	ＳＯＰ	合成樹脂調合ペイント	ＶＣ	ビニルクロス	NM-3991			床シートＣ･･･発泡複層ビニル床シート(HS)t=2.8	SFﾌﾛｱ/東リ㈱ 同等品
ＧＢ-Ｓ	シージング石膏ボード t=12.5	NM-9639							Ｓ	鉄骨	ＣＬ	クリヤーラッカー	ＧＷ	グラスウール	不燃品			床シートＤ･･･複層ビニル床シート(FS)t=2.0	ﾌﾛｱﾌｨｭｰﾚ/東リ㈱ 同等品
〃	シージング石膏ボード t=9.5	QM-9826							Ｗ	木下地組	ＰＵ	ポリウレタン塗装	ＲＷ	吹付ロックウール	NM-8601				
ＧＢ-Ｈ	普通硬質石膏ボード	NM-9645							ＬＧＳ	軽量鉄骨（天井・壁・下地）	ＯＳ	オイルステン							
									＊(金)	金ゴテ押さえ	ＷＰ	木材保護塗装	ＴＣ	タイルカーペット					
									＊(木)	木ゴテ押さえ	ＶＰ	塩化ビニルペイント							

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録　長野県知事登録（伊那）M第7Y051号
図面を作成した建築士　一級建築士 大臣登録第177957号　井　上　勉

凡例　備考

工事名称：令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）

図面名称：仕上表-1

SCALE：[A1]・No Scale　[A3]・No Scale

年月日：R7.9

No.：D-07

CAD FILE No.D-07 仕上表-1

Print out：25-12-26

内　部　仕　上　表　（２）

共通事項
・クロルピリホスの含有建材を使用しないこと。
・内装仕上げ材.製作家具（木質建材・断熱材・接着剤・塗料・仕上塗材ほか）は、JIS･JAS規格Ｆ☆☆☆☆以上とする。
・天井裏等の措置は、JIS･JAS規格Ｆ☆☆☆☆以上とする。
・外壁胴縁室内側、特記なき柱型は、軽量鉄骨壁下地19型とする。

火気使用室：仕上げ 準不燃材料 ・・・㊀
告示第1436号四へ(2)の摘要：防煙壁(H=500)による区画・・・②
告示第1436号四へ(5)の摘要：下地・仕上共に不燃材料・・・⑤

	床暖	室名	区分	床	巾木	腰壁	壁	天井	廻り縁	天井高	備考	室名	
1階		厨房更衣室	既存	Ｃ金ゴテ＋ＴＣt=6.5	塩ビ巾木　H=90	同右	ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋ＶＣ	ＬＧＳ＋ＧＢ-D9.5	塩ビ	2.5			
			改修	既存のまま	既存のまま	同右	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま		厨房更衣室	②
		〈旧厨房サービスロ〉厨房ﾄｲﾚ･洗濯ｽﾍﾟｰｽ	既存	Ｍ下地＋50角磁器モザイクタイル Ｃ金ゴテ＋長尺塩ビシート（ｂ）	塩ビ巾木　H=90	同右	ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋ＶＣ	ＬＧＳ＋ＦＫ6　Ｖ目地　ＶＰ	塩ビ	2.4		〈旧厨房玄関〉	
			改修	既存仕上げ撤去の上、Ｃ金ゴテ＋ビニル床シート(Ｂ)張り 一部、土間ｺﾝ撤去復旧モルタル金ゴテの上ビニル床シート(Ｂ)張り	床材巻上げ　H=100	同右	既存部分：ＶＣ張替え 増築部分：ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋ＶＣ	既存部分：ＥＰ-Ｇ塗替え 増築部分：ＬＧＳ＋ＦＫ6 ＥＰ-Ｇ　洗濯ｽﾍﾟｰｽ：ＬＧＳ＋ＧＢ-D9.5	塩ビ (ｺの字型)	同上	洗濯機置場 ライニング	厨房トイレ 洗濯ｽﾍﾟｰｽ	
	○	体験・交流室	既存	Ｃ金ゴテ＋床暖用畳t=20 Ｃ金ゴテ＋ＴＣt=6.5	米松練付　H=90	同右	ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋ＭＣ ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋米松合板t=６	ＬＧＳ＋ＧＢ-R9.5＋ＤＲ９ t=１５リブ付き ＬＧＳ＋ＧＢ-R9.5＋ＧＢ-R9.5　ＡＥＰ	塩ビ	4.2 2.4 3.0			
			改修	既存仕上げ撤去の上、ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ＋ＴＣ(b)	木巾木　ＣＬ　H=100	同右	ＭＣ塗替え　米松合板部分：既存仕上げの上ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t3.0貼り 新設間仕切り：ＬＧＳ（100）ＧＢ－R12.5+9.5 ＭＣ	既存のまま	既存のまま	既存のまま		体験・交流室	
		〈旧デッキテラス〉キッズスペース	既存	Ｃ金ゴテ＋ウッドデッキ	-	-	-	-	-	-		〈旧ﾃﾞｯｷﾃﾗｽ〉	
			改修	乾式二重床＋下地合板t=12+ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(Ｃ)張り	-	ＧＢ-R12.5＋ｱｶﾏﾂ羽目板 (地域産材)t=12　H=900	ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋ＶＣ 柱型：合板t=12下地+羽目板t=12（準不燃材）	ＬＧＳ＋ＧＢ-R9.5＋ＤＲ９　ＥＰ	塩ビ (目透かし型)	2.82	調乳カウンター　ライニング メディカルカーテン　ＥＰＪ	ｷｯｽﾞｽﾍﾟｰｽ	
	○	浴室(1)	既存	モルタル下地＋タイルＡ円形貼　（浴槽）タイルＢ貼	-	ﾓﾙﾀﾙ下地＋ｸﾗｯｼｭﾀｲﾙ模様貼	塗装合板打放シＣ＋アクリルシリコン樹脂塗装（上部） モルタル下地＋二丁掛磁器質タイル（竪貼）	SUS製天井下地＋耐水合板t=5.5＋防湿ｼｰﾄ＋ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙH=9.5 アルミルーバー	専用	2.6～2.8 6.2			
			改修	洗い場：タイルＡ 貼替え　浴槽内：タイルクリーニング	-	タイルクリーニング 一部既存タイル撤去の上、クラッシュタイル貼り	CON打放シ部分：ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装塗替え タイルクリーニング、一部貼替え	SUS製天井下地耐水合板t=5.5＋防湿ｼｰﾄ＋断熱材入ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ(準不燃材)張 アルミルーバー取替え	専用	同上		浴 室(1)	
		源泉低温浴(1)	既存	（浴槽）タイルＤ貼	-	同右	モルタル下地＋タイルＤグラデーション貼	SUS製天井下地＋耐水合板t=5.5＋防湿ｼｰﾄ＋ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙH=9.5 一部：塗装合板型枠打放シＣ＋ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装	専用	2.7			
			改修	既存のまま	-	同右	CON打放シ部分：ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装塗替え タイルクリーニング、部分補修・張替	SUS製天井下地耐水合板t=5.5＋防湿ｼｰﾄ＋断熱材入ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ(準不燃材)張 CON打放シ部分：ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装塗替え	専用	2.5		源泉低温浴(1)	
		サウナ(1)	既存	転し根太組下地＋檜板張t=15（可動式）一部石敷	-	同右	グラスウール保温板t=30＋木胴縁下地＋ＦＫt=6＋檜板t=15 モルタル下地坑火石貼	木天井下地＋ＦＫ6＋ＲＢt=15(ﾘﾌﾞ付)	木	2.4			
			改修	檜板張替えt=15	-	同右	檜板t=15張替え（FKｔ6下張り共）	木天井下地組＋下張ＦＫt=6共 ＲＢt=12(ﾘﾌﾞ付) 張替え（下張り・ＧＷ保温板t=20共）	木	同上		サウナ（１）	②
	○	脱衣室(1)	既存	Ｃ金ゴテ＋藤タイル	木巾木　H=90	同右	ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋ＴＭ	ＬＧＳ＋ＦＫ6 Ｖ目地　ＶＰ	塩ビ	2.7			
			改修	既存仕上げ撤去の上、藤タイル貼替え	木巾木 ＣＬ塗り替え H=100	同右	ＴＭ塗替え	ＥＰ-Ｇ塗り替え	塩ビ (ｺの字型)	同上	鍵付ロッカー(既製品)	脱衣室（１）	
	○	脱衣室便所(1) 便所前室(1)	既存	Ｃ金ゴテ＋長尺塩ビ合シート（ｂ）	木巾木　H=90	ﾗﾜﾝ合板t=5.5＋雑木合板t=６　H=850	ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋ＶＣ　一部 ＧＢ－R12.5(GL)＋ＶＣ	ＬＧＳ＋ＧＢ-R9.5＋ＶＣ	塩ビ	2.4			
			改修	ビニル床シート(Ｂ)張替え　一部　モルタル金コテ補修後（見切撤去部他）	木巾木　ＣＬ　H=100	雑木合板撤去（見切共）化粧FKｔ６貼り H=900	ＶＣ張替え	ＬＧＳ（既存、一部新設）の上ＦＫｔ６（突付）ＥＰ－Ｇ	塩ビ (ｺの字型)	同上		脱衣室トイレ	②
		脱衣室ﾘﾈﾝ庫(1)	既存	Ｃ金ゴテ＋ビニールタイルt=２	木巾木　H=90	同右	ＬＧＳ＋シナ合板t=5.5	ＬＧＳ＋シナ合板t=4	塩ビ	2.4			
			改修	既存のまま	木巾木 既存のまま H=100	同右	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま		〃　リネン庫	
		倉庫(3)	既存	Ｃ金ゴテ＋ビニールタイルt=２	木巾木　H=90	同右	ＬＧＳ＋シナ合板t=5.5 ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＦＫt=8（防火区画），塗装合板打放シ	ＬＧＳ＋ＧＢ-D9.5	塩ビ	2.4			
			改修	既存のまま	木巾木 既存のまま H=100	同右	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま		〃　倉庫(3)	
	○	脱衣室前室(1)	既存	Ｃ金ゴテ＋ＴＣt=6.5	木巾木　H=90	同右	ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋ＴＭ	ＬＧＳ＋ＧＢ-R9.5＋ＶＣ	塩ビ	2.4			
			改修	ＴＣ(a)t=6.5張替え	木巾木 既存のまま H=100	同右	ＴＭ塗替え	ＶＣ張替え	塩ビ (目透かし型)	同上		脱衣室前室(1)	
	○	浴室前室(1)	既存	防水モルタル金ゴテ＋システムスノコ 一部、Ｃ金ゴテ＋藤タイル	木巾木　H=90	同右 一部　GB-R12.5+9.5+化粧ＦＫｔ６　(H=900)	ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋ＴＭ	ＬＧＳ＋ＦＫ6 Ｖ目地　ＶＰ	塩ビ	2.7			
			改修	既存仕上げ撤去の上、システムスノコ張替え 既存仕上げ撤去の上、藤タイル貼替え	木巾木　H=100	同右 一部化粧ＦＫｔ６　張替え	ＴＭ塗替え	ＥＰ-Ｇ塗り替え	塩ビ (ｺの字型)	同上		浴室前室(１)	
	○	浴室(2)	既存	ﾓﾙﾀﾙ下地＋150角せっ器質ﾀｲﾙ貼（木目調） （浴槽）ﾀｲﾙ貼（Ｂ）	-	同右	モルタル下地＋二丁掛磁器質タイル貼（竪貼）	SUS製天井下地＋耐水合板t=5.5＋防湿ｼｰﾄ＋ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙH=9.5 アルミルーバー	専用	2.6～2.8 6.2			
			改修	洗い場：150角せっ器質タイル 貼替え　浴槽内：タイルクリーニング	-	タイルクリーニング、一部既存タイル撤去の上、 ﾓﾙﾀﾙ下地＋せっ器質タイル貼り（木目調）	CON打放シ部分：アクリルシリコン樹脂塗装塗替え タイルクリーニング、一部貼替え	耐水合板t=5.5＋防湿ｼｰﾄ＋断熱材入ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ(準不燃材)張替え アルミルーバー取替え	専用	同上		浴　室（２）	
		源泉低温浴(2)	既存	（浴槽）ﾓﾙﾀﾙ下地ﾀｲﾙ貼（Ｂ）	-	同右	モルタル下地＋タイル貼（自然石調）	SUS製天井下地＋耐水合板t=5.5＋防湿ｼｰﾄ＋ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙH=9.5 一部：塗装合板型枠打放シＣ＋ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装	専用	2.7			
			改修	既存のまま	-	同右	CON打放シ部分：アクリルシリコン樹脂塗装塗替え タイルクリーニング、部分補修・張替	耐水合板t=5.5＋防湿ｼｰﾄ＋断熱材入ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ(準不燃材)張替え 一部：ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装塗替え	専用	同上		源泉低温浴(2)	
		サウナ(2)	既存	転し根太組＋檜板張t=15（可動式）　一部石敷	-	同右	グラスウール保温板t=30＋木胴縁＋ＦＫt=6＋檜板t=15 モルタル下地＋坑火石貼	木天井下地＋ＦＫ6＋ＲＢt=15(ﾘﾌﾞ付)	木	2.4			
			改修	檜板張替えt=15	-	同右	檜板t=15張替え（FKｔ6下張り共）	木天井下地組＋下張ＦＫt=6共 ＲＢt=12(ﾘﾌﾞ付) 張替え（下張り・ＧＷ保温板t=20共）	木	同上		サウナ（２）	②
	○	脱衣室(2)	既存	Ｃ金ゴテ＋藤タイル	木巾木　H=90	同右	ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋ＴＭ	ＬＧＳ＋ＦＫ6 Ｖ目地　ＶＰ	塩ビ	2.7			
			改修	既存仕上げ撤去の上、藤タイル貼替え	木巾木 ＣＬ塗り替え H=100	同右	ＴＭ塗替え	ＥＰ-Ｇ塗り替え	塩ビ (ｺの字型)	同上	鍵付ロッカー(既製品)	脱衣室（２）	
	○	脱衣室便所(2) 便所前室(2)	既存	Ｃゴテ＋長尺塩ビシート（ｂ）	木巾木　H=90	ﾗﾜﾝ合板t=5.5＋雑木合板t=６　H=850	ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋ＶＣ　一部 ＧＢ－R12.5(GL)＋ＶＣ	ＬＧＳ＋ＧＢ-R9.5＋ＶＣ	塩ビ	2.4			
			改修	ビニル床シート(Ｂ)張替え　一部　モルタル金コテ補修後（見切撤去部他）	木巾木　ＣＬ　H=100	雑木合板撤去（見切共）化粧FKｔ６貼り H=850	ＶＣ張替え	ＬＧＳ（既存、一部新設）の上ＦＫｔ６（突付）ＥＰ－Ｇ	塩ビ (ｺの字型)	同上		脱衣室トイレ	②
		脱衣室ﾘﾈﾝ庫(2)	既存	Ｃゴテ＋ビニールタイルt=２	木巾木　H=90	同右	ＬＧＳ＋シナ合板t=5.5	ＬＧＳ＋シナ合板t=4	塩ビ	2.4			
			改修	既存のまま	木巾木 ＣＬ塗り替え H=100	同右	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま		〃　リネン庫	
	○	脱衣室前室(2)	既存	Ｃ金ゴテ＋ＴＣt=6.5	木巾木　H=90	同右 一部　GB-R12.5+9.5+化粧ＦＫｔ６	ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋ＴＭ	ＬＧＳ＋ＧＢ-R9.5＋ＶＣ	塩ビ	2.4			
			改修	ＴＣ(a)t=6.5張替え	木巾木　H=100	同右	ＴＭ塗替え	ＶＣ張替え	塩ビ (目透かし型)	同上		脱衣室前室(2)	
	○	浴室前室(2)	既存	Ｃゴテ＋藤タイル 防水モルタル金ゴテ＋システムスノコ	木巾木　H=90	同右	ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋ＴＭ	ＬＧＳ＋ＦＫ6 Ｖ目地　ＶＰ	塩ビ	2.7			
			改修	既存仕上げ撤去の上、システムスノコ張替え 既存仕上げ撤去の上、藤タイル貼替え	木巾木　H=100	同右	ＴＭ塗替え	ＥＰ-Ｇ塗り替え	塩ビ (ｺの字型)	同上		浴室前室（２）	
	○	通　路（２）	既存	Ｃ金ゴテ＋ＴＣt=6.5	木巾木　H=90	同右	ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋ＴＭ	ＬＧＳ＋ＧＢ-R9.5＋ＶＣ、一部ＴＭ	塩ビ	2.6 3.0			
			改修	ＴＣ(a)t=6.5張替え	木巾木 ＣＬ塗り替え H=100	同右	ＴＭ塗替え	ＶＣ張替え　一部（防火戸新設部分）ＬＧＳ+ＧＢ－R9.5＋ＶＣ	塩ビ (目透かし型)	同上	ｾｷｭﾘﾃｨﾀﾞｰﾄ	通　路（２）	

凡　例

ＧＢ-R	石膏ボード t=12.5	NM-8619	ＧＢ-D	化粧石膏ボード t=9.5	NM-1864	ＤＲ	化粧岩綿吸音板(天井)	NM-8599	Ｃ	コンクリート	ＥＰ	合成樹脂エマルション塗料	ＴＭ	内装用吹付材			ＴＣ(a)･･･t=6.8 タピスフローラインＤ　同等品　防炎品	床シートＡ･･･特殊防滑床シートt=2.0	ﾛﾝﾘﾄﾞAS ｺﾝﾌｫｰﾄ(居室用)／ﾛﾝｼｰﾙ工業㈱ 同等品
〃	石膏ボード t=9.5	QM-9828	〃	化粧石膏ボード t=9.5(和室)	NM-0127	ＦＫ	珪酸カルシウム板	NM-8578	Ｍ	モルタル　樹脂Ｍ：樹脂モルタル	ＥＰ-Ｇ	つや有合成樹脂エマルション塗料	ＭＣ	珪藻土塗仕上げ、ジョリパット仕上げ			ＴＣ(b)･･･t=8.0 アーバンリフレクション　同等品　防炎品	床シートＢ･･･複層ビニル床シート(FS)t=2.0	消臭NSｼｰﾄ(NM)／東リ㈱ 同等品
ＧＢ-F	強化石膏ボード	NM-8615	〃	化粧石膏ボード t=12.5(押入)	NM-0128	化粧ＦＫ	化粧珪酸カルシウム板	NM-8579	ＣＩ	シンダーコンクリート(ワイヤーメッシュ 6×100×100)	ＳＯＰ	合成樹脂調合ペイント	ＶＣ	ビニルクロス	NM-3991			床シートＣ･･･発泡複層ビニル床シート(HS)t=2.8	SFﾌﾛｱ／東リ㈱ 同等品
ＧＢ-S	シージング石膏ボード t=12.5	NM-9639							Ｓ	鉄骨	ＣＬ	クリヤーラッカー	ＧＷ	グラスウール	不燃品			床シートＤ･･･複層ビニル床シート(FS)t=2.0	ﾌﾛｱﾘｭｰﾚ／東リ㈱ 同等品
〃	シージング石膏ボード t=9.5	QM-9826							Ｗ	木下地組	ＰＵ	ポリウレタン塗装	ＲＷ	吹付ロックウール	NM-8601				
ＧＢ-H	普通硬質石膏ボード	NM-9645							ＬＧＳ	軽量鉄骨（天井・壁・下地）	ＯＳ	オイルステン							
									＊(金)	金ゴテ押さえ	ＷＰ	木材保護塗装	ＴＣ	タイルカーペット					
									＊(木)	木ゴテ押さえ	ＶＰ	塩化ビニルペイント							

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録　長野県知事登録（伊那）M第7Y051号
図面を作成した建築士　一級建築士 大臣登録第177957号　井上　勉

凡例　備考

工事名称：令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）

図面名称：仕上表-2

SCALE：[A1]・No Scale　[A3]・No Scale

年月日：R7.9

No.：D-08

CAD FILE No.D-08 仕上表-2

Print out：25-12-26

内　部　仕　上　表　（３）

共通事項
・クロルピリホスの含有建材を使用しないこと。
・内装仕上げ材、製作家具（木質建材・断熱材・接着剤・塗料・仕上塗材ほか）は、JIS･JAS規格Ｆ☆☆☆☆以上とする。
・天井裏等の措置は、JIS･JAS規格Ｆ☆☆☆☆以上とする。
・外壁胴縁室内側、特記なき柱型は、軽量鉄骨壁下地19型とする。

火気使用室：仕上げ 準不燃材料 ・・・㊀
告示第1436号四へ(2)の摘要：防煙壁(H=500)による区画・・・②
告示第1436号四へ(5)の摘要：下地・仕上共に不燃材料・・・⑤

	床暖	室名	区分	床	巾木	腰壁	壁	天井	廻り縁	天井高	備考	室名	
1階	○	休憩コーナー	既存	C金ゴテ＋ＴＣt=6.5	木巾木　H=90	同右	ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋ＴＭ	ＬＧＳ＋ＧＢ-R9.5＋ＶＣ　一部ＴＭ	塩ビ	3.0			
			改修	ＴＣ(a)t=6.5張替え	木巾木 ＣＬ塗り替え H=100	同右	ＴＭ塗替え	ＶＣ張替え	塩ビ（目透かし型）	同上		休憩コーナー	
		サンルーム	既存	木床組+合板ｔ12の上ＴＣt=6.5敷	木巾木　H=90	同右	ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＦＫt=8＋ＶＰ　（防火区画）	ＬＧＳ＋ＦＫ6 Ｖ目地 ＡＥＰ	塩ビ	3.0			
			改修	ＴＣ(a)t=6.5張替え	木巾木 ＣＬ塗り替え H=100	同右	ＶＰ塗替え	ＡＥＰ塗替え	－	同上		サンルーム	
	○	展示ギャラリー	既存	C金ゴテ＋ＴＣt=6.5	木巾木　H=90	同右	ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋ＴＭ	ＬＧＳ＋ＧＢ-R9.5＋ＶＣ	塩ビ	2.6　3.0			
			改修	ＴＣ(a)t=6.5張替え	木巾木 ＣＬ塗り替え H=100	同右	ＴＭ塗替え	ＶＣ張替え　一部(防火戸設置部分)ＬＧＳ＋ＧＢ-R9.5＋ＶＣ	塩ビ（目透かし型）	同上		展示ギャラリー	
	○	通　路（１）	既存	C金ゴテ＋ＴＣt=6.5	木巾木　H=90	同右	ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋ＴＭ	ＬＧＳ＋ＧＢ-R9.5＋ＧＢ-R9.5　ＴＭ 一部ＲＢ9(ﾘﾌﾞ付)	塩ビ	2.6			
			改修	ＴＣ(a)t=6.5張替え	木巾木 ＣＬ塗り替え H=100	同右	ＴＭ塗替え	ＴＭ塗替え	－	同上		通　路（１）	
	○	家族風呂浴室	既存	M下地＋モザイク磁器タイル	－	同右	M下地＋モザイク磁器タイル	ＬＧＳ＋耐水合板t=5.5＋防湿フィルム＋バスパネル	塩ビ	2.5　3.0			
			改修	既存タイル防滑加工	－	同右	タイルクリーニング	既存のまま	既存のまま	既存のまま	桧浴槽補修	家族風呂浴室	
	○	〃　脱衣室	既存	C金ゴテ＋藤タイル	木巾木　H=90	同右	ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋セラミックタイルt=５．５	ＬＧＳ＋ラワン合板t=5.5＋軒天ビーリングt=４	木	2.5　3.0			
			改修	既存仕上げ撤去の上、ビニル床シート(Ｃ)張り	木巾木 既存のまま H=100	同右	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま		〃　脱衣室	
		〃　リネン庫	既存	C金ゴテ＋ビニールタイルt=2	塩ビ巾木　H=90	同右	ＬＧＳ＋シナ合板t=5.5	ＬＧＳ＋ＧＢ-D9.5	塩ビ	2.5			
			改修	既存のまま	既存のまま	同右	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま		〃　リネン庫	
	○	〃　トイレ	既存	C金ゴテ＋長尺塩ビシート	木巾木　H=90	同右	ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋ＶＣ	ＬＧＳ＋ＧＢ-R9.5＋ＶＣ	塩ビ	2.4			
			改修	仕上げ撤去の上、ビニル床シート(Ｂ)張り	既存のまま	同右	同右	ＶＣ貼替え	既存のまま	既存のまま		〃　トイレ	
	○	サブロビー 休　憩　室	既存	C金ゴテ＋ＴＣt=6.5	米松練付　H=90	同右	ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋ＶＣ	ＬＧＳ＋ＧＢ-R9.5＋ＶＣ	塩ビ	3.0	厨房機器、ライニング → 撤去 (移設､撤去は設備工事)		
			改修	ＴＣ(a)t=6.5張替え 一部（ＡＷ他撤去部）モルタル金コテ補修の上　ＴＣｔ＝6.5貼り	木巾木 ＣＬ塗り替え H=100	同右	ＶＣ張替え	ＶＣ張替え	塩ビ（目透かし型）	同上		サブロビー	
	○	職員玄関	既存	M下地＋100角磁器タイル	同　左　H=100	同右	ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋ＶＣ	ＬＧＳ＋ＧＢ-R9.5＋ＶＣ	塩ビ	2.55			
			改修	既存のまま	既存のまま	同右	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま		職員玄関	
	○	廊　下	既存	C金ゴテ＋ＴＣt=6.5	木巾木　H=90	同右	ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋ＶＣ	ＬＧＳ＋ＧＢ-R9.5＋ＶＣ	塩ビ	2.4			
			改修	既存のまま	既存のまま	同右	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま		廊　下	
		更衣室(1)(2)	既存	C金ゴテ＋ＴＣt=6.5	木巾木　H=90	同右	ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋ＶＣ	ＬＧＳ＋ＧＢ-D9.5	塩ビ	2.4			
			改修	既存のまま	既存のまま	同右	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま		更衣室(1)(2)	②
		職員トイレ	既存	C金ゴテ＋長尺塩ビシート（ａ）	木巾木　H=90	同右	ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋ＶＣ	ＬＧＳ＋ＧＢ-R9.5＋ＶＣ	塩ビ	2.4			
			改修	既存のまま	既存のまま	同右	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま		職員トイレ	
		倉庫（４）（５）	既存	C金ゴテ＋ビニールタイルt=2	木巾木　H=90	同右	ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋ＶＣ	ＬＧＳ＋ＧＢ-D9.5	塩ビ	2.7			
			改修	既存のまま	既存のまま	同右	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま		倉庫（４）（５）	②
		職員休憩室	既存	木床組＋コンパネt=１２＋タタミ 木床組＋複合フローリングt=15	畳寄せ	同右	ＬＧＳ＋ＧＢ-R12.5＋ＧＢ-R9.5＋ＶＣ	ＬＧＳ＋ＧＢ-R9.5＋ＶＣ	木	2.5			
			改修	既存のまま	既存のまま	同右	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま		職員休憩室	
		掃除具庫	既存	C金ゴテ＋ビニールタイルt=2	木巾木　H=90	同右	ＬＧＳ＋シナ合板t=5.5	ＬＧＳ＋ＧＢ-D9.5	木	2.3			
			改修	既存のまま	既存のまま	同右	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま		掃除具庫	
		〈増築部分〉 倉庫（６）	既存	－	－	－	－	－	－	－			
			改修	C金ゴテ＋ビニール床シート(Ａ)張り	床材巻上げ　H=300	同右	ＬＧＳ＋ＧＢ-S12.5＋ＶＣ　流し台部分：化粧ＦＫ6貼り	ＬＧＳ＋ＧＢ-D9.5	塩ビ（コの字型）	2.4～2.7	既存流し台移設	〈増築部分〉 倉庫（６）	②
		〈増築部分〉 ゴミ庫	既存	－	－	－	－	－	－	－			
			改修	C金ゴテ＋防塵塗装	CON防塵塗装　H=100	同右	ＬＧＳ＋ＧＢ-S12.5＋化粧ＦＫ6貼り	ＬＧＳ＋ＦＫ6(突付) ＥＰ-Ｇ	塩ビ（コの字型）	2.3		〈増築部分〉 ゴミ庫	
地階		機　械　室	既存	C金ゴテ＋エポキシ系防塵塗装	M金ゴテ　H=200	同右	普通合板型枠コンクリート打放し	普通合板型枠コンクリート打放し	－	4.1			
			改修	既存のまま	既存のまま	同右	既存のまま	既存のまま	－	既存のまま		機　械　室	①
		電　気　室	既存	同　上	M金ゴテ　H=200	同右	同　上	普通合板型枠コンクリート打放し	－	4.1			
			改修	既存のまま	既存のまま	同右	既存のまま	既存のまま	－	既存のまま		電　気　室	②
		消化栓ポンプ室	既存	C金ゴテ＋エポキシ系防塵塗装	M金ゴテ　H=200	同右	同　上	普通合板型枠コンクリート打放し	－	4.1			
			改修	既存のまま	既存のまま	同右	既存のまま	既存のまま	－	既存のまま		消化栓ポンプ室	②
		防火用水槽	既存	防水モルタルt=30（床・壁共）	M金ゴテ　H=200	同右	防水モルタルt=30	普通合板型枠コンクリート打放し	－	－			
			改修	既存のまま	既存のまま	同右	既存のまま	既存のまま	－	－		防火用水槽	

凡　例

ＧＢ-R	石膏ボード t=12.5	NM-8619	ＧＢ-D	化粧石膏ボード t=9.5	NM-1864	ＤＲ	化粧岩綿吸音板(天井)	NM-8599	Ｃ	コンクリート	ＥＰ	合成樹脂エマルション塗料	ＴＭ	内装用吹付材			ＴＣ(a)･･･t=6.8 タピスフローラインＤ　同等品　防炎品		床シートＡ･･･特殊防滑床シートt=2.0	ﾛﾝﾘﾄﾞAS ｺﾝﾌｫｰﾄ(厨房用)／ﾛﾝｼｰﾙ工業㈱ 同等品
〃	石膏ボード t=9.5	QM-9828	〃	化粧石膏ボード t=9.5(和室)	NM-0127	ＦＫ	珪酸カルシウム板	NM-8578	Ｍ	モルタル　樹脂Ｍ：樹脂モルタル	ＥＰ-Ｇ	つや有合成樹脂エマルション塗料	ＭＣ	珪藻土塗仕上げ、ジョリパット仕上げ			ＴＣ(b)･･･t=8.0 アーバンリフレクション　同等品　防炎品		床シートＢ･･･複層ビニル床シート(FS)t=2.0	消臭NSｼｰﾙ㈱／東リ㈱ 同等品
ＧＢ-F	強化石膏ボード	NM-8615	〃	化粧石膏ボード t=12.5(押入)	NM-0128	化粧ＦＫ	化粧珪酸カルシウム板	NM-8579	ＣＩ	シンダーコンクリート(ワイヤーメッシュ 6*100*100)	ＳＯＰ	合成樹脂調合ペイント	ＶＣ	ビニルクロス	NM-3991				床シートＣ･･･発泡複層ビニル床シート(HS)t=2.8	SFﾌﾛｱ／東リ㈱ 同等品
ＧＢ-S	シージング石膏ボード t=12.5	NM-9639							Ｓ	鉄骨	ＣＬ	クリヤーラッカー	ＧＷ	グラスウール	不燃品				床シートＤ･･･複層ビニル床シート(FS)t=2.0	ﾌﾛｱﾌﾚｰﾙ／東リ㈱ 同等品
〃	シージング石膏ボード t=9.5	QM-9826							Ｗ	木下地組	ＰＵ	ポリウレタン塗装	ＲＷ	吹付ロックウール	NM-8601					
ＧＢ-H	普通硬質石膏ボード	NM-9645							ＬＧＳ	軽量鉄骨（天井・壁・下地）	ＯＳ	オイルステン								
									＊(金)	金ゴテ押さえ	ＷＰ	木材保護塗装	ＴＣ	タイルカーペット						
									＊(木)	木ゴテ押さえ	ＶＰ	塩化ビニルペイント								

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録　長野県知事登録（伊那）M第7Y051号
図面を作成した建築士　一級建築士 大臣登録第177957号　井上　勉

凡例　備考

工事名称：令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）

図面名称：仕上表-3

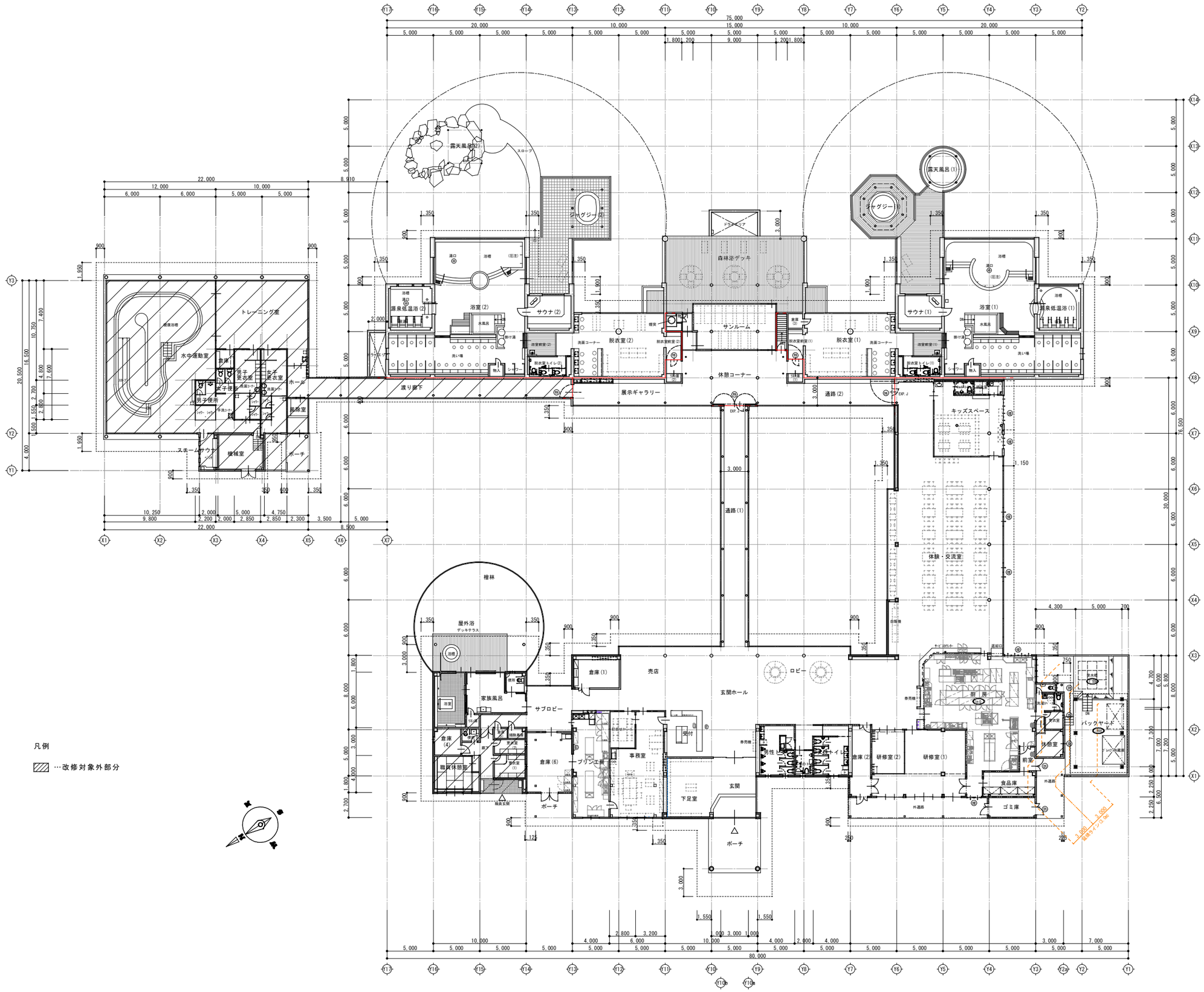
SCALE：[A1]・No Scale　[A3]・No Scale

年月日：R7.9

No.：D-09

CAD FILE No.D-09 仕上表-3

Print out：25-12-26



地階平面図＜改修＞　S=1:200

1階平面図＜改修＞　S=1:200

凡例

…改修対象外部分

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録　長野県知事登録（伊那）M第7Y051号
図面を作成した建築士　一級建築士 大臣登録第177957号　井上 勉

凡例　備考

工事名称　令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）

図面名称　全体平面図

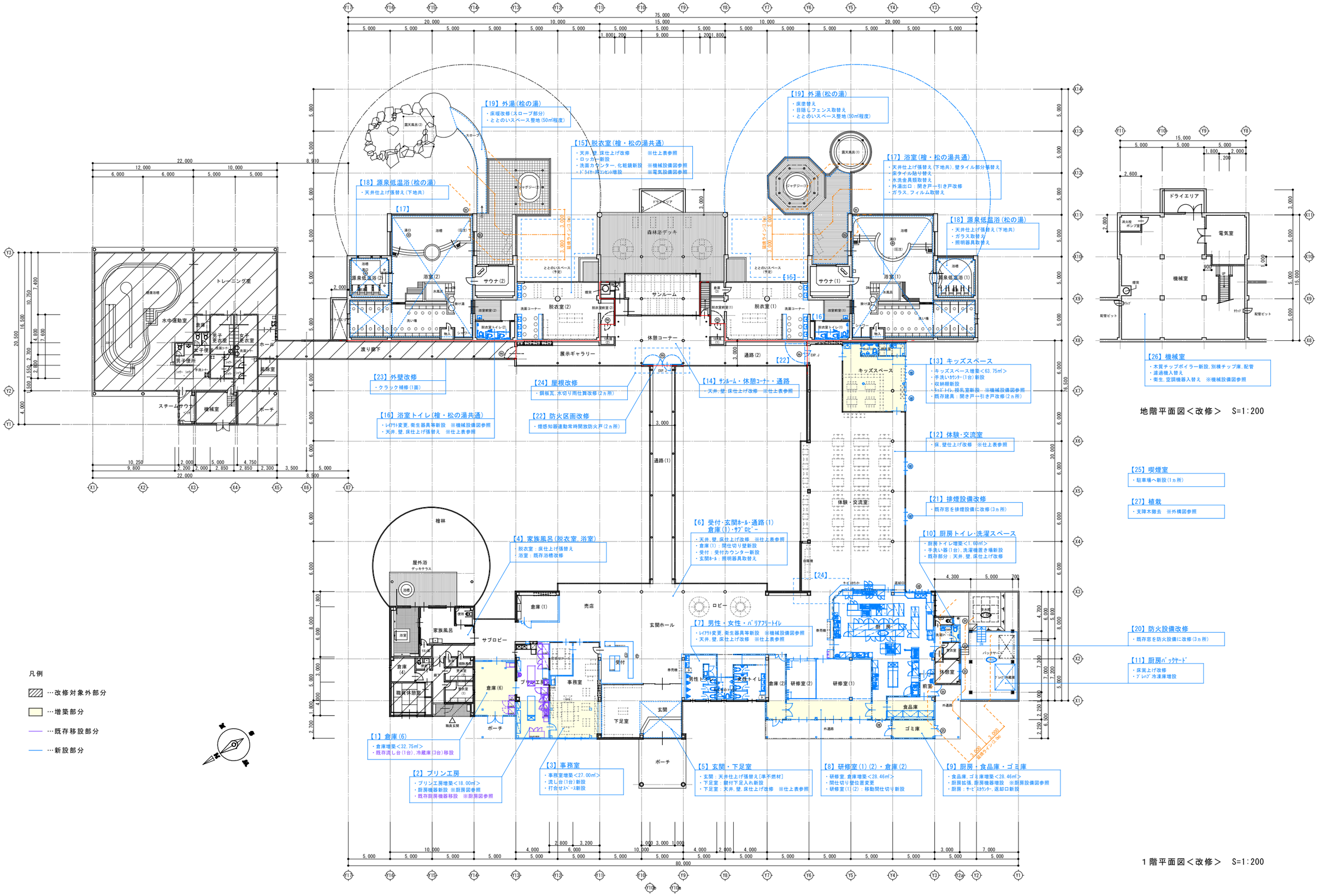
SCALE　[A1] 1：200　[A3] 1：400

年月日　R7．9

No.　D-10

CAD FILE No. D-10 全体平面図

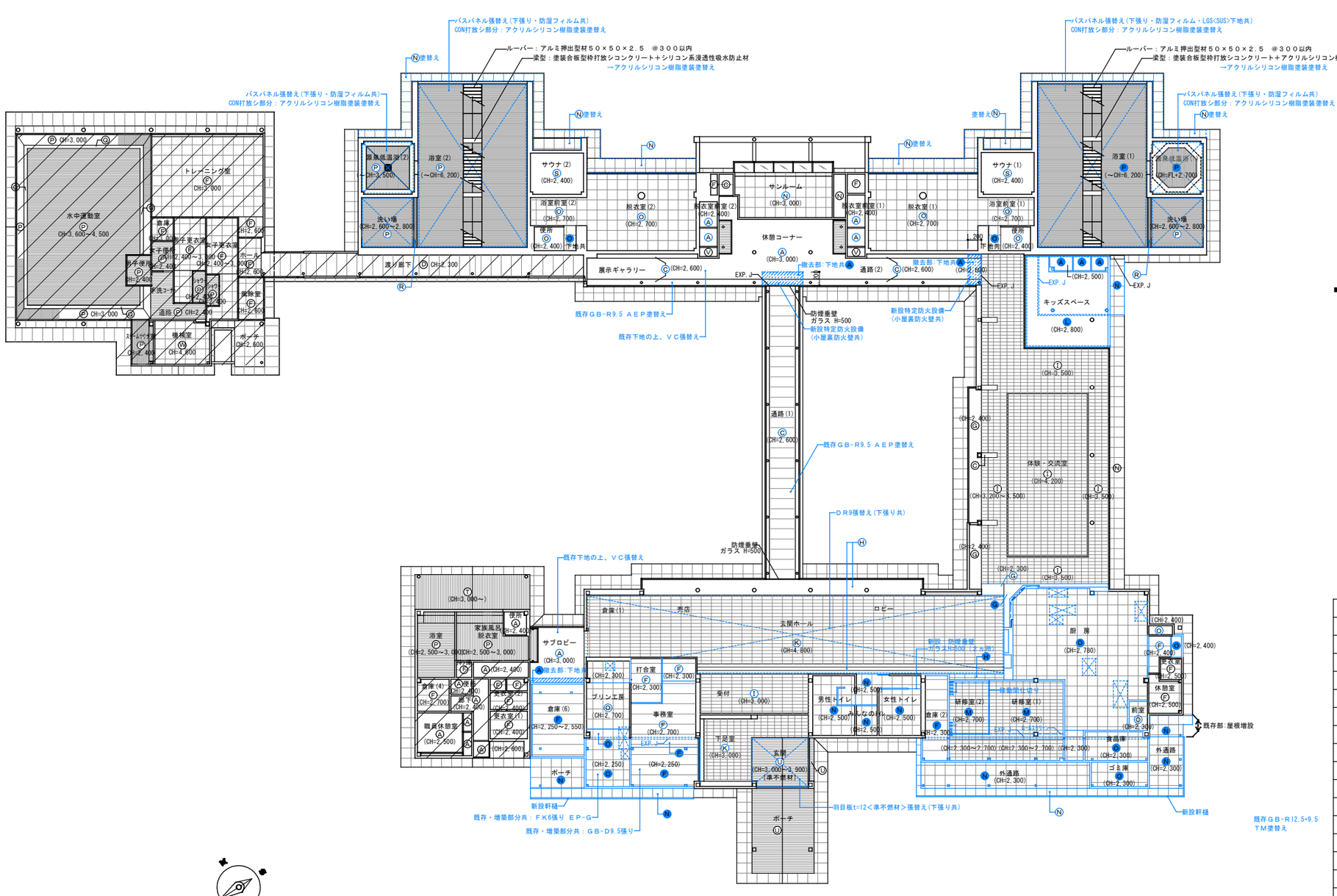
Print out : 26-02-04



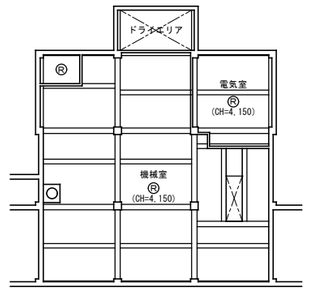
株式会社 城取建築設計事務所 〒396−0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271	一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)M第7Y051号	図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上 勉	凡例 備考	工事名称 令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）	図面名称 全体平面図 ＜改修概要図＞	SCALE [A1] 1：200 [A3] 1：400	年月日 R7. 9	No. D-10

CAD FILE No. D-10 全体平面図(色付き概要図)

Print out : 25-12-26



1　階　天　井　伏　図　＜改修＞　　S=1:200



地　階　天　井　伏　図　＜改修＞　　S=1:200

■天井点検口・開口補強　　※取付位置は機械設備図を参照。施工時に再確認すること。

45	…天井点検口：アルミ製450角 額縁タイプ	６０ヵ所
60	…天井点検口：アルミ製600角 額縁タイプ	４ヵ所
	…機械設備 開口補強　1,500x1,200	４ヵ所
	…機械設備 開口補強　1,500x750	１２ヵ所
	…機械設備 開口補強　900角	５ヵ所
	…機械設備 開口補強　900x600	１３ヵ所
	…機械設備 開口補強　1,700x600	４ヵ所
F	…機械設備 開口補強　250角	３３ヵ所
G	…機械設備 開口補強　450角	１４ヵ所
	…機械設備 開口補強　1,000x450	１０ヵ所

…LGS下地共・新設部分
…張替え 塗り替え・新設部分
…既存のまま

凡　　例

符　号	仕　上　＜改修＞
Ⓐ	ＧＢ-Ｒ　ｔ＝９．５　ＶＣ
Ⓑ	ＧＢ-Ｓ　ｔ＝９．５　ＶＣ
Ⓒ	ＧＢ-Ｒ　ｔ＝９．５　ＡＥＰ　　ＧＢ-Ｒ　ｔ＝９．５　下張
~~Ⓓ~~	~~ＧＢ-Ｒ　ｔ＝９．５（目スカシ）ＡＥＰ　　ＧＢ-Ｒ　ｔ＝９．５　下張~~
Ⓔ	ＧＢ-Ｒ　ｔ＝９．５　ＡＥＰ　木化粧縁　ＣＬ
Ⓕ	ＧＢ-Ｄ　ｔ＝９．５[不燃材料]
Ⓖ	ＧＢ-Ｒ　ｔ＝９．５　ＭＣ塗替え
Ⓗ	ＧＢ-Ｒ　ｔ＝９．５　ＴＭ塗替え
Ⓘ	ＤＲ　ｔ＝１５（リブ付）　一部ｔ＝９．０　　ＧＢ-Ｒ　ｔ＝９．５　下張
Ⓙ	ＤＲ　ｔ＝１２（リブ付）　　ＧＢ-Ｒ　ｔ＝９．５　下張
Ⓚ	ＤＲ　ｔ＝９　　ＧＢ-Ｒ　ｔ＝９．５　下張
Ⓛ	ＤＲ　ｔ＝９　ＡＥＰ　　ＧＢ-Ｒ　ｔ＝９．５　下張
Ⓜ	ＤＲ　ｔ＝９　木化粧縁　ＣＬ　　ＧＢ-Ｒ　ｔ＝９．５　下張
Ⓝ	ＦＫ　ｔ＝６　ＡＥＰ
Ⓞ	ＦＫ　ｔ＝６　ＥＰ-Ｇ
Ⓟ	断熱材入アルミパネル[準不燃材料] 耐水合板ｔ＝５．５＋防湿フィルム　下地
Ⓖ	アルミスパンドレル　Ｈ＝９．５
Ⓡ	コンクリート打放シ　アクリルシリコン樹脂塗装塗
Ⓢ	ＤＲ　ｔ＝１５（リブ付）　　ＦＫｔ＝６下張　ＧＷ保温板共
Ⓣ	軒天ピーリング　ｔ＝４　　ラワン合板　ｔ＝５．５　下張
Ⓤ	羽目板　ｔ＝１２　ＷＰ[内部：準不燃材料]　ラワン合板　ｔ＝５．５　下張
Ⓥ	シナ合板　ｔ＝４
Ⓦ	ＦＫ　ｔ＝８ ｹﾞﾗｽｳｰﾙ敷込み
軒　天	ＦＫ　ｔ＝６　ＡＥＰ

株式会社 城取建築設計事務所
〒３９６－００２６　長野県伊那市西町５８６３番地１／TEL ０２６５（７２）７２７１
一級建築士事務所登録　長野県知事登録（伊那）M第７Ｙ０５１号
図面を作成した建築士　一級建築士 大臣登録第177957号　井上　勉

凡例　備考

工事名称　令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）

図面名称　天井伏図　＜改修＞

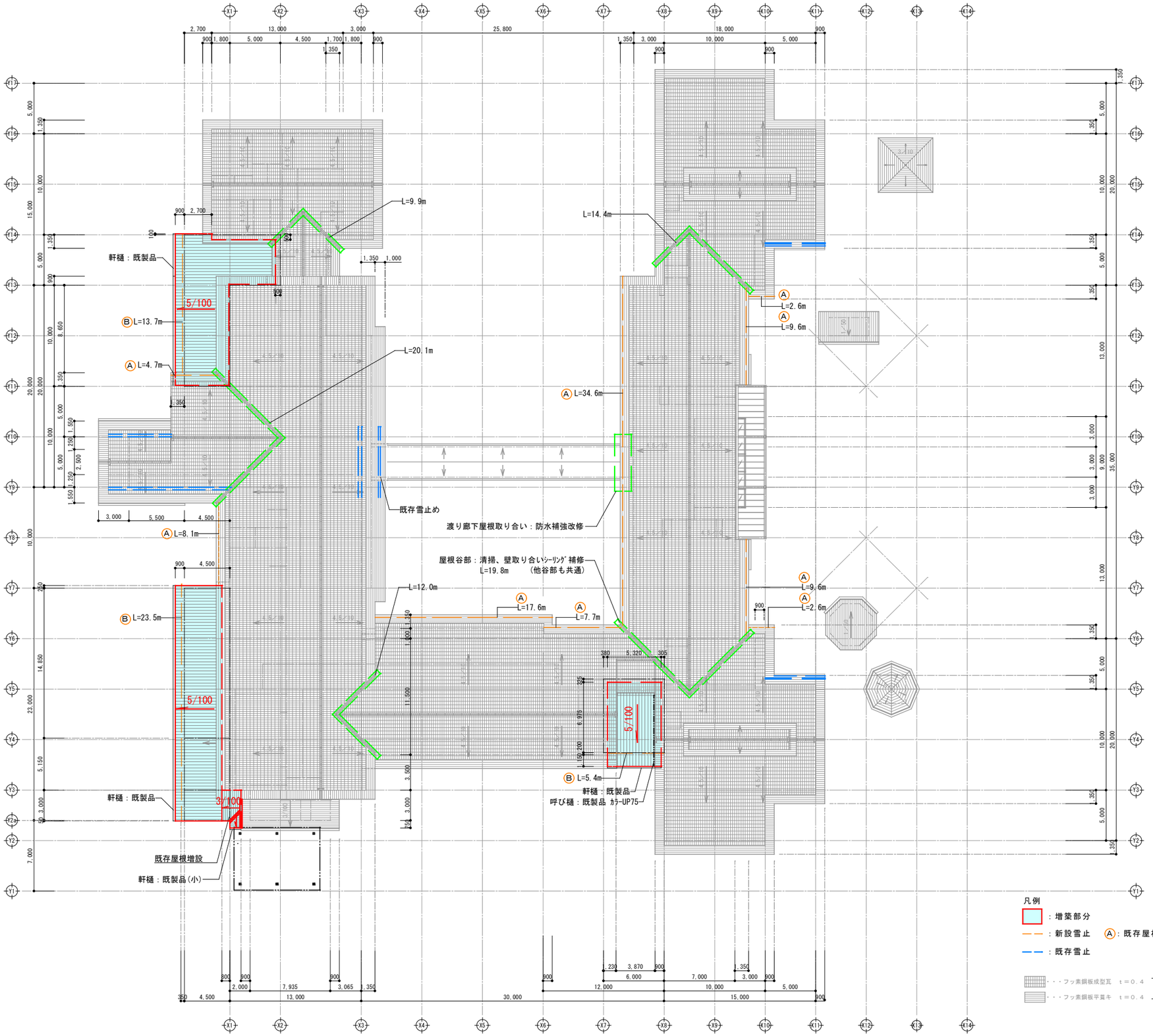
SCALE　[A1] １：２００　[A3] １：４００

年月日　R7.9

No.　D-11

CAD FILE No.D-11 天井伏図

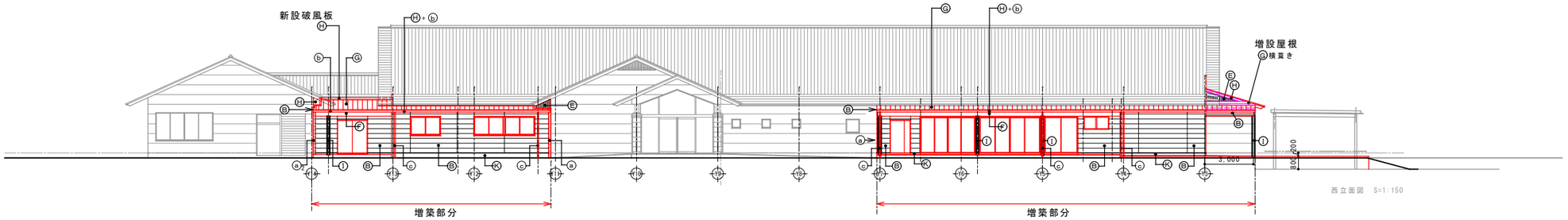
Print out : 25-12-26



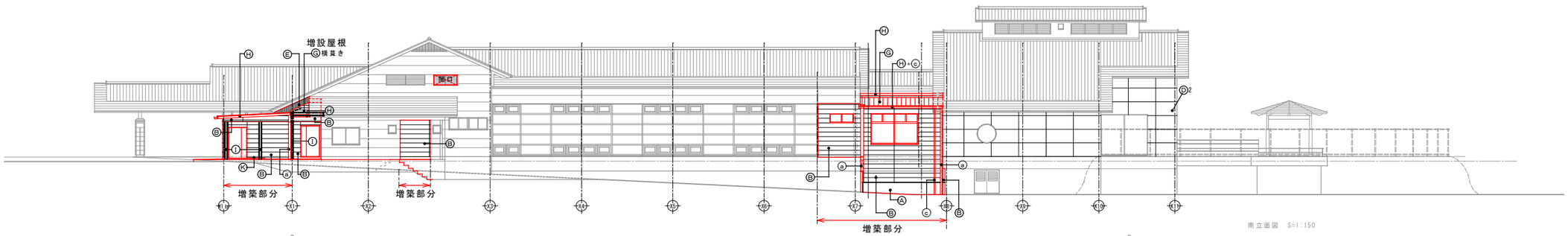
株式会社 城取建築設計事務所 〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271	一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)M第7Y051号	図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上　勉	凡例　備考	工事名称 令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事（建築工事）	図面名称 屋根伏図 ＜改修＞	SCALE [A1] 1：200 [A3] 1：400	年月日 R7.9	No. D-12

CAD FILE No. D-12 屋根伏図

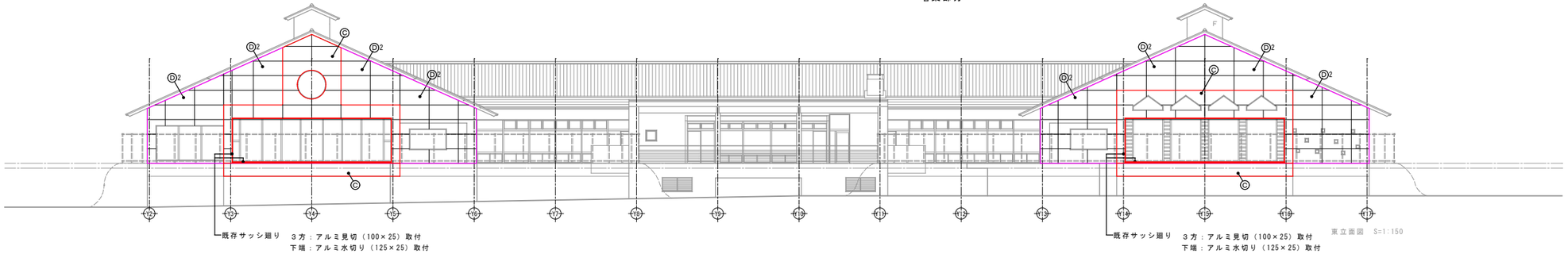
Print out : 25-12-26



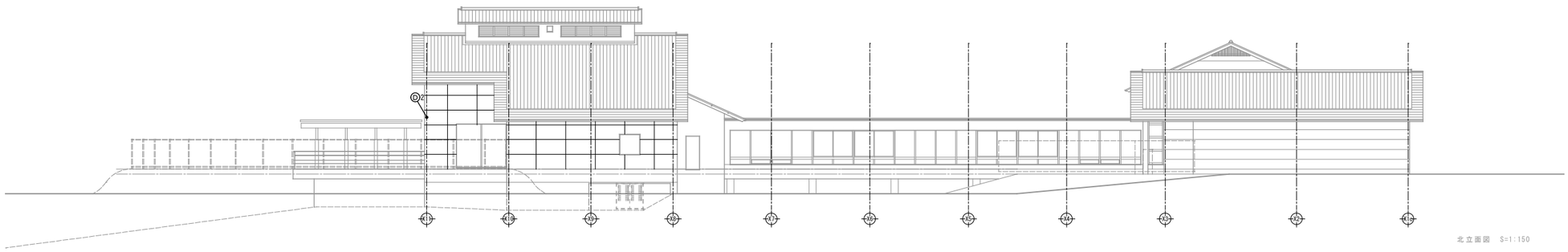
西立面図　S=1:150



南立面図　S=1:150



東立面図　S=1:150



北立面図　S=1:150

凡例

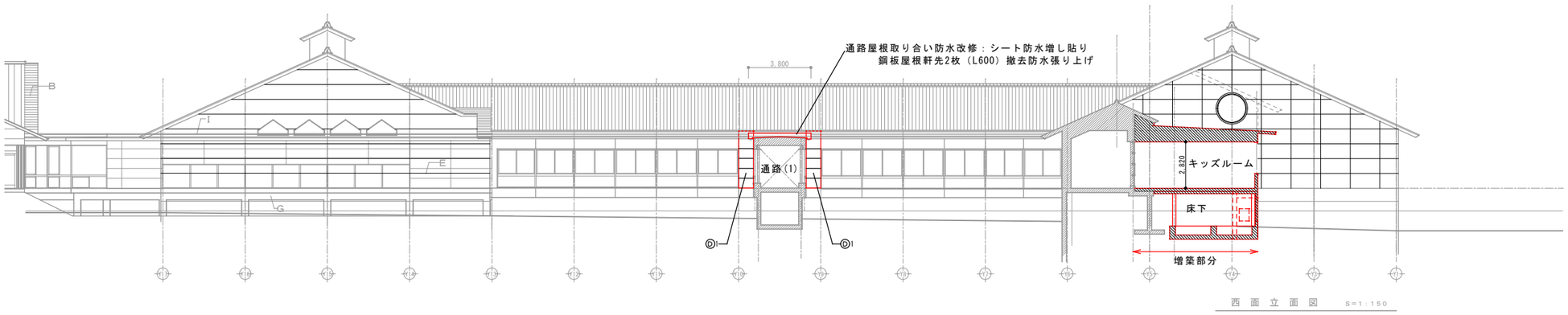
- Ⓐ　打ち放しコンクリート　撥水材塗布
- Ⓑ　中空セメント板ｔ18　アクリル吹付タイル
- Ⓒ　断熱材付フライアッシュボードｔ55　アクリル吹付タイル
- Ⓓ1　高圧洗浄後、アクリル系吹付タイル吹付替え（中空セメント板下地）
- Ⓓ2　高圧洗浄後、アクリル系吹付タイル吹付替え（断熱材付セメントボード下地）
- Ⓔ　鋼板スパンドレル張り
- Ⓕ　ＦＫ　ｔ6　ＥＰ
- Ⓖ　カラーＧＬ鋼板　立ﾊｾﾞ葺き
- Ⓗ　カラーＧＬ鋼板　ｔ0.4　巻き
- Ⓘ　鉄部ＤＰ
- Ⓙ　木部ＷＰ
- Ⓚ　断熱材ｔ20打ち込み樹脂モルタル塗り

- ⓐ　ＥＰＪ金物（樹脂製）　ⓐ2　ＥＰＪ金物（アルミ製）
- ⓑ　軒樋（既製品）
- ⓒ　竪樋（カラーＶＰ）

株式会社 城取建築設計事務所 〒396−0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271	一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)M第7Y051号	図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上　勉	凡例　備考	工事名称 令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）	図面名称 立面図−1 ＜改修＞	SCALE [A1]　1：150 [A3]　1：300	年月日 R7．9	No. D−13

CAD FILE No.D-13 立面図-1

Print out：25-12-26

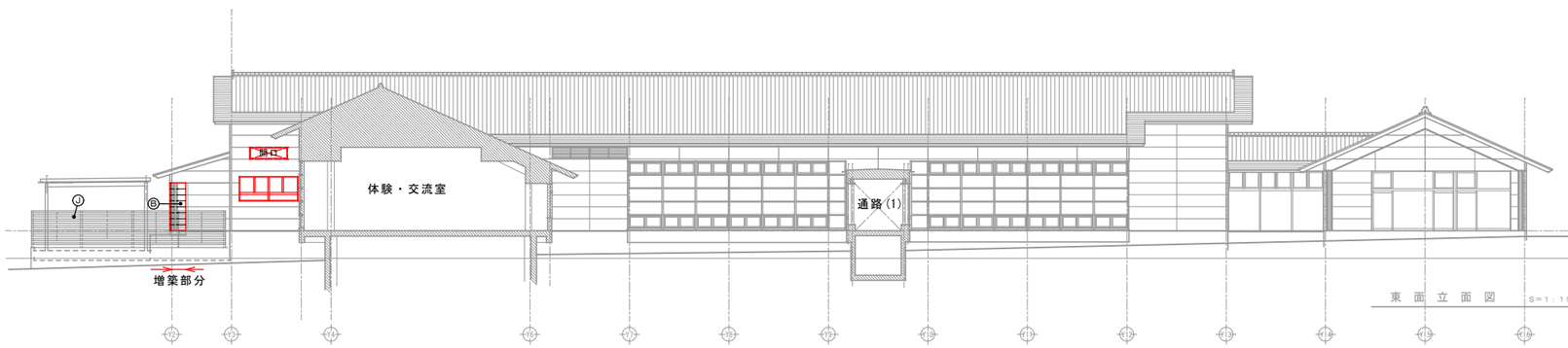


西 面 立 面 図　S=1:150

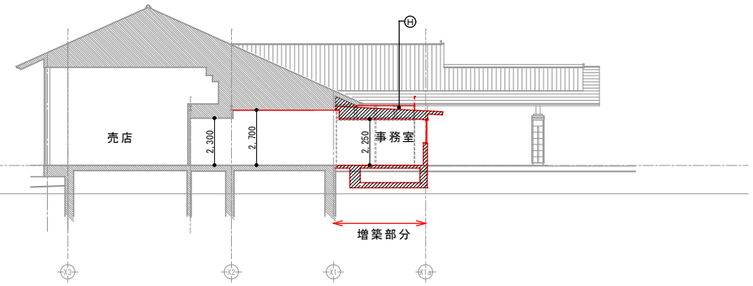
凡例

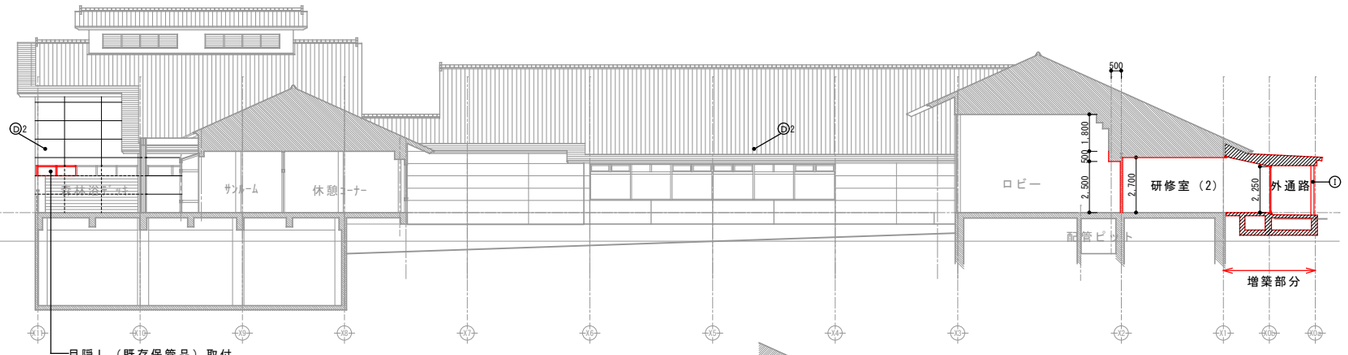
- Ⓐ 打ち放しコンクリート　撥水材塗布
- Ⓑ 中空セメント板ｔ18　アクリル吹付タイル
- Ⓒ 断熱材付フライアッシュボードｔ55　アクリル吹付タイル
- Ⓓ1 高圧洗浄後、アクリル系吹付タイル吹付替え（中空セメント板下地）
- Ⓓ2 高圧洗浄後、アクリル系吹付タイル吹付替え（断熱材付セメントボード下地）
- Ⓔ 鋼板スパンドレル張り
- Ⓕ ＦＫ　ｔ6　ＥＰ
- Ⓖ カラーＧＬ鋼板　立ﾊｾﾞ葺き
- Ⓗ カラーＧＬ鋼板　ｔ0.4
- Ⓘ 鉄部ＤＰ
- Ⓙ 木部ＷＰ　塗り替え
- Ⓚ 断熱材ｔ20打ち込み樹脂モルタル塗り

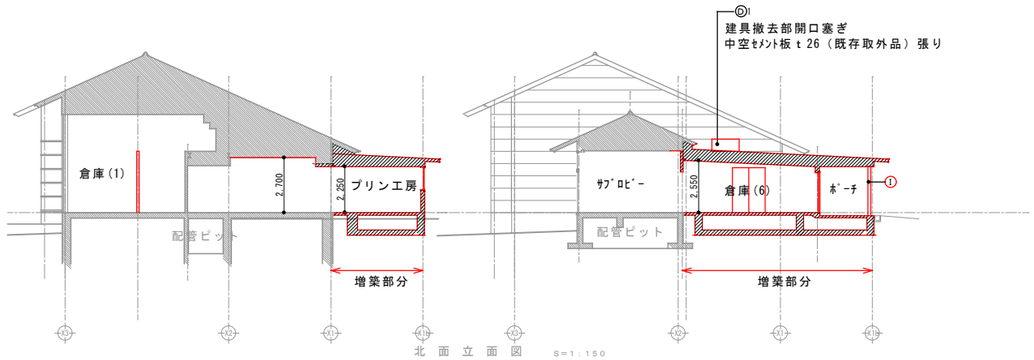
- ⓐ ＥＰＪ金物（樹脂製）　ⓐ2 ＥＰＪ金物（アルミ製）
- ⓑ 軒樋（既製品）
- ⓒ 竪樋（カラーＶＰ）



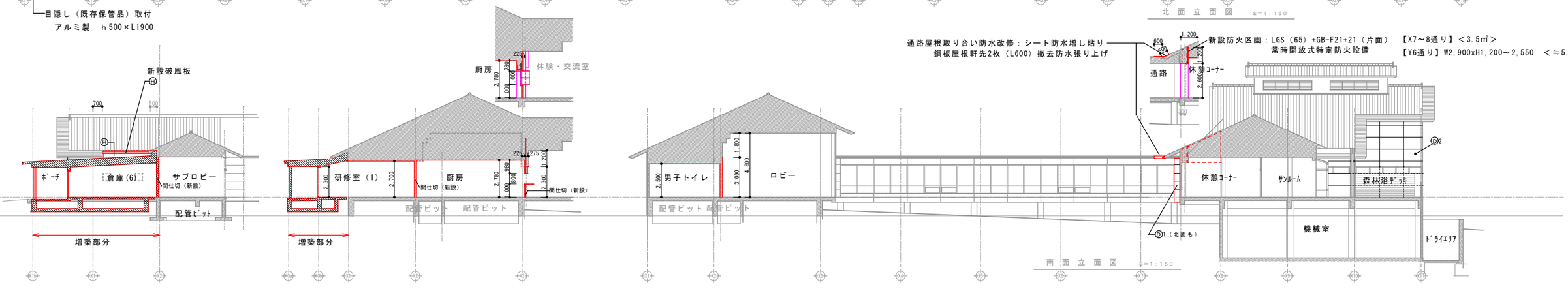
東 面 立 面 図　S=1:150







北 面 立 面 図　S=1:150



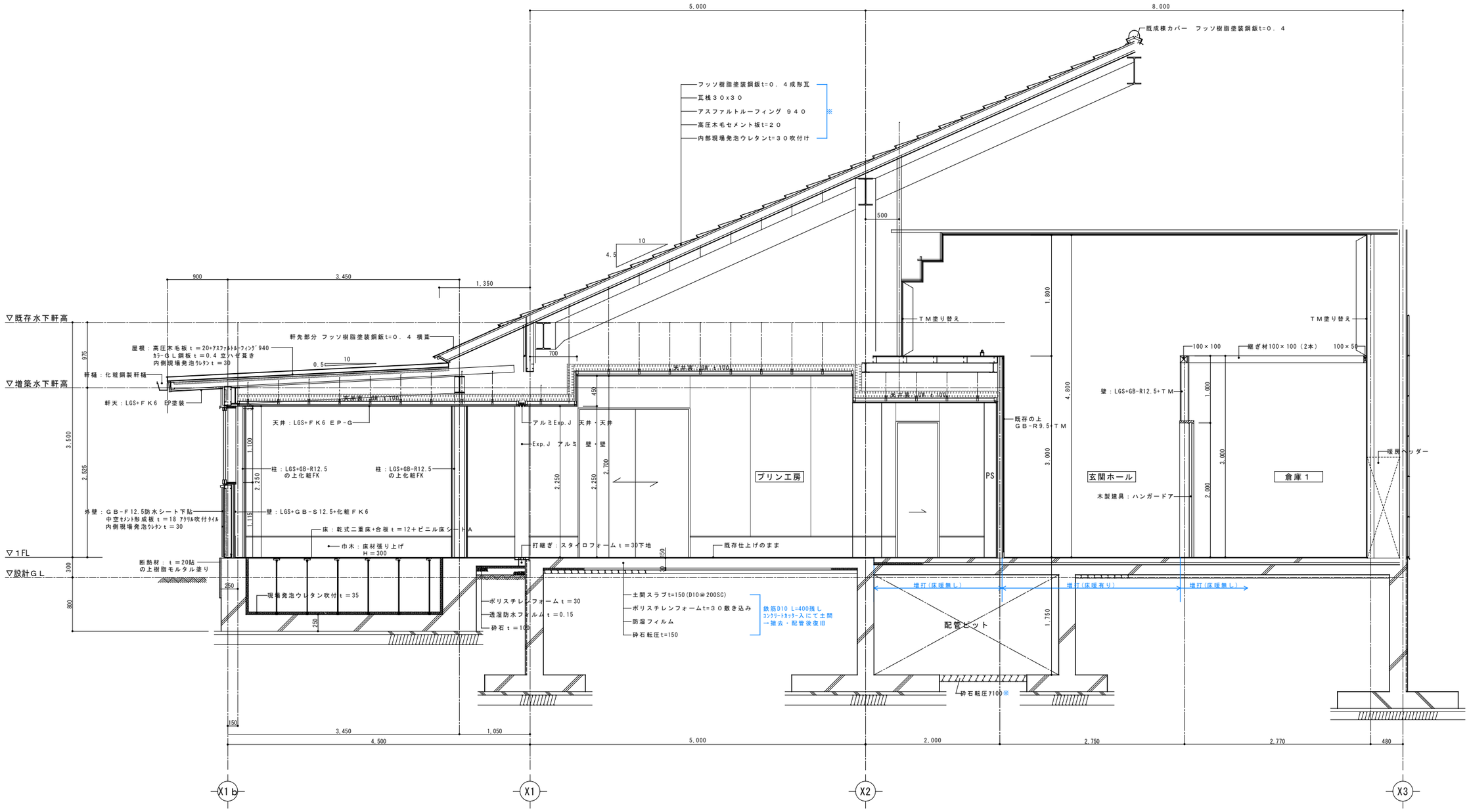
【X7～8通り】＜3.5㎡＞
【Y6通り】W2,900xH1,200～2,550　＜≒5.4㎡＞

南 面 立 面 図　S=1:150

株式会社 城取建築設計事務所 〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271	一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)M第7Y051号	図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上　勉	凡例　備考 ＜***＞：参考数量	工事名称 令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）	図面名称 立面図-2・断面図 ＜改修＞	SCALE [A1]　1：150 [A3]　1：300	年月日 R7．9	No. D-14

CAD FILE No.D-14 立面図-2・断面図

Print out：25-12-26



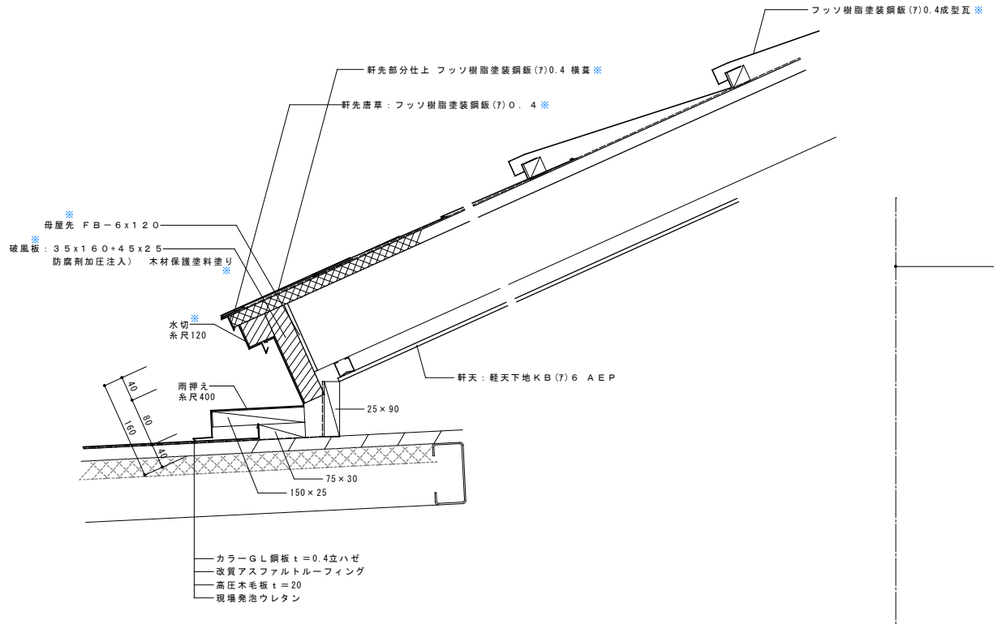
※は既存のまま

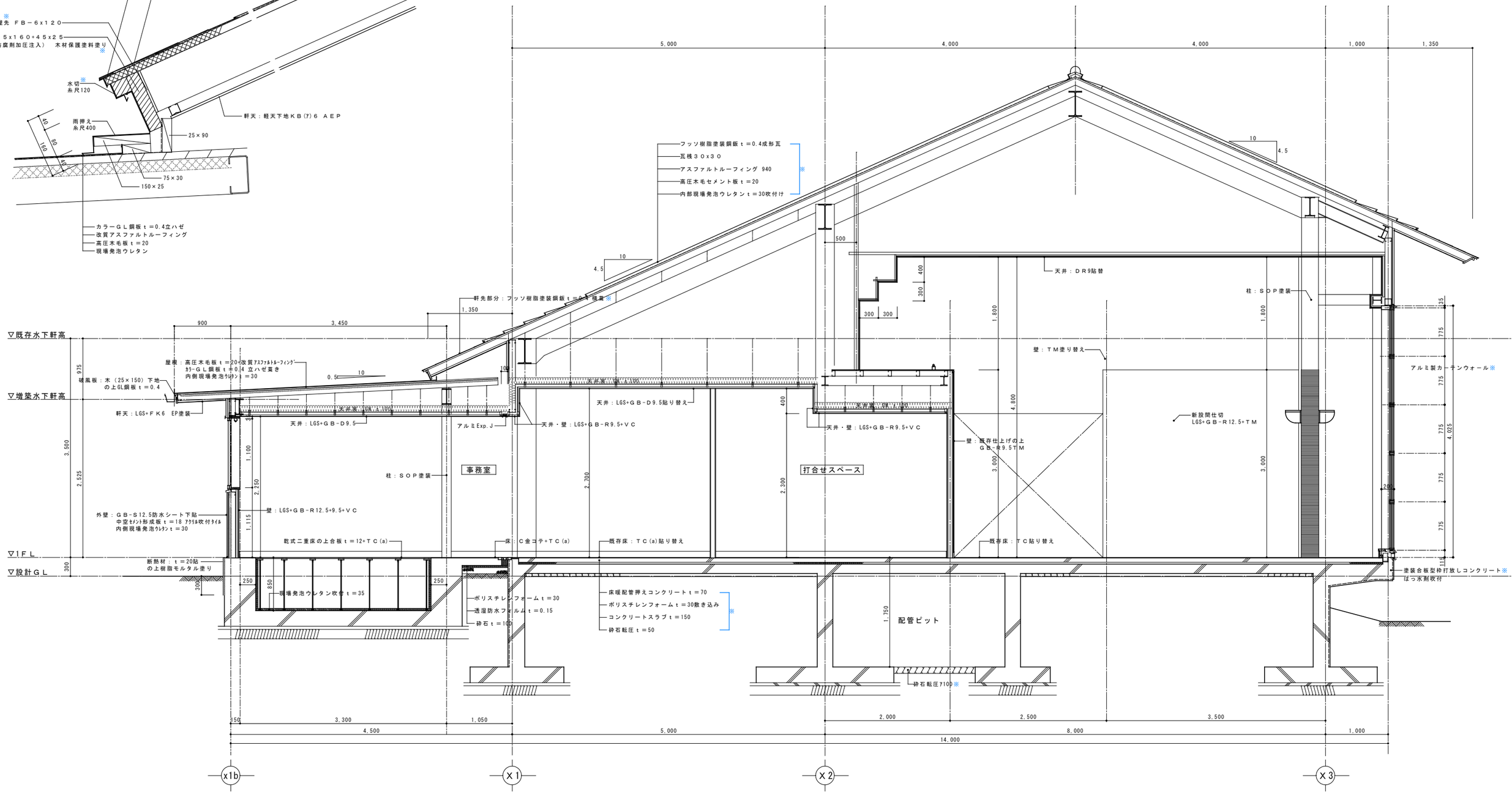
株式会社 城取建築設計事務所 〒396－0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271	一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)M第7Y051号	図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上 勉	凡例 備考	工事名称 令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）	図面名称 矩計図-1（プリン工房） ＜改修＞

SCALE	年月日	No.
[A1] 1：30 [A3] 1：60	R7.9	D-15

CAD FILE No.D-15 矩計図-1（プリン工房）

Print out：25-12-26





※は既存のまま

株式会社 城取建築設計事務所
〒３９６－００２６ 長野県伊那市西町５８６３番地１／TEL ０２６５（７２）７２７１
一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)M第７Ｙ０５１号
図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上 勉

凡例 備考

工事名称 令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）

図面名称 矩計図-２（事務室） ＜改修＞

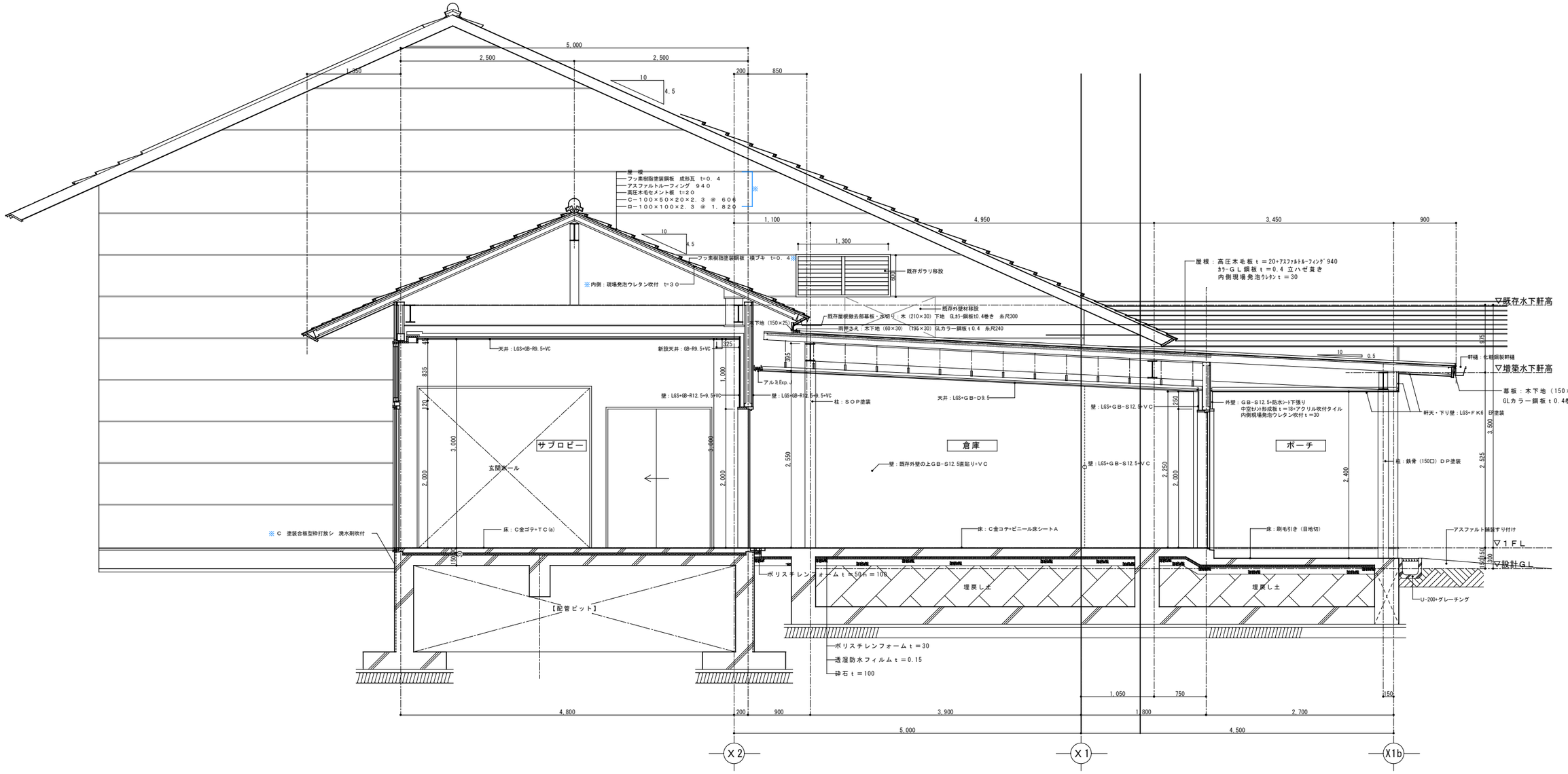
SCALE ［Ａ１］１：３０ ［Ａ３］１：６０

年月日 Ｒ７．９

No. Ｄ-１６

CAD FILE No.D-16 矩計図-２（事務室）

Print out：25-12-26

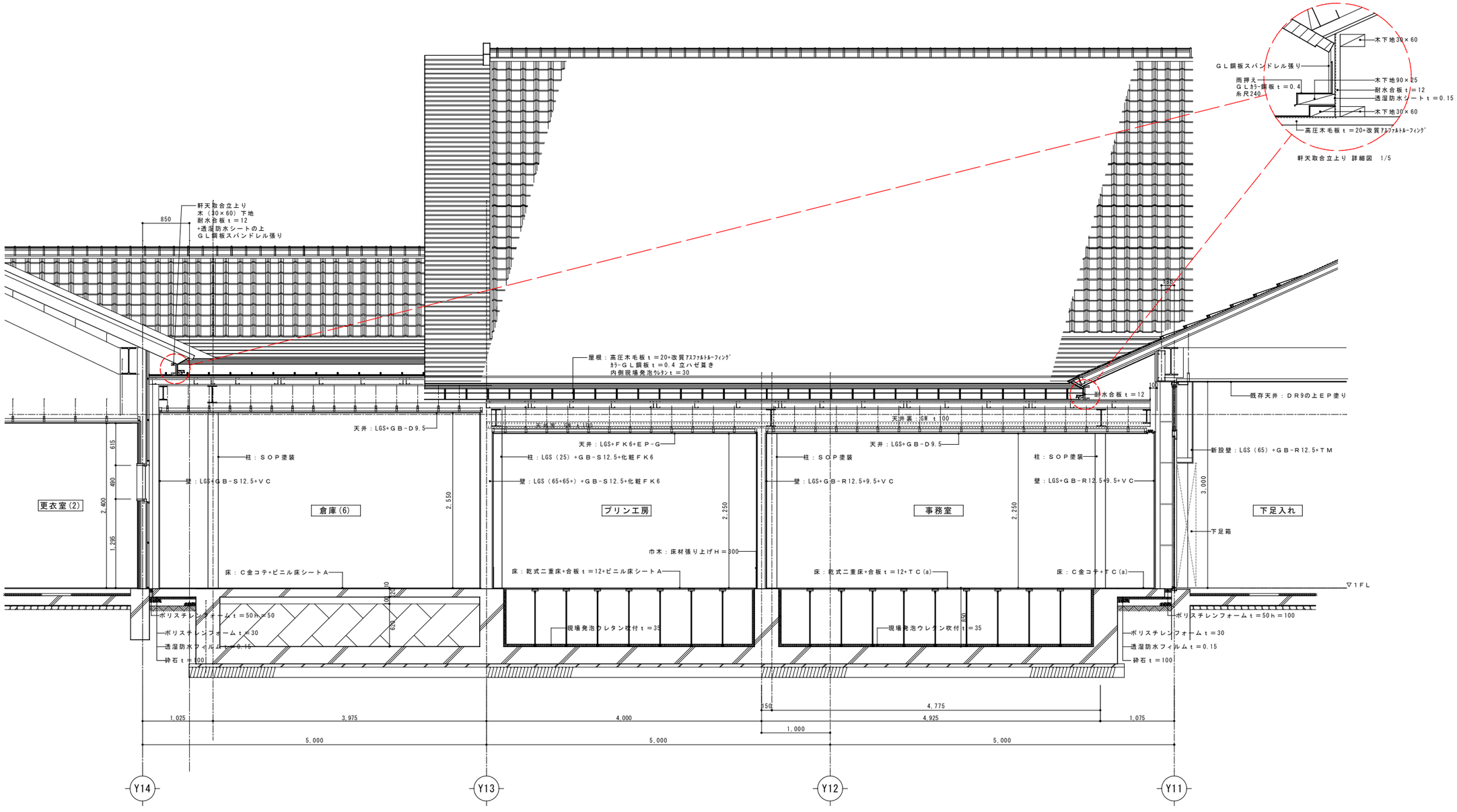


※は既存のまま

株式会社 城取建築設計事務所 〒396-0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271	一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)M第7Y051号	図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上 勉	凡例 備考	工事名称 令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）	図面名称 矩計図-3（倉庫(6)） ＜改修＞	SCALE ［A1］1：30 ［A3］1：60	年月日 R7.9	No. D-17

CAD FILE No. D-17 矩計図-3（倉庫(6)）

Print out : 25-12-26

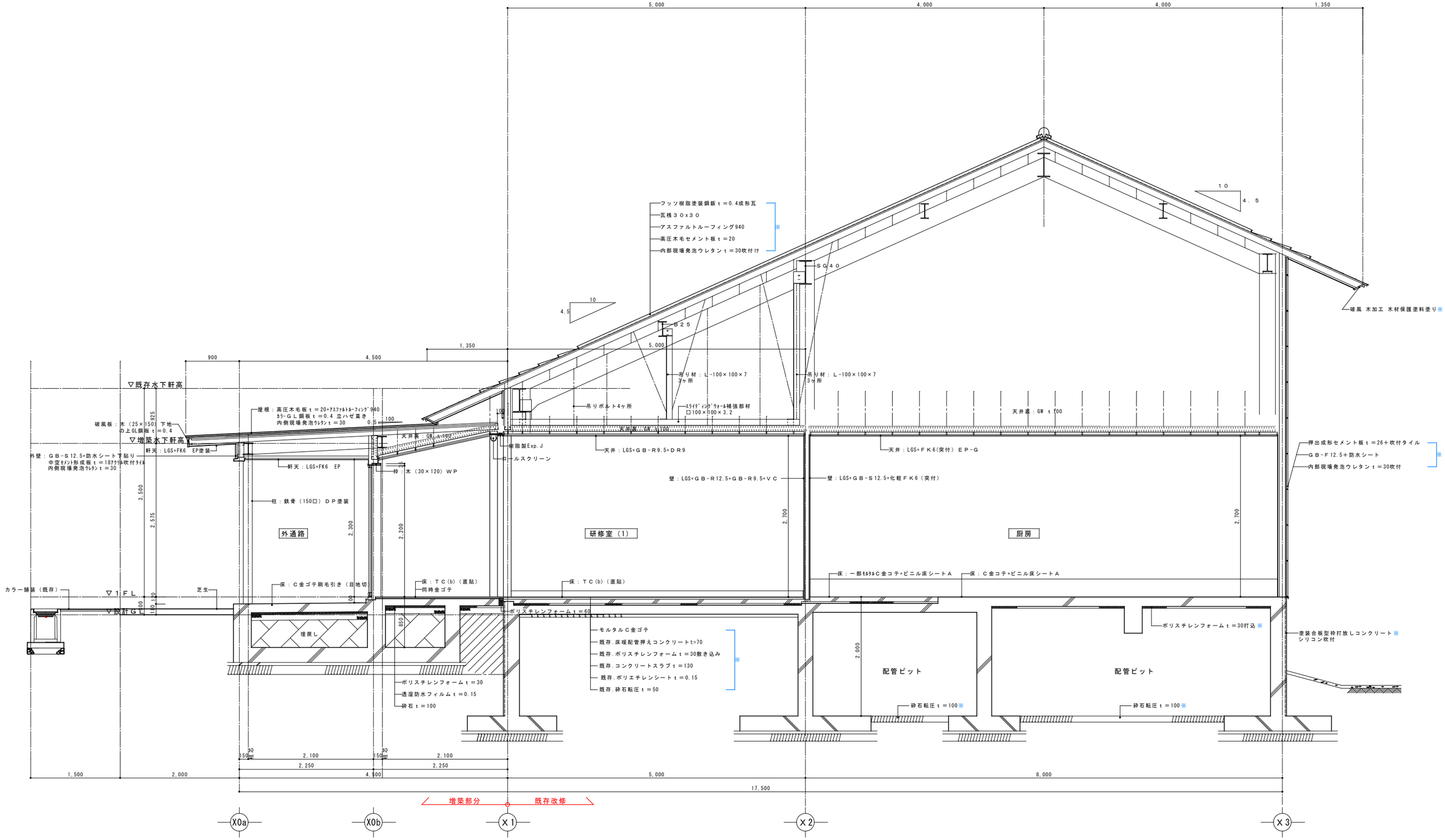


軒天取合立上り 詳細図 1/5

株式会社 城取建築設計事務所 〒396－0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271	一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)M第7Y051号	図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上 勉	凡例 備考	工事名称 令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）	図面名称 矩計図-4（倉庫(6)．プリン工房．事務室） 断面図	SCALE ［A１］１：３０ ［A３］１：６０	年 月 日 R７．９	No． D-１８

CAD FILE No.D-18 矩計図-4（倉庫(6)・プリン工房・事務室）

Print out：25-12-26



※は既存のまま

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録 長野県知事登録（伊那）M第7Y051号
図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上 勉

凡例 備考

工事名称：令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）

図面名称：矩計図-5（研修室.厨房） ＜改修＞

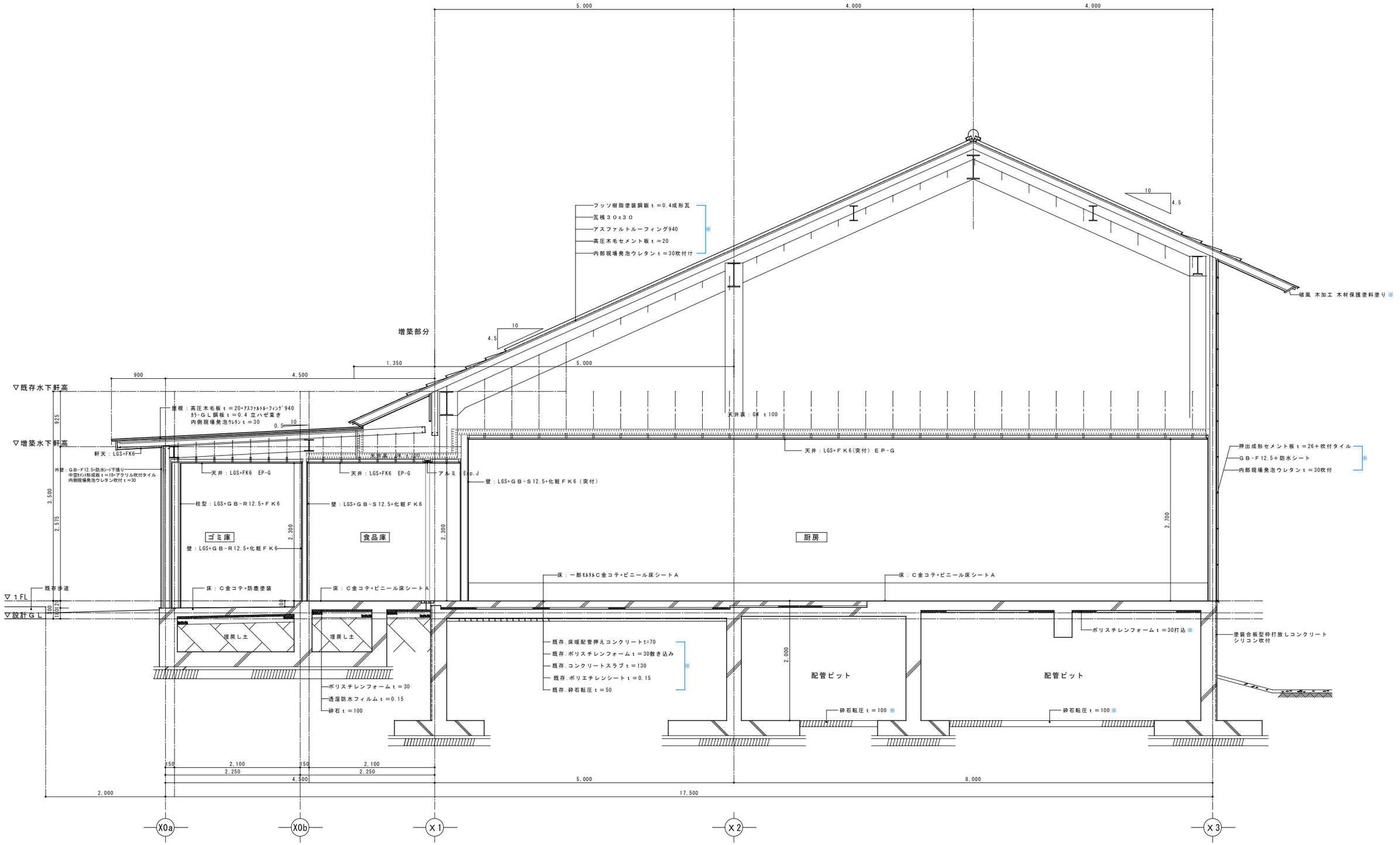
SCALE：[A1] 1：30 [A3] 1：60

年月日：R7.9

No.：D-19

CAD FILE No.D-19 矩計図-5（研修室・厨房）

Print out：25-12-26



※は既存のまま

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)M第7Y051号
図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上 勉

凡例 備考

工事名称 令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）

図面名称 矩計図-６(ゴミ庫.食品庫.厨房) ＜改修＞

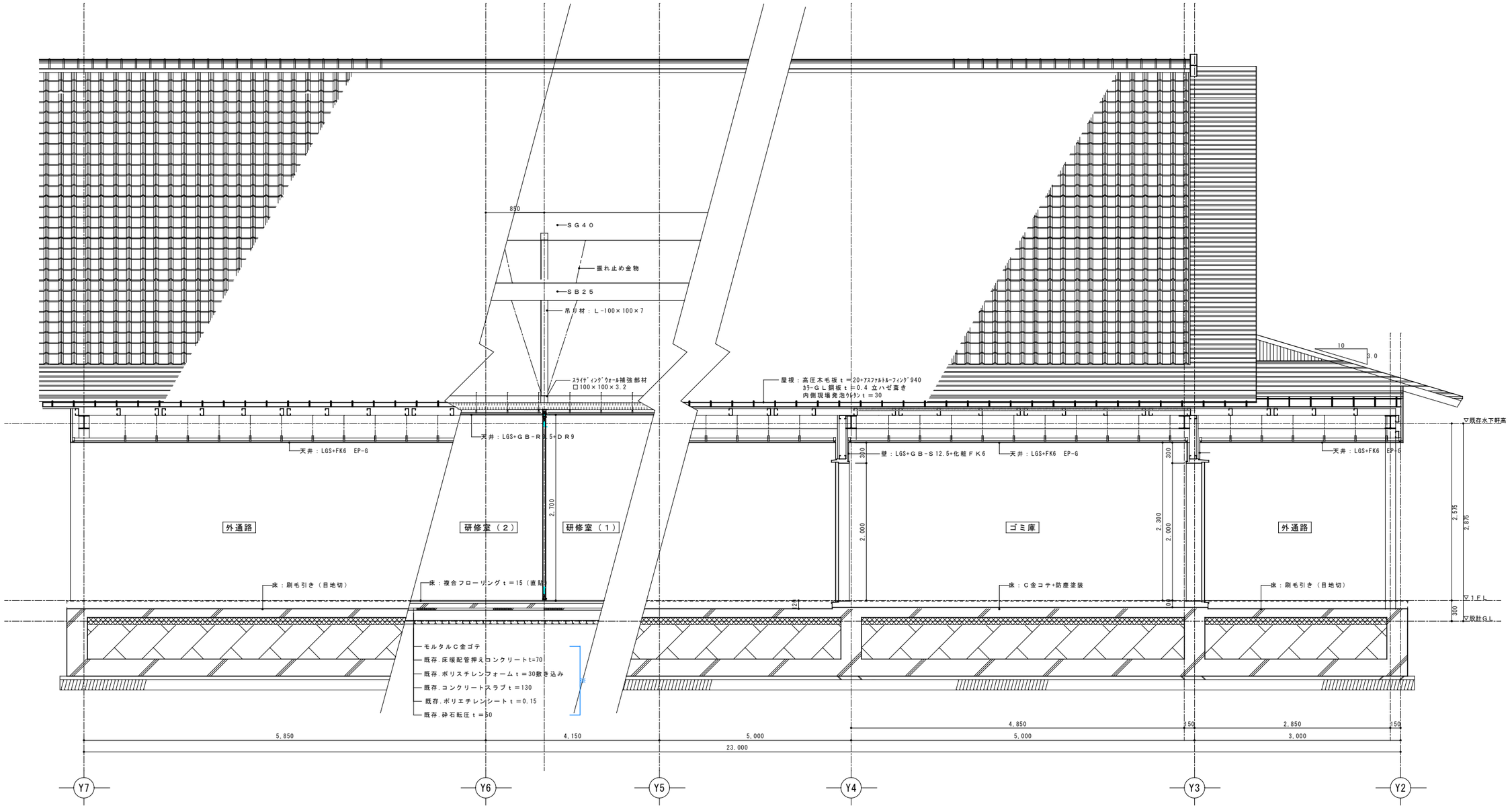
SCALE [Ａ１] １：３０ [Ａ３] １：６０

年 月 日 Ｒ７．９

No. Ｄ-２０

CAD FILE No.D-20 矩計図-6(ゴミ庫・食品庫・厨房)

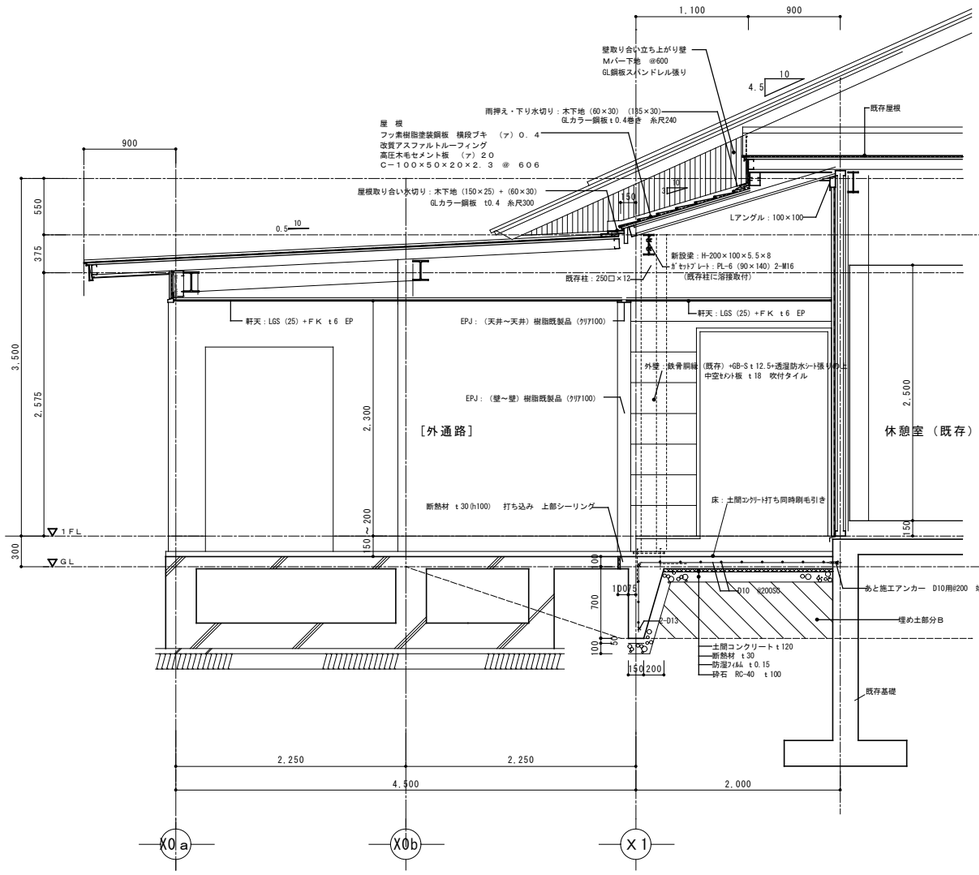
Print out : 25-12-26



株式会社 城取建築設計事務所 〒396－0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271	一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)M第7Y051号	図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上 勉	凡例 備考	工事名称 令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）	図面名称 矩計図-7（外通路.ゴミ庫） ＜改修＞	SCALE [A1] 1：30 [A3] 1：60	年月日 R7.9	No. D-21

CAD FILE No.D-21 矩計図-7（外通路・ゴミ庫）

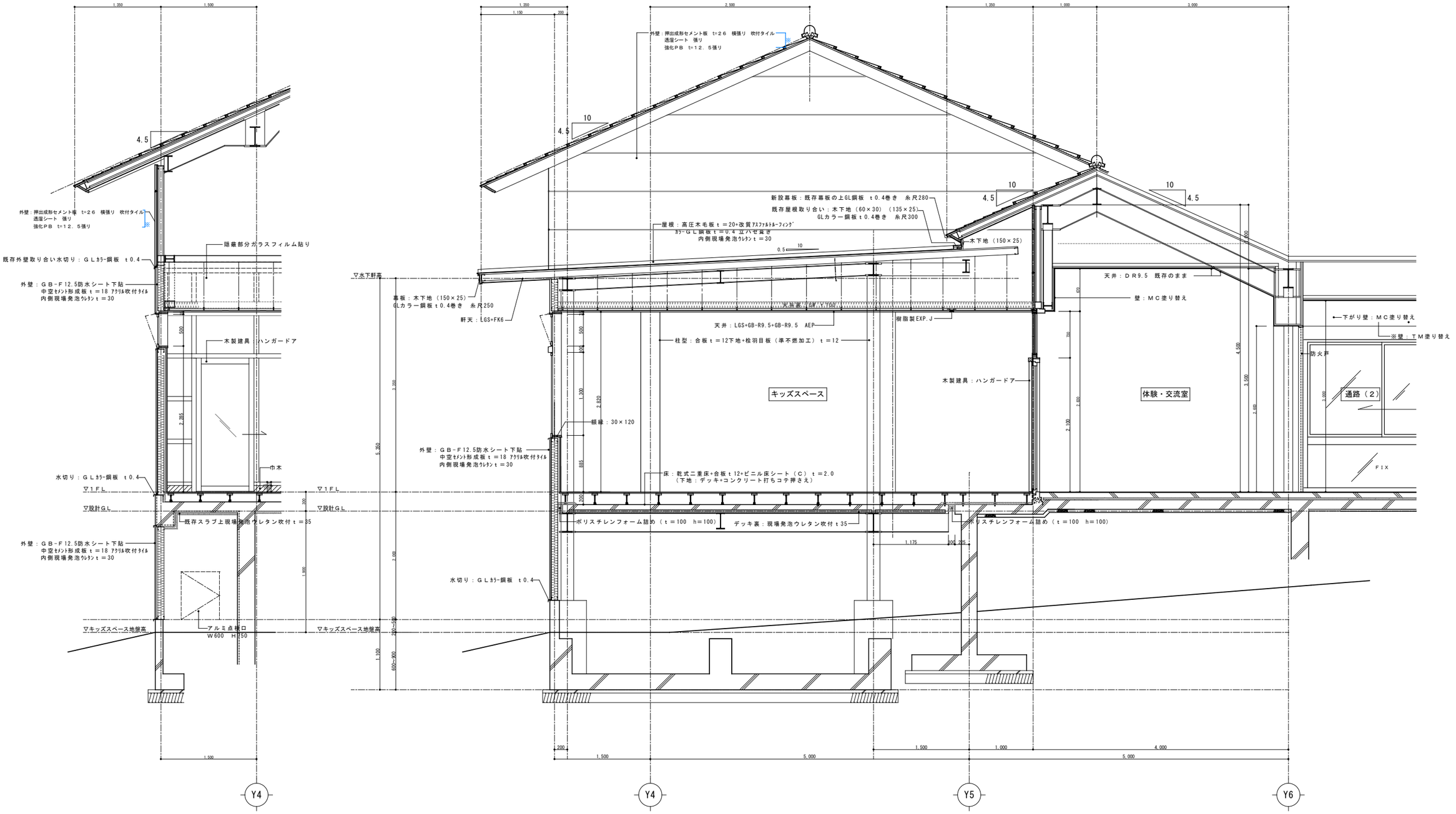
Print out：25-12-26



株式会社 城取建築設計事務所 〒396－0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271	一級建築士事務所登録 長野県知事登録 （伊那）M第7Y051号	図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井 上 勉	凡例 備考	工事名称 令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）	図面名称 矩計図-8（バックヤード） ＜改修＞	SCALE [A1] 1：150 [A3] 1：300	年 月 日 R7.9	No. D-22

CAD FILE No.D-22 矩計図-8（バックヤード）

Print out：25-12-26

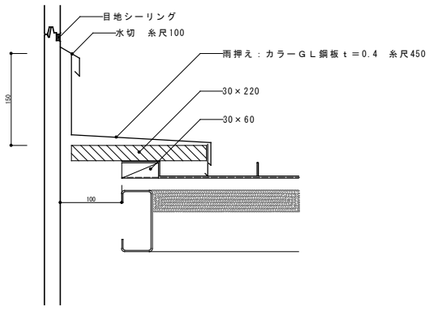


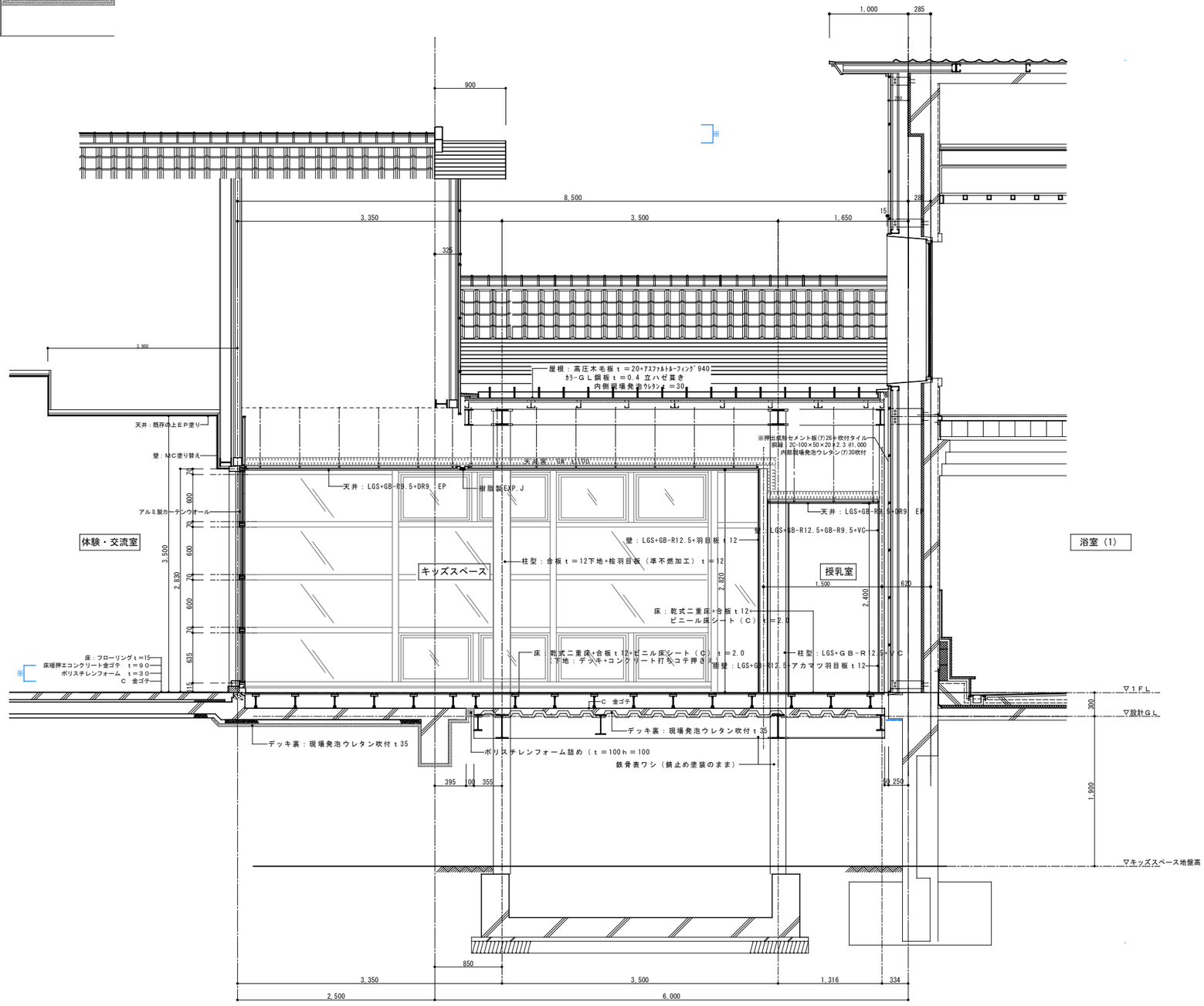
※は既存のまま

株式会社 城取建築設計事務所 〒396－0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271	一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)M第7Y051号	図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上 勉	凡例 備考	工事名称 令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）	図面名称 矩計図-9（キッズスペース） ＜改修＞	SCALE ［A１］１：３０ ［A３］１：６０	年月日 R７．９	No. D-23

CAD FILE No.D-23 矩計図-9（キッズスペース）

Print out：25-12-26





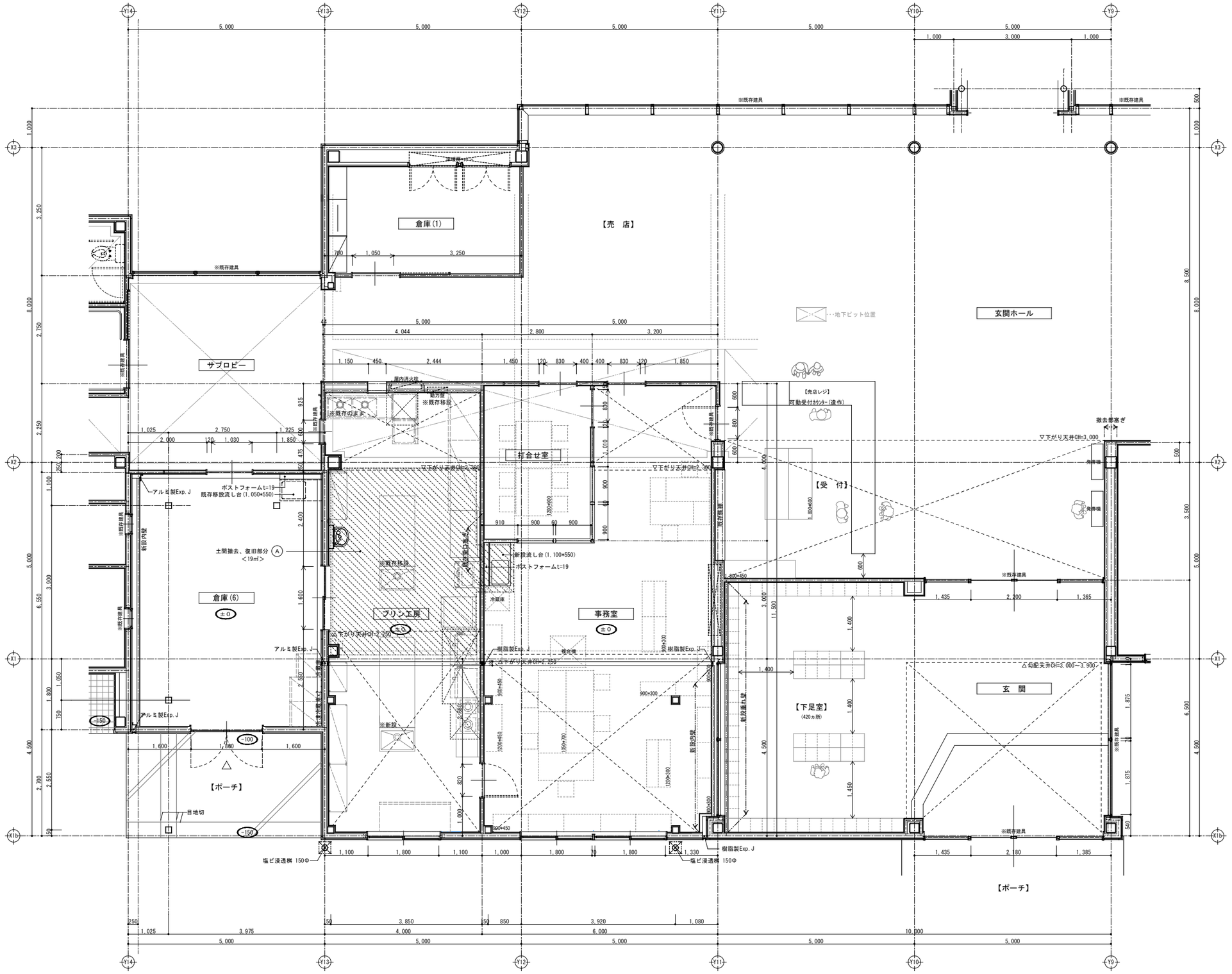
X7　X8

※は既存のまま

株式会社 城取建築設計事務所 〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271	一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)M第7Y051号	図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上　勉	凡例　備考	工事名称 令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）	図面名称 矩計図-１０(キッズスペース) ＜改修＞	SCALE [Ａ１] １：３０ [Ａ３] １：６０	年月日 Ｒ７．９	No. Ｄ－２４

CAD FILE No.D-24 矩計図-１０(キッズスペース)

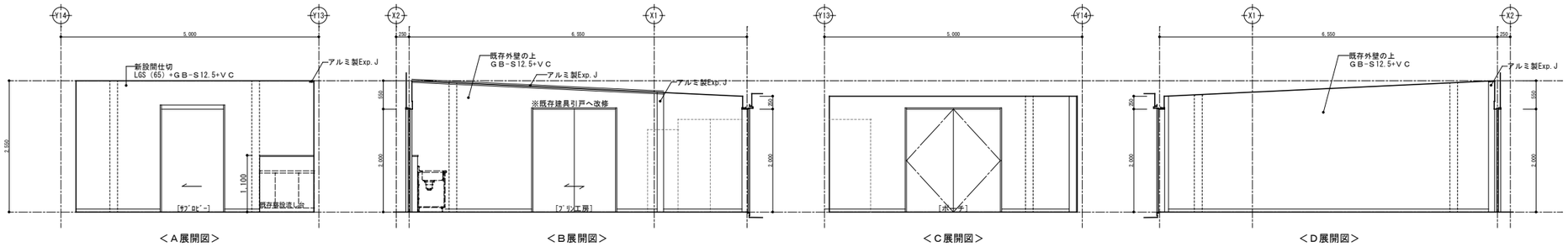
Print out : 25-12-26



株式会社 城取建築設計事務所 〒396−0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271	一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)M第7Y051号	図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上　勉	凡例　備考	工事名称 令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）	図面名称 平面詳細図−１（ﾌﾟﾘﾝ工房．事務室．玄関．ﾛﾋﾞｰ） ＜改修＞	SCALE [A1]　１：５０ [A3]　１：１００	年月日 R7.9	No. D-25

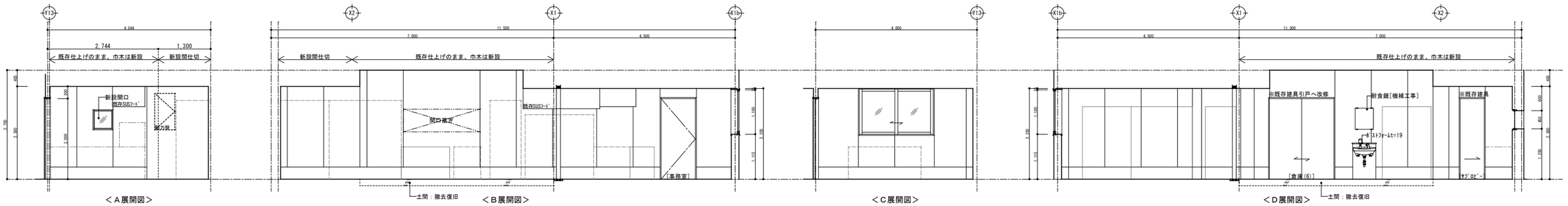
CAD FILE No.D-25 平面詳細図-1（プリン工房・事務室・玄関・ロビー）

Print out : 25-12-26



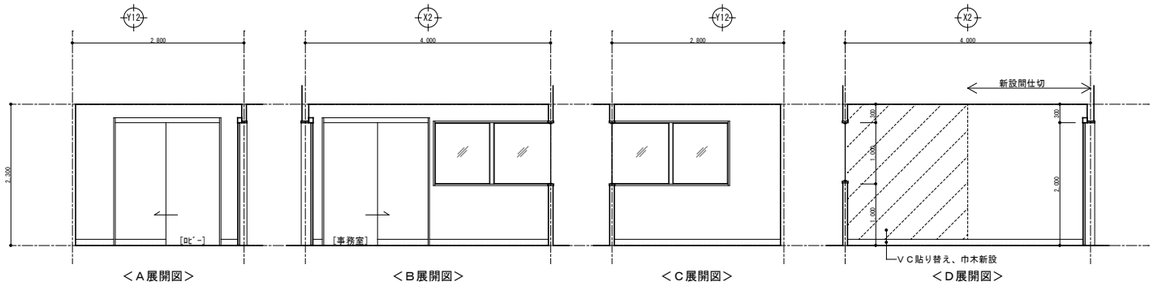
＜Ａ展開図＞　＜Ｂ展開図＞　＜Ｃ展開図＞　＜Ｄ展開図＞

倉庫（6）



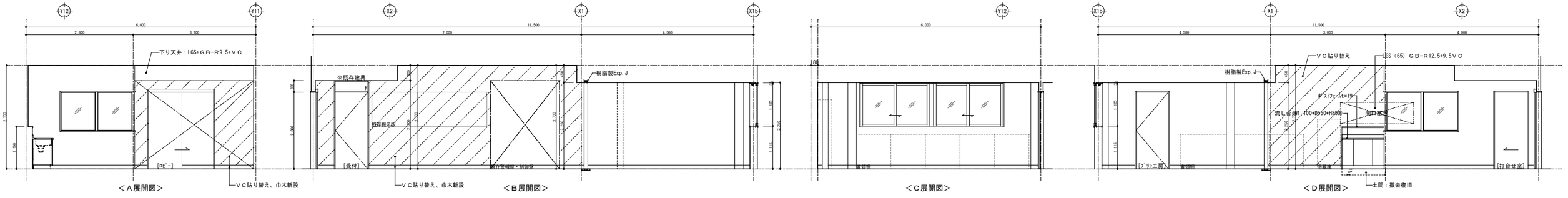
＜Ａ展開図＞　＜Ｂ展開図＞　＜Ｃ展開図＞　＜Ｄ展開図＞

プリン工房



＜Ａ展開図＞　＜Ｂ展開図＞　＜Ｃ展開図＞　＜Ｄ展開図＞

打合せ室



＜Ａ展開図＞　＜Ｂ展開図＞　＜Ｃ展開図＞　＜Ｄ展開図＞

事務室

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271

一級建築士事務所登録
長野県知事登録
（伊那）M第7Y051号

図面を作成した建築士
一級建築士 大臣登録第177957号
井上　勉

凡例　備考

工事名称
令和８年度 ふれあい交流センター
大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）

図面名称
展開図-1（ﾌﾟﾘﾝ工房.事務室.倉庫(6)）
＜改修＞

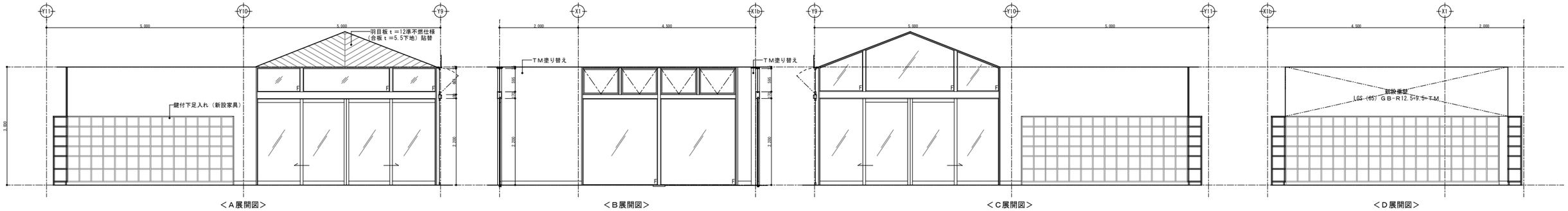
SCALE
[A1]　1：50
[A3]　1：100

年月日
R7.9

No.
D-26

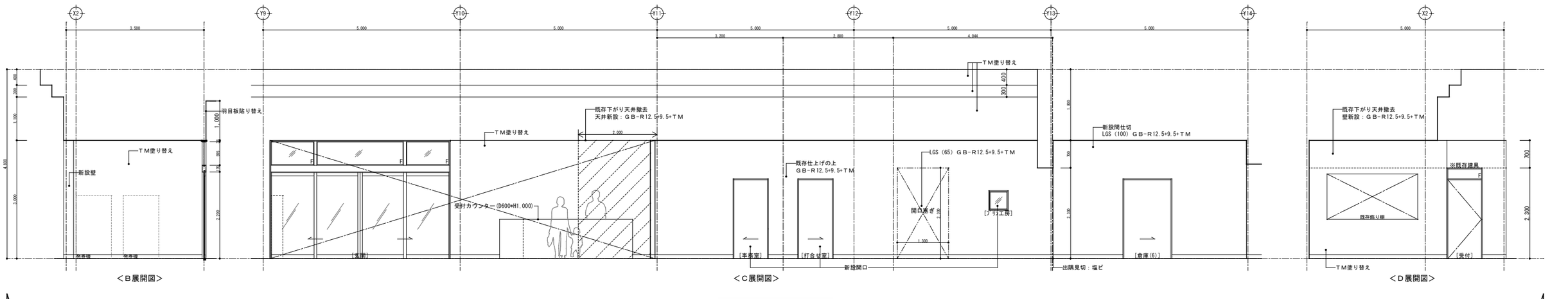
CAD FILE No.D-26 展開図-1（プリン工房・事務室・倉庫(6)）

Print out：25-12-26



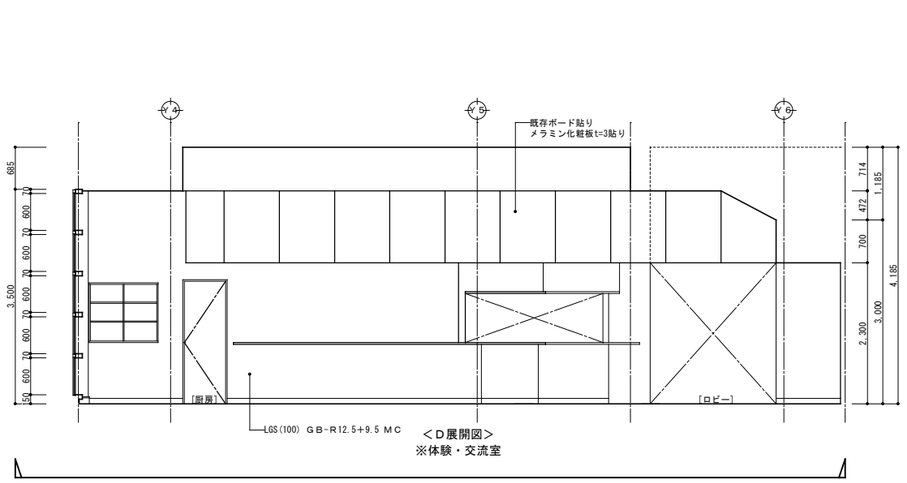
＜Ａ展開図＞　＜Ｂ展開図＞　＜Ｃ展開図＞　＜Ｄ展開図＞

玄　関

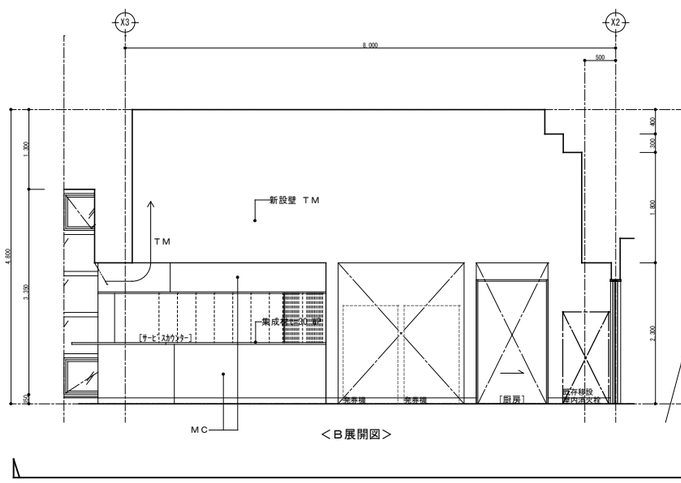


＜Ｂ展開図＞　＜Ｃ展開図＞　＜Ｄ展開図＞

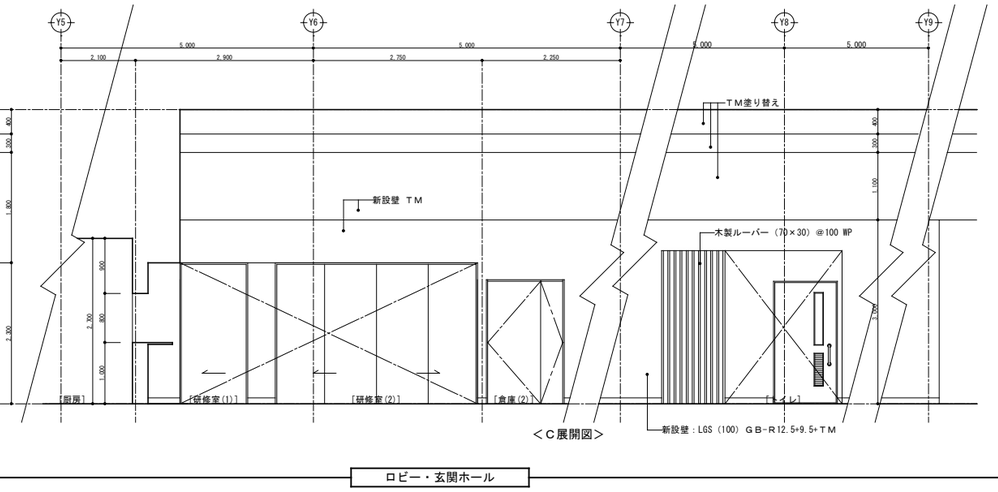
受付・玄関ホール



＜Ｄ展開図＞
※体験・交流室



＜Ｂ展開図＞

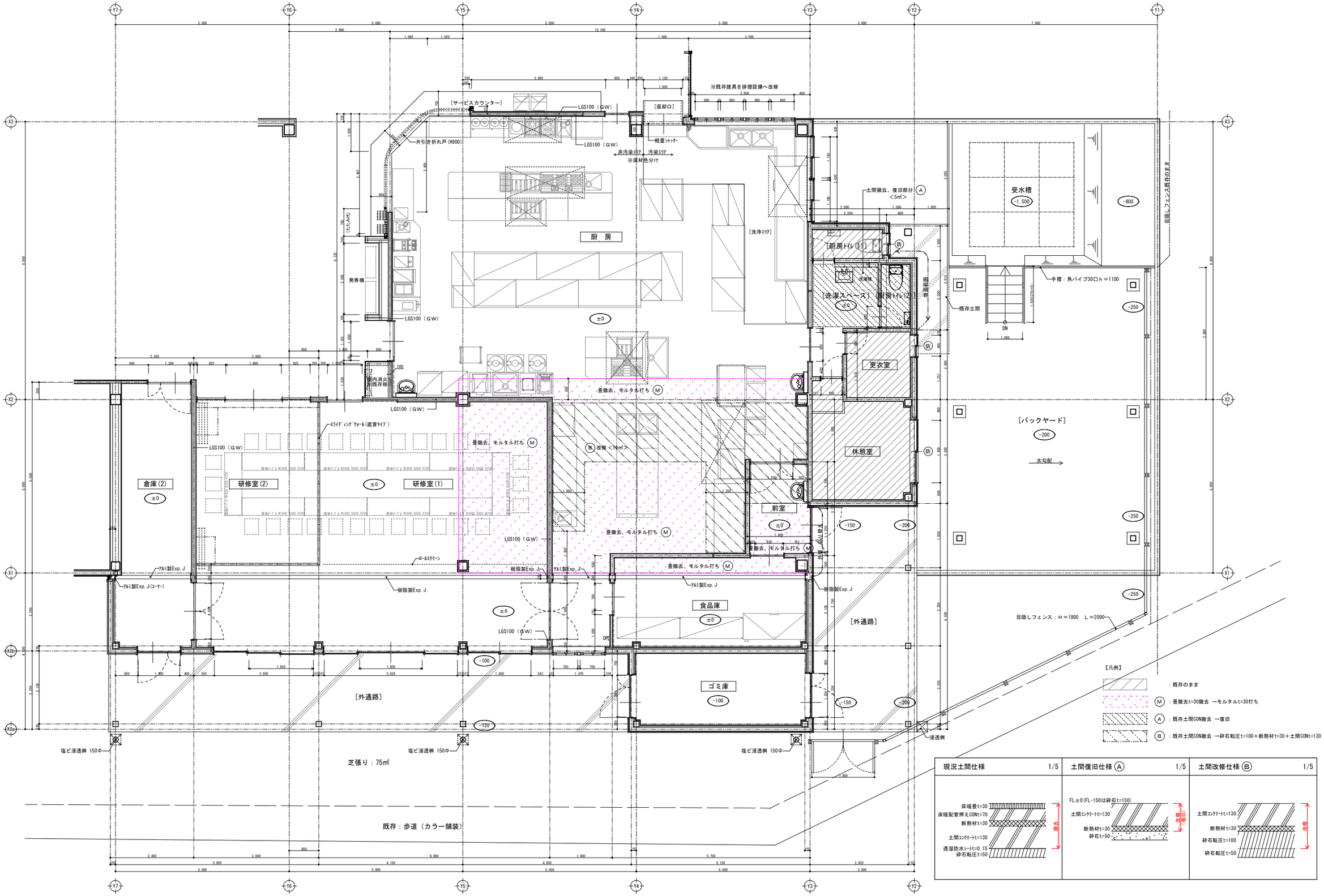


＜Ｃ展開図＞

ロビー・玄関ホール

株式会社 城取建築設計事務所 〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271	一級建築士事務所登録 長野県知事登録 （伊那）M第7Y051号	図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上　勉	凡例　備考	工事名称 令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）	図面名称 展開図-２（玄関．受付．ﾛﾋﾞｰ） ＜改修＞	SCALE [A1]　１：５０ [A3]　１：１００	年 月 日 R7．9	No. D-27

CAD FILE No.D-27 展開図-２（玄関・受付・ロビー）　Print out：25-12-26



【凡例】

- ：既存のまま
- Ⓜ：畳撤去t=30撤去 →モルタルt=30打ち
- Ⓐ：既存土間CON撤去 →復旧
- Ⓑ：既存土間CON撤去 →砕石転圧t=100＋断熱材t=30＋土間CONt=130

現況土間仕様 1/5	土間復旧仕様 Ⓐ 1/5	土間改修仕様 Ⓑ 1/5
床暖フローリングt=30 床暖配管押えCONt=70 断熱材t=30 土間コンクリートt=130 透湿防水シートt=0.15 砕石転圧t=50 撤去	FL±0（FL-150は砕石t=150） 土間コンクリートt=130 断熱材t=30 砕石t=50 改修（復旧）	土間コンクリートt=130 断熱材t=30 砕石転圧t=100 砕石転圧t=50 改修

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録 長野県知事登録（伊那）M第7Y051号
図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上 勉

凡例 備考

工事名称：令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）

図面名称：平面詳細図－2（研修室.厨房） ＜改修＞

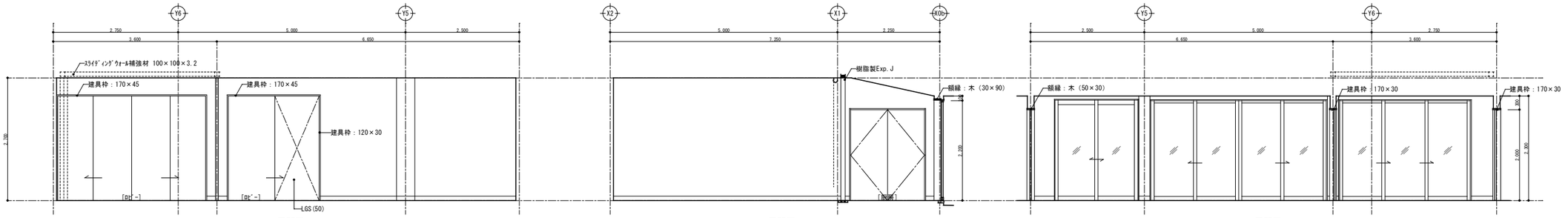
SCALE：［A1］ 1：50 ［A3］ 1：100

年月日：R7.9

No.：D-28

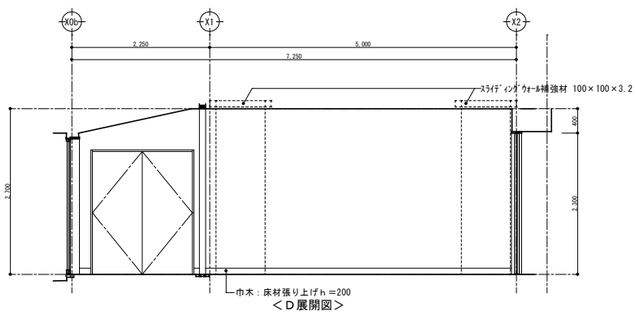
CAD FILE No.D-28 平面詳細図-2（研修室・厨房）

Print out：25-12-26

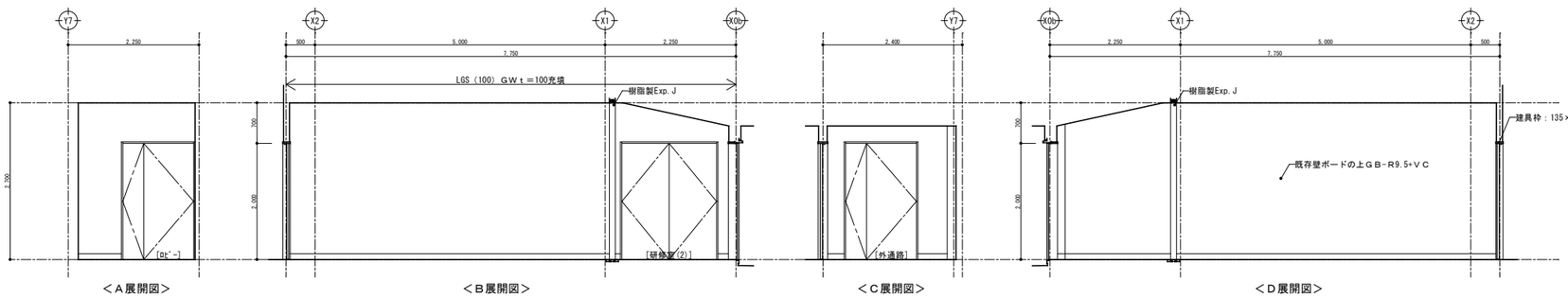


※建具、枠、額縁は木WP

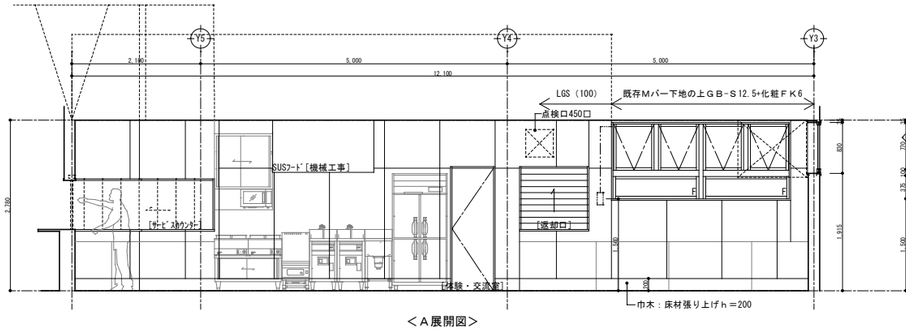
研修室(1)(2)



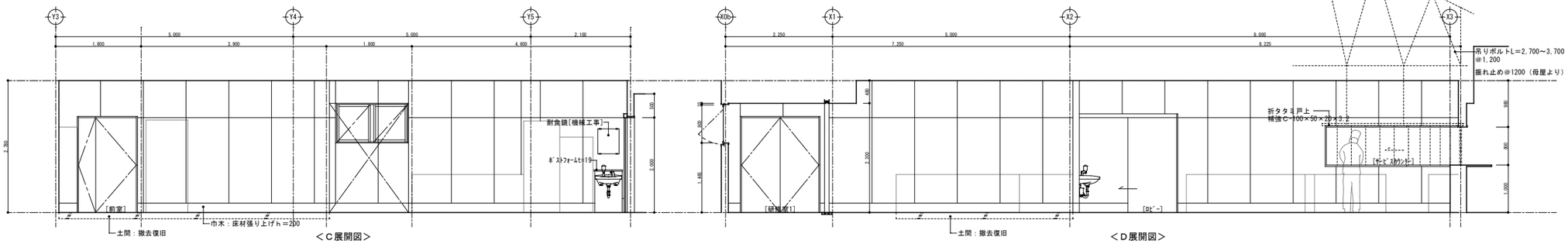
研修室(1)(2)



倉庫(2)



厨　房

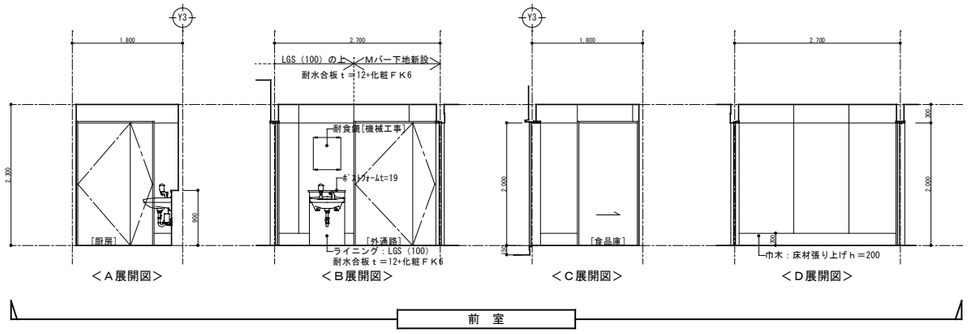


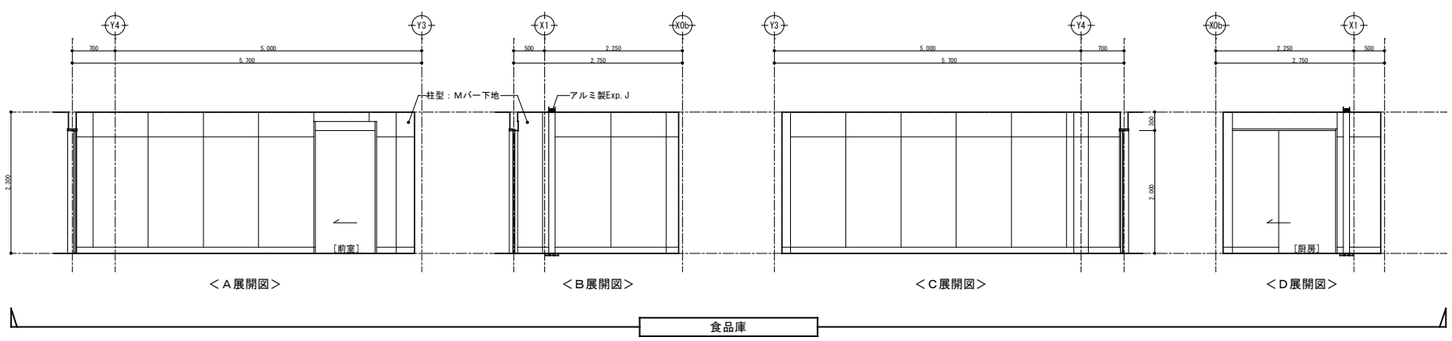
厨　房

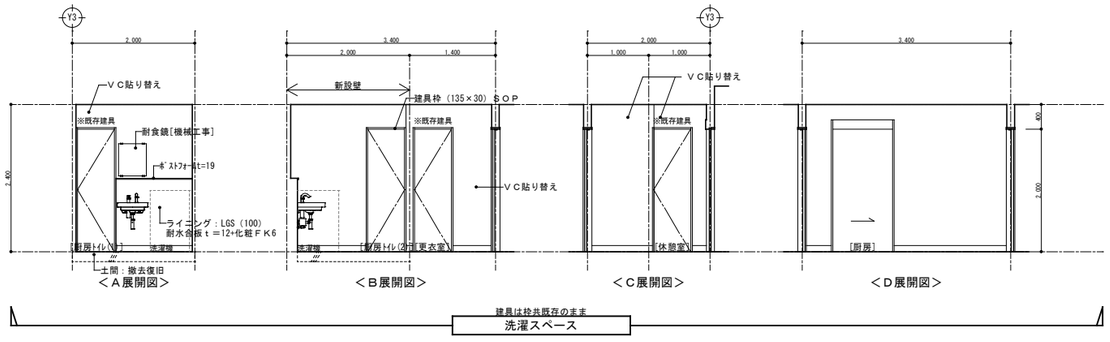
株式会社 城取建築設計事務所 〒396－0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271	一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)M第7Y051号	図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177857号 井上 勉	凡例 備考	工事名称 令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）	図面名称 展開図-3（研修室.厨房） ＜改修＞	SCALE [A1] 1：50 [A3] 1：100	年月日 R7.9	No. D-29

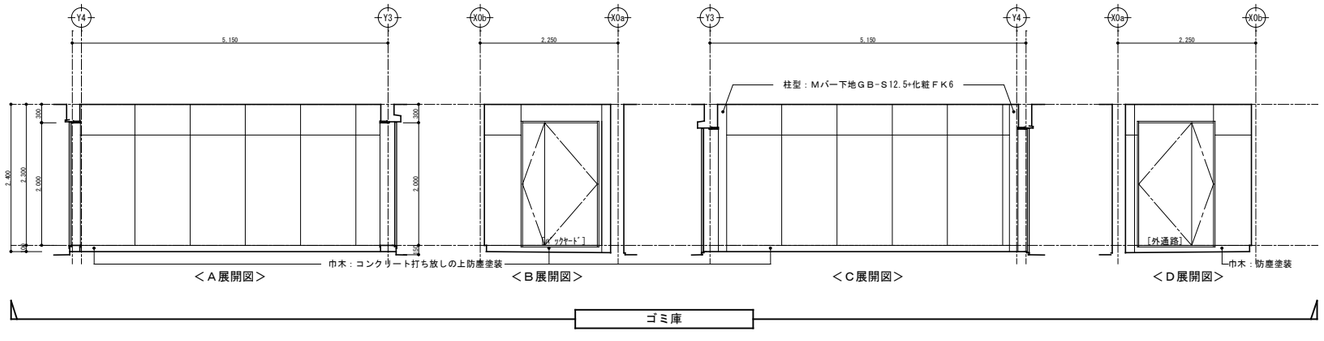
CAD FILE No.D-29 展開図-3（研修室・厨房）

Print out：25-12-26









株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録　長野県知事登録（伊那）M第7Y051号
図面を作成した建築士　一級建築士 大臣登録第177957号　井上　勉

凡例　備考

工事名称：令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）

図面名称：展開図-４（食品庫，ゴミ庫，洗濯スペース）＜改修＞

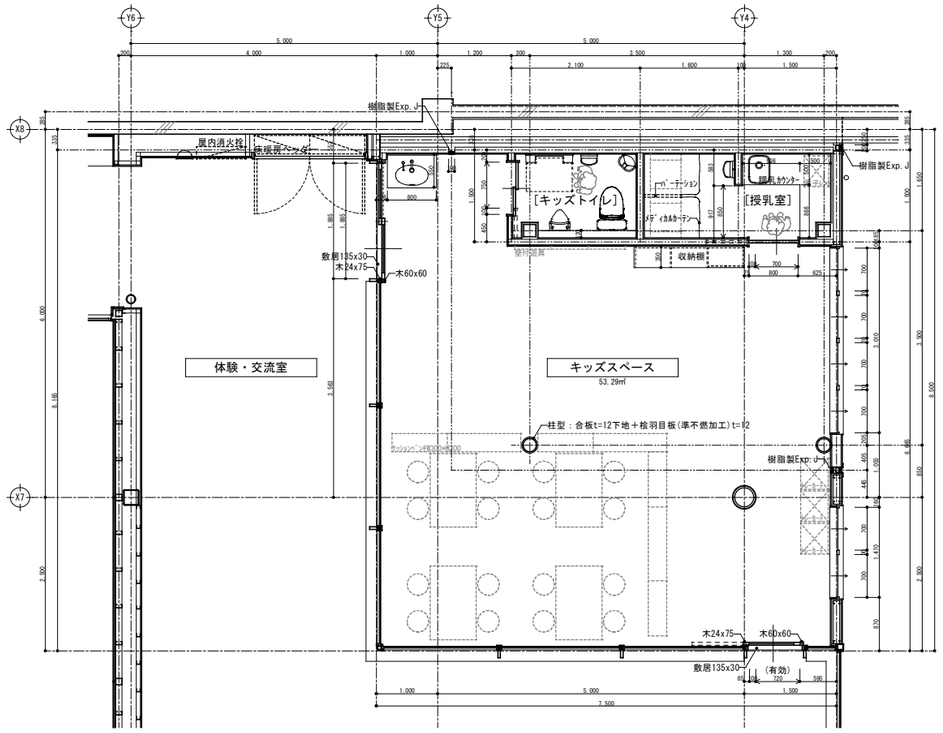
SCALE：[A1] １：５０　[A3] １：１００

年月日：R７．９

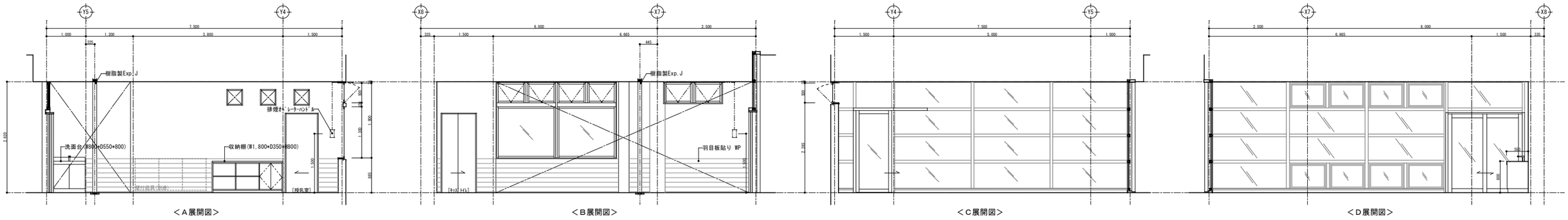
No.：D-３０

CAD FILE No. D-30 展開図-４（食品庫・ゴミ庫・洗濯スペース）

Print out：25-12-26

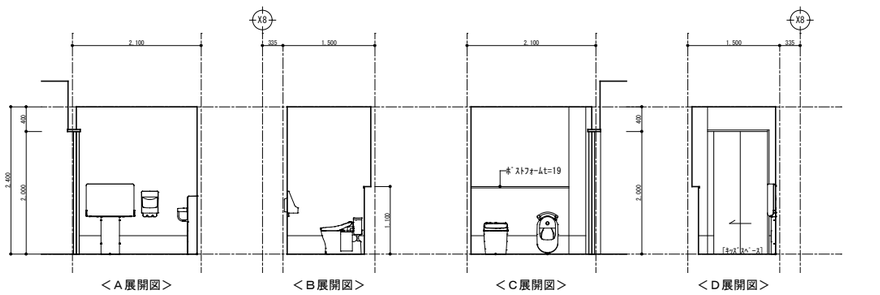


【平面詳細図 1/50】



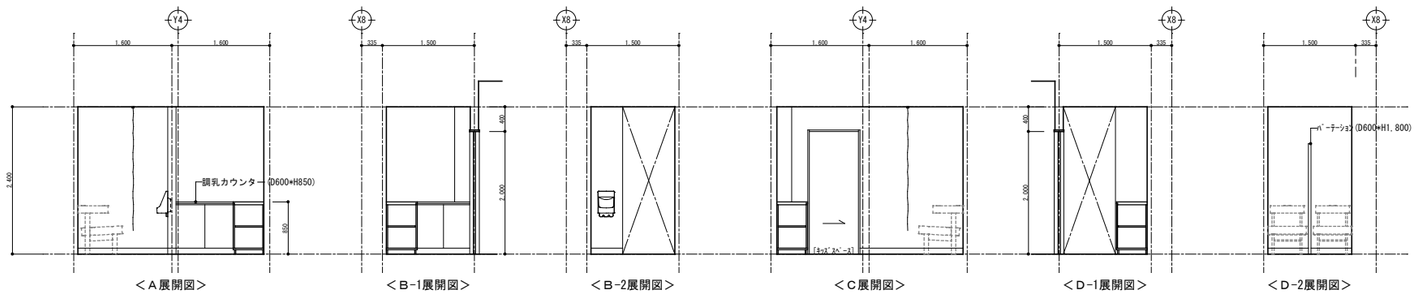
＜A展開図＞　＜B展開図＞　＜C展開図＞　＜D展開図＞

キッズスペース



＜A展開図＞　＜B展開図＞　＜C展開図＞　＜D展開図＞

キッズトイレ



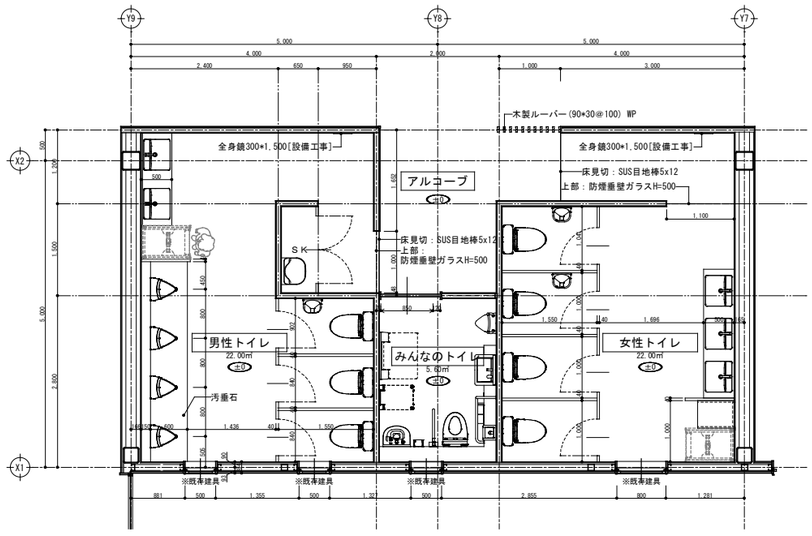
＜A展開図＞　＜B-1展開図＞　＜B-2展開図＞　＜C展開図＞　＜D-1展開図＞　＜D-2展開図＞

授乳室

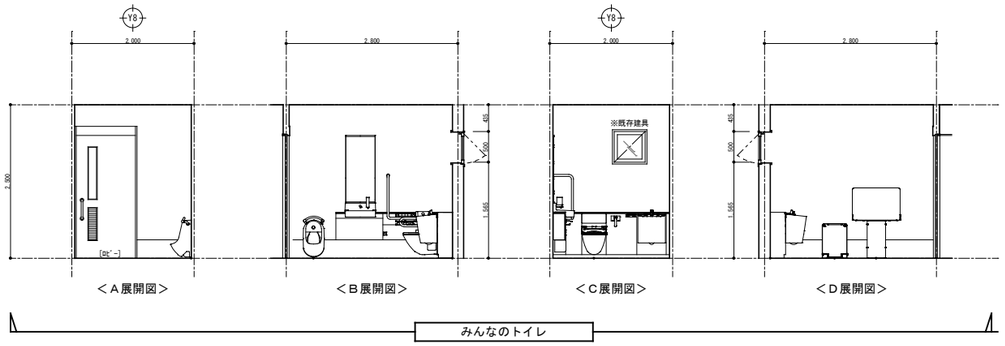
株式会社 城取建築設計事務所 〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271	一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)M第7Y051号	図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上　勉	凡例　備考	工事名称 令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）	図面名称 平面詳細図-3・展開図-5（キッズスペース） ＜改修＞	SCALE [A1]　1：50 [A3]　1：100	年月日 R7.9	No. D-31

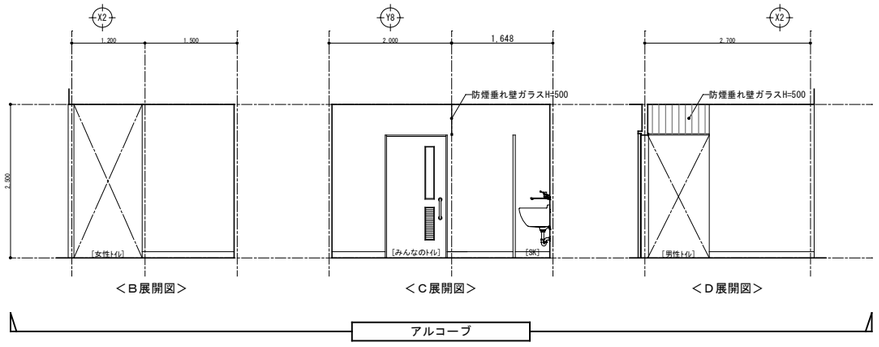
CAD FILE No.D-31 平面詳細図-3・展開図-5（キッズスペース）

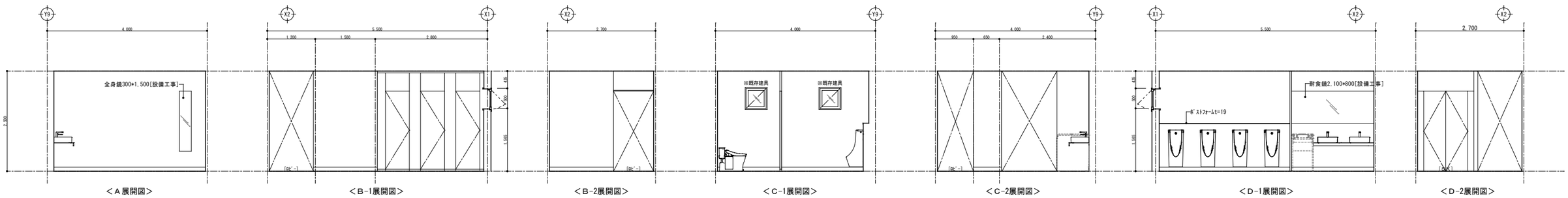
Print out : 25-12-26

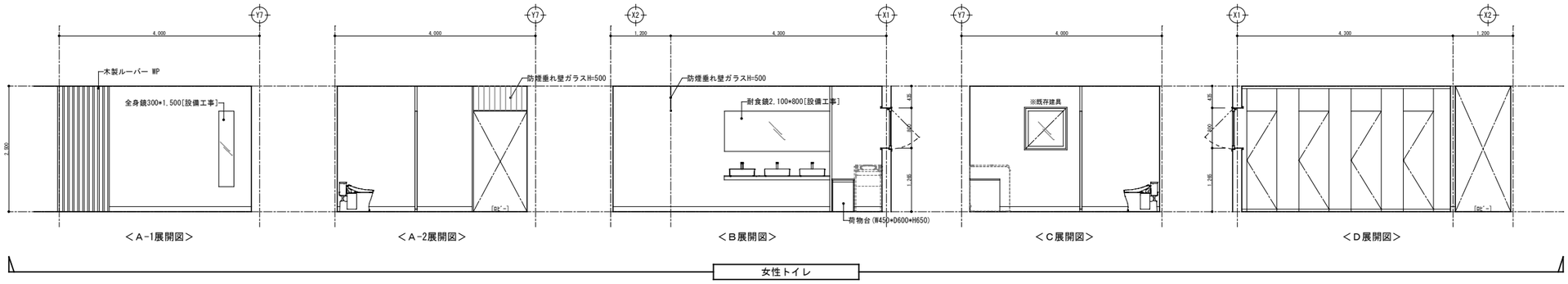


【平面詳細図 1/50】









株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)M第7Y051号
図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上 勉

凡例 備考

工事名称：令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）

図面名称：平面詳細図-４・展開図-６（トイレ） ＜改修＞

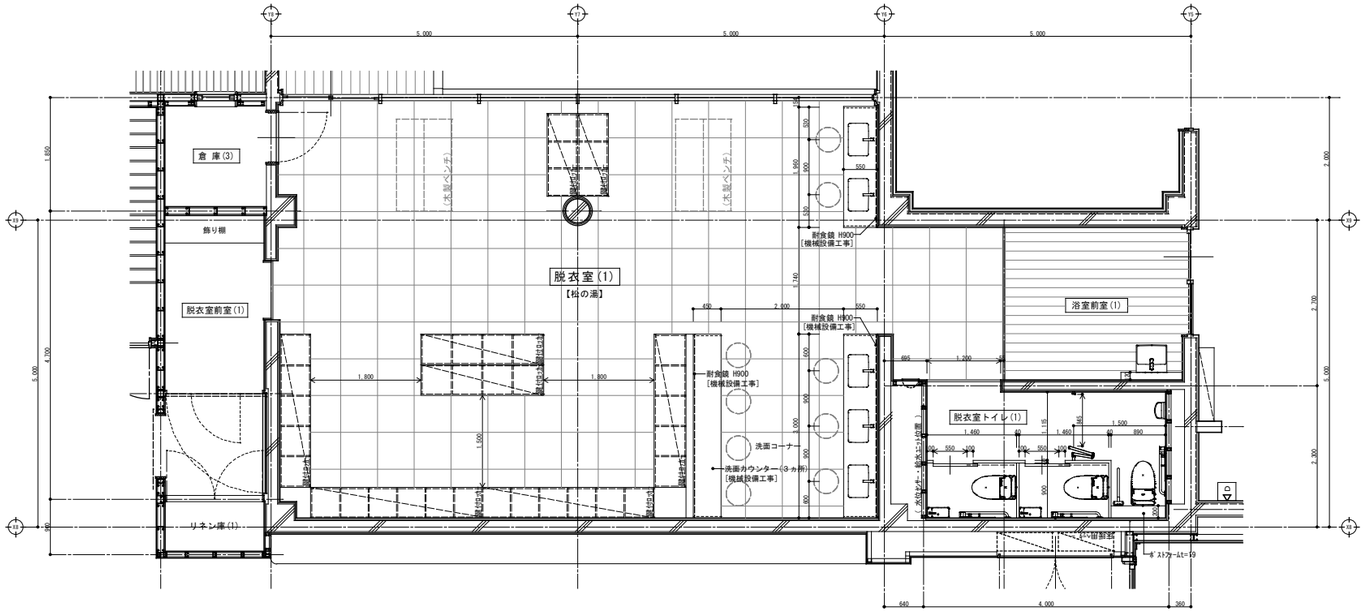
SCALE：[A1] １：５０ [A3] １：１００

年月日：Ｒ７.９

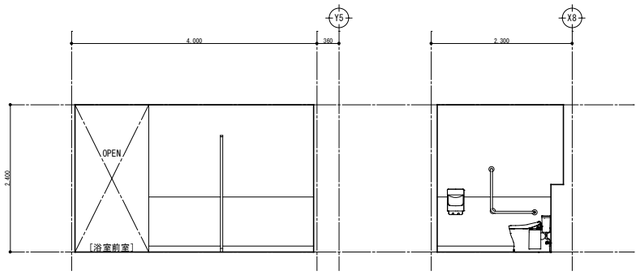
No.：Ｄ-３２

CAD FILE No.D-32 平面詳細図-４・展開図-６（トイレ）

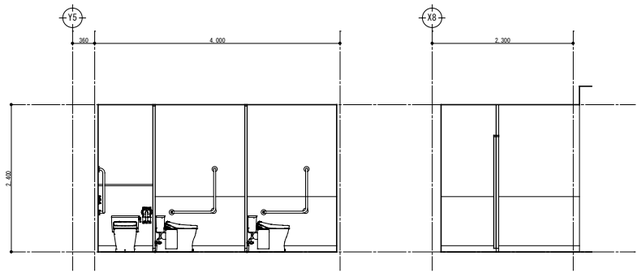
Print out : 25-12-26



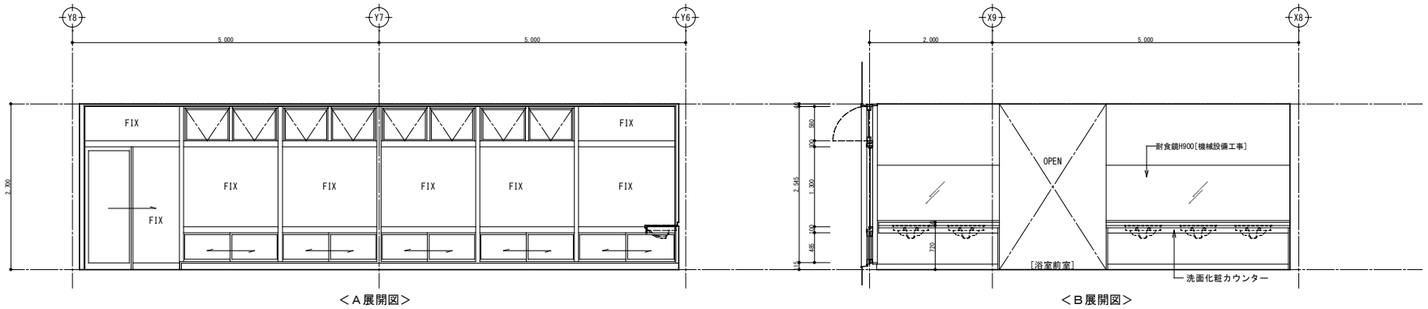
【平面詳細図 1/50】



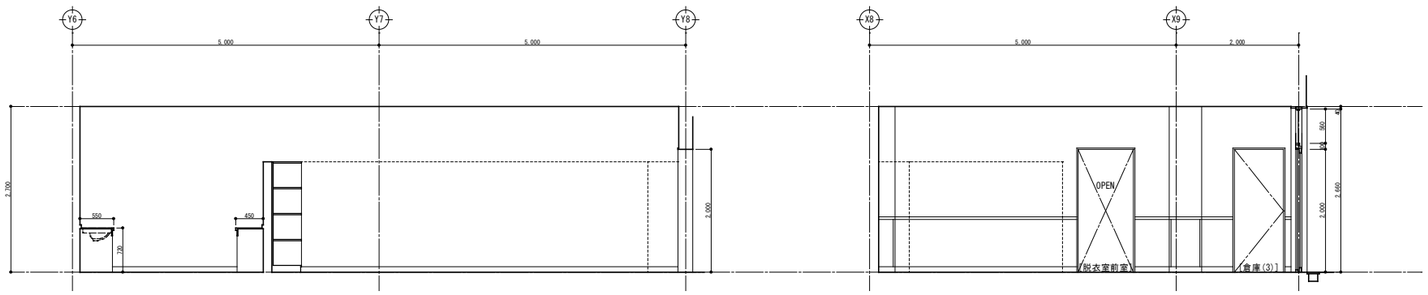
脱衣室トイレ(1)【松の湯】



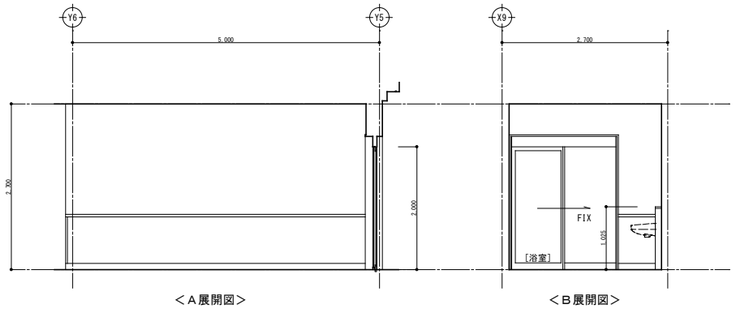
脱衣室トイレ(1)【松の湯】



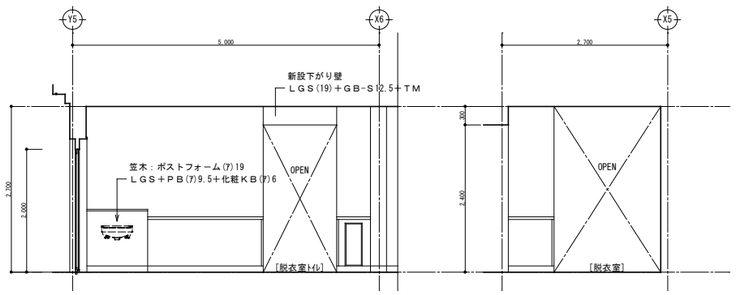
脱衣室(1)【松の湯】



脱衣室(1)【松の湯】



浴室前室(1)【松の湯】



浴室前室(1)【松の湯】

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録 長野県知事登録（伊那）M第7Y051号
図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上 勉

凡例 備考

工事名称 令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）

図面名称 平面詳細図-5・展開図-7（脱衣室(1)【松の湯】）＜改修＞

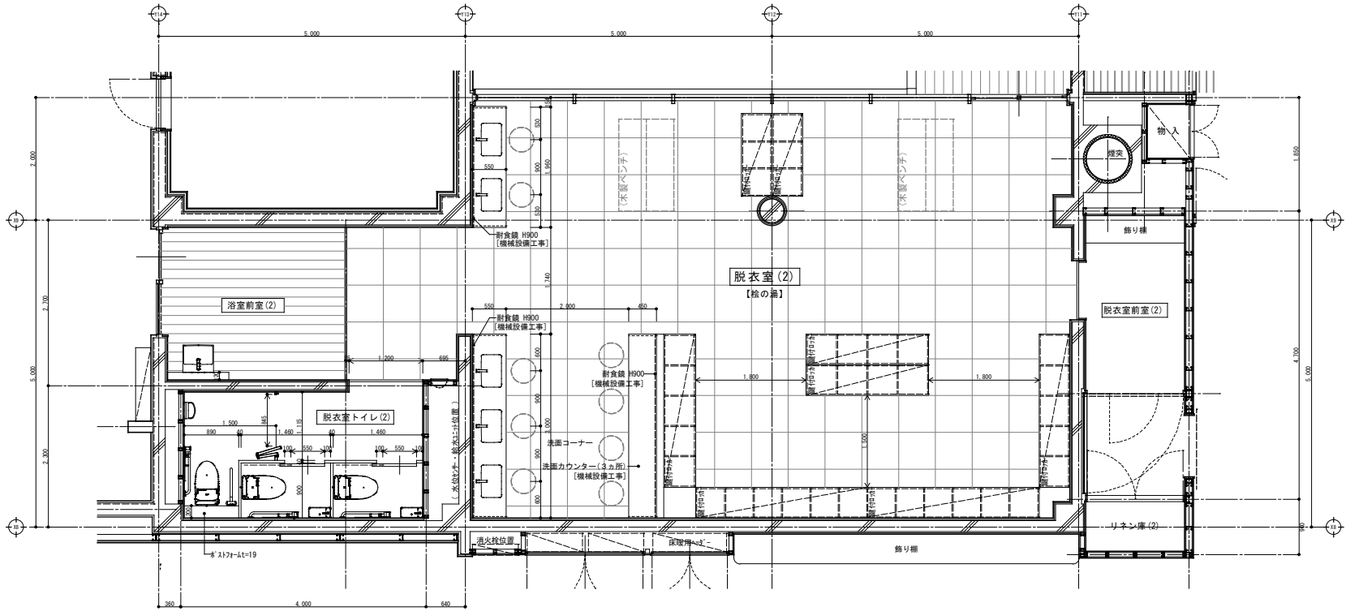
SCALE [A1] 1：50 [A3] 1：100

年月日 R7.9

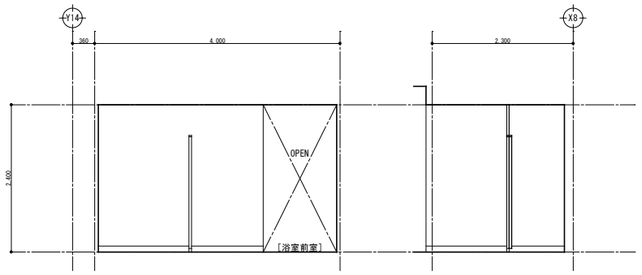
No. D-33

CAD FILE No.D-33 平面詳細図-5・展開図-7（脱衣室(1)【松の湯】）

Print out : 25-12-26

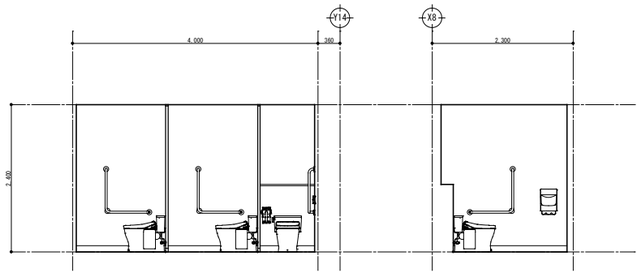


【平面詳細図 1/50】



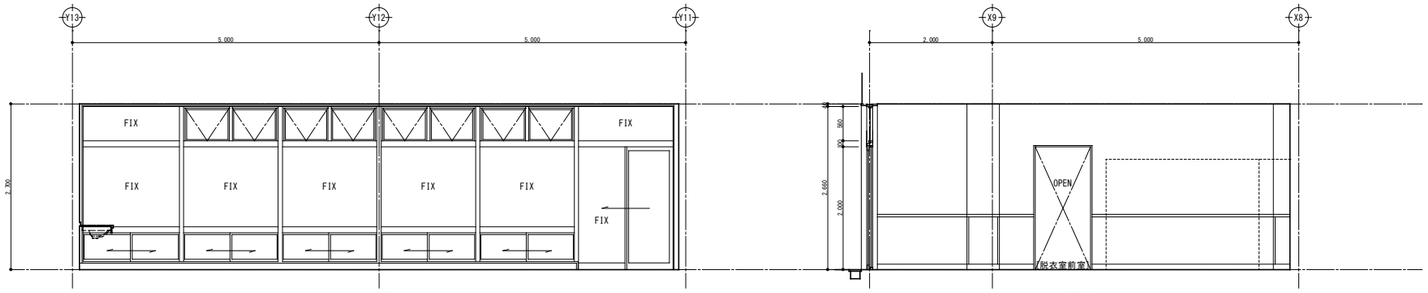
＜A展開図＞　＜B展開図＞

脱衣室トイレ(2)【桧の湯】



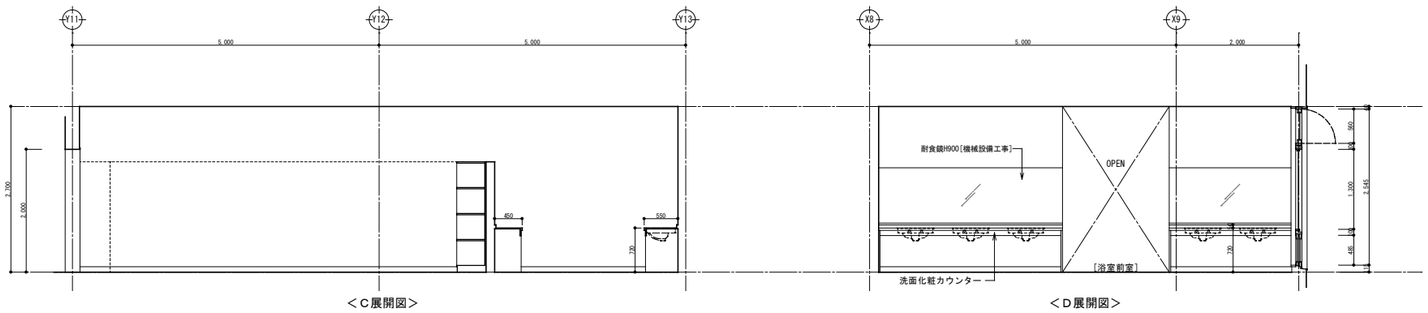
＜C展開図＞　＜D展開図＞

脱衣室トイレ(2)【桧の湯】



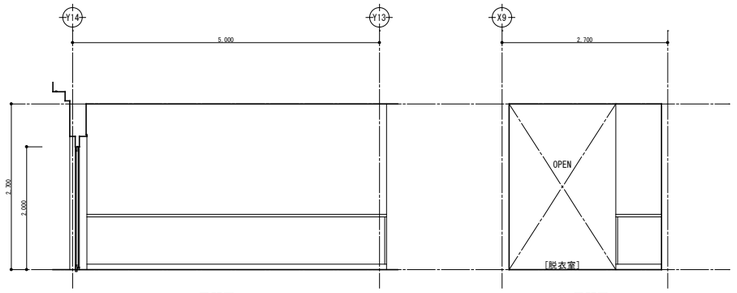
＜A展開図＞　＜B展開図＞

脱衣室(2)【桧の湯】



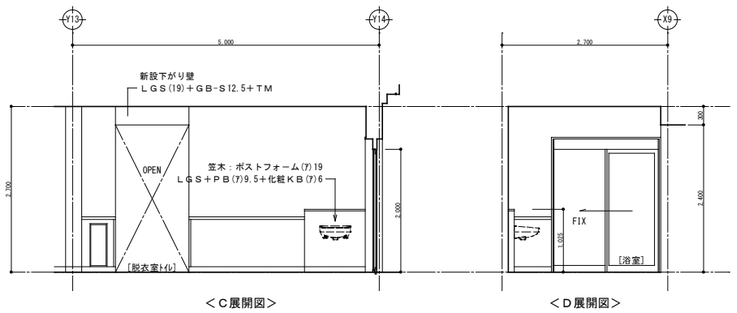
＜C展開図＞　＜D展開図＞

脱衣室(2)【桧の湯】



＜A展開図＞　＜B展開図＞

浴室前室(2)【桧の湯】



＜C展開図＞　＜D展開図＞

浴室前室(2)【桧の湯】

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録　長野県知事登録（伊那）M第7Y051号
図面を作成した建築士　一級建築士 大臣登録第177957号　井上　勉

凡例　備考

工事名称　令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）

図面名称　平面詳細図-6・展開図-8（脱衣室(2)【桧の湯】）　＜改修＞

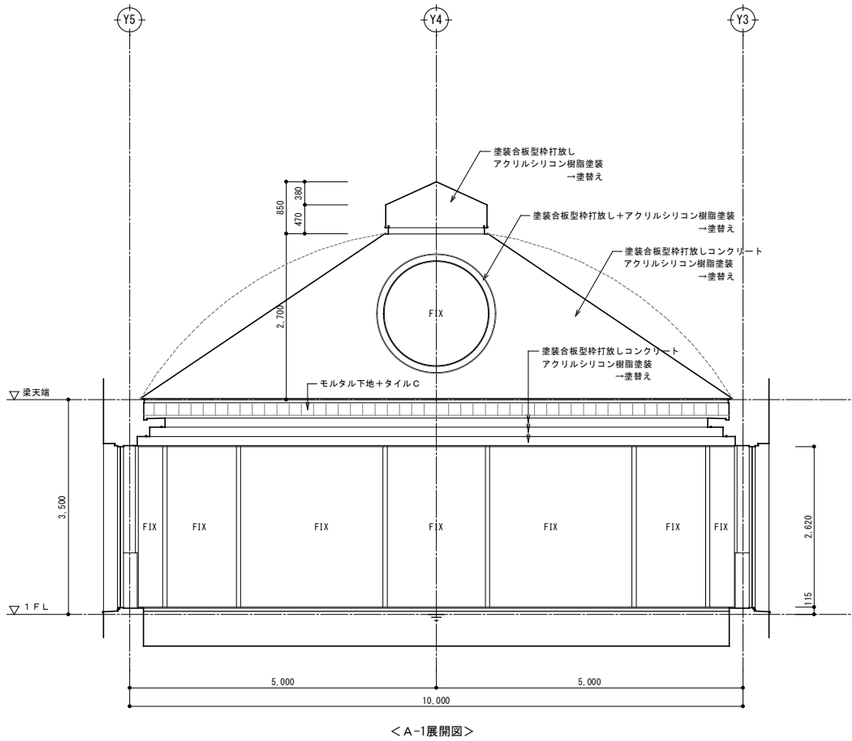
SCALE　[A1] 1：50　[A3] 1：100

年月日　R7.9

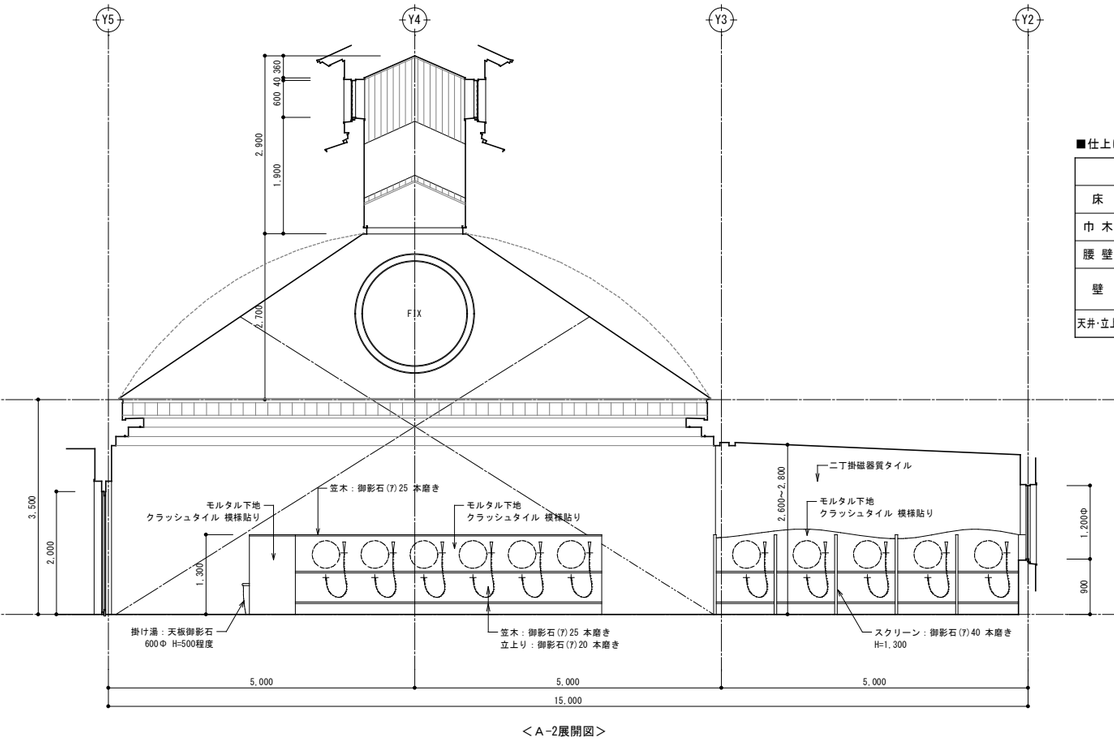
No.　D-34

CAD FILE No.D-34 平面詳細図-6・展開図-8（脱衣室(2)【桧の湯】）

Print out：25-12-26



＜A-1展開図＞

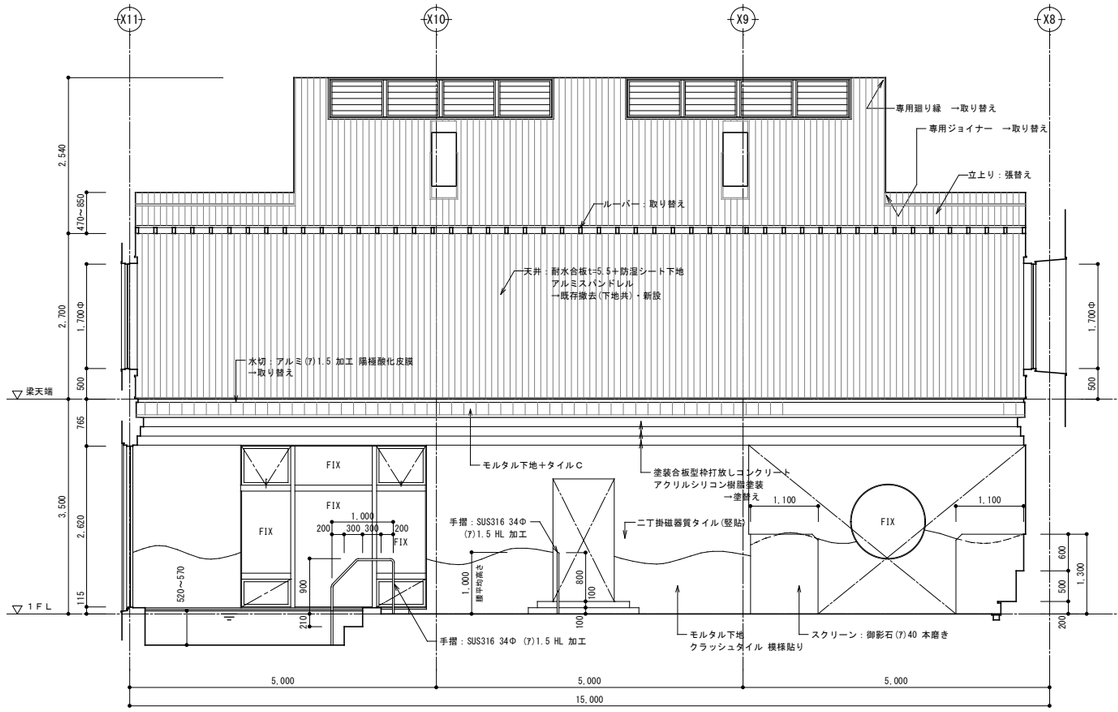


＜A-2展開図＞

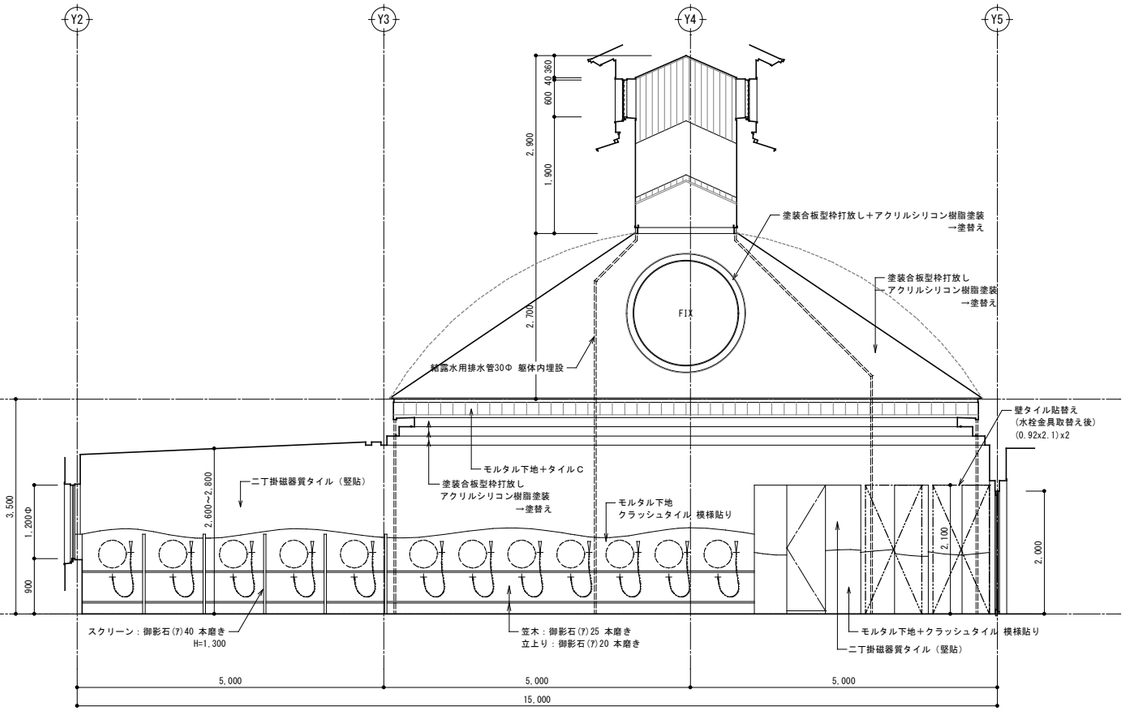
■仕上げ

浴室（１）【松の湯】	
床	モルタル下地＋タイルA 円形貼り →貼替え 浴槽内部：モルタル下地+タイル（B）
巾 木	浴槽笠木：出入口部 御影石 300×100 本磨き その他の部分 御影石(ｱ)25 本磨き 水風呂・その他立上り部笠木：御影石(ｱ)25 本磨き →クリーニング・研磨
腰 壁	モルタル下地＋クラッシュタイル 模様貼り 平均 H=1000（一般部）平均 H=1300（洗い場） →クリーニング・一部貼替え
壁	二丁掛磁器質タイル（竪貼） ボーダー上部：モルタル下地＋タイルC →クリーニング・一部貼替え 浴槽内部：モルタル下地+タイル（B）
天井･立上	ステンレス製天井下地＋耐水合板(ｱ)5.5＋防湿シート下地＋アルミスパンドレル H=9.5 ルーバー：アルミ押出材加工 陽極酸化皮膜 →既存撤去・新設

浴室(1)【松の湯】



＜B展開図＞



＜C展開図＞

浴室(1)【松の湯】

※特記なきは仕上表による。

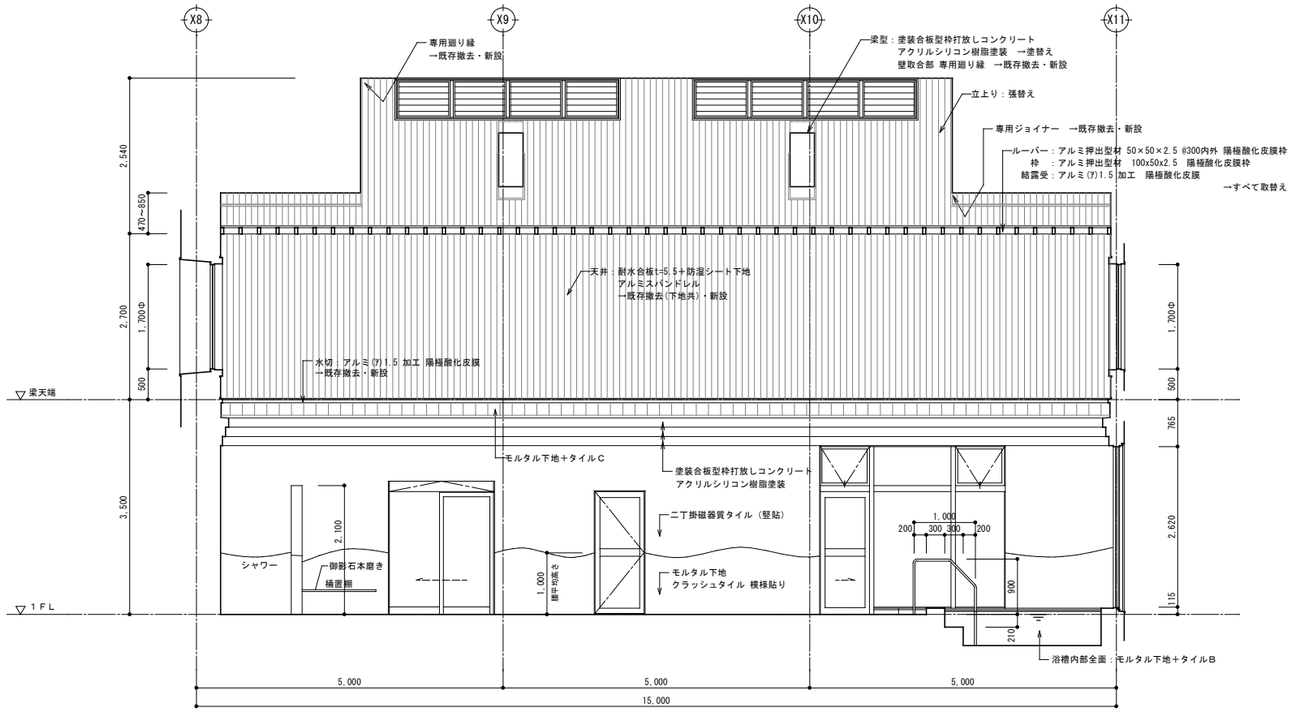
株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)M第7Y051号
図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上 勉

凡例 備考

工事名称	令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）
図面名称	展開図-9（浴室(1)【松の湯】） ＜改修＞
SCALE	[A1] 1：50 [A3] 1：100
年月日	R7.9
No.	D-35

CAD FILE No.D-35 展開図-9（浴室(1)【松の湯】）

Print out：25-12-26

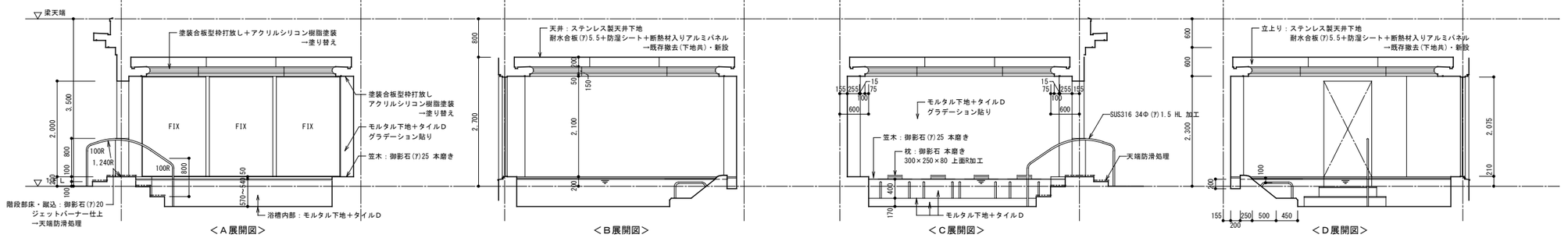


＜Ｄ展開図＞

浴室(1)【松の湯】

■仕上げ

源泉低温浴(1)【松の湯】	
床	浴槽内部：モルタル下地＋タイルＤ →クリーニング
巾木	浴槽笠木・寝湯肘掛：御影石(ア)25 本磨き →クリーニング・研磨　一部防滑処理
腰壁	浴槽内部：モルタル下地＋タイルＤ →クリーニング
壁	モルタル下地＋タイルＤ グラデーション貼り 柱型共 →クリーニング
天井･立上	ｽﾃﾝﾚｽ製天井下地＋耐水合板(ア)5.5＋防湿ｼｰﾄ＋ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙH=9.5 →既存撤去・新設

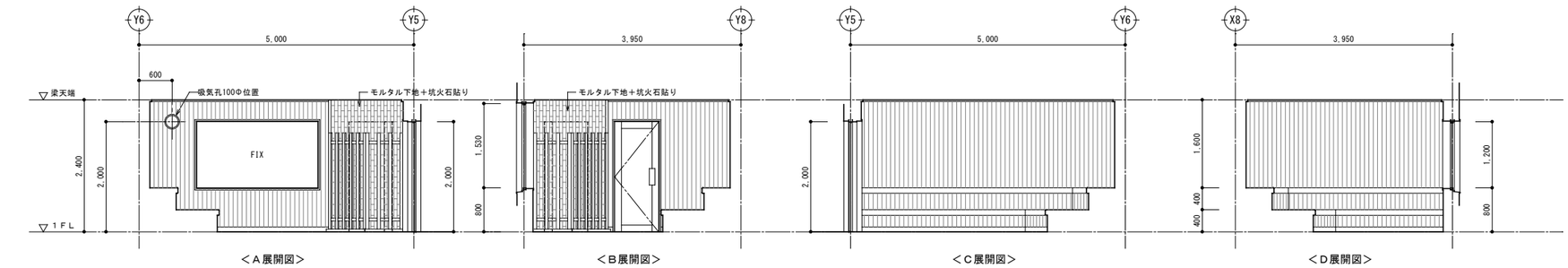


＜Ａ展開図＞　＜Ｂ展開図＞　＜Ｃ展開図＞　＜Ｄ展開図＞

源泉低温浴(1)【松の湯】

■仕上げ

サウナ(1)【松の湯】	
床	転し根太組＋檜板(ア)15 →張り替え
巾木	檜 H=90 →なし
腰壁	ベンチ：木造下地＋檜板(ア)15 →張り替え
壁	グラスウール保温板(ア)30＋木胴縁下地 ケイ酸カルシウム板(ア)6＋檜板(ア)15　→張り替え
天井･立上	木組天井下地＋ケイ酸カルシウム板(ア)6＋リブ付岩綿吸音板(ア)15 →張り替え



＜Ａ展開図＞　＜Ｂ展開図＞　＜Ｃ展開図＞　＜Ｄ展開図＞

サウナ(1)【松の湯】

※特記なきは仕上表による。

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録　長野県知事登録（伊那）M第7Y051号
図面を作成した建築士　一級建築士 大臣登録第177957号　井上 勉

凡例　備考

工事名称　令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）

図面名称　展開図－１０(浴室(1)【松の湯】)　＜改修＞

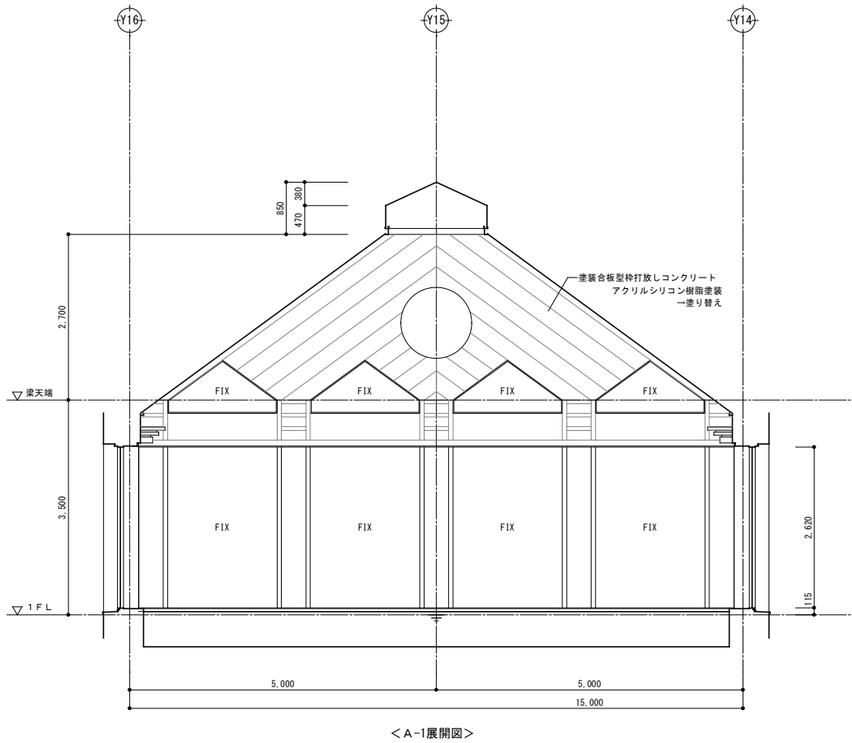
SCALE　[A1] 1：50　[A3] 1：100

年月日　R7.9

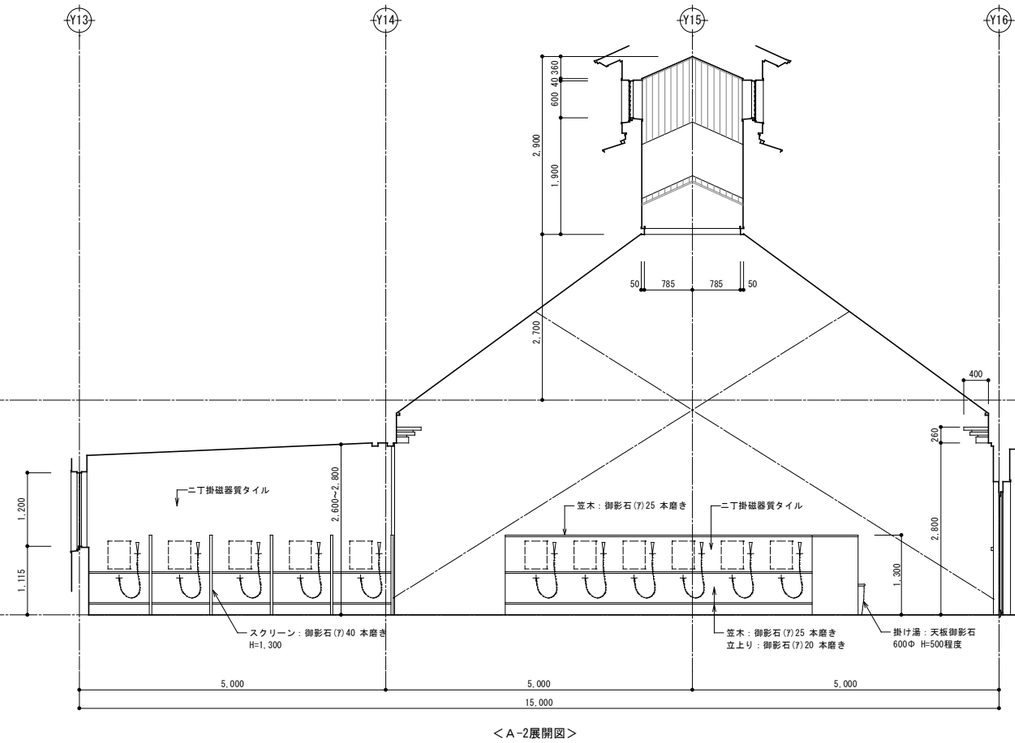
No.　D-36

CAD FILE No.D-36 展開図－１０(浴室(1)【松の湯】)

Print out：25-12-26



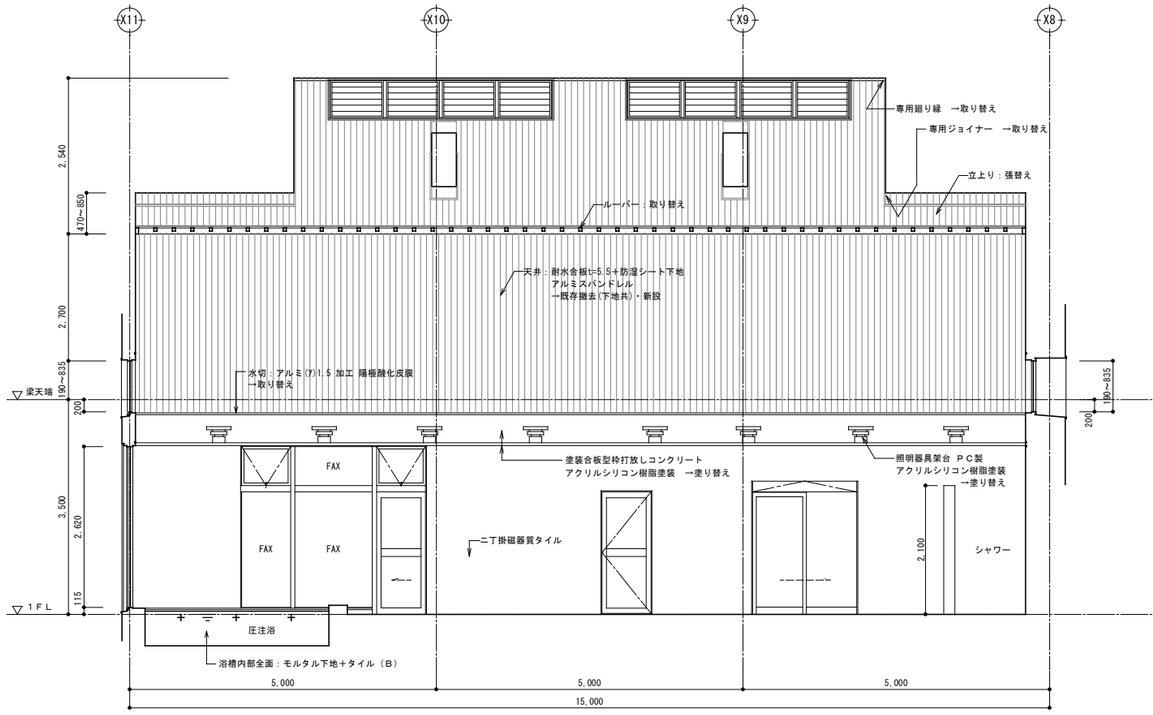
＜A-1展開図＞



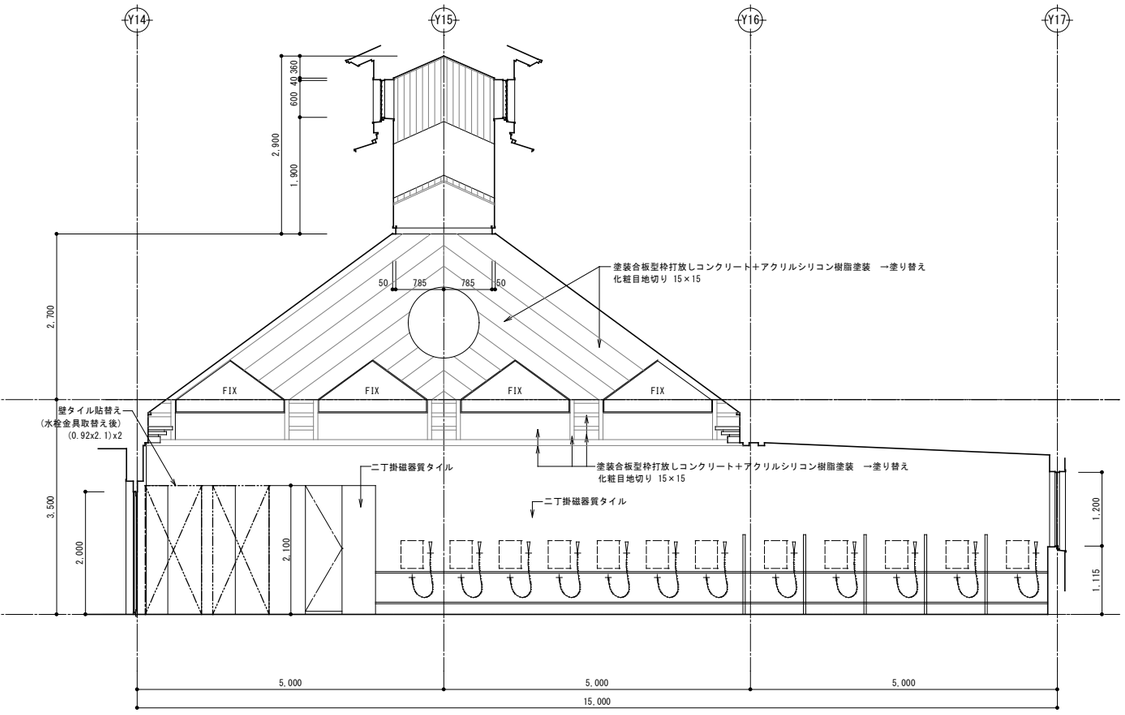
＜A-2展開図＞

■仕上げ

浴室(2)【桧の湯】	
床	モルタル下地＋タイル　→貼替え 浴槽内部：モルタル下地+タイル（B）
巾木	浴槽笠木：出入口部 御影石 300×100 本磨き その他の部分 御影石(ア)25 本磨き 水風呂・その他立上り部笠木：御影石(ア)25 本磨き　→クリーニング・研磨
腰壁	－
壁	二丁掛磁器質タイル　→クリーニング 化粧付柱・ボーダー：塗装合板型枠打放し＋アクリルシリコン樹脂塗装　→塗替え 浴槽内部：モルタル下地+タイル（B）
天井	ステンレス製天井下地＋耐水合板(ア)5.5＋防湿シート下地＋アルミスパンドレルH=9.5 ルーバー：アルミ押出材加工 二次電解着色　→既存撤去・新設



＜B展開図＞



＜C展開図＞

※特記なきは仕上表による。

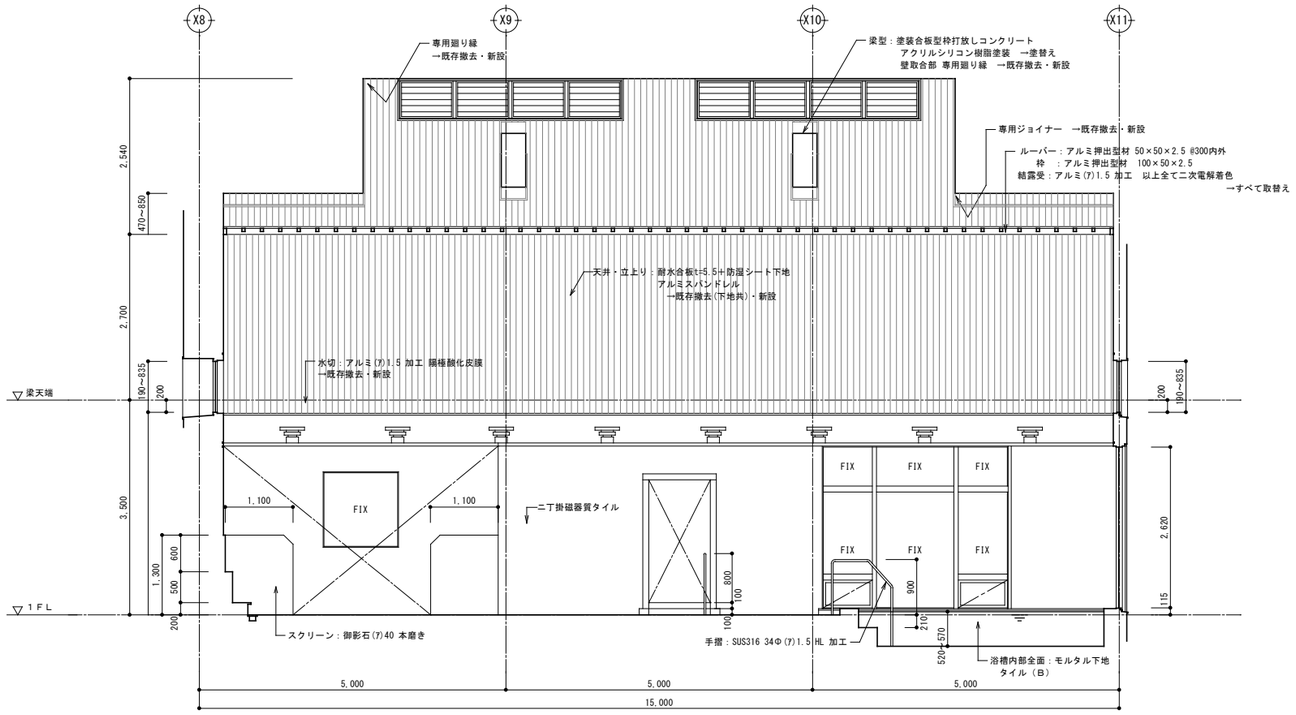
株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録
長野県知事登録
(伊那)M第7Y051号
図面を作成した建築士
一級建築士 大臣登録第177957号
井上　勉

凡例　備考

工事名称	令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）
図面名称	展開図-１１(浴室(2)【桧の湯】) ＜改修＞
SCALE	[A1]　１：５０ [A3]　１：１００
年月日	R7.9
No.	D-37

CAD FILE No.D-37 展開図-１１(浴室(2)【桧の湯】)

Print out : 25-12-26

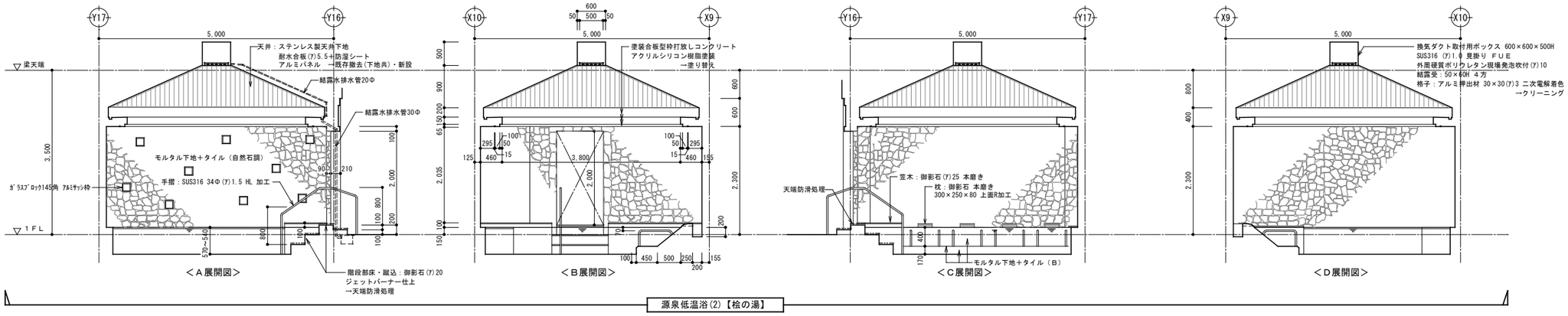


＜D展開図＞

浴室(2)【桧の湯】

■仕上げ

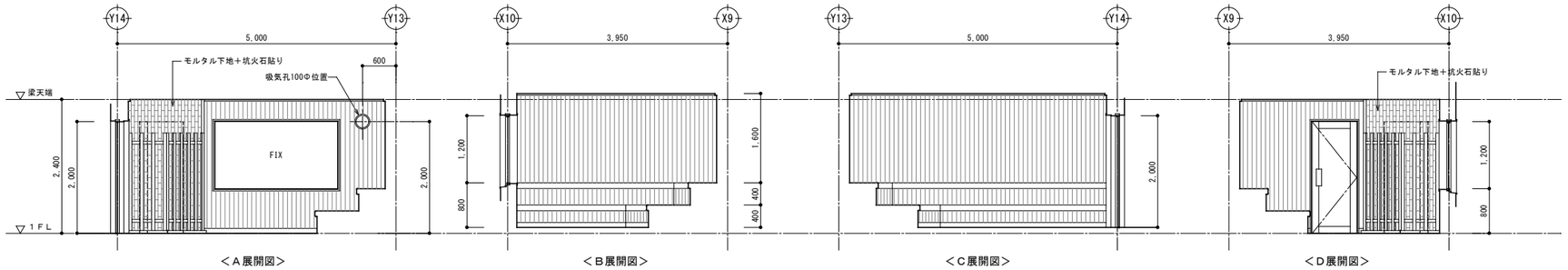
源泉低温浴(2)【桧の湯】	
床	浴槽内部：モルタル下地＋タイル（B） →クリーニング
巾木	浴槽笠木・寝湯肘掛：御影石(ア)25 本磨き →クリーニング・研磨 一部防滑処理
腰壁	浴槽内部：モルタル下地＋タイル（B） →クリーニング
壁	モルタル下地＋タイル（自然石調） →クリーニング
天井･立上	ｽﾃﾝﾚｽ製天井下地＋耐水合板(ア)5.5＋防湿ｼｰﾄ＋ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙH=9.5 →既存撤去(下地共)・新設



源泉低温浴(2)【桧の湯】

■仕上げ

サウナ(2)【桧の湯】	
床	転し根太組＋檜板(ア)15 →張り替え
巾木	檜 H=90 →なし
腰壁	ベンチ：木造下地＋檜板(ア)15 →張り替え
壁	グラスウール保温板(ア)30＋木胴縁下地 ケイ酸カルシウム板(ア)6＋檜板(ア)15 →張り替え
天井･立上	木組天井下地＋ケイ酸カルシウム板(ア)6＋リブ付ＲＢ(ア)15 →張り替え



サウナ(2)【桧の湯】

※特記なきは仕上表による。

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)M第7Y051号
図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上 勉

凡例 備考

工事名称：令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）

図面名称：展開図-１２(浴室(2)【桧の湯】) ＜改修＞

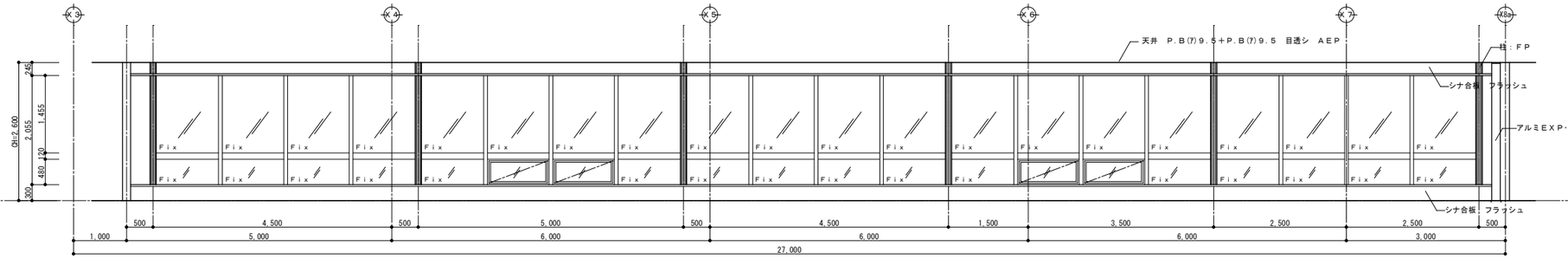
SCALE：[A1] １：５０ [A3] １：１００

年月日：Ｒ７.９

No.：Ｄ-３８

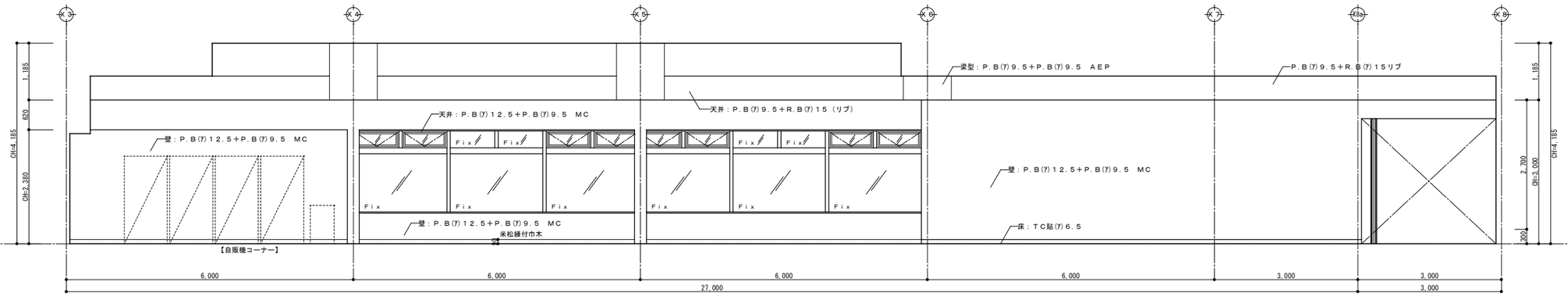
CAD FILE No.D-38 展開図-１２(浴室(2)【桧の湯】)

Print out：25-12-26



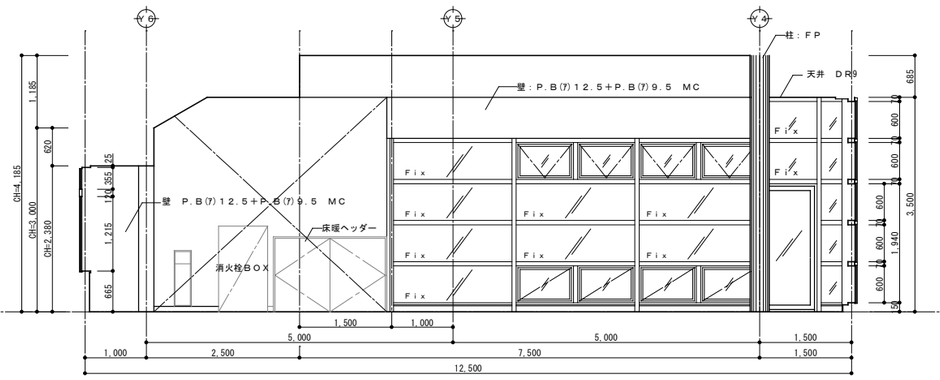
［通路］

Ⓐ



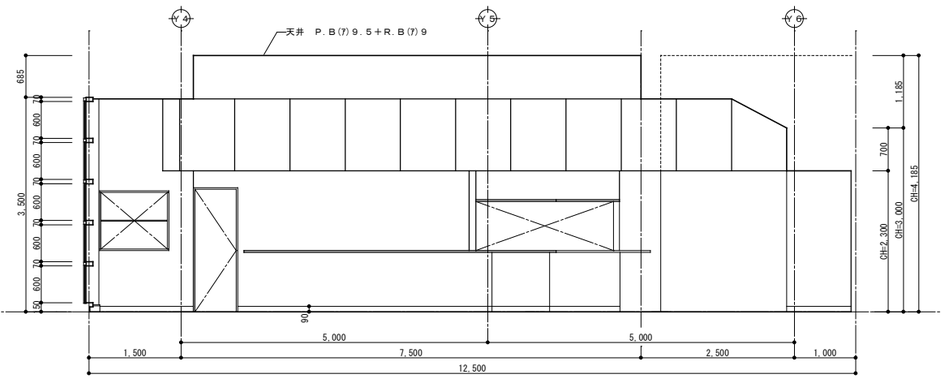
［体験・交流室　A面］

Ⓐ

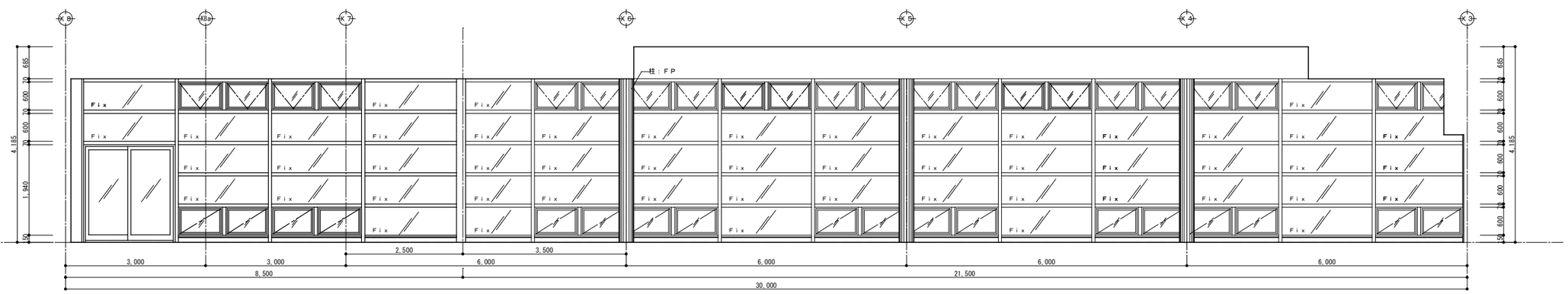


［体験・交流室　B・D面］

Ⓑ



Ⓓ



［体験・交流室　C面］

Ⓒ

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録　長野県知事登録（伊那）M第7Y051号
図面を作成した建築士　一級建築士 大臣登録第177957号　井上　勉

凡例　備考

工事名称　令和８年度 ふれあい交流センター　大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）

図面名称　展開図-１３（体験・交流室）　＜改修＞

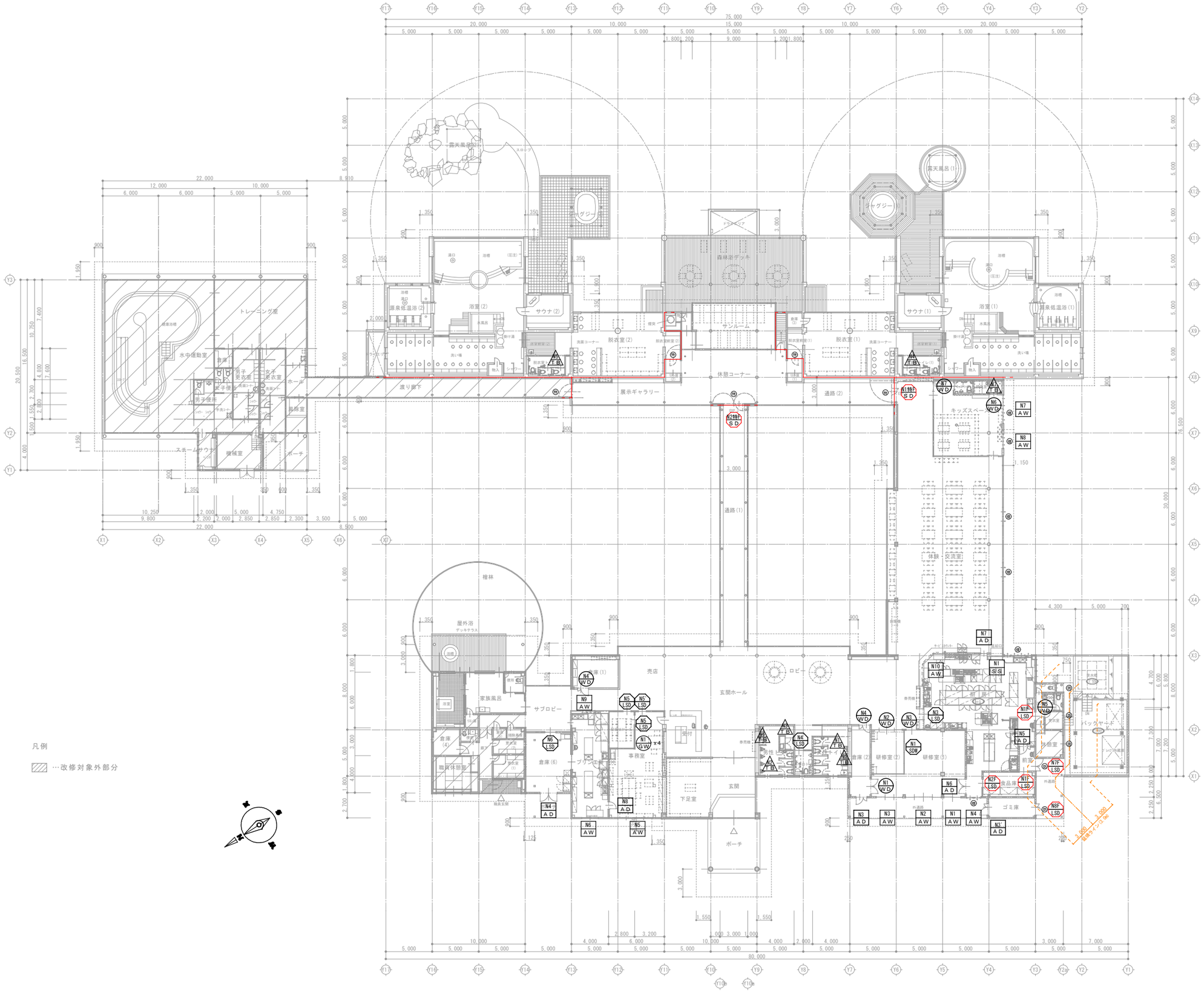
SCALE　[A1]　１：５０　[A3]　１：１００

年月日　R7.9

No.　D-39

CAD FILE No.D-39 展開図-１３（体験・交流室）

Print out：25-12-26



地階平面図＜改修＞　S=1:200

1階平面図＜改修＞　S=1:200

凡例

…改修対象外部分

【凡例】　※赤色は防火設備及び特定防火設備

- N+ ＊ ：スチール製ドア
- N+ A D ：アルミ製ドア
- N+ A W ：アルミ製窓
- N+ W D ：木製ドア
- N+ W W ：木製窓
- 4+ T B ：トイレブース
- N1 S S ：スチールシャッター
- ：防火区画

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録　長野県知事登録（伊那）M第7Y051号
図面を作成した建築士　一級建築士 大臣登録第177957号　井上　勉

凡例　備考

工事名称　令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）

図面名称　建具キープラン　＜新設＞

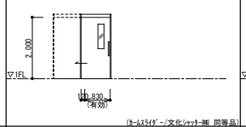
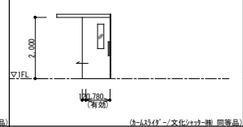
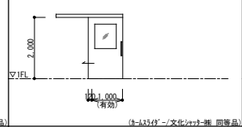
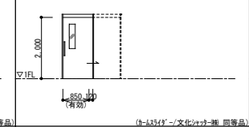
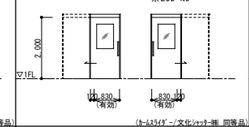
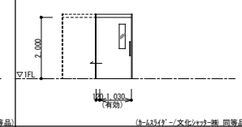
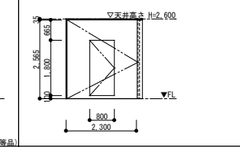
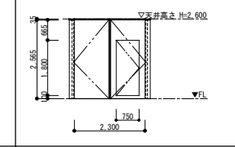
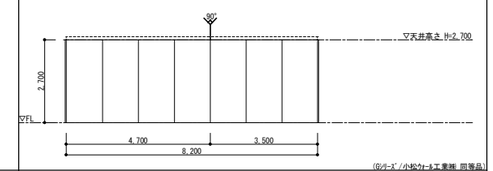
SCALE　[A1] 1：200　[A3] 1：400

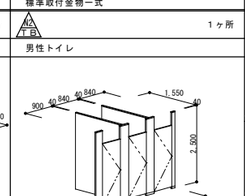
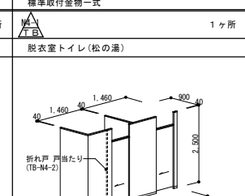
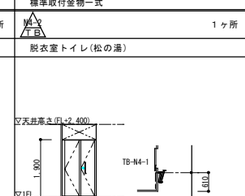
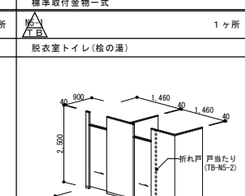
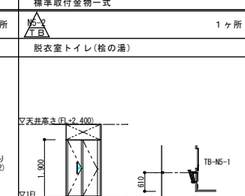
年月日　R7.9

No.　D-40

CAD FILE No.D-40 建具キープラン＜新設＞

Print out：26-02-04

記号・数量	N1F LSD 防火設備(例示仕様) 2ヶ所	N2F LSD 防火設備(例示仕様) 1ヶ所	N3 LSD 1ヶ所	N4 LSD 1ヶ所	N5 LSD N5 LSD 3ヶ所	N6 LSD 1ヶ所	N1F SD 特定防火設備 1ヶ所	N2F SD 特定防火設備 1ヶ所	N1 SDW 1ヶ所
使用場所	食品庫,厨房	食品庫	厨房	みんなのトイレ	事務室,打合せ室	倉庫(6)	通路(2)	通路(1)	研修室
形状・寸法									
種　類	軽量ハンガー片引き戸(壁収納タイプ)	軽量ハンガー片引き戸	軽量ハンガー片引き戸	軽量ハンガー片引き戸(壁収納タイプ)	軽量ハンガー片引き戸(壁収納タイプ)	軽量ハンガー片引き戸(壁収納タイプ)	煙感知器連動常時開放式防火戸(くぐり戸付)	煙感知器連動常時開放式防火戸(くぐり戸付)	スライディングウォール(遮音タイプ)
見　込	※壁仕上げによる	※壁仕上げによる	※壁仕上げによる	※壁仕上げによる	※壁仕上げによる	※壁仕上げによる	120	120	67
硝子・板	硝子：PW6.8　面材：化粧鋼板 t0.6　枠：SOP	硝子：PW6.8　面材：化粧鋼板 t0.6　枠：SOP	硝子：T5　面材：化粧鋼板 t0.6　枠：SOP	硝子：F4　面材：化粧鋼板 t0.6　枠：SOP	硝子：FL3　面材：化粧鋼板 t0.6　枠：SOP	硝子：F4　面材：化粧鋼板 t0.6　枠：SOP	St-1.6t SOP	St-1.6t SOP	カラー鋼板t=0.5
付属金物	ﾄﾞｱﾊﾝﾄﾞﾙ(SUS)，自閉装置 標準取付金物一式	ﾄﾞｱﾊﾝﾄﾞﾙ(SUS)，自閉装置 標準取付金物一式	ﾄﾞｱﾊﾝﾄﾞﾙ(SUS)，傾斜ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ，ｴﾝﾄﾞｽﾄｯﾊﾟｰ，ｶﾞｲﾄﾞﾛｰﾗｰ 標準取付金物一式	ﾄﾞｱﾊﾝﾄﾞﾙ(抗菌・抗ｳｲﾙｽ)，傾斜ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ，ｴﾝﾄﾞｽﾄｯﾊﾟｰ，ｶﾞｲﾄﾞﾛｰﾗｰ，大型ｻﾑﾀｰﾝ，非常開装置付表示装置 標準取付金物一式	ﾄﾞｱﾊﾝﾄﾞﾙ，傾斜ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ，ｴﾝﾄﾞｽﾄｯﾊﾟｰ，ｶﾞｲﾄﾞﾛｰﾗｰ 標準取付金物一式	ﾄﾞｱﾊﾝﾄﾞﾙ，傾斜ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ，ｴﾝﾄﾞｽﾄｯﾊﾟｰ，ｶﾞｲﾄﾞﾛｰﾗｰ 標準取付金物一式	ｵｰﾄﾋﾝｼﾞ，ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ，st三方枠 SOP 感知器連動閉連金物一式 取付金物一式	ｵｰﾄﾋﾝｼﾞ，ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ，st三方枠 SOP 感知器連動閉連金物一式 取付金物一式	ﾊﾟﾜｰｸﾛｰｻﾞｰ 標準取付金物一式

記号・数量	N7F LSD 防火設備(令109条の8/例示仕様) 1ヶ所	N8F LSD 防火設備(令109条の8/例示仕様) 1ヶ所	N3 AD N3' AD 排煙設備 2ヶ所	N4 AD 排煙設備 1ヶ所	N5 AD 1ヶ所	N6 AD 1ヶ所	N7 AD 1ヶ所	N8 AD 1ヶ所	
使用場所	厨房搬入口	ゴミ庫	ゴミ庫,倉庫(2)	倉庫(6)	前室	厨房	厨房	プリン工房	
形状・寸法								
種　類	両開き親子戸　(ビル用)	両開き親子戸　(ビル用)	フラッシュ両開き親子戸　(ビル用)	両開き戸　(ビル用)	両開き親子戸　(ビル用)	両開きスイングドア　(ビル用)	ハンガー片引き戸(壁収納タイプ)　(ビル用)	片開き戸　(ビル用)	
見　込	※壁仕上げによる	※壁仕上げによる	70	70	※壁仕上げによる	※壁仕上げによる	※壁仕上げによる	※壁仕上げによる	
硝子・板	硝子：PW6.8　面材：化粧鋼板 t0.6　枠：SOP	硝子：PW6.8　面材：化粧鋼板 t0.6　枠：SOP	硝子：Low-E３＋Ａ１２＋Ｆ４	ｱﾙﾐ断熱ﾊﾟﾈﾙ	Ｔ５　(腰：ｱﾙﾐ断熱ﾊﾟﾈﾙ)	硝子：透明ｱｸﾘﾙ４　面材：ﾌｨﾙﾑ貼り	透明ｱｸﾘﾙ４(腰：ｱﾙﾐ断熱ﾊﾟﾈﾙ)	ＦＬ３　(腰：ｱﾙﾐ断熱ﾊﾟﾈﾙ)	
付属金物	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ，ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠，丁番，DC 三方ｱﾙﾐ額縁，下枠SUSカバー，三方アルミ雨切 (L=40) 標準取付金物一式	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ，ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠，丁番，DC 三方ｱﾙﾐ額縁，下枠SUSカバー，三方アルミ雨切 (L=40) 標準取付金物一式	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ，ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠，丁番，DC 三方ｱﾙﾐ額縁，下枠SUSカバー，三方アルミ雨切 (L=40) 標準取付金物一式	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ，ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠，丁番，DC 三方ｱﾙﾐ額縁，下枠SUSカバー，三方アルミ雨切 (L=40) 標準取付金物一式	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ，ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠，丁番，DC 三方ｱﾙﾐ額縁(片側ｱﾝｸﾞﾙ) 標準取付金物一式	ｽﾃﾝﾚｽｽﾍﾟｰｽﾌﾟﾚｰﾄ 三方ｱﾙﾐ額縁(片側ｱﾝｸﾞﾙ) ﾊﾝﾚｰﾙﾀｲﾌﾟ，標準取付金物一式	ﾄﾞｱﾊﾝﾄﾞﾙ，ｴﾝﾄﾞｽﾄｯﾊﾟｰ，上戸車 三方ｱﾙﾐ額縁(片側ｱﾝｸﾞﾙ) 標準取付金物一式	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ，丁番，DC 三方ｱﾙﾐ額縁(片側ｱﾝｸﾞﾙ) 標準取付金物一式	

記号・数量	N1 AW 1ヶ所	N2 AW 1ヶ所	N3 AW 1ヶ所	N4 AW 排煙設備 1ヶ所	N5 AW 排煙設備 1ヶ所	N6 AW 排煙設備 1ヶ所	N7 AW 排煙設備 1ヶ所	N8 AW 排煙設備 1ヶ所	N9 AW 1ヶ所	N10 AW 1ヶ所
使用場所	研修室(1)	研修室(1)	研修室(2)	厨房	事務室	プリン工房	キッズスペース	キッズスペース	プリン工房	厨房
形状・寸法										
種　類	引違い掃出し窓　(ビル用)	引分け掃出し窓　(ビル用)	３枚引き掃出し窓　(ビル用)	２連すべり出し窓　(ビル用)	２連引違い窓　(ビル用)	引違い窓　(ビル用)	２連ランマ付２連ＦＩＸ窓	２連外倒し窓	ＦＩＸ窓　(ビル用)	片引き折れ戸(ノンレールタイプ)
見　込	70	70	105	70	70	70	70	70	70	70
硝子・板	ＦＬ３＋Ａ１２＋Low-Ｅ４	ＦＬ３＋Ａ１２＋Low-Ｅ４	ＦＬ３＋Ａ１２＋Low-Ｅ４	ＦＬ３＋Ａ１２＋Low-Ｅ３	ＦＬ３＋Ａ１２＋Low-Ｅ３	ＦＬ３＋Ａ１２＋Low-Ｅ３	Ｔ５＋Ａ１２＋Low-Ｅ３ (ﾗﾝﾏ：FL3+A12+Low-E3)	ＦＬ３＋Ａ１２＋Low-Ｅ３	ＦＬ３	ＦＬ３
付属金物	SUS下枠，可動網戸，ｸﾚｾﾝﾄ 三方アルミ雨切 (L=40) 標準取付金物一式	SUS下枠，可動網戸，ｸﾚｾﾝﾄ 三方ｱﾙﾐ雨切 (L=40) 標準取付金物一式	SUS下枠，可動網戸，ｸﾚｾﾝﾄ 三方アルミ雨切 (L=40) 標準取付金物一式	内開き網戸，ﾊﾝﾄﾞﾙ 三方アルミ雨切 (L=40) 標準取付金物一式	可動網戸 三方アルミ雨切 (L=40) 標準取付金物一式	可動網戸 三方アルミ雨切 (L=40) 標準取付金物一式	固定網戸，排煙ｵﾍﾟﾚｰﾀｰﾊﾝﾄﾞﾙ 三方アルミ雨切 (L=40) 標準取付金物一式	固定網戸，排煙ｵﾍﾟﾚｰﾀｰﾊﾝﾄﾞﾙ 三方アルミ雨切 (L=40) 標準取付金物一式	三方ｱﾙﾐ額縁(片側ｱﾝｸﾞﾙ) 標準取付金物一式	標準取付金物一式

記号・数量	N1 WD 2ヶ所	N2 WD 1ヶ所	N3 WD 1ヶ所	N4 WD 2ヶ所	N5 WD 1ヶ所	N6 WD 1ヶ所	N7 WD 1ヶ所		N1 GW 4ヶ所	
使用場所	研修室(1)(2)	研修室(2)	研修室(1)	倉庫(1)(2)	厨房トイレ(2)	キッズスペース(授乳室)	キッズスペース(キッズトイレ)		打合せ室	
形状・寸法										
種　類	フラッシュ両開き戸(防音仕様)	フラッシュハンガー両引き分け戸	フラッシュハンガー片引き戸	フラッシュ両開き親子戸	フラッシュ片開き戸	フラッシュハンガー片引込み戸	フラッシュハンガー2枚引き戸		ガラス窓	
見　込	40	40	40	40	40	40	40		30	
硝子・板	面材：ポリ合板　遮音材(GW)充填	面材：ポリ合板　遮音材(GW)充填	硝子：Ｆ４　面材：ポリ合板　遮音材(GW)充填	硝子：Ｆ４　面材：ポリ合板	硝子：Ｆ４　面材：ポリ合板	硝子：Ｆ４　面材：ポリ合板	硝子：Ｆ４　面材：ポリ合板		ＦＬ３	
付属金物	丁番，ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ，DC，戸当たり	上吊戸用金物一式，ｿﾌﾄｸﾛｰｽﾞ 掘込み引手 標準取付金物一式	上吊戸用金物一式，ｿﾌﾄｸﾛｰｽﾞ 掘込み引手 標準取付金物一式	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ，ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠，丁番，DC 標準取付金物一式	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ，表示錠，丁番，DC，戸当たり 標準取付金物一式	上吊戸用金物一式，ｿﾌﾄｸﾛｰｽﾞ，上部ｻﾑﾀｰﾝ ﾄﾞｱﾊﾝﾄﾞﾙ(抗菌，抗ｳｲﾙｽ) 標準取付金物一式	上吊戸用金物一式，ｿﾌﾄｸﾛｰｽﾞ，表示錠(非常開放装置付) ﾄﾞｱﾊﾝﾄﾞﾙ(抗菌，抗ｳｲﾙｽ) 標準取付金物一式		-	

記号・数量	N1 TB 1ヶ所	N2 TB 1ヶ所	N3 TB 1ヶ所	N4 TB 1ヶ所	N5 TB 1ヶ所	N6 TB 1ヶ所	N7 TB 1ヶ所	N8 TB 2ヶ所	N1 TB 1ヶ所	N1 SS 1ヶ所
使用場所	女性トイレ	男性トイレ	男性トイレ(掃除用具入れ)	脱衣室トイレ(松の湯)	脱衣室トイレ(松の湯)	脱衣室トイレ(松の湯)	脱衣室トイレ(松の湯)	男性トイレ，女性トイレ	キッズルーム(授乳室)	厨房
形状・寸法										
種　類	トイレブース(天井納まり)	トイレブース(天井納まり)	トイレブース	トイレブース(天井納まり・引き戸タイプ)	トイレブース(折れ戸タイプ)	トイレブース(天井納まり・引き戸タイプ)	トイレブース(折れ戸タイプ)	トイレブース(天井納まり)	トイレブース	軽量シャッター
見　込	40	40	40	40	40	40	40	40	40	70
硝子・板	面材：化粧シート(一体型ｼｰﾄ巻ｱｰﾙｴｯｼﾞ仕上げ)	面材：化粧シート(一体型ｼｰﾄ巻ｱｰﾙｴｯｼﾞ仕上げ)	面材：化粧シート(一体型ｼｰﾄ巻ｱｰﾙｴｯｼﾞ仕上げ)	面材：化粧シート(一体型ｼｰﾄ巻ｱｰﾙｴｯｼﾞ仕上げ)	面材：化粧シート(一体型ｼｰﾄ巻ｱｰﾙｴｯｼﾞ仕上げ)	面材：化粧シート(一体型ｼｰﾄ巻ｱｰﾙｴｯｼﾞ仕上げ)	面材：化粧シート(一体型ｼｰﾄ巻ｱｰﾙｴｯｼﾞ仕上げ)	面材：化粧シート(一体型ｼｰﾄ巻ｱｰﾙｴｯｼﾞ仕上げ)	面材：化粧シート(一体型ｼｰﾄ巻ｱｰﾙｴｯｼﾞ仕上げ)	スラットｔ＝0.4　焼付塗装
付属金物	ステンレス巾木，天井レール，表示錠(非常開錠付) 戸当たり帽子掛 標準取付金物一式	ステンレス巾木，天井レール，表示錠(非常開錠付) 戸当たり帽子掛 標準取付金物一式	ステンレス巾木，引手 標準取付金物一式	ステンレス巾木，天井レール，表示錠(非常開錠付) 戸当たり帽子掛 標準取付金物一式	ステンレス巾木，天井レール，表示錠(非常開錠付) 戸当たり帽子掛 標準取付金物一式	ステンレス巾木，天井レール，表示錠(非常開錠付) 戸当たり帽子掛 標準取付金物一式	ステンレス巾木，天井レール，表示錠(非常開錠付) 戸当たり帽子掛 標準取付金物一式	ステンレス巾木，天井レール 標準取付金物一式	ステンレス巾木 標準取付金物一式	ガイドレール，アルミ座金 標準取付金物一式

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録　長野県知事登録（伊那）M第7Y051号
図面を作成した建築士　一級建築士 大臣登録第177957号　井上　勉

凡例　備考

工事名称：令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）

図面名称：建具表 ＜新設＞

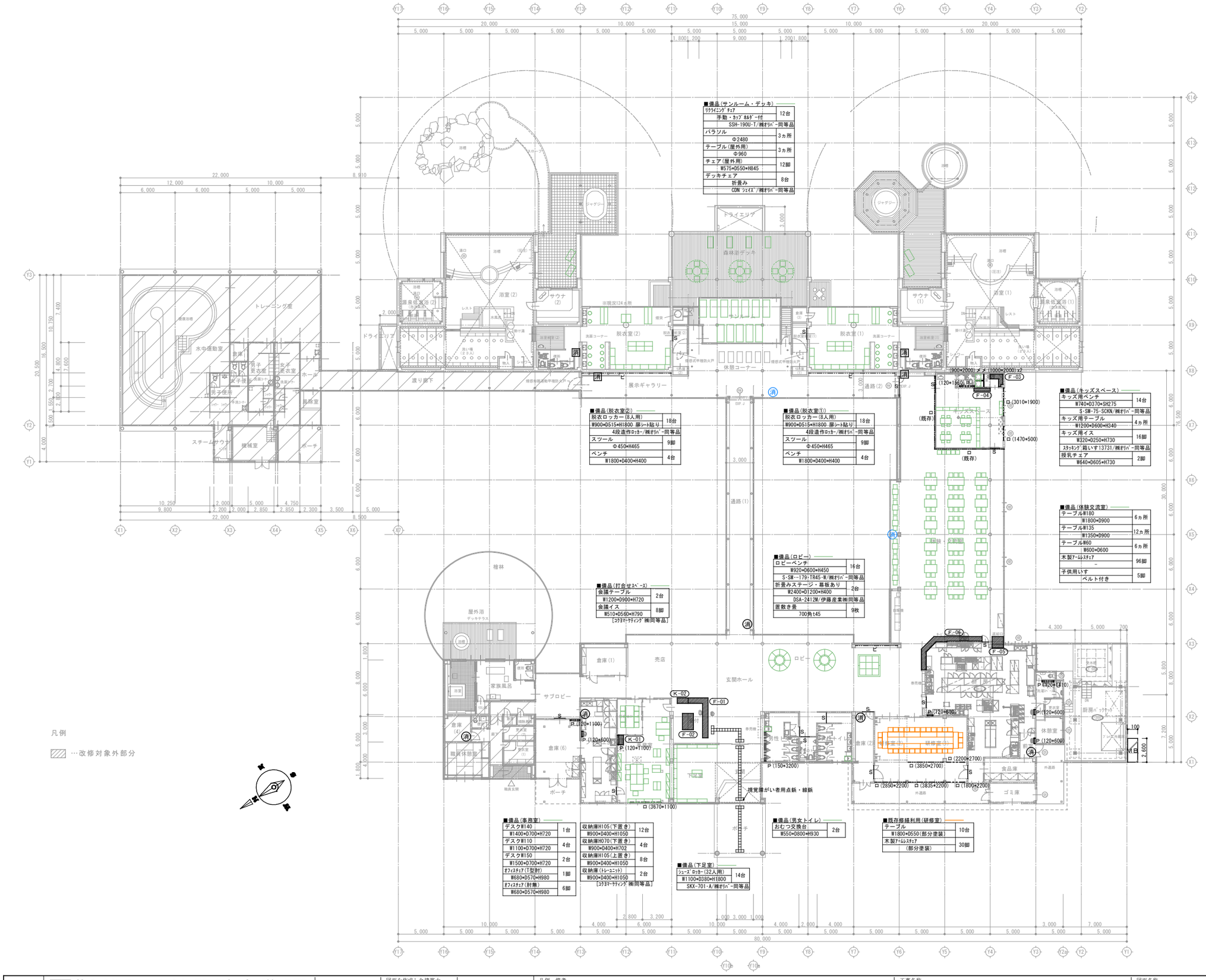
SCALE：[A1] 1：100 / [A3] 1：200

年月日：R7.9

No.：D-41

CAD FILE No.D-41 建具表＜新設＞

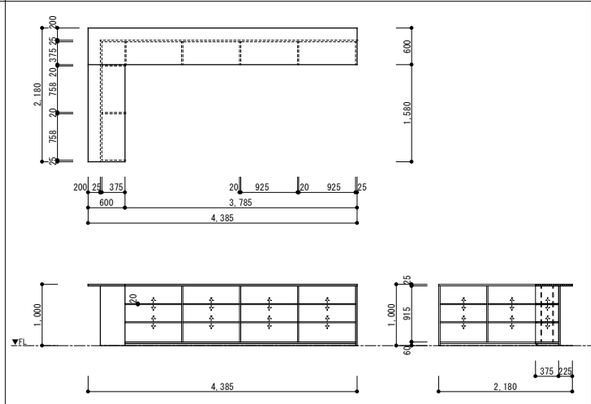
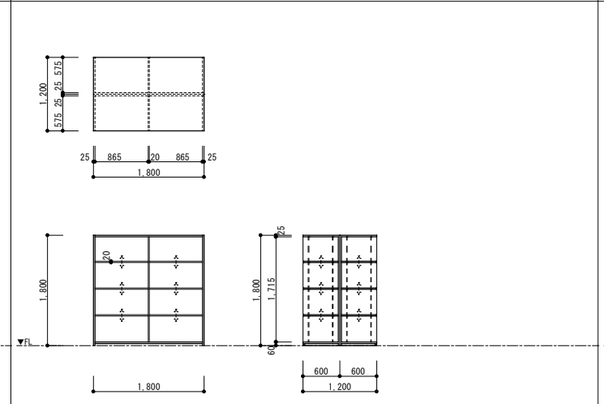
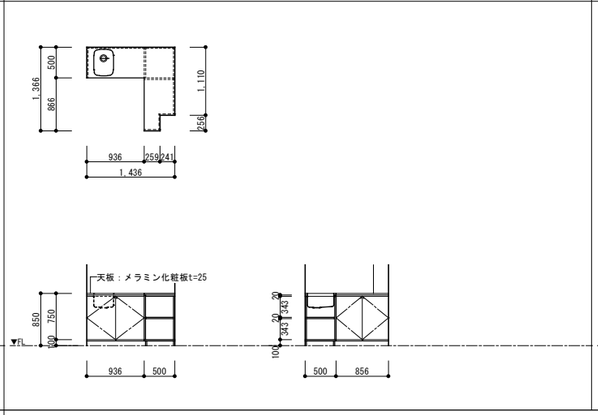
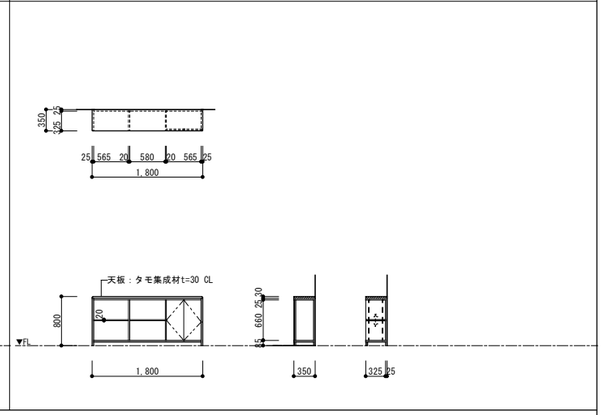
Print out：25-12-26

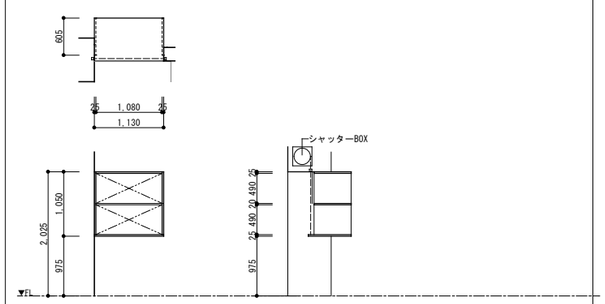
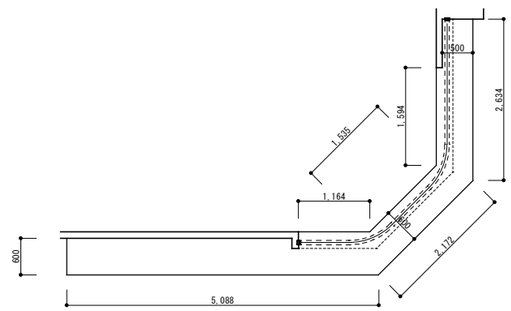


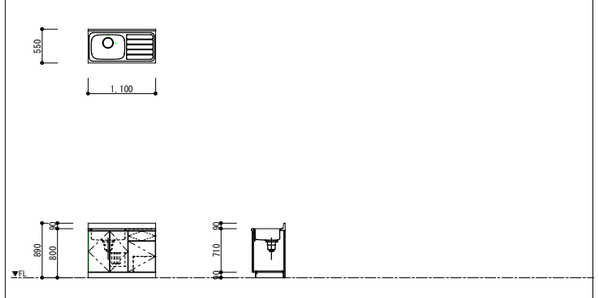
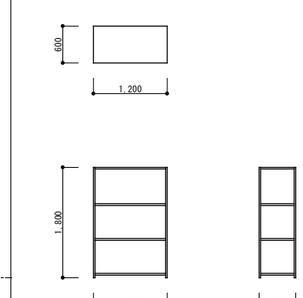
株式会社 城取建築設計事務所 〒396－0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265(72)7271	一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)M第7Y051号	図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上 勉	凡例 備考	工事名称 令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）	図面名称 家具・その他工事キープラン ＜改修＞	SCALE [A1] 1：200 [A3] 1：400	年月日 R7.9	No. D-42 (訂)

CAD FILE No.D-42 家具・その他工事キープラン_申請

Print out : 26-02-04

符号／名称	Ｆ－０１：受付カウンター　１ヶ所	Ｆ－０２：収納棚　１ヶ所	Ｆ－０３：調乳カウンター　１ヶ所	Ｆ－０４：収納棚
取付場所	受付	受付	キッズスペース［授乳室］	キッズスペース
仕上げ(外)	天板：メラミン化粧板t=25　側板：ポリ合板t=25　巾木：木製H=35 PU	天板・側板：ポリ合板t=25　巾木：木製H=35 PU	天板：メラミン化粧板ｔ＝25　戸：ポリ合板ｔ＝20　巾木:木製H=75	天板・側面：タモ集成材t=30 CL　巾木：木製H=60
仕上げ(内)	ポリ合板t=20　棚板上面：メラミン化粧板	ポリ合板t=20　棚板上面：メラミン化粧板	ポリ合板	ポリ合板t=20　棚板上面：メラミン化粧板
金　物	棚柱	ダボ	排水トラップ金物、プッシュ式つまみ、スライド丁番、ローラーキャッチ	ダボ、プッシュ式つまみ、スライド丁番、ローラーキャッチ
備　考	分割	縦勝ち	アンダーシンク:SUS304 t=1.0(裏面:断熱材裏打)	角面取りＲ５
				

符号／名称	Ｆ－０５：返却口		Ｆ－０６：サービスカウンター　１ヶ所
取付場所	体験・交流室　厨房		体験・交流室　厨房
仕上げ(外)	側面：耐水合板ｔ＝12　SUS0.8（HL）　貼付		天板：タモ集成材ｔ＝30　CL
仕上げ(内)	棚板上面：耐水合板ｔ＝12　SUS0.8（HL）　貼付	－	
金　物	－		既製品パネル
備　考	軽量ｼｬｯﾀｰ		パネル取付建築工事
			

符号／名称	Ｋ－01：ミニキッチン　１ヶ所	Ｋ－０２：ラジコン棚　１ヶ所
取付場所	事務室	受付
仕上げ(外)	－	スチール
仕上げ(内)	－	－
金　物	－	－
備　考	既製品	既製品
		

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録　長野県知事登録（伊那）M第7Y051号
図面を作成した建築士　一級建築士 大臣登録第177957号　井上　勉

凡例　備考
・接着剤は、Ｆ☆☆☆☆とする。

工事名称	図面名称	SCALE	年月日	No.
令和８年度 大芝の　増築工事	家具図 ＜新設＞	[A1] １：５０ [A3] １：１００	R7.9	D-43

CAD FILE No.D-43 家具図<新設>
Print out：25-12-26

駐車場
園内道路
森のオートキャンプ場
散策路
森の研修コテージ
敷地境界線
地先境界ブロックＡ ＜29m＞
既存U字溝300
ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ 新設(t=14 ｸｯｼｮﾝｺﾞﾑ付 滑り止め仕様) ＜24m＞
伸縮門扉新設(W＝18,700 H＝1,200) ＜1ヶ所＞
アスファルト舗装
砕石 t=50 ＜260㎡＞
地先境界ブロックＡ ＜23m＞
計画建物②：
機械室
フェンス新設(H=1,200) ＜100m＞
片開き扉W＝1000（1ヶ所）
計画建物①-2：
ふれあいプラザ
アスファルト舗装
撤去(30㎡)
敷地整地 880㎡
既存建物②：
露天風呂(2)
仮囲い(550m)
給湯管場内敷設 ＜112m＞
既存建物④：
ジャグジー(2)
敷地整地 砕石敷t=50 50㎡
計画建物①-1：
大芝の湯
喫煙所：アルミ既製品(H2,733-W2,700-D2,200)
駐車場
既存建物⑥
駐輪場
計画建物③：
喫煙所
既存建物③：
ジャグジー(1)
既存建物①：
露天風呂(1)
目隠し改修
既存建物⑤：
バックヤード
屋内運動場
駐車場
敷地整地 砕石敷t=50 50㎡
敷地整地 500㎡
村道
ロータリー
前面道路（広場）
VPφ150 場内開放
アスファルト舗装（20㎡）
既成浸透桝新設
ｺﾝｸﾘｰﾄU型側溝240+ﾌﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ
(ｸｯｼｮﾝｺﾞﾑ付 滑り止め仕様)
塩ビ桝(浸透) ×2
芝貼り ＜100㎡＞
既存側溝
塩ビ桝(浸透) ×3
VPφ100 既存側溝へ接続×3
塩ビ桝(浸透)
VPφ100 場内開放

◯：支障木撤去

【伐採・伐根】

	樹種	目通り(m)	樹高(m)	本数 伐採	伐採・伐根	計
①	桧	1.2～1.5	25		2	
②	赤松	1.2～1.5	25	1(別途)		
③	赤松	1.2～1.5	25	6(別途)		
④	桧	1.2～1.5	25	5		
⑤	桧	1.2～1.5	25	8	13	
⑥	赤松・桧	1.2～1.5	25	9		
計				22	15	37

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録 長野県知事登録(伊那)M第7Y051号
図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上 勉

凡例 備考

工事名称：令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）

図面名称：外構図・仮設図 ＜改修＞

SCALE [A1] 1：600 [A3] 1：1200

年月日：R7.10

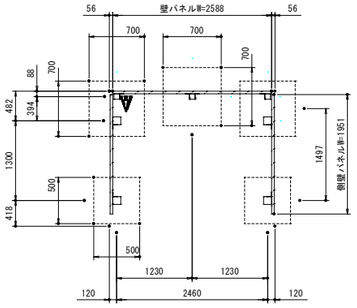
No.：D-44

CAD FILE No.D-44 外構図・仮設図(訂0109)

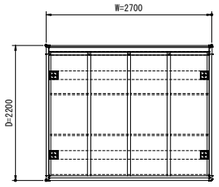
Print out：26-01-09

喫煙所 詳細図　1/50

サイクルポート アルフォース(1,500N/m2,クローズタイプ,H=2400)／三協立山株式会社 同等品



平面図（Ｓ＝１／５０）



屋根伏図（Ｓ＝１／５０）

■規格表

		記号	寸法（表示ｍｍ）	柱芯々	自転車収容台数（当たり1.5台）
基本セット	標準タイプ	ACY－2053G（-A-B）－24H	2000×5300	2530	20
		ACY－2053G（-A-B）－24H	2200×5300		
	連結タイプ	ACY－2026G（-A-B）－24H	2000×2600	2600	10
		ACY－2226G（-A-B）－24H	2200×2600		
	ミニタイプ	ACY－2027SG（-A-B）－24H	2000×2700	2460	10
		ACY－2227SG（-A-B）－24H	2200×2700		

※ACY－2053G（-A-B）－24H
- 高さサイズを表す
- 屋根材を表す（A：ポリカ　B：アルミ）
- タイプを表す（G：クローズタイプ）
- 開口サイズを表す
- 奥行サイズを表す

■材質仕様表

主要部材・部品	材質	規格
柱・小梁・小梁連結ストープ・側枠・重木	アルミニウム合金押出形材	Ａ６０６３Ｓ－Ｔ６
垂・前枠・笠木・パネル押え（端部・パネル押え・パネル押えビース・アルミたて樋・壁パネル支柱	アルミニウム合金押出形材	Ａ６０６３Ｓ－Ｔ５
屋根パネル	ポリカーボネート板（ｔ＝２．０）	表示記号及び記号説明 19-111-1
	アルミニウム板（ｔ＝１．０）	Ａ１０５０Ｐ－Ｈ２４ 表示記号及び記号説明 19-211-1
壁・側壁パネル	ポリカーボネート板（ｔ＝２．０）	表示記号及び記号説明 19-111-1
	アルミニウム板（ｔ＝２．０）	Ａ１１００Ｐ－Ｈ１４
ボルト等	ステンレス	

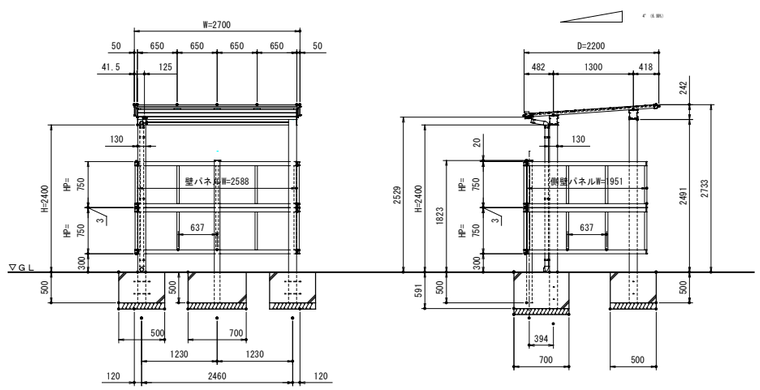
■地耐力の簡易判別法

地盤の硬さ		素面Ｖ	推定地耐力 kN/m²
粘土質	極軟	鉄筋を容易に押し込むことができる	20以下
	軟	シャベルで容易に掘れる	30
	中位	シャベルに力を入れて掘る	50
	硬	シャベルを強く踏んでようやく掘れる	100
	極硬	つるはしが必要	200
地下水面上の砂質土	非常にゆるい	孔壁が崩れやすく、深い足跡ができる	30以下
	ゆるい	シャベルで容易に掘れる	50
	中位	シャベルに力を入れて掘る	100
		シャベルを強く踏んでようやく掘れる	200
	密	つるはしが必要	300

■基礎寸法表

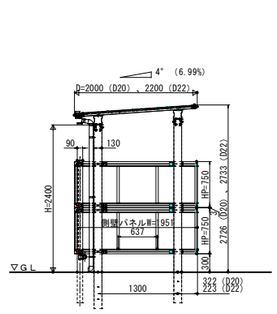
長期地耐力 kN/m²	隣地境界線までの距離 (mm)	a (mm)	b (mm)	c (mm)	w1 (mm)	w2 (mm)
N≧50	L≦500	750	750	950	900	900
	L>500	750	500	700	900	700

●地耐力が５０ｋＮ／m2未満の地盤には設置できません。
●地耐力の簡易判別法は上表を参考にしてください。



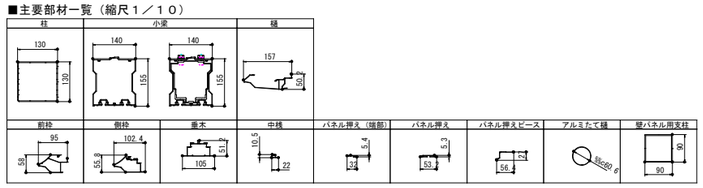
立面図（Ｓ＝１／５０）

側面図（Ｓ＝１／５０）

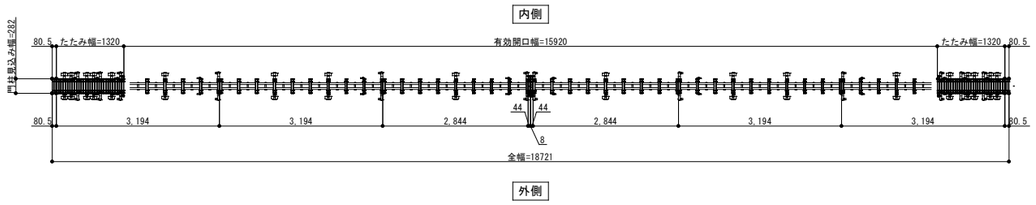


断面図（Ｓ＝１／５０）

■主要部材一覧（縮尺１／１０）

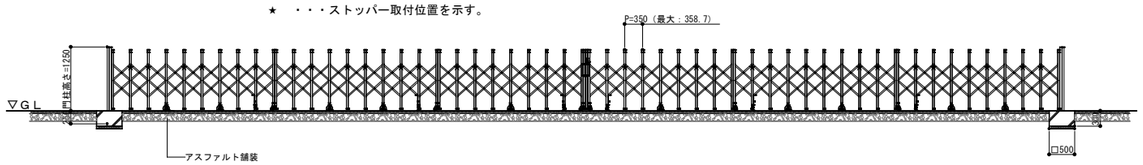


伸縮門扉　詳細図　1/60



＜断面図＞

★　・・・ストッパー取付位置を示す。



＜立面図＞

三協立山(株)/大型伸縮門扉　アルテンダEN型同等品

株式会社 城取建築設計事務所
〒３９６－００２６　長野県伊那市西町５８６３番地１／TEL ０２６５（７２）７２７１
一級建築士事務所登録　長野県知事登録（伊那）M第７Ｙ０５１号
図面を作成した建築士　一級建築士 大臣登録第177957号　井上　勉

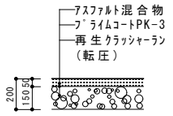
凡例　備考

工事名称	令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）
図面名称	外構詳細図－１ ＜改修＞
SCALE	[A1] 図示 [A3] 図示
年月日	Ｒ７．９
No.	Ｄ－４５

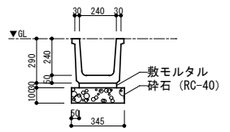
CAD FILE No. D-45 外構詳細図-1 (訂0109)

Print out : 26-01-09

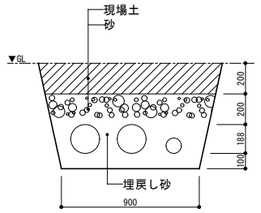
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装　詳細図　1/20



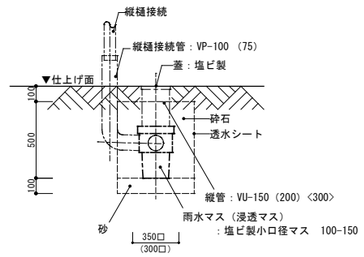
コンクリートU型側溝240　詳細図 1/20



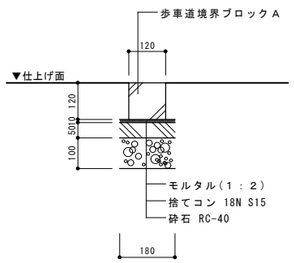
場内給湯配管敷設　詳細図　1/20



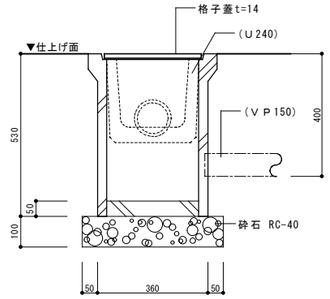
塩ビ桝　詳細図　1/20

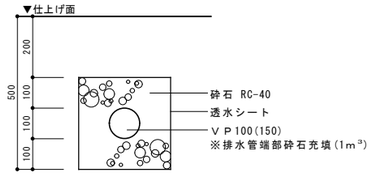


地先境界ブロックＡ　詳細図　1/10

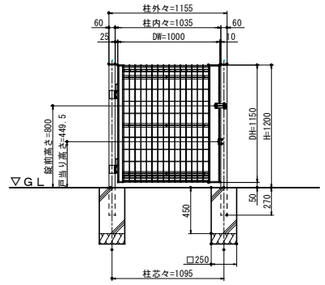


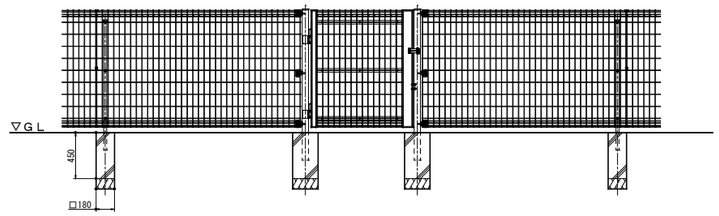
既成浸透桝　詳細図　1/10





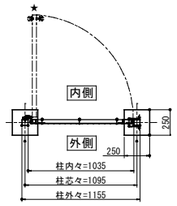
メッシュフェンス　詳細図　1/30

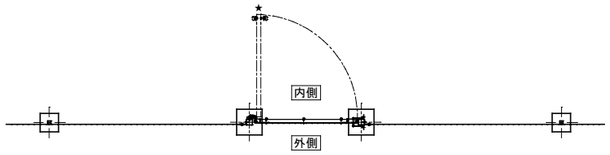




＜立面図＞

★ ：落し受け標準取付位置を示す

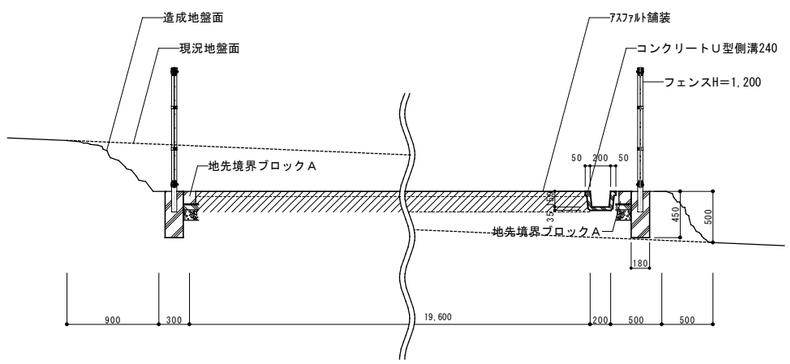




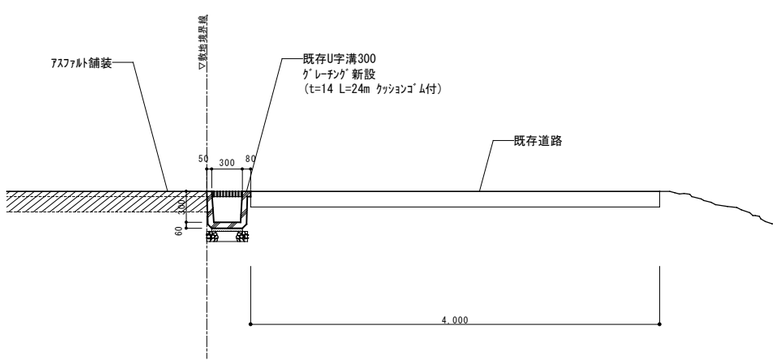
＜平面図＞

三協立山(株)/スチールメッシュフェンス ユメッシュ同等品

Ａ－Ａ´断面図　1/30



Ｂ－Ｂ´断面図　1/30

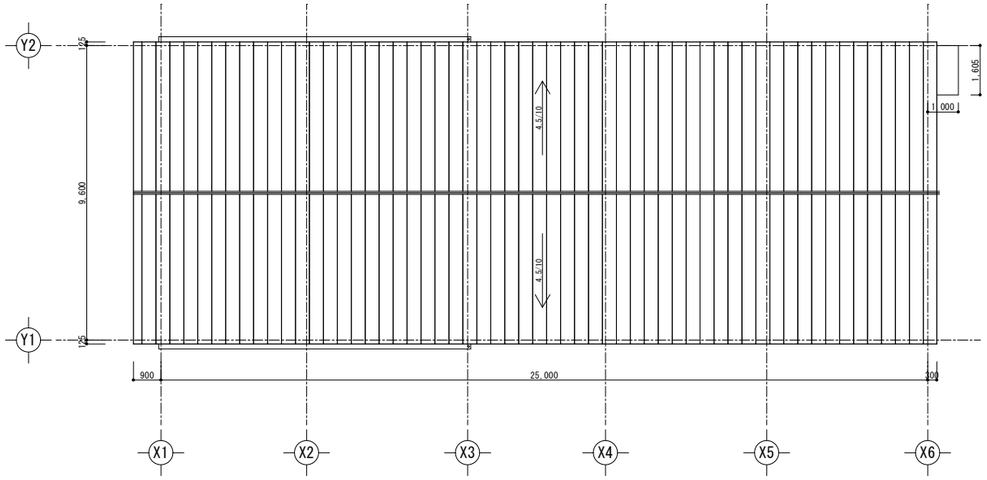


株式会社 城取建築設計事務所 〒396－0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271	一級建築士事務所登録 長野県知事登録（伊那）M第7Y051号	図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上 勉	凡例 備考	工事名称 令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）	図面名称 外構詳細図-2 ＜改修＞ / SCALE [A1] 図示 [A3] 図示 / 年月日 R7.9 / No. D-46

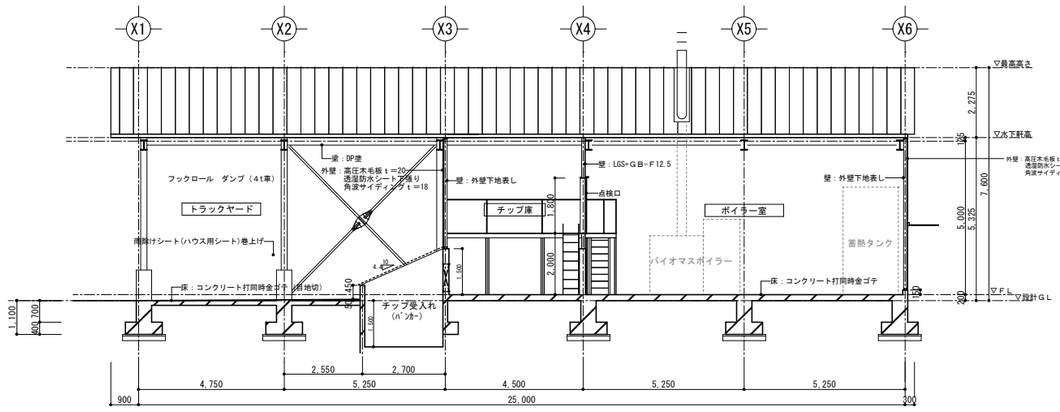
CAD FILE No. D-46 外構詳細図-2

Print out : 25-12-26

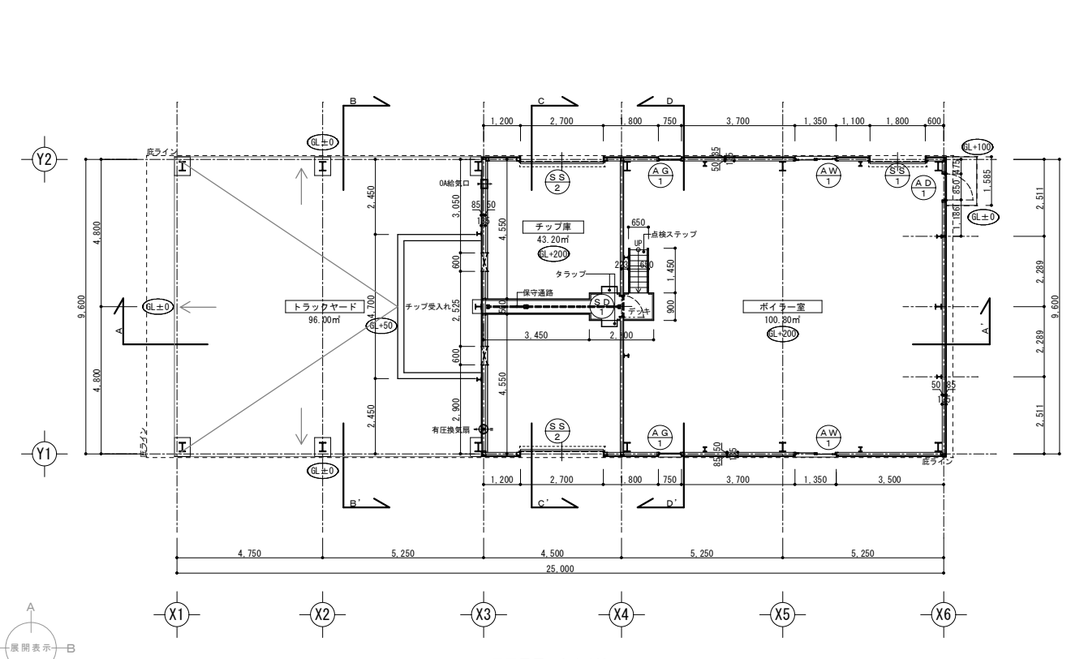
室　　名	下地	床	巾　　木	腰　　壁	壁	天　　井	廻り縁	天井高	備　　考
ボイラー室	C(金)	土間コンクリート同時コテ押え	－ －	－	外壁下地(高圧木毛セメント板)表し　※D面LSG+強化石膏ボードt12.5	野地板(高圧木毛セメント板)表し	－	－	
チップ庫	C(金)	土間コンクリート同時コテ押え	－ －	合板型枠打放しコンクリート	外壁下地(高圧木毛セメント板)表し	野地板(高圧木毛セメント板)表し	－	－	有圧換気扇　350Φ　給排気(各１ヵ所) シャッター,フード,防虫網,ガード
トラックヤード	C(金)	土間コンクリート同時コテ押え	－ －	一部：合板型枠打放しコンクリート	※外壁仕上げ	野地板(高圧木毛セメント板)表し	－	－	



屋根伏図　S=1/100



A－A’ 断面図　S=1/100



平面図図　S=1/100

B－B’ 断面図　S=1/100

C－C’ 断面図　S=1/100

D－D’ 断面図　S=1/100

■面積表

建築面積		
	25.000 × 9.600 ＝ 240.000	240.00㎡
延床面積		
ボイラー室	10.500 × 9.600 ＝ 100.800	100.80㎡
チップ庫	4.500 × 9.600 ＝ 43.200	43.20㎡
トラックヤード	10.000 × 9.600 ＝ 96.000	96.00㎡
	合計	240.00㎡

階段	0.650 × 1.450 ＝ 0.942	0.94㎡
デッキ	2.100 × 0.900 ＝ 1.890	1.89㎡
保守通路	3.450 × 0.500 ＝ 1.725	1.73㎡

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録　長野県知事登録（伊那）M第7Y051号
図面を作成した建築士　一級建築士 大臣登録第177957号　井上　勉

凡例　備考

工事名称：令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）

図面名称：機械室棟詳細図-１

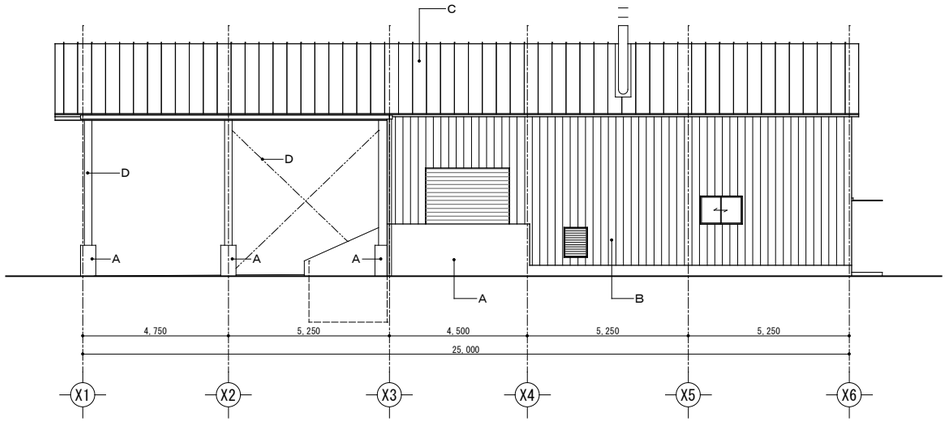
SCALE：[A1] １：１００　[A3] １：２００

年月日：R7.9

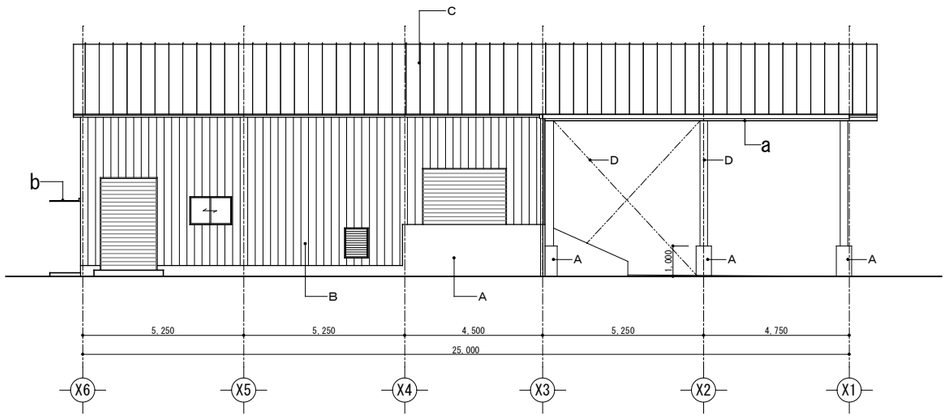
No.：D-47

CAD FILE No. D-47 機械室棟詳細図-１発注用整備

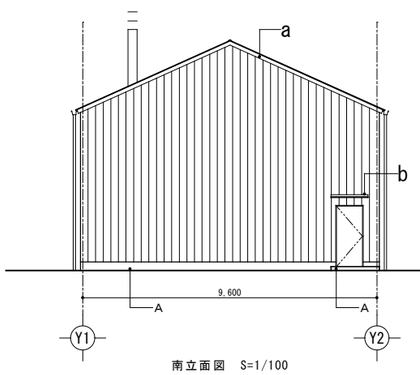
Print out : 26-03-02



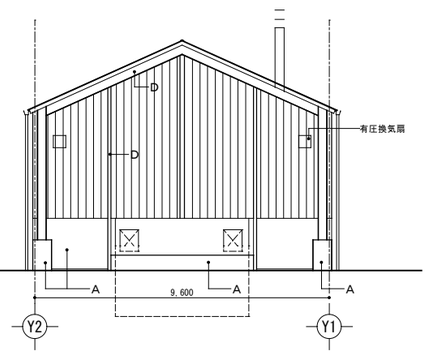
西立面図　S=1/100



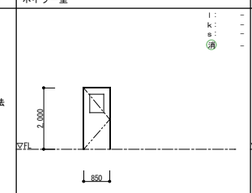
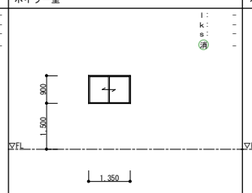
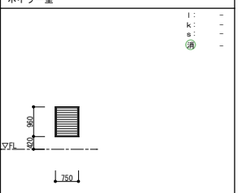
東立面図　S=1/100

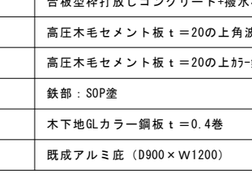
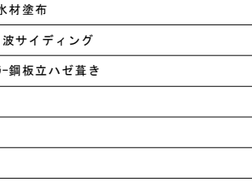


南立面図　S=1/100



北立面図　S=1/100

記号・数量	A D 1	1ヶ所	A W 1	2ヶ所	A G 1	2ヶ所
使用場所	ボイラー室		ボイラー室		ボイラー室	
形状・寸法						
種　類	片開きアルミフラッシュドア		アルミ引違い窓		アルミガラリ	
見　込	70（鉄骨用）		70（鉄骨用）		70（鉄骨用）	
硝子・板	Ｆ４		Ｆ４		－	
付属金物	レバーハンドル,シリンダー錠,ＤＣ,丁番 フランス落し,SUS下枠,三方アルミ額縁 取付金物一式		下端水切,網戸,クレセント錠　４方アルミ額縁 標準取付金物一式		下端水切・網戸・４方アルミ額縁 標準取付金物一式	

記号・数量	S D 1	1ヶ所	S S 1	1ヶ所	S S 2	2ヶ所
使用場所	デッキ		ボイラー室		チップ庫	
形状・寸法						
種　類	片開きスチールドア　ＳＯＰ仕上げ		軽量スチールシャッター		軽量スチールシャッター	
見　込	100		100		100	
硝子・板	網入りＦＬ　ｔ＝6.8		スラット：溶融亜鉛メッキ鋼板ｔ＝1.0		スラット：溶融亜鉛メッキ鋼板ｔ＝1.0	
付属金物	レバーハンドル,シリンダー錠,ＤＣ,丁番 SUS下枠,三方枠 取付金物一式		SUSガイドレール,SUS座金,シャッターケース 標準取付金物一式		SUSガイドレール,SUS座金,シャッターケース 標準取付金物一式	

外　部　仕　上　表

根　　廻	合板型枠打放しコンクリート+撥水材塗布
外　　壁	高圧木毛セメント板+20+透湿防水シート+角波サイディング張り
	水切り：ＧＬ鋼板ｔ＝0.4
屋　　根	高圧木毛セメント板ｔ＝20+アスファルトルーフィング+ＧＬ鋼板ｔ＝0.4立ハゼ葺き
	破風板：木下地（18×150）の上GL鋼板ｔ＝0.4巻き（糸尺200）
	棟押え：木下地（18×90）+（18×180）の上GL鋼板ｔ＝0.4巻き（糸尺450）
鉄　　部	ＤＰ塗
軒　　天	野地板（高圧木毛セメント板）表し
軒　　樋	スチール芯入鋼板製
竪　　樋	硬質塩ビ　75Φ
庇	アルミ型材
外部床	土間コンクリート打　同時金コテ押さえ　目地切
ポーチ	土間コンクリート打　刷毛引き

凡　例

A	合板型枠打放しコンクリート+撥水材塗布
B	高圧木毛セメント板ｔ＝20の上角波サイディング
C	高圧木毛セメント板ｔ＝20の上ｶﾗｰ鋼板立ハゼ葺き
D	鉄部：SOP塗
a	木下地GLカラー鋼板ｔ＝0.4巻
b	既成アルミ庇（D900×W1200）

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録　長野県知事登録（伊那）M第7Y051号
図面を作成した建築士　一級建築士 大臣登録第177957号　井上　勉

凡例　備考

工事名称：令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）

図面名称：機械室棟詳細図-2

SCALE：[A1] 1：100　[A3] 1：200

年月日：R7.9

No.：D-48

CAD FILE No.D-48 機械室棟詳細図-2

Print out：25-12-26

令和８年度 ふれあい交流センター大芝の湯リニューアル工事解体特記仕様書

Ⅰ 解体工事概要

1. 工事場所　　長野県上伊那郡南箕輪村2358番地5

2. 敷地面積（㎡）58,072㎡

3. 部分撤去対象物　⊙ 建築物　⊙ 工作物　⊙ 建築設備　⊙ 家具等　⊙ 樹木　⊙ その他

部分撤去対象建築物等	構　造	階　数	梁間（m）	桁行（m）	建築面積（㎡）	延 面 積（㎡）
大芝の湯・ふれあいプラザ	S・RC	1	－	－	3,078.08	3,002.53

Ⅱ 解体工事共通仕様

章	項　　目	特　記　事　項
A 一般共通事項	1.適用範囲	(1)本仕様書は伊那市の発注に係る建築物、工作物、建築設備、家具（建築物等に造り付けられたものに限る。）及び樹木等（以下「建築物等」という。）の解体工事に適用する。 (2)本仕様書に規定する事項は以下の定めがある場合を除き、請負者の責任において履行すべきものとする。 (3)すべての設計図書は、相互に補完するものとする。ただし、設計図書間に相違がある場合の優先順位は、次の①から④の順番のとおりとし、これにより難い場合は、6.による。 ① 現場説明書及び現場説明に対する質問回答書 ② 本仕様書Ⅲ解体工事特記仕様 ③ 図面 ④ 本仕様
	2.適用基準	建築解体工事共通仕様書・同解説（国土交通省） 公共建築改修工事標準仕様書（建築、電気、機械設備） 建設副産物適正処理推進要綱(以下「推進要綱」という。)　平成10年12月1日建設省経建発第333号 工事現場の環境改善及び建設副産物の適正処理実施要領　長野県住宅部制定 建設工事公衆災害防止対策要綱　建築工事編　平成5年1月12日建設省経建発第1号 長野県公共建築工事の手引　長野県住宅部施設課監修 長野県建設工事写真撮影要領　長野県住宅部施設課制定 公共住宅建設工事共通仕様書（公共住宅事業者等連絡協議会編）
	3.用語の定義	本仕様書において用いる用語の定義は、次のとおりとする。 ①「監督職員」とは、契約書に規定する監督職員をいい、監督員指定通知書により請負者に通知された監督員を総称していう。 ②「請負者等」とは、当該工事請負契約の請負者又は契約書の規定により定められた現場代理人をいう。 ③「監督職員の承諾」とは、請負者等が監督職員に対し書面で申し出た事項について、監督職員が書面をもって了解することをいう。 ④「監督職員と協議」とは、協議事項について、監督職員と請負者等が結論を得るために合議し、その結果を書面に残すことをいう。 ⑤「特記」とは、１．の(3)の①から④に指定された事項をいう。 ⑥「書面」とは、発行年月日が記載され、署名又は捺印された文書をいう。 ⑦「解体工事」とは建築物等の除却及び撤去を目的とする、仮設物設置、取壊し、解体材の分別、保管、収集、運搬、再生、処分、電気・機械設備等の処置及び整地等を総称していう。
	4.官公庁への他への届出手続等	(1) 解体工事の着手、施工、完成に当たり、関係機関への必要な届出手続等を遅滞なく行う。 (2) 前項に規定する届出手続等を行うに当たっては、届出内容について、あらかじめ監督職員に報告する。
	5.工事実績情報（工事ｶﾙﾃ）の登録	工事請負額が５００万円以上の工事については、工事実績情報（工事カルテ）の登録をすること。 （ただし工事請負代金額５００万円以上２，５００万円未満の工事については、受注時・訂正時のみ登録するものとする。） 登録する場合は、あらかじめ監督職員の確認を受け、次に示す期間内に(財)日本建設情報総合センター(JACIC)に登録の手続きを行うとともに、登録されたことを証明する資料を監督職員に提出する。 なお、変更時と完成時の間が１０日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。 ① 工事受注時　契約締結後１０日以内 ② 登録内容の変更時　変更契約締結後１０日以内 ③ 工事完成時　工事完成後１０日以内 （ 連絡先：(財)日本建設情報総合センター　℡03-3505-2973 ）
	6.疑義に関する協議等	設計図書に定められた内容に疑義が生じたり、現場の納まり又は取合い等の関係で、設計図書によることが困難又は不都合な場合が生じたときは、監督職員と協議する。
	7.文化財その他の埋蔵物	解体工事の施工に当たり、文化財その他の埋蔵物を発見した場合は、直ちにその状況を監督職員に報告する。その後の措置については、監督職員の指示に従う。また、当該埋蔵物の発見者としての権利は、法律の定めるところにより、発注者が保有する。
	8.解体材の処理等	(1) 請負業者自ら解体材の処理（分別、保管、収集、運搬、処分の一連の行為をいう。以下同じ。）を行う場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という。）に基づき、適正に行うこと。 (2) 解体材の処理の一部を下請人に委託するときは、廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。 (3) 解体材の分別を徹底し再利用及び再生資源化に努める。 (4) 解体材の処理は次による。 ① 解体材のうち、発注者に引渡しを要するもの並びに特別管理産業廃棄物の有無及び処理方法は、特記による。 ② 解体材のうち、現場において再利用を図るもの及び再生資源化を図るものは、特記による。 ③ ①の引渡しを要するもの及び指定されたものは、監督職員の指示を受けた場所に整理のうえ、調書を作成して監督職員に提出する。 ④ ②の再生資源化を図るもの及び指定されたものは、分別を行い、所定の再生資源化施設等に搬入した後、調書を作成して監督職員に提出する。 ⑤ 構外に搬出すべきものは、「再生資源の利用の促進に関する法律」（以下「リサイクル法」という）、「廃棄物処理法」、その他関係法令によるほか、「推進要綱」に従い適切に処理し、処理状況を調書により監督職員に報告する。
	9.施工体制台帳及び施工体系図の作成	現場施行体制において、請負者は施工体制台帳を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、監督職員に写しを提出すること。 また、工事現場における施工の分担関係を明示した「施工体系図」を作成し、これを工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。 ※施工体制台帳に記載すべき内容 ・建設業法施行規則　第１４条の２第１項に掲げる事項 ・安全衛生責任者名、安全衛生推進者名、雇用管理責任者名

章	項　　目	特　記　事　項
B 工事関係図書	1.計画工程表	(1) 解体工事の着手に先立ち、計画工程表を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (2) 計画工程表の内容を変更する必要が生じた場合は、監督職員と協議するとともに、各種工程等に支障がないよう適切な措置を講ずる。 (3) 監督職員の指示を受けた場合は、計画工程表の補足として、週間又は月間工程表、工種別工程表等を作成し、監督職員に提出する。
	2.施工計画書	解体工事の着手に先立ち、次の内容を記載した施工計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 ① 施工計画 ア 騒音、振動及び粉塵等の防止対策 イ 除却手順、作業時間、除却工法、使用機械類及び作業人員 ウ 現場組織図（担当者の連絡先電話番号記載） エ 工法及び仮設計画図（施工図、器具図等、使用機械類） オ 作業員名簿（下請契約がある場合は下請業者届として別途作成。また、施工業者においては許可証等の写し及び工事担当者においては資格者証等の写し添付） ② 安全管理計画 ア 騒音、振動及び粉塵等の防止対策 イ 重機・車両災害防止、墜落飛散落下防止及び防火対策 ウ 工事関係車両に起因する混雑・交通渋滞の防止対策(周辺道路等も含む。) エ 関係車両通行経路図及び駐車計画図 オ 工事関係車両誘導員の配置計画 カ 緊急連絡組織計画 キ その他監督職員が安全対策上必要と認め指示するもの ③ 解体材処理計画 ア 廃棄物として搬出される解体材の種類、数量及びその処理計画 イ アの廃棄物のうち、建設発生土1,000㎥以上若しくはコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥及び建設混合廃棄物の合計が200t以上の場合又は工事規模が1,000万円以上の工事の場合は「リサイクル法」による再生資源利用促進計画書 ウ 収集運搬業の許可証及び許可車両一覧の写し（収集運搬を委託する場合） エ 収集運搬車両の最大積載重量のわかる書類（車検証等） オ 最終処分場の許可証の写し（中間処理にあっては中間処理施設の許可証の写し） カ 最終処分場の案内図（中間処理にあっては中間処理施設の案内図） キ 最終処分場の処理能力あるいは中間処理の再生方法及び処理能力 ク その他監督職員が解体材処理の適正化上必要と認め指示するもの ④ その他の計画 ア 地上及び地下（周辺範囲も含む）の既設構造物、既設配管等に対する施工方法（防護等） イ 設備（給排水、ガス、電気、通信等）撤去計画
	3.工事の記録及びしゅん工書類	(1) 監督職員と協議した結果について、記録を整備する。 (2) 解体工事の全般的経過を記載した書面を作成する。（工事日誌等） (3) 解体工事の経過の詳細を記録した工事写真を整備する。［詳細は4.(3)］ (4) 竣工書類は、監督員の指示によること。（伊那市営繕工事に係る提出書類一覧）
	4.解体材処理状況記録及び工事写真	(1) 搬出された解体材の処理状況記録 ① 処理の一部を委託した場合 ア 収集運搬車両ごとの産業廃棄物管理票(以下「ﾏﾆﾌｪｽﾄ」という。)A票、B2票、D票及びE票（建Ⅱの場合はB4票を加える。）の写し、建設廃棄物処理委託契約書の写し並びに搬出解体材の数量集計表 イ 最終処分場の案内図及び処分状況の写真（中間処理にあっては中間処理施設の案内図及び中間処理状況の写真） ② 請負者が自ら処理した場合 ア ﾏﾆｭﾌｪｽﾄに準じた解体材の種類ごとの数量集計表 イ 最終処分場の案内図及び処分状況の写真（中間処理にあっては中間処理施設の案内図及び中間処理状況の写真） ③ 特別管理産業廃棄物の場合 ①又は②に準ずる。ただし産業廃棄物管理票とあるを特別管理産業廃棄物管理票と読み替える。 (2) 解体材の再資源化実施状況記録 ※ 再生資源利用促進実施書に記載する事項 ・発生量、搬出先名称、区分、施工条件の内容、搬出先名称、運搬距離、搬出先の種類等 (3) 工事写真 ① 解体工事着手前の現場全景、周辺及び対象建築物等の現況写真 ② 仮設物、安全措置状況及び工程写真（除却作業状況、埋設配管等及び基礎類は入念に撮影する。） ③ 使用機械類 ④ 解体材収集運搬車両への積込み時、運搬時及び積降し時の写真 ⑤ 整地後の全景写真（着手時と同一アングルとする。） ⑥ その他監督職員の指示による ﾏﾆﾌｪｽﾄにおけるB2票及びD票はﾏﾆﾌｪｽﾄ交付90日（特別管理産業廃棄物は60日）、E票は180日以内に提出するものとし、工期内に提出できない場合は、監督員と協議すること。
C 解体工事現場管理	1.施工管理	解体工事全般での施工管理体制を確立し、工程、安全等の施工管理を行う。
	2.施工条件	(1) 作業時間 ① 日曜日及び官公庁の休日に工事を行わない。ただし、設計図書に定めがある場合又はあらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 ② 設計図書に作業時間が定められている場合で、その時間を変更する必要がある場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける。 ③ 設計図書に作業時間が定められていない場合は、周辺状況及び施工状況等考慮したうえで、監督職員と協議する。 (2) 解体工事の施工に当たっては、施工箇所及びその周辺にある地上・地下の既設構造物・配管等について、あらかじめ十分調査し、支障を来さないような施工方法等を定める。 (3) 地下構造部等の残存物がないことを確認後、後片付け、清掃及び整地を行う。 (4) 杭の引き抜き工事は、特記による。 (5) 上記以外の施工条件は、特記による。
	3.施工中の安全確保及び環境保全	(1) 建築基準法、労働安全衛生法、環境基本法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法その他関係法令によるほか、「対策要綱」及び「推進要綱」に従い、解体工事の施工に伴う災害の防止及び環境の保全に努める。 (2) 施工中の安全確保に関しては、「建築工事安全施工技術指針」（平成７年５月25日建設省営監発第13号）を参考に、常に工事の安全に留意し、現場管理を行い、災害及び事故の防止に努める。 (3) 工事現場の安全衛生に関する管理は、現場代理人が責任者となり、建築基準法、労働安全衛生法、その他関係法令に従ってこれを行う。 (4) 気象予報又は警報等について、常に注意を払い、災害の防止に努める。 (5) 火気の使用や溶断作業等を行う場合は、火気の取り扱いに十分注意すると共に、適切な消火設備、防炎シート等を設ける等、火災の防止措置を行う。 (6) 火薬類を用いた取り壊し作業を行ってはならない。 (7) 除却作業に使用する機械は低振動・低騒音・低排ガス型解体機種とする。また、同作業に当たっては騒音振動の減に努める。下請けとする場合は、この旨を指示し遵守させる。 (8) 除却作業中は必ず散水等を十分に行い、粉塵等の飛散防止に努める。 (9) 解体現場場内及び進入口付近路面の清掃に努める。 (10) 解体工事現場の工事関係車両進入口への交通誘導員の配置は、特記による。 (11) 現場内では解体材等の焼却は行わない。

章	項　　目	特　記　事　項
D その他	4.近隣住民対応等	(1) 解体工事の施工に当たっての近隣等との折衝は次による。また、その経過について記録し、遅滞なく監督職員に報告する。 ① 近隣住民等と解体工事の施工上必要な事前説明（工事概要に関する）及び折衝を行うものとし、あらかじめその内容を監督職員に報告する。 ② 解体工事に関して、近隣住民等から説明の要求又は苦情があった場合は、直ちに誠意をもって対応する。 ③ 近隣家屋等には損傷を与えないよう十分注意し、損傷が発生した場合は監督職員と協議するとともに、速やかに誠意をもって対応する。 ④ 工事関係車両の通行による道路の損傷には十分注意し、損傷が発生した場合は道路管理者と協議の上、請負者の責任において速やかに修復する。 (2) 建設事業及び建設業のイメージアップのために、作業環境の改善、作業現場の美化等に努める。
	5.災害時の安全確保	災害及び事故が発生した場合は、人命の安全確保を最優先するとともに、二次災害の防止に努め、その経緯を監督職員に報告する。
	1.収集運搬車両	解体工事の施工に伴う解体材、土砂及び工事用資材等（以下「解体材等」という）を収集及び運搬する車両の使用に当たっては、交通事故及び交通災害の防止に努めるとともに次の事項を遵守する。 ① 運搬を委託する場合は許可を得た車両を使用させ、許可証の写しを常備させる。 ② 廃棄物の性状に応じ、飛散、流失しない適切な構造の運搬車両を使用する。 ③ 積載重量制限を超えて解体材等を積み込まず、また積み込ませない。 ④ さし枠装着車、不表示車等に解体材を積み込まず、また積み込ませない。 ⑤ タイヤ又は車体に廃棄物を付着させたままの運搬をさせないよう、洗車、清掃を行う。 ⑥ 運搬経路の選定として運行上の安全と街路周辺環境に配慮する。
	2.保険等	工事期間中請負者の責任において労災保険に加入し、その負担は請負者とする。
	3.その他	(1) 暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。 (2)下請負契約締結後、速やかに下請負人通知書を提出すること。 (3) 下記業種等については、建設工事に関連性をもち、元請負人の指揮、調整のもと行われるものであるため施工体制台帳、施工体系図、契約書及び下請負人通知書等整備すること。また、下記業種同等と考えられるものについても、同様に整備すること。 ・交通整理員、ガードマン ・産業廃棄物処理業者 ・ダンプ運転（１人親方のダンプ運転手） ・１日で完了する請負契約、小額な作業・雑工・労務のみ単価契約の請負契約 ・クレーン作業、コンクリートポンプ打設等日々の単価契約で行っているもの ・クレーン等の重機オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合 ・他の会社から応援者を借上げ、請負契約を締結した場合（臨時雇用関係である場合を除く） (4) 本工事について、公共工事労務費調査、資材調査、建設副産物実態調査等県から調査依頼があった場合は、これに協力すること。 (5) 施行途中において、発注機関の長が指定する職員による、抜打ち検査を実施する場合においては、これに協力すること。

Ⅲ 解体工事特記仕様

(1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。
(2) 特記事項に○印がつかない場合は、※印がついたものを適用する。
(3) 特記事項に○印と※印のついた場合は共に適用する。

章	項　　目	特　記　事　項
A 一般事項	①適用基準	⊙既存建築物の吹付けｱｽﾍﾞｽﾄ粉じん飛散防止処理技術指針（同指針資料１　吹付けｱｽﾍﾞｽﾄ除去処理工事ﾏﾆｭｱﾙ）　建設省住宅局建築指導課監修 ⊙建設・解体工事に伴うｱｽﾍﾞｽﾄ廃棄物処理に関する技術指針（通称　アスベスト廃棄物処理ガイドライン）　建設大臣官房官庁営繕部監修　建設業課監修　厚生省水道環境部産業廃棄物対策室監修　(社)日本廃棄物対策協会作成
	②用語の定義	⊙「廃石膏ボード」とは、解体材となった石膏ボードをいい、特定廃石膏ボードを除く。 ⊙「特定廃石膏ボード」とは、次の工場で製造された石膏ボード製品が解体材となったもの。 ア 小名浜吉野石膏㈱いわき工場　商品名「タイガーボード」　工場名の表示「吉野石膏ＯＹ」　製造期間　昭和４８年～平成９年４月の製造品　ＪＩＳ許可番号　２７７０５７．２６５０２４ イ 日東石膏ボード(株)八戸工場　商品名「アドラサっこうボード」　会社名の表示「日東石膏ボード株式会社」　製造期間　平成４年１０月～平成９年４月の製造品　ＪＩＳ許可番号　２６５０２３．２６５０２４ ⊙「飛散性廃アスベスト等」とは、吹付け石綿（吹付けロックウールの内、石綿を含むものを含む。）及び石綿を含む石綿保温材、けいそう土保温材、パーライト保温材で飛散するおそれのあるもの並びに石綿が付着しているもの。 ⊙「非飛散性アスベスト含有建材」とは、アスベストを含有している成形板で、石綿セメント板、ビニール床タイル、珪酸カルシウム板、ロックウール化粧吸音板、化粧石膏ボード等（以下「アスベスト成形板」という。）があり、切断及び粉砕により飛散する恐れがあるもの。
	③特別管理産業廃棄物	・特別管理産業廃棄物の有無　⊙有　・無　・　廃PCBの調査 廃 棄 物 の 種 類：・燃えやすい廃油　・廃酸（pH2以下）　・廃アルカリ（pH12.5以上）　特定有害産業廃棄物（・廃ＰＣＢ　・ＰＣＢ汚染物　⊙廃石綿等　・　）
	④廃石膏ボード等及びアスベスト成形板	（使用箇所　　） ⊙廃石膏ボードの有無　⊙有　・無　・解体工事着手時に材料の履歴を調査確認 （使用箇所　　） ・特定廃石膏ボードの有無　・有　・無　・解体工事着手時に材料の履歴を調査確認 （使用箇所　　） ・アスベスト成形板の施工調査　※行う　・行わない （調査箇所　施工調査による）
	⑤シーリング	・ＰＣＢ含有シーリング調査　※行う　・行わない　⊙実施済（含有：　なし　） ・１次分析（ＰＣＢ含有分析の要否判定） 工事に先立ち、工事範囲のシーリング材を各部位毎に採取し、シーリング材種についての判定を行うこと。なお、判定結果は速やかに監督職員に報告し、ＰＣＢ含有分析が必要な場合は協議する。 ・２次分析（ＰＣＢ含有分析） ＰＣＢの含有について分析を行うこと。なお、分析結果は速やかに監督職員に報告すること。 (1)採取箇所　計　箇所 (2)採取方法　分析機関の指定する方法により採取する。 (3)分析方法　ＧＣ－ＥＣＤ法による(JIS K0114) シーリングにＰＣＢが含有していた場合の措置 (1)除去方法　改修標仕3.7.5(a)による (2)処置方法　関係法令により適切に処理すること。また、密封できる容器に保管し、採取時期、使用部位、ＰＣＢが含有していること等を明記の上、施設管理者へ引き渡す。

章	項　　目	特　記　事　項
B 仮設工事	⑥特殊な廃棄物	⊙特殊な廃棄物の有無　・有　・無　⊙解体工事着手時に調査確認 廃 棄 物 の 種 類：・ＣＣＡ処理木材　・蛍光管又は水銀灯　・臭化リチウム使用冷凍機　・複合素材　・フロン・ハロン使用製品　・オイルタンク内オイル　・ピット汚泥　・便槽、グリーストラップ汚泥
	⑦解体材の処理等	※ 場外搬出適正処理（特別管理産業廃棄物を除く） ・引渡しを要するもの ・現場において再利用を図るもの ⊙再生資源化を図るもの：⊙コンクリート塊　・アスファルト・コンクリート塊　⊙木くず　⊙金属くず　・電線類　・建設発生土　・その他（　　） ⊙処理方法について監督職員と協議を要するもの：・コンクリート塊　・アスファルト・コンクリート塊　・木くず　・遊具　・プール等　・小動物飼育小屋　・記念碑等に類する工作物　⊙伐採木　・伐採根　・その他
		・ 特別管理産業廃棄物 ・ 廃油、廃酸、廃アルカリ　［・施設管理者が対処　・　］ ・ ＰＣＢ使用部品、廃ＰＣＢ等、ＰＣＢ汚染物→施設管理者が保管する。　［・施設管理者が集積済　・請負者が取り外し　］ ・「飛散性廃アスベスト等」　→１．適用基準中の「既存建築物の吹付けアスベスト粉じん防止処理技術指針（この項で以下「指針」という。）に基づく除去処理工法により除去し、場外適正処理。　［・別途発注　・指針に基づく適切な施工業者に再委託］ 注　「飛散性廃アスベスト等」にあっては、工事現場には廃棄物処理法に基づく特別管理産業廃棄物管理責任者の設置及び指針に基づく特定化学物質等作業主任者の選任を要する。 ・「アスベスト成形板」　→平成１２年３月３１日、建設省営計発第４４号別紙１（現場説明書）により除却し、場外適正処理。　［ ※ 安定型処分場へ処分　・　］ ⊙焼石膏ボード　［・管理型最終処分場に処分　・紙を除去の上、安定型最終処分場に処分］ ・特定廃石膏ボード　［・管理型最終処分場に処分　］ ・特殊な廃棄物　廃棄物名　・蛍光管　・　［・管理型最終処分場に処分　・　］
	8.埋蔵文化財調査	「周知の埋蔵文化財包蔵地」の該当　・該当する　・該当しない 掘削作業時の教育委員会等の立会い　・有　・無 埋蔵文化財調査の時期　・解体工事終了後　・解体工事途中
	9.騒音、振動調査	調査の有無　※無　・有 調査の方法は設計図書による

章	項　　目	特　記　事　項
C 除却工事	①施工条件	(1) 作業時間　※ 午前８時から午後５時の間　・土日祭日　（共通仕様Ⅱ-C-2.-(1)） (2) 施設利用者登退庁等（登下校等）のための作業制限　・有（　時　～　時　）　⊙無 ・近隣学校施設通学路（登下校等）のための通行制限　・有（　時　～　時　）　⊙無 (3) 地上及び地下の既設配管等の処理　※ 設計図書による　・工事着工時の調査による (4) 整地　※ 除却の建築物等周囲２ｍ程度の範囲まで水はけよく地均しする　・ (5) 杭の引き抜き　・有（工法　※ 設計図書による　・　）　※無 (6) 引渡しを要する既存設備等の取扱い　（共通仕様Ⅱ-A-8.-(4)-①） ※再使用を前提とした取り外し （物品名　　） (7) 機械設備（給排水管設備、消火設備、ガス設備等）及び電気設備（構内配電線等）の切替・遮断等の工事を行う者 ※ 請負者が同工事の許可業者でない場合は、同工事の許可を取得している者に委託する。 （長野県建設工事入札参加資格者のうちから監督職員と協議し、委託する） 散水方法　※ 高圧ポンプ等（散水員１名以上常駐）　・
	②防塵対策	※ 配置する（・常駐　・車両出入時のみ）　・　（共通仕様Ⅱ-C-3.-(8)）
	③交通誘導員の配置	（交通誘導員を配置した場合は、工事日誌等にその人員数を記載する）　（共通仕様Ⅱ-C-3.-(10)）

章	項　　目	特　記　事　項
D その他	1.工事現場の環境改善について	工事現場のイメージアップ　（共通仕様Ⅱ-C-4.-(2)） ・仮囲い周辺の美化　・ 地域住民への情報提供 ・情報掲示板の設置　・パンフレットの作成　・ 地域住民とのコミュニケーション ・
	2.アスベスト成形板の処理等について	※ アスベスト成形板の撤去に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。調査結果は、図面により記録し、監督職員に提出すること。 (1)　アスベスト成形板の使用部位の確認 (2)　アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認 (3)　アスベスト成形板使用数量の確認 (4)　施工範囲等の確認
	3.土壌調査	調査項目 ・土壌調査　・土壌調査（含有量試験）　・ﾊﾛｶﾙﾎﾞﾗﾝ抽出調査　・廃棄物含有調査 土壌汚染に係る環境基準に準拠すること。
	④ISO 14001関係	(1)現場で使用する機械は、低騒音、低排ガス、低振動型施工機械とする。 (2)夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 なお、運搬ルートの選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。 (3)汚水、汚濁、土砂の流出防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。
	5.ｱｽﾍﾞｽﾄ粉塵濃度	ｱｽﾍﾞｽﾄ粉塵濃度測定を行う。位置は、設計書による。

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録　長野県知事登録（伊那）M第7Y051号
図面を作成した建築士　一級建築士 大臣登録第177957号　井 上 勉

凡例　備考

工事名称　令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）

図面名称　解体（部分撤去）特記仕様書

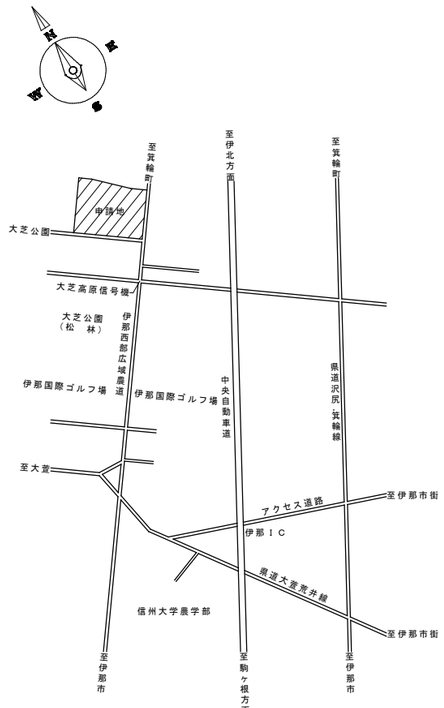
SCALE　[A1] －　[A3] －

年 月 日　R7.9

No.　K-01

CAD FILE No.K-01 解体特記仕様書

Print out：26-02-04



案　内　図

凡　例

…既存部分



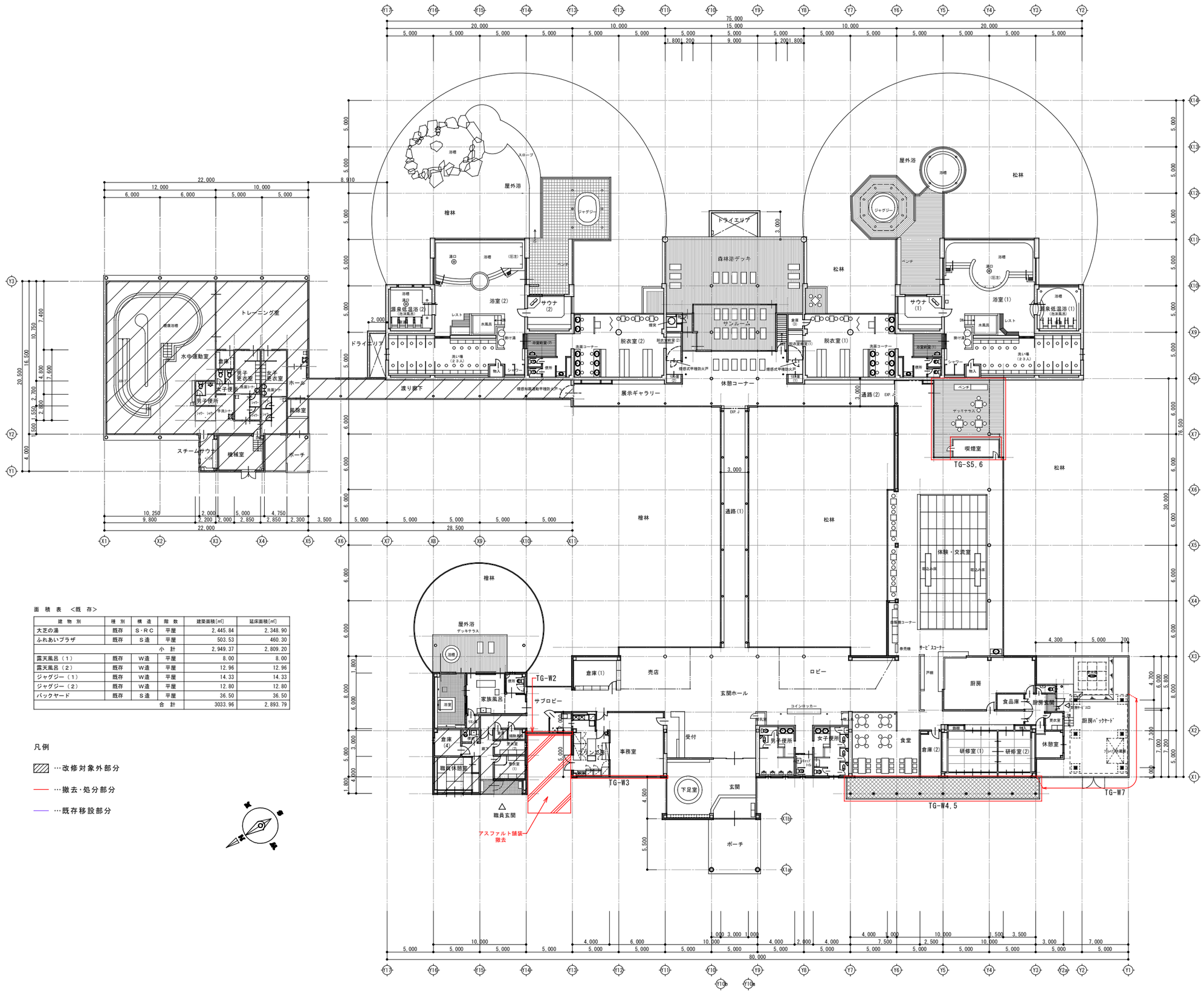
配　置　図　　１：６００

＜既存＞

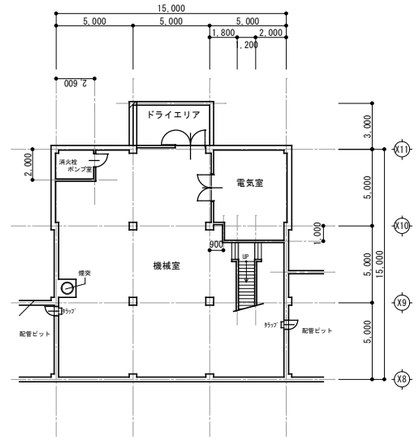
株式会社 城取建築設計事務所 〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271	一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)M第7Y051号	図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上　勉	凡例　備考	工事名称 令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）	図面名称 既存配置図 ＜既存＞	SCALE [A1]　１：６００ [A3]　１：１２００	年月日 R7.9	No. K-02

CAD FILE No.K-02 既存配置図

Print out : 25-12-26



1階平面図＜既存＞　S=1:200



地階平面図＜既存＞　S=1:200

面積表　＜既存＞

建物別	種別	構造	階数	建築面積[㎡]	延床面積[㎡]
大芝の湯	既存	S・RC	平屋	2,445.84	2,348.90
ふれあいプラザ	既存	S造	平屋	503.53	460.30
			小計	2,949.37	2,809.20
露天風呂（1）	既存	W造	平屋	8.00	8.00
露天風呂（2）	既存	W造	平屋	12.96	12.96
ジャグジー（1）	既存	W造	平屋	14.33	14.33
ジャグジー（2）	既存	W造	平屋	12.80	12.80
バックヤード	既存	S造	平屋	36.50	36.50
			合計	3033.96	2,893.79

凡例

…改修対象外部分

…撤去・処分部分

…既存移設部分

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録　長野県知事登録（伊那）M第7Y051号
図面を作成した建築士　一級建築士 大臣登録第177957号　井上　勉

凡例　備考

工事名称：令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）

図面名称：既存全体平面図 ＜既存＞

SCALE：[A1] 1：200　[A3] 1：400

年月日：R7.9

No.：K-03

CAD FILE No.K-03 既存全体平面図

Print out：25-12-26

TG-W1

屋根　鋼板横葺き屋根（庇）破風切断撤去　4.2㎡
- 鋼板屋根　t0.4
- アスファルトルーフィング
- 高圧木毛板　t20
- 鉄骨垂木（C-100×50×20×2.3 @606）　3.5m
- 幕板（木160×35）　3.7m
- 破風　木（35×160）撤去

軒天　LGS（25）+FK※　t6　4.7㎡
- LGS（25）
- FK　t6

TG-W2

外壁　中空セメント板横張　撤去　6.7㎡
- 中空セメント板　※t26
- 防水シート
- 下張り材　GB-F　t12.5　発泡ｳﾚﾝ t30付
- 鉄骨胴縁（C-100×50×20×2.3 @606）　13.5m
- 胴縁受（□-100×100×2.3）　4.8m

建具　アルミサッシ　撤去　1ヶ所　7.0㎡
- アルミサッシ（AW-4 FIX：W4.7×H1.5）撤去　1ヶ所
- ガラス　複層（FL5+A6+FL5）

TG-S1

外壁　中空セメント板横張　撤去　4.8㎡
- 中空セメント板　※t26
- 防水シート
- 下張り材　GB-F　t12.5　発泡ｳﾚﾝ t30付
- 鉄骨胴縁（C-100×50×20×2.3 @606）　4.2m

TG-W4

庇　鋼板平葺き屋根撤去　61.2㎡
- 鋼板屋根　t0.4
- アスファルトルーフィング
- コンパネ　t12
- 野垂木（30×600 @455）　48本
- 化粧野地板　t15
- 化粧垂木　45×105　@455　48本
- 広小舞　（40×120）+定（30×90）　21.8m
- 垂木掛け　60×120　21.8m
- 丸太柱　120φ　L 2.4m　9本
- 容石　300φ×h150　9ケ

TG-W3

外壁　中空セメント板横張　撤去　11.9㎡
- 中空セメント板　※t26
- 防水シート
- 下張り材　GB-F　t12.5　発泡ｳﾚﾝ t30付
- 鉄骨胴縁（C-100×50×20×2.3 @606）　22.4m
- 鉄骨胴縁（□-100×100×2.3）　8.8m

建具　アルミサッシ　撤去　2ヶ所　12.1㎡
- アルミサッシ（AW-7 3連引き違い：W5.2×H1.39）撤去　1ヶ所
- アルミサッシ（AW-8 2連引き違い：W3.5×H1.39）撤去　1ヶ所
- ガラス　複層（FL5+A6+FL5）

TG-S3

建具　アルミサッシ　撤去　1ヶ所　1.2㎡
- アルミサッシ（AG-3 固定ｶﾞﾗｽ：W1.5×H0.8）撤去　1ヶ所

TG-S2

外壁　中空セメント板横張　撤去　1.4㎡
- 中空セメント板　※t26
- 防水シート
- 下張り材　GB-F　t12.5　発泡ｳﾚﾝ t30付
- 鉄骨胴縁（C-100×50×20×2.3 @606）　4.2m

建具　アルミサッシ　撤去　1ヶ所　3.0㎡
- アルミサッシ（AD-5 ﾗﾝﾏ付両開き：W1.2×H2.5）撤去　1ヶ所
- ガラス（FL5）

TG-S4

建具　アルミサッシ　撤去　2ヶ所　2.4㎡
- アルミサッシ（CSW-1 FIX：W1.93×H0.6）撤去　2ヶ所
- ガラス　複層（FL3+A6+FL3）

TG-S6

喫煙所　木造（2.0×5.0×2.0H）　撤去　1ヶ所

TG-S5

既存　デッキテラス　撤去　63.7㎡
- 床板　11.7m3
- デッキ（ﾃﾞｯｷ材：木105×30　根太：70×45@600）　63.7㎡
- 手摺　支柱：SUS□-61×32×2.0ｰﾀﾞﾌﾞﾙ　h 800　笠木（105×30）・手摺（20×90）×3　5.2m（支柱5本）
- 基体　ｺﾝｸﾘｰﾄ　18.5m3　鉄筋　1600ｋｇ　ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀｰ入れ　35.1m

軒天　LGS（25）+FK※　t6　18.7㎡
- LGS（25）
- FK　t6

TG-W5

土間　ｺﾝｸﾘｰﾄ+ﾓﾙﾀﾙ下地+ﾀｲﾙ貼り　撤去 58.8㎡
- タイル（モルタル下地共）　67.5㎡
- コンクリート　10.8m3
- 鉄筋　D10（748m）　418kg

TG-W6

外壁　中空セメント板横張　撤去　20.2㎡
- 中空セメント板　t26
- 防水シート
- 下張り材　GB-F　t12.5　発泡ｳﾚﾝ t30付
- 鉄骨胴縁（C-100×50×20×2.3 @606）　41.3m
- 胴縁受（□-100×50×20×2.3 @606）　17.4m

建具　アルミサッシ撤去　2ヶ所　40.4㎡
- 建具　アルミサッシ（AW-5 4連引き違い：W9×H2.35）撤去　1ヶ所
- 建具　アルミサッシ（AW-6 4連引き違い：W8.2×H2.35）撤去　1ヶ所
- ガラス　複層（FL5+A6+FL5）

TG-W7

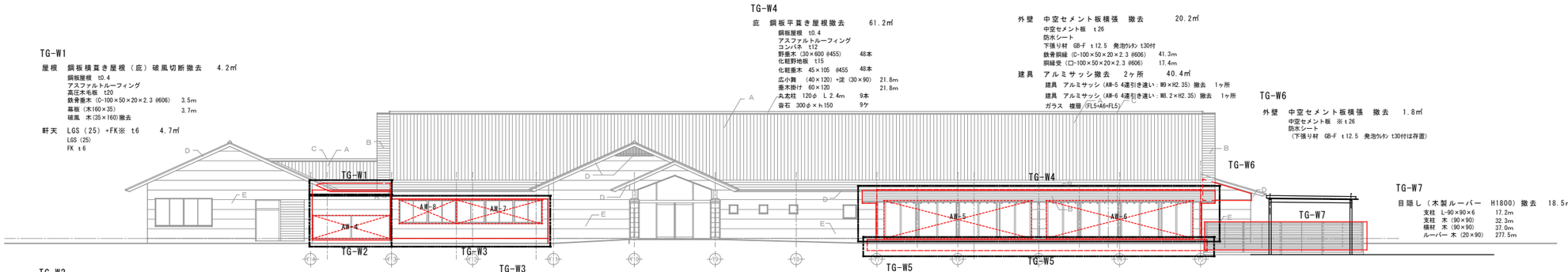
目隠し（木製ルーバー　H1800）撤去　18.5m
- 支柱　L-90×90×6　17.2m
- 支柱　木（90×90）　32.3m
- 横材　木（90×90）　37.0m
- ルーバー 木（20×90）　277.5m

TG-E1

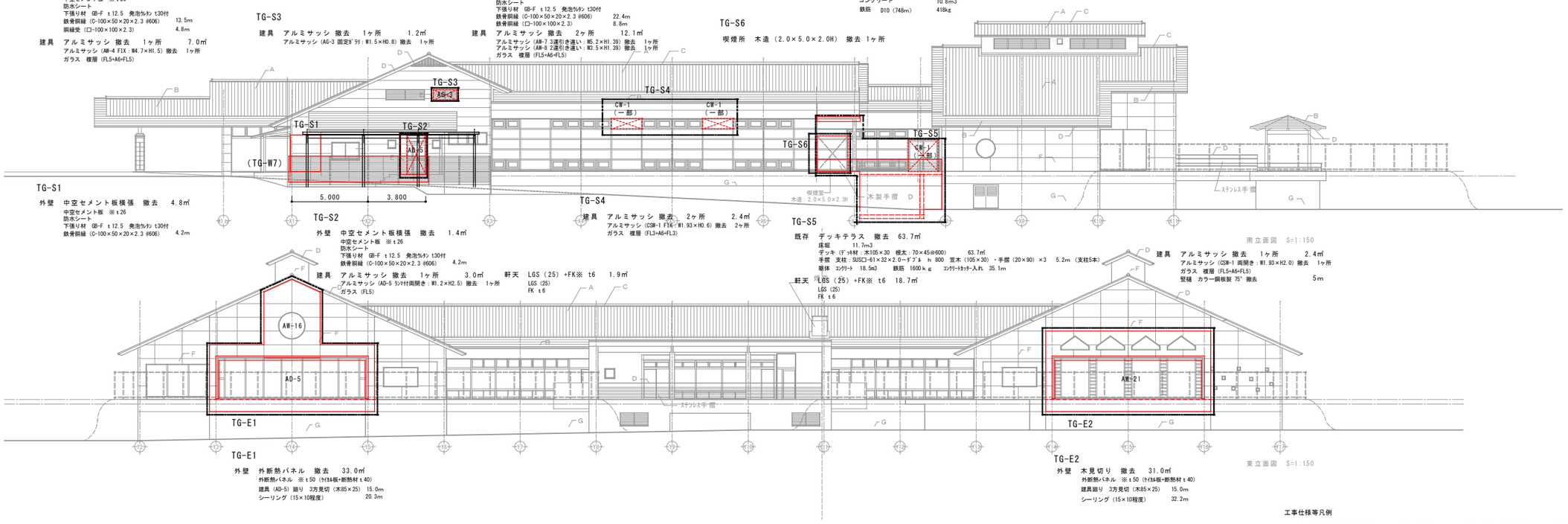
外壁　外断熱パネル　撤去　33.0㎡
- 外断熱パネル　※t50（ｹｲｶﾙ板+断熱材 t40）
- 建具（AD-5）廻り　3方見切（木85×25）　15.0m
- シーリング（15×10程度）　20.3m

TG-E2

外壁　木見切り　撤去　31.0㎡
- 外断熱パネル　※t50（ｹｲｶﾙ板+断熱材 t40）
- 建具廻り　3方見切（木85×25）　15.0m
- シーリング（15×10程度）　32.2m

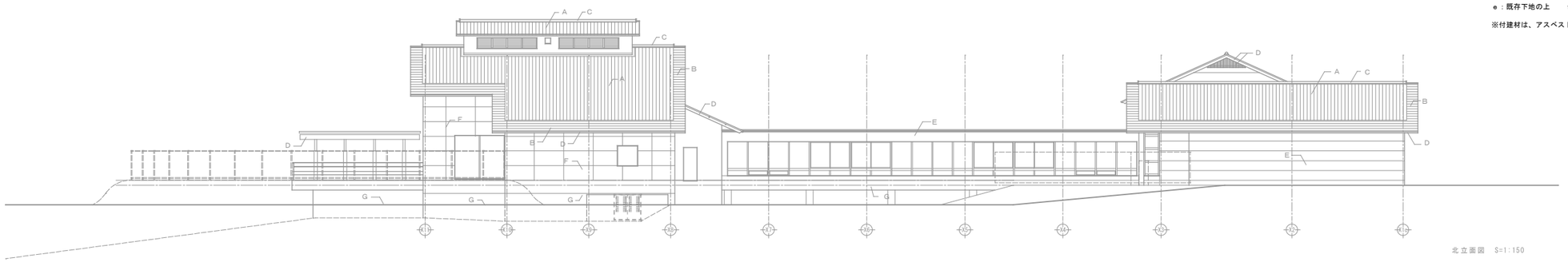


西立面図　S=1:150



南立面図　S=1:150

東立面図　S=1:150



北立面図　S=1:150

工事仕様等凡例

a：（下地・仕上げ共）撤去　b：仕上げ撤去　c：下地・仕上げ一部撤去　d：仕上げ一部撤去
e：既存下地の上　f：既存のまま　g：既存仕上げ取り外し再取付　h：新規

※付建材は、アスベスト含有建材を示す

凡例

A	フッ素樹脂塗装鋼板　t=0.4　成形瓦
B	フッ素樹脂塗装鋼板　t=0.4　平葺
C	既製棟ﾕﾆｯﾄ　フッ素樹脂塗装鋼板　t=0.4
D	木部　木材保護塗料塗
E	押出し成形セメント板　(ｱ)２６　吹付タイル
F	外断熱パネル(ｱ)50打込み　吹付タイル
G	塗装合板型枠コンクリート打放し　はっ水剤吹付

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録　長野県知事登録（伊那）M第7Y051号
図面を作成した建築士　一級建築士 大臣登録第177957号　井上　勉

凡例　備考

工事名称　令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）

図面名称　既存立面図-1　＜既存＞

SCALE　[A1] 1：150　[A3] 1：300

年月日　R7.9

No.　K-04

CAD FILE No.K-04 既存立面図-1

Print out：25-12-26

工事仕様等凡例

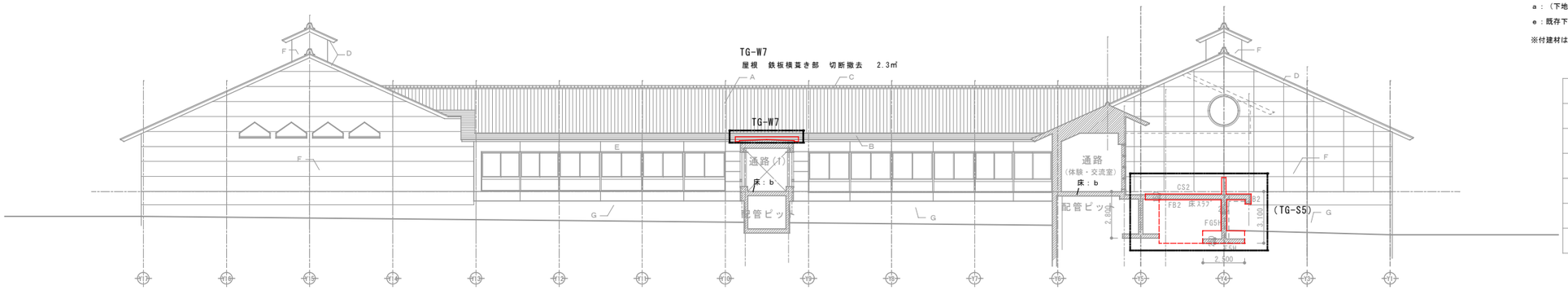
a：（下地・仕上げ共）撤去　b：仕上げ撤去　c：下地・仕上げ一部撤去　d：仕上げ一部撤去
e：既存下地の上　f：既存のまま　g：既存仕上げ取り外し再取付　h：新規

※付建材はアスベスト含有建材を示す

凡　例

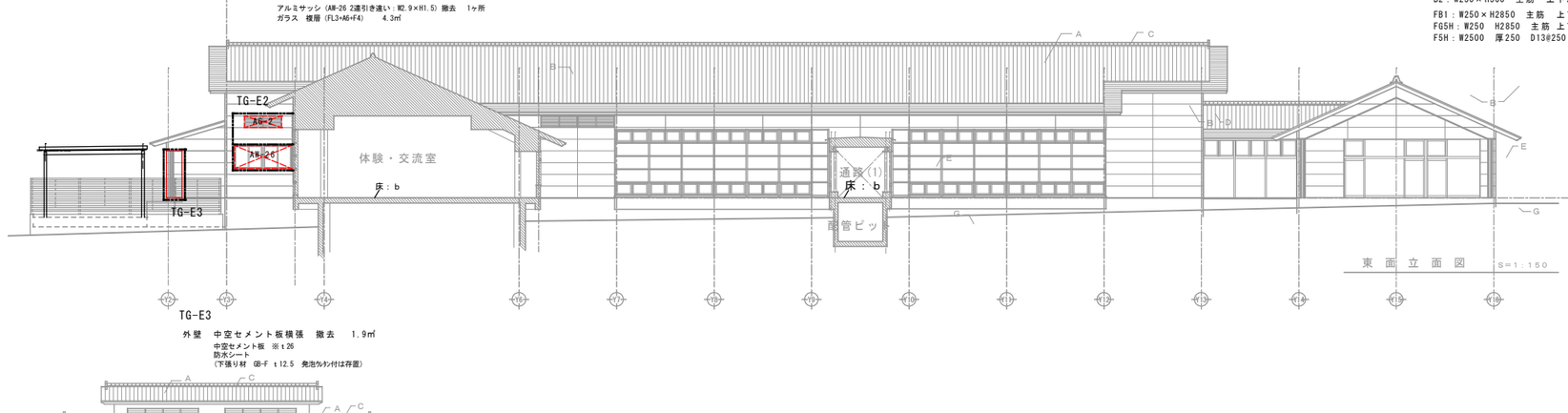
A	フッ素樹脂塗装鋼板　t=0.4　形成瓦
B	フッ素樹脂塗装鋼板　t=0.4　平葺
C	既製棟カバー　フッ素樹脂塗装鋼板　t=0.4
D	木部　木材保護塗料塗
E	押出成形セメント板　(T)26　吹付タイル
F	外断熱パネル(T)50打込み　吹付タイル
G	塗装合板コンクリート打放し　はつ水剤吹付

TG-W7
屋根　鉄板横葺き部　切断撤去　2.3㎡



西　面　立　面　図　S=1:150

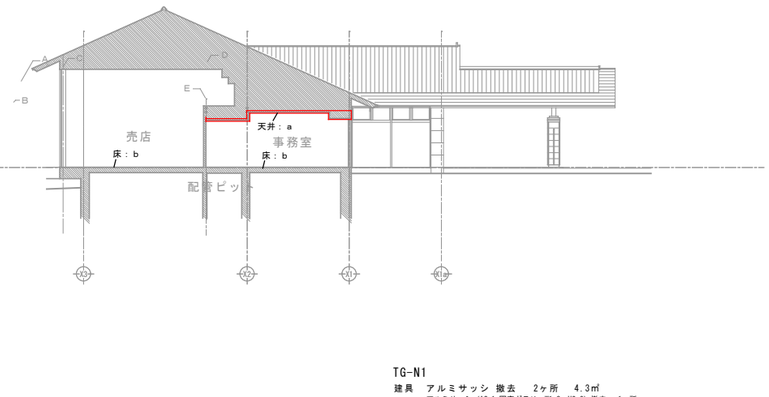
TG-E2
建具　アルミサッシ 撤去　2ヶ所　5.4㎡
アルミサッシ (AG-2 固定ガラリ：W1.8×H0.6) 撤去　1ヶ所
アルミサッシ (AW-26 2連引き違い：W2.9×H1.5) 撤去　1ヶ所
ガラス　複層 (FL3+A6+F4)　4.3㎡



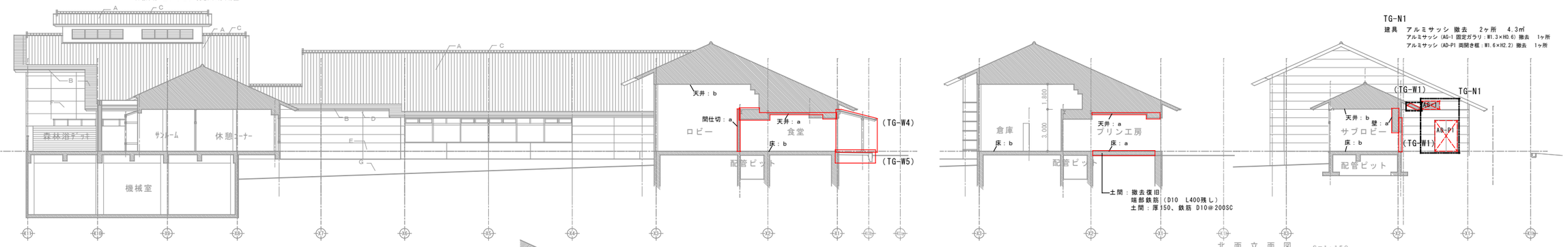
東　面　立　面　図　S=1:150

TG-E3
外壁　中空セメント板横張　撤去　1.9㎡
中空セメント板　※t26
防水シート
(下張り材　GB-F　t12.5　発泡ｳﾚﾀﾝ付は存置)

床ｽﾗﾌﾞ：厚150 D10・D13交互@200　WC
CS2：厚170～200 上端持出し筋 D13@200　横D200@200　下筋D10@200 SC
B2：W250×H500　主筋　上下2-D19 STP D10@200
FB1：W250×H2850　主筋　上下 2-D19 STP D10@200 腹筋 9×2-D10
FG5H：W250　H2850　主筋 上下 2-D22 STP D13@250 腹筋　9×2-D13
F5H：W2500　厚250　D13@250 SC

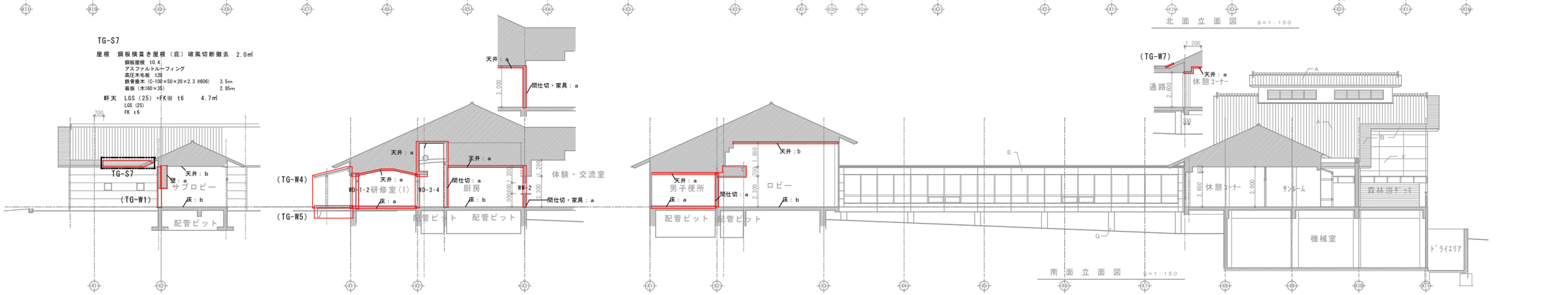


TG-N1
建具　アルミサッシ 撤去　2ヶ所　4.3㎡
アルミサッシ (AG-1 固定ガラリ：W1.3×H0.6) 撤去　1ヶ所
アルミサッシ (AD-P1 両開き框：W1.6×H2.2) 撤去　1ヶ所



北　面　立　面　図　S=1:150

TG-S7
屋根　鋼板横葺き屋根（庇）破風切断撤去　2.0㎡
鋼板屋根　t0.4
アスファルトルーフィング
高圧木毛板　t20
鉄骨垂木 (C-100×50×20×2.3 @606)　3.5m
幕板（木160×35）　2.95m
軒天　LGS（25）+FK※ t6　4.7㎡
LGS (25)
FK t6

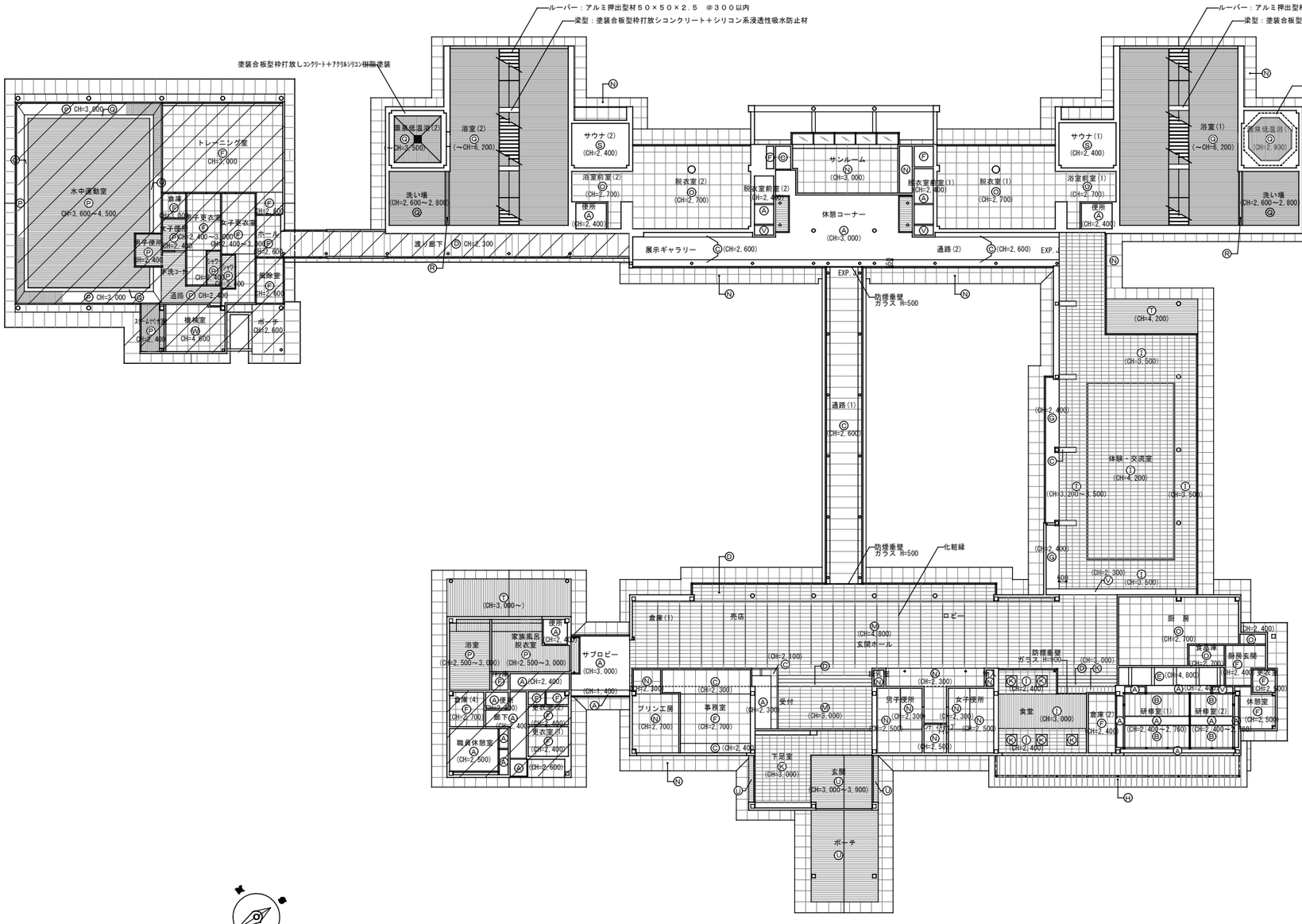


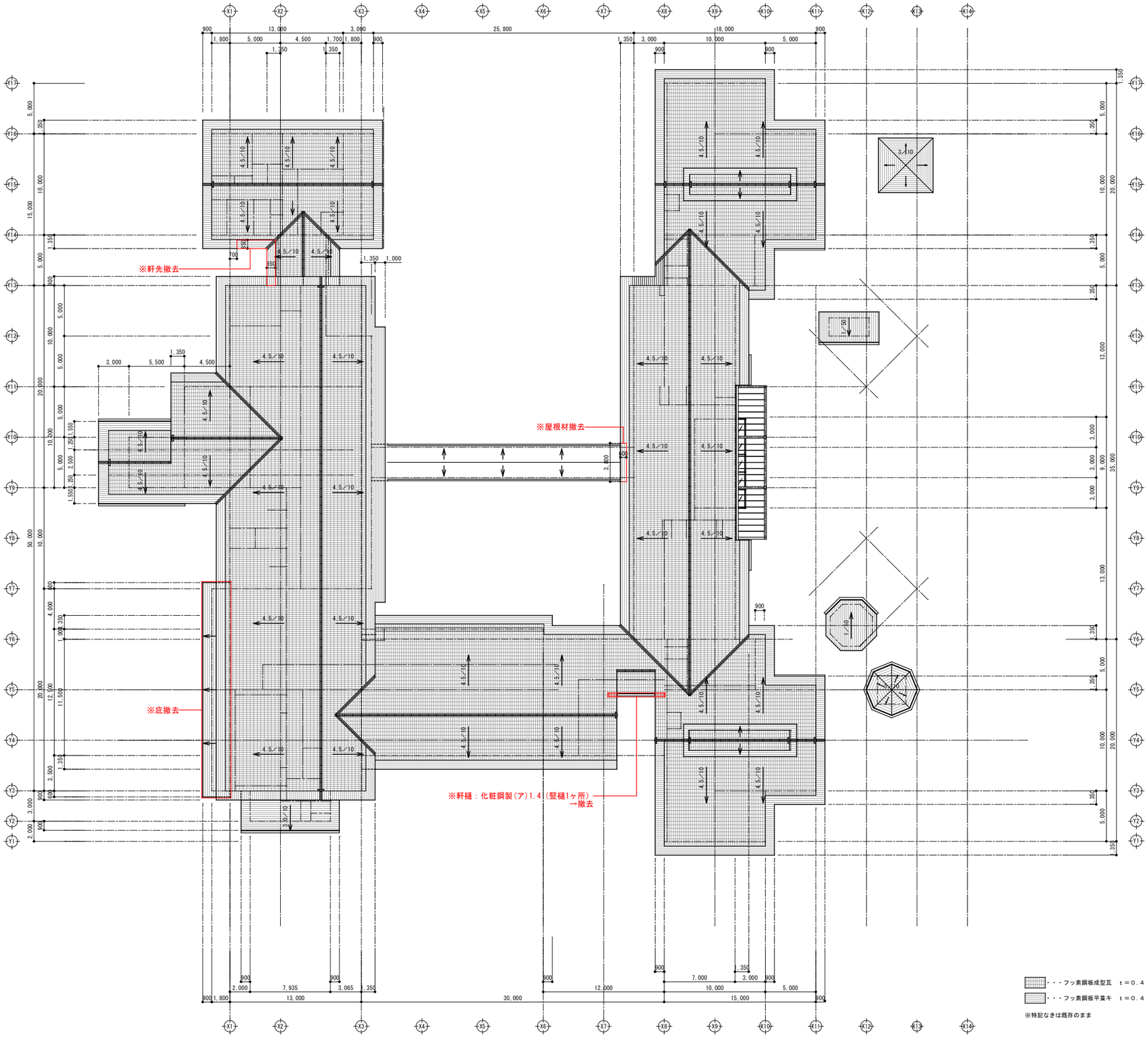
南　面　立　面　図　S=1:150

株式会社 城取建築設計事務所 〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271	一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)M第7Y051号	図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上　勉	凡例　備考	工事名称 令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）	図面名称 既存立面図-2・断面図 ＜既存＞	SCALE [A1]　1：150 [A3]　1：300	年月日 R7.9	No. K-05

CAD FILE No.K-05 既存立面図-2・断面図

Print out：25-12-26

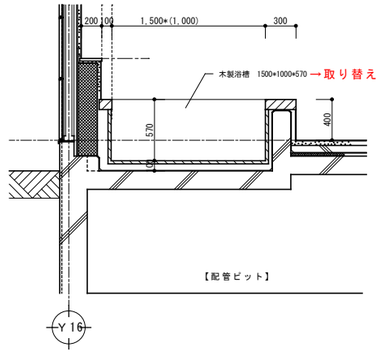

ルーバー：アルミ押出型材５０×５０×２．５　＠３００以内
梁型：塗装合板型枠打放しコンクリート＋シリコン系浸透性吸水防止材
塗装合板型枠打放しｺﾝｸﾘｰﾄ＋ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装
ルーバー：アルミ押出型材５０×５０×２．５　＠３００以内
梁型：塗装合板型枠打放しコンクリート＋アクリル樹脂塗装
塗装合板型枠打放しｺﾝｸﾘｰﾄ＋ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗装
水中運動室 CH=3,600~4,500
トレーニング室 CH=3,000
倉庫 CH=2,400
女子更衣室 CH=2,400~3,000
女子便所 CH=2,400
男子便所 CH=2,400
ホール CH=2,400~3,300
ショワ CH=2,400
更衣室 CH=2,400
機械室 CH=4,800
ポーチ CH=2,600
通路 CH=2,400
CH=3,000
CH=3,600
温泉低温浴槽(2) CH=3,500
浴室(2) (~CH=6,200)
洗い場 (CH=2,600~2,800)
渡り廊下 CH=2,300
サウナ(2) (CH=2,400)
浴室前室(2) (CH=2,700)
便所 (CH=2,400)
脱衣室(2) (CH=2,700)
脱衣室前室(2) (CH=2,400)
サンルーム (CH=3,000)
休憩コーナー (CH=3,000)
展示ギャラリー CH=2,600
通路(2) CH=2,600
脱衣室前室(1) (CH=2,400)
脱衣室(1) (CH=2,700)
サウナ(1) (CH=2,400)
浴室前室(1) (CH=2,700)
便所 (CH=2,400)
浴室(1) (~CH=6,200)
源泉低温浴槽 (CH=2,900)
洗い場 (CH=2,600~2,800)
EXP.J
防煙垂壁 ガラス H=500
通路(1) CH=2,600
(CH=4,200)
(CH=3,500)
(CH=2,400)
体験・交流室 (CH=4,200)
(CH=3,200~3,500)
(CH=3,500)
(CH=2,400)
(CH=2,300)
(CH=3,500)
(CH=3,000~)
倉庫(4) (CH=2,700)
便所 (CH=2,400)
浴室 (CH=2,500~3,000)
家族風呂 脱衣室 (CH=2,500~3,000)
(CH=2,400)
廊下 (CH=2,400)
受付 (CH=2,400)
更衣室(2) (CH=2,400)
更衣室(1) (CH=2,400)
職員休憩室 (CH=2,500)
(CH=2,600)
倉庫 (CH=2,400)
サブロビー (CH=3,000)
(CH=1,400)
(CH=2,100)
(CH=2,300)
プリンエ房 (CH=2,700)
事務室 (CH=2,700)
(CH=2,400)
(CH=2,300)
(CH=3,000)
千局室 (CH=3,000)
玄関 (CH=3,000~3,900)
ポーチ
倉庫(1) (CH=3,000~)
売店
ロビー
(CH=4,800)
玄関ホール
(CH=2,100)
(CH=2,300)
(CH=2,300)
(CH=2,500)
(CH=2,500)
(CH=2,500)
(CH=2,400)
(CH=2,400)
(CH=3,000)
(CH=2,400)
(CH=2,400)
(CH=2,400)
(CH=2,400)
(CH=2,400)
厨房 (CH=2,700)
食庫 (CH=2,700)
前室玄関 (CH=2,400)
更衣室 (CH=2,500)
休憩室 (CH=2,500)
(CH=2,400)
(CH=4,800)
(CH=2,400)
研修室(1) (CH=2,400~2,760)
研修室(2) (CH=2,400~2,760)
(CH=3,000)
倉庫(2) (CH=2,400)
食堂 (CH=3,000)
(CH=2,400)
(CH=2,400)
(CH=3,000)
(CH=2,400)
(CH=2,400)
(CH=2,400)
(CH=2,400)
(CH=2,400

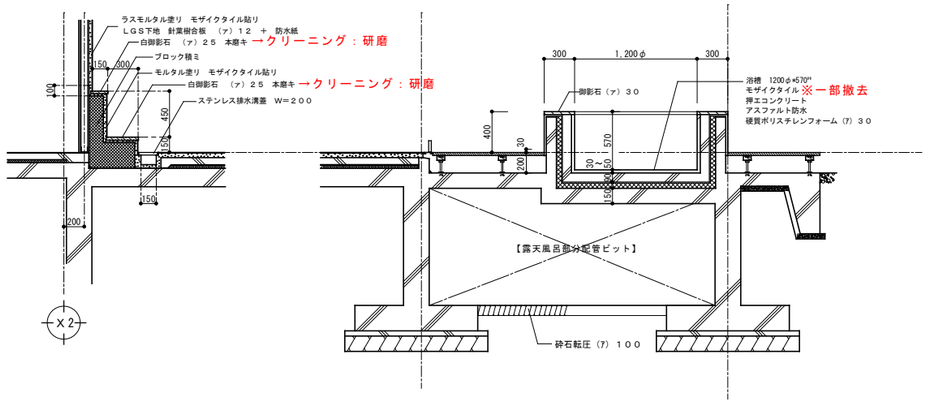


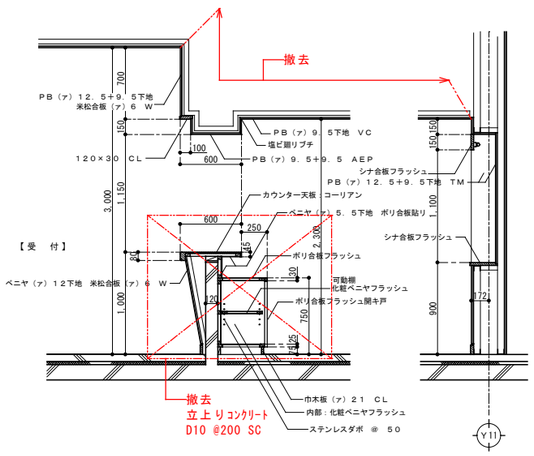
株式会社 城取建築設計事務所 〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271	一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)M第7Y051号	図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上　勉	凡例　備考	工事名称 令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事（建築工事）	図面名称 既存屋根伏図 ＜既存＞	SCALE [A1] 1：200 [A3] 1：400	年月日 R7.9	No. K-07

CAD FILE No.K-07 既存屋根伏図

Print out : 25-12-26

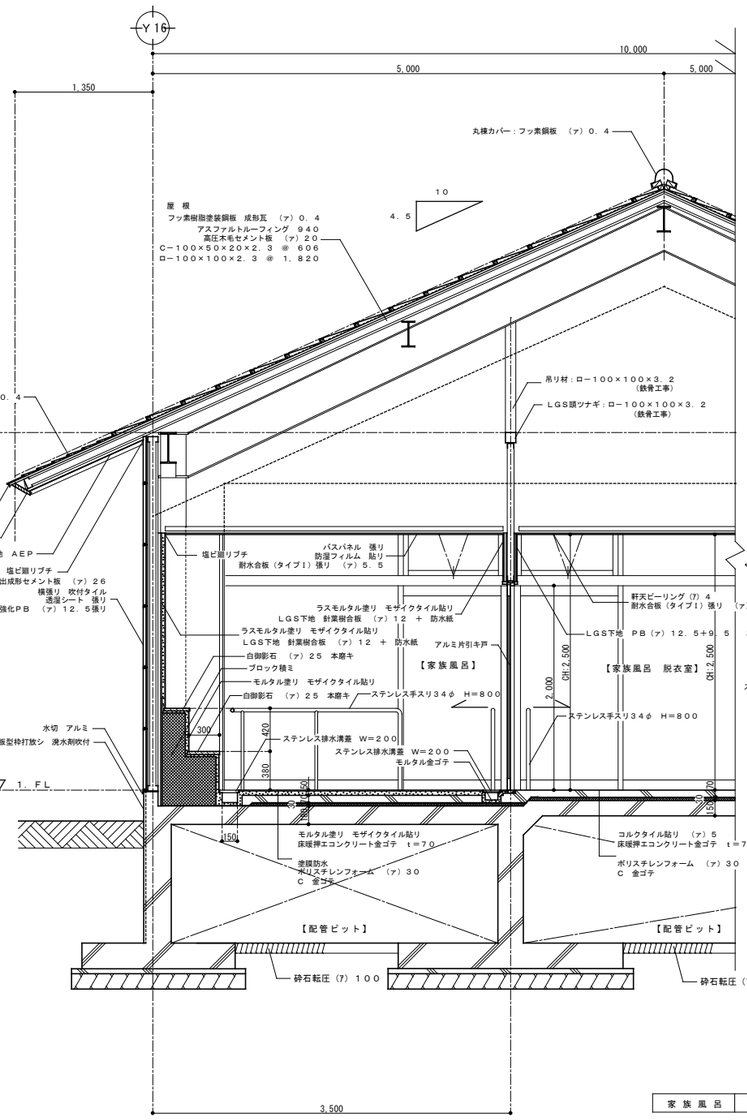


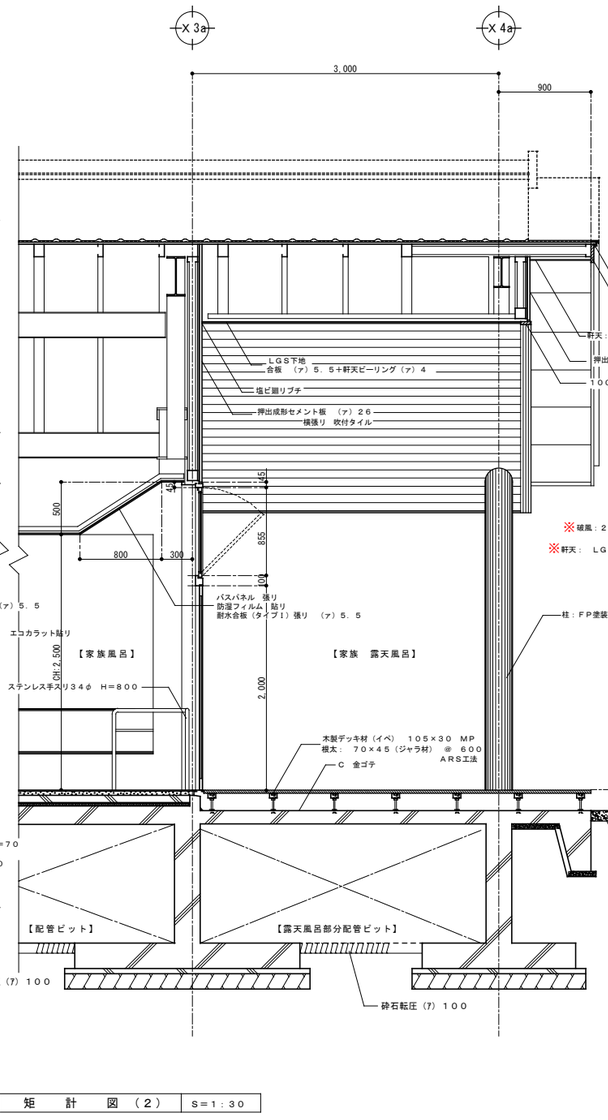


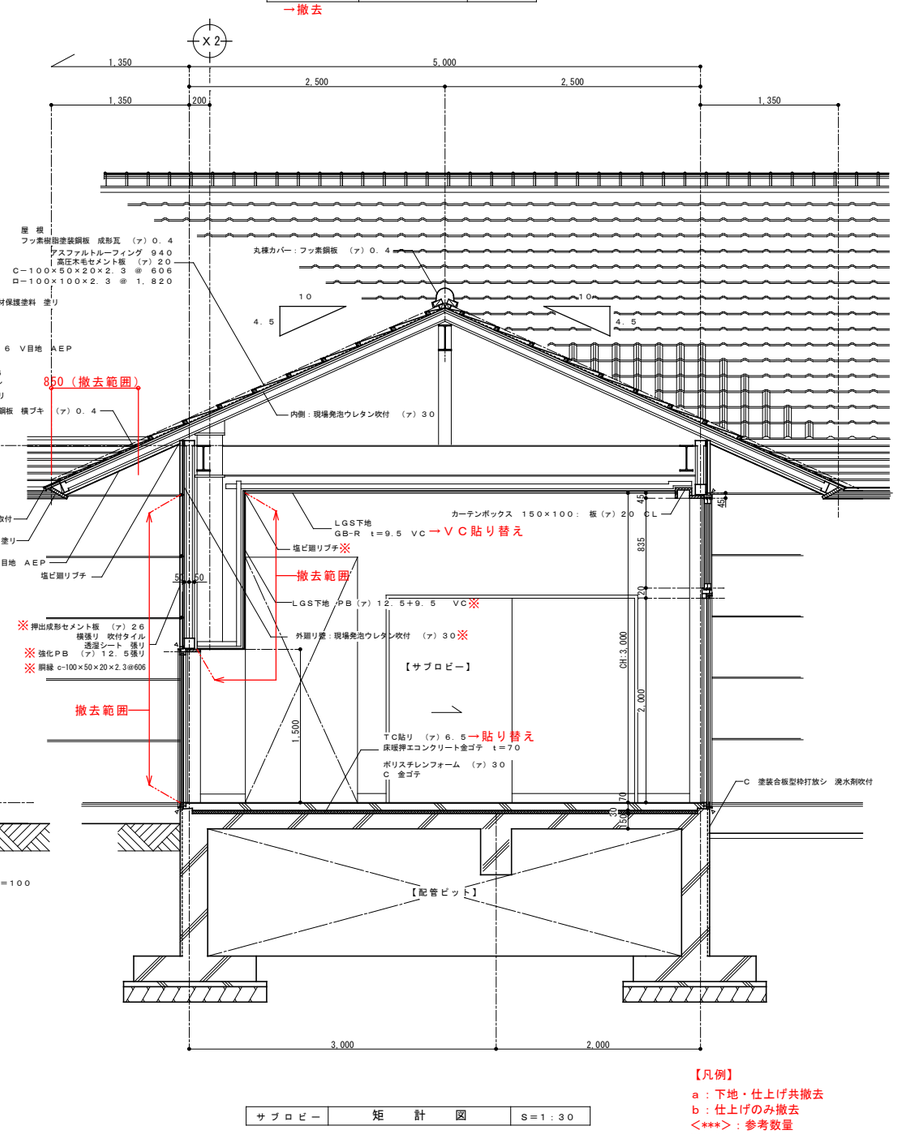


受付カウンター	詳 細 図	S＝1：30

→撤去







家族風呂	矩 計 図 (2)	S＝1：30

サブロビー	矩 計 図	S＝1：30

【凡例】
a：下地・仕上げ共撤去
b：仕上げのみ撤去
<***>：参考数量
※：撤去

※特記なきは既存のまま

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録 長野県知事登録(伊那)L第2Y051号
図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上 勉

凡例 備考

工事名称：令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）

図面名称：既存矩計図-1（家族風呂，サブロビー） ＜既存＞

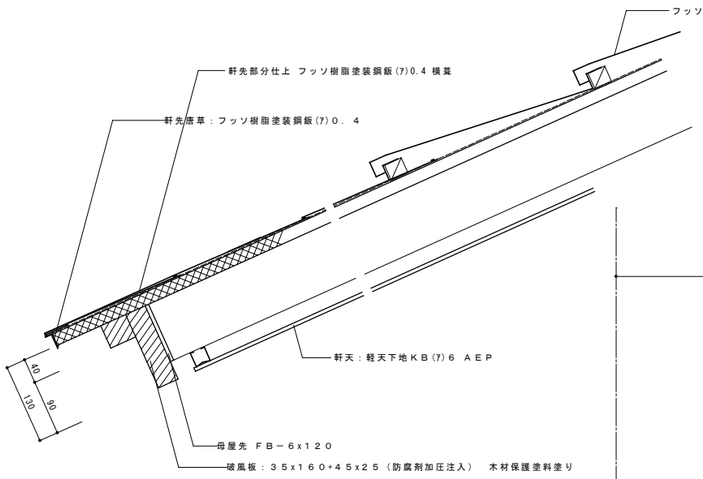
SCALE [A1] 1：30 [A3] 1：60

年月日：R7.9

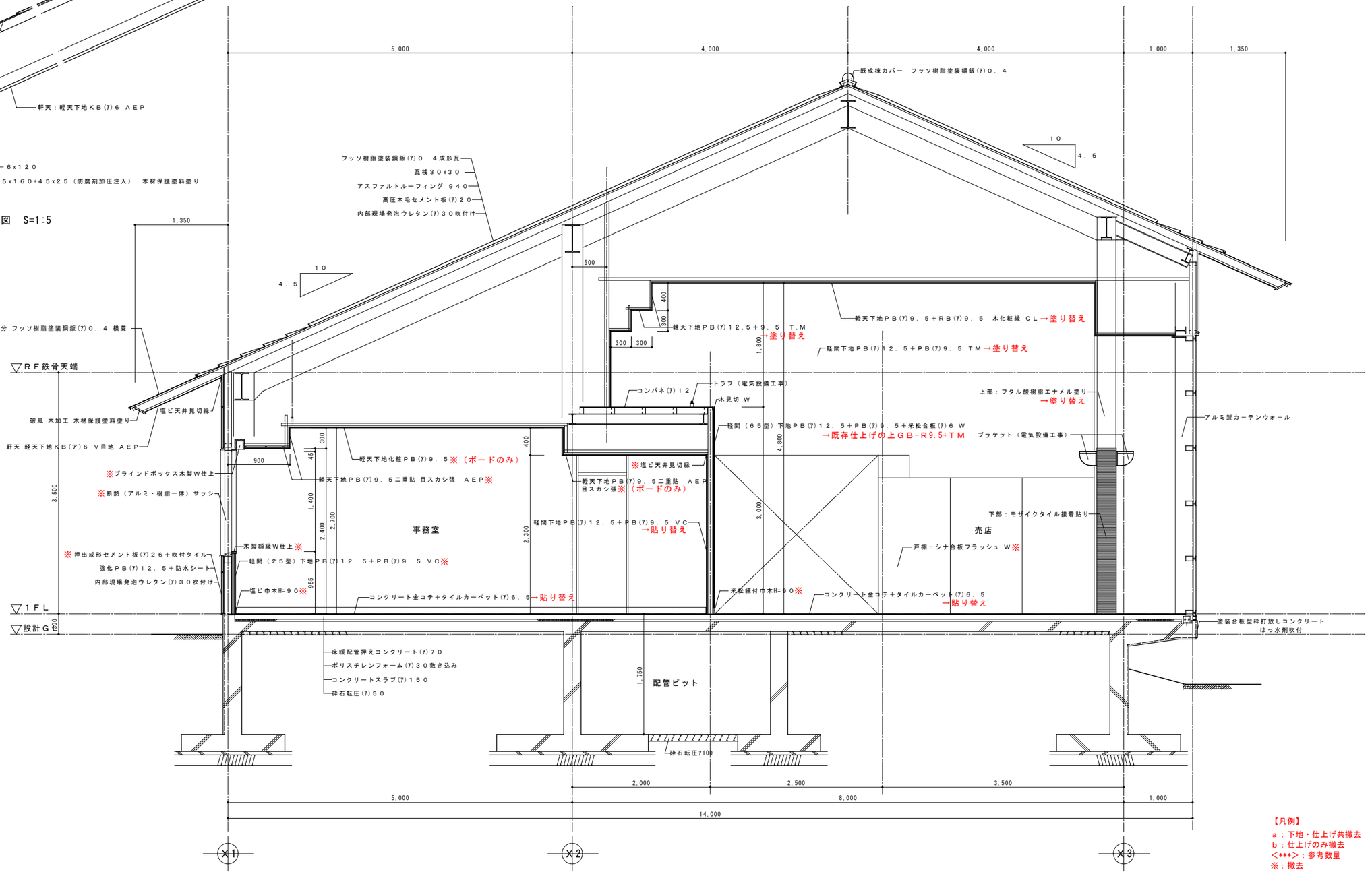
No.：K-08

CAD FILE No.K-08 既存矩計図-1（家族風呂，サブロビー）

Print out：25-12-26



軒先部分詳細図 S=1:5



【凡例】
ａ：下地・仕上げ共撤去
ｂ：仕上げのみ撤去
＜***＞：参考数量
※：撤去

※特記なきは既存のまま

株式会社 城取建築設計事務所
〒３９６－００２６ 長野県伊那市西町５８６３番地１／TEL ０２６５（７２）７２７１
一級建築士事務所登録 長野県知事登録(伊那)Ｌ第２Ｙ０５１号
図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177857号 井上 勉

凡例 備考

工事名称：令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）

図面名称：既存矩計図-２(事務室,売店) ＜既存＞

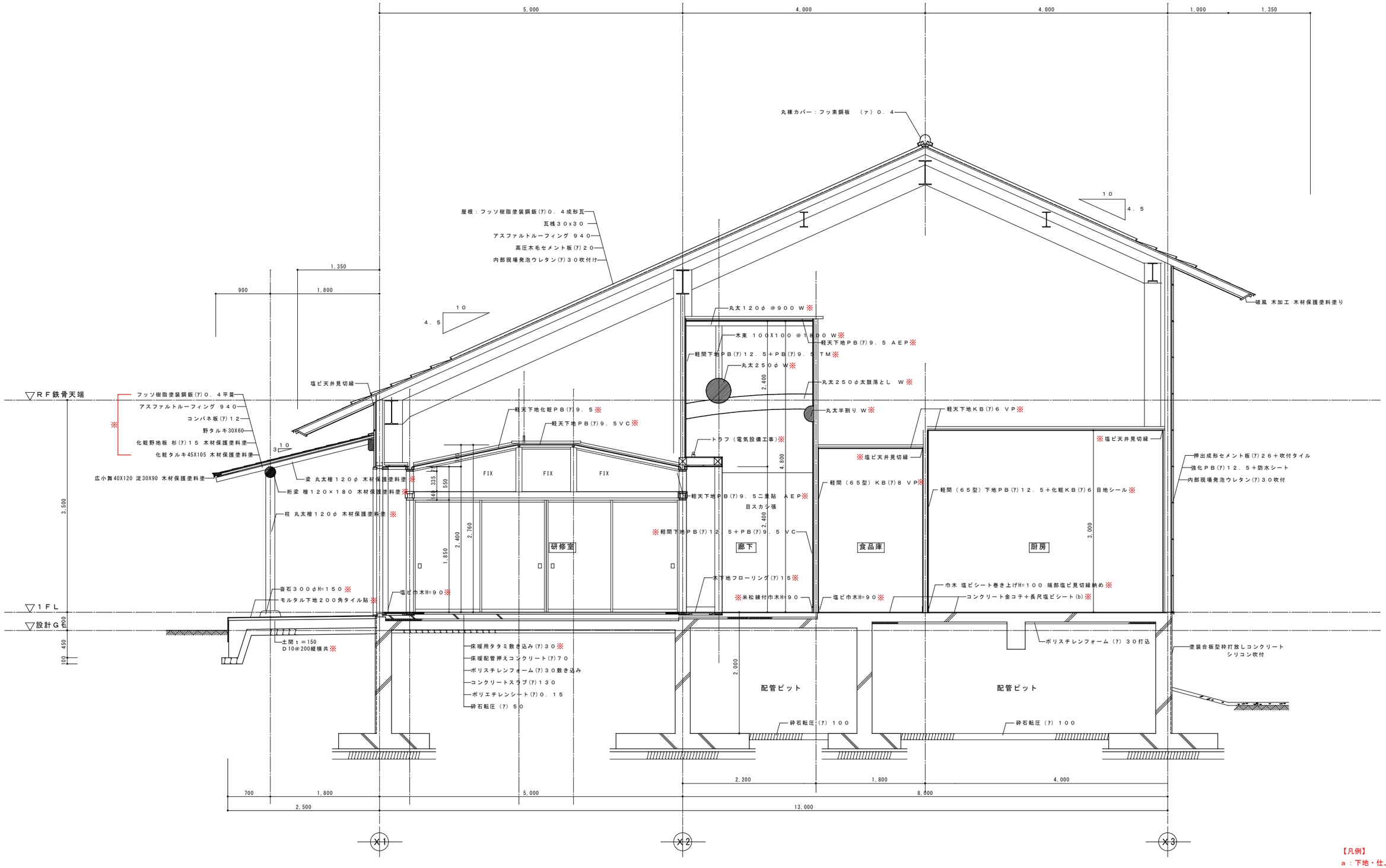
SCALE：[A1] １：３０ [A3] １：６０

年月日：Ｒ７．９

No.：Ｋ-０９

CAD FILE No.K-09 既存矩計図-２(事務室,売店)

Print out：25-12-26



【凡例】
ａ：下地・仕上げ共撤去
ｂ：仕上げのみ撤去
＜***＞：参考数量
※：撤去範囲内は全て撤去とする

※特記なきは既存のまま

株式会社 城取建築設計事務所
〒３９６－００２６ 長野県伊那市西町５８６３番地１／TEL ０２６５（７２）７２７１
一級建築士事務所登録 長野県知事登録（伊那）Ｌ第２Ｙ０５１号
図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第１７７９７号 井上 勉

凡例 備考

工事名称：令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）

図面名称：既存矩計図-３（研修室，厨房） ＜既存＞

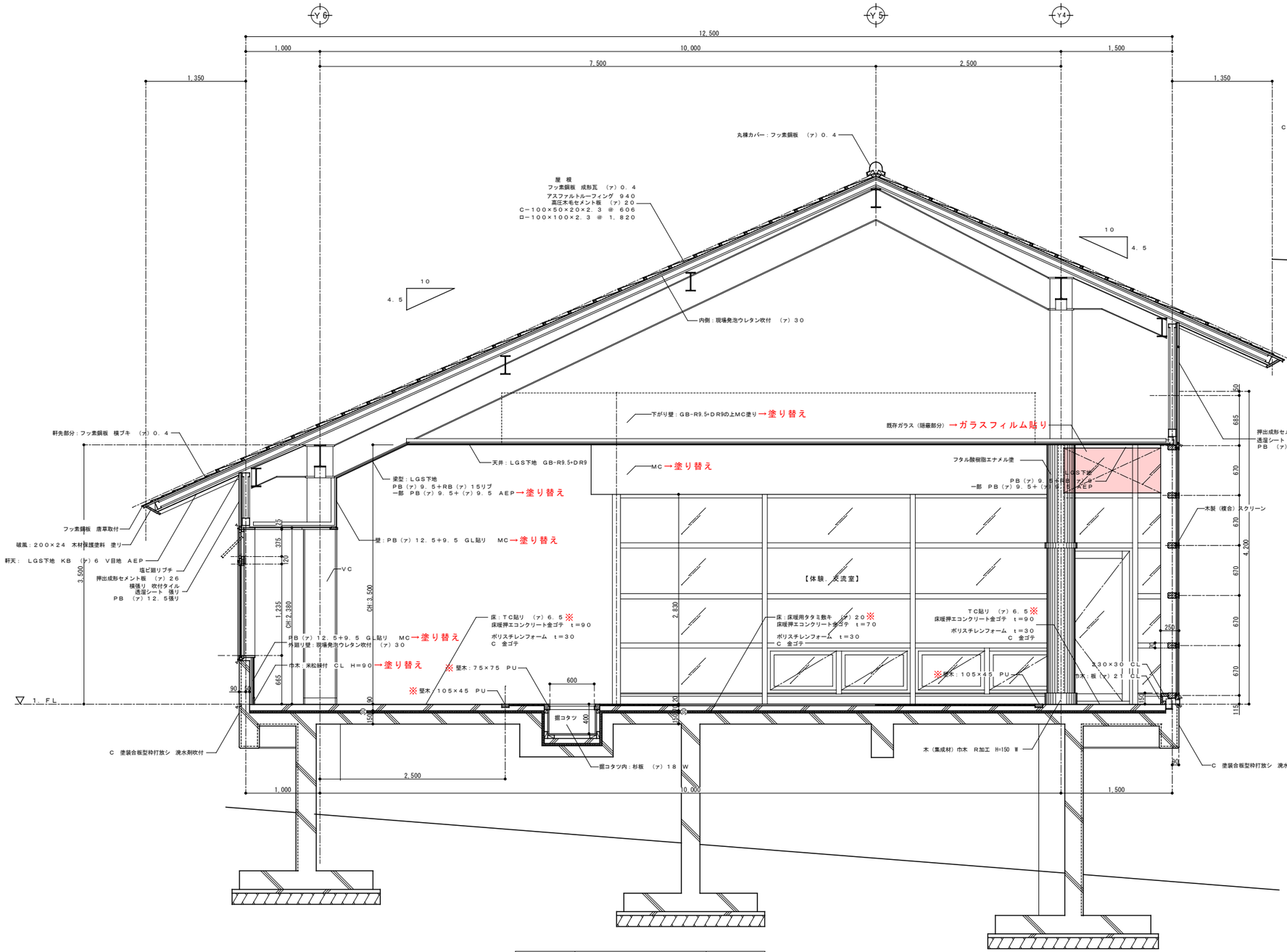
SCALE：[A1] １：３０ [A3] １：６０

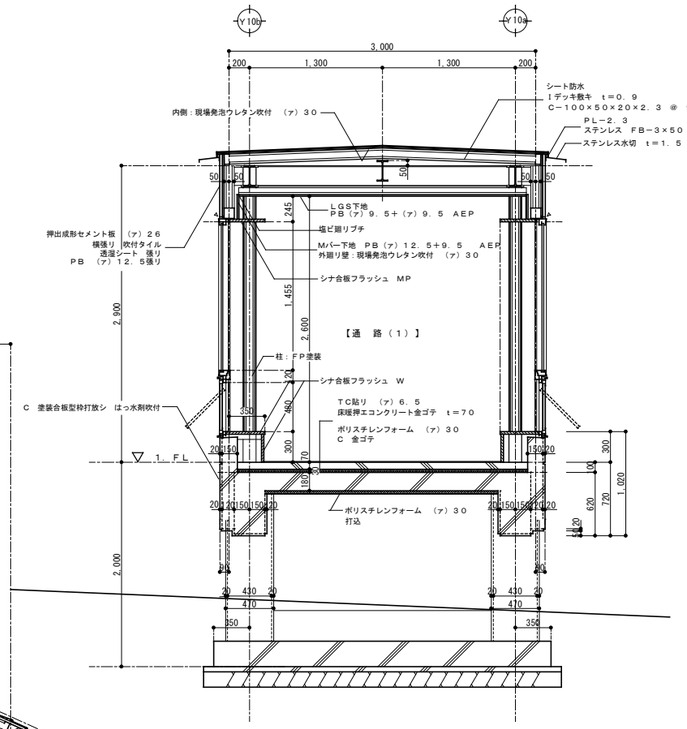
年月日：R７．９

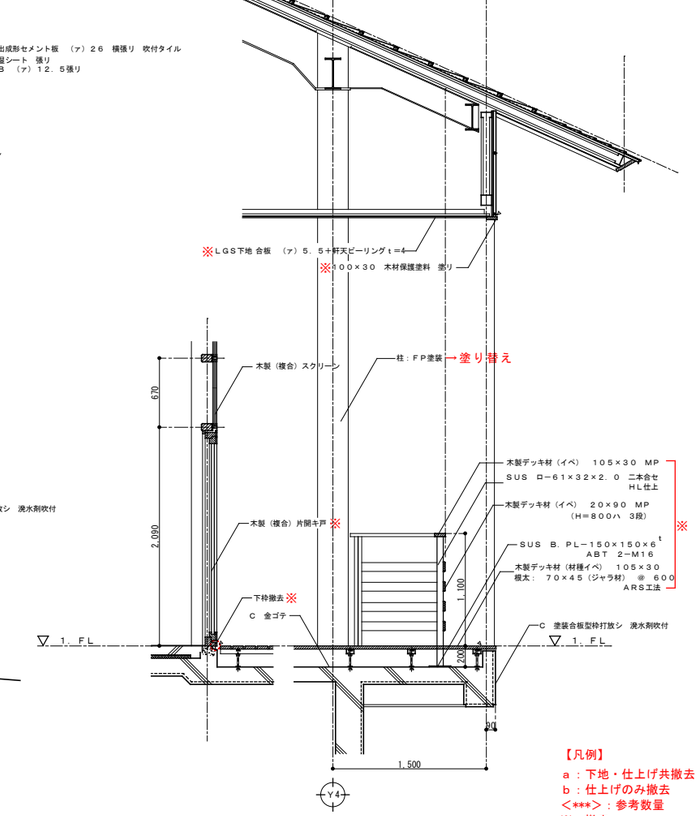
No.：K-１０

CAD FILE No.K-10 既存矩計図-３（研修室，厨房）

Print out：25-12-26







【凡例】
ａ：下地・仕上げ共撤去
ｂ：仕上げのみ撤去
＜***＞：参考数量
※：撤去

※特記なきは既存のまま

体験．交流室	矩　計　図（２）	Ｓ＝１：３０

株式会社 城取建築設計事務所
〒３９６－００２６　長野県伊那市西町５８６３番地１／TEL ０２６５（７２）７２７１
一級建築士事務所登録
長野県知事登録
（伊那）Ｌ第２Ｙ０５１号
図面を作成した建築士
一級建築士 大臣登録第１７７９５７号
井　上　勉

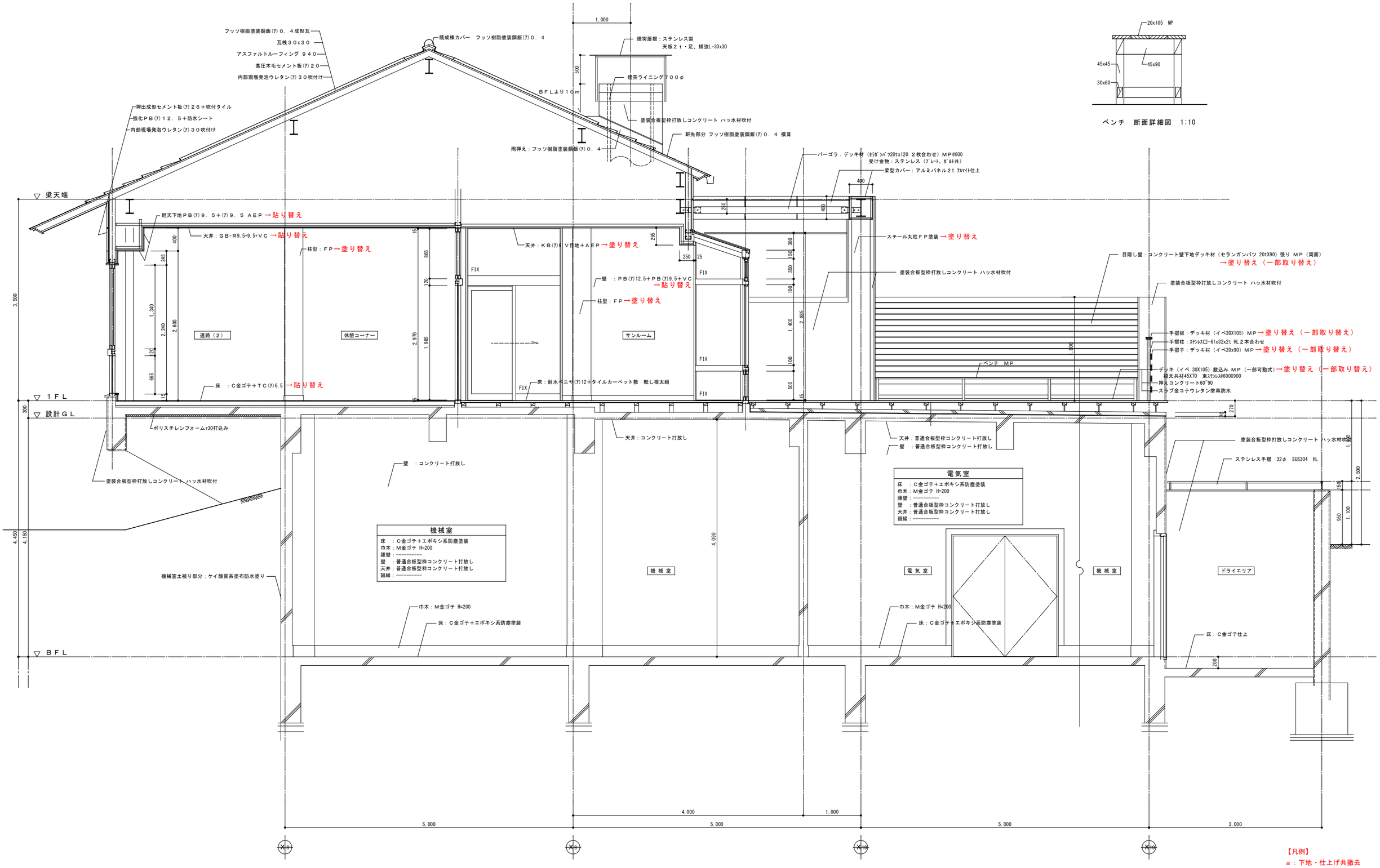
凡例　備考

工事名称
令和８年度 ふれあい交流センター
大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）

図面名称	SCALE	年 月 日	No.
既存矩計図-４（体験・交流室）	[A1] １：３０	R７．９	K－１１
＜既存＞	[A3] １：６０		

CAD FILE No.K-11 既存矩計図-４（体験・交流室）

Print out：25-12-26



機械室
床 ：Ｃ金ゴテ＋エポキシ系防塵塗装
巾木：Ｍ金ゴテ H=200
腰壁：----------
壁 ：普通合板型枠コンクリート打放し
天井：普通合板型枠コンクリート打放し
廻縁：----------

電気室
床 ：Ｃ金ゴテ＋エポキシ系防塵塗装
巾木：Ｍ金ゴテ H=200
腰壁：----------
壁 ：普通合板型枠コンクリート打放し
天井：普通合板型枠コンクリート打放し
廻縁：----------

【凡例】
ａ：下地・仕上げ共撤去
ｂ：仕上げのみ撤去
＜***＞：参考数量
※：撤去

※特記なきは既存のまま

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026 長野県伊那市西町５８６３番地１／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録 長野県知事登録（伊那）L第2Y051号
図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177857号 井上 勉

凡例 備考

工事名称：令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）

図面名称：既存矩計図-５（休憩コーナー，機械室） ＜既存＞

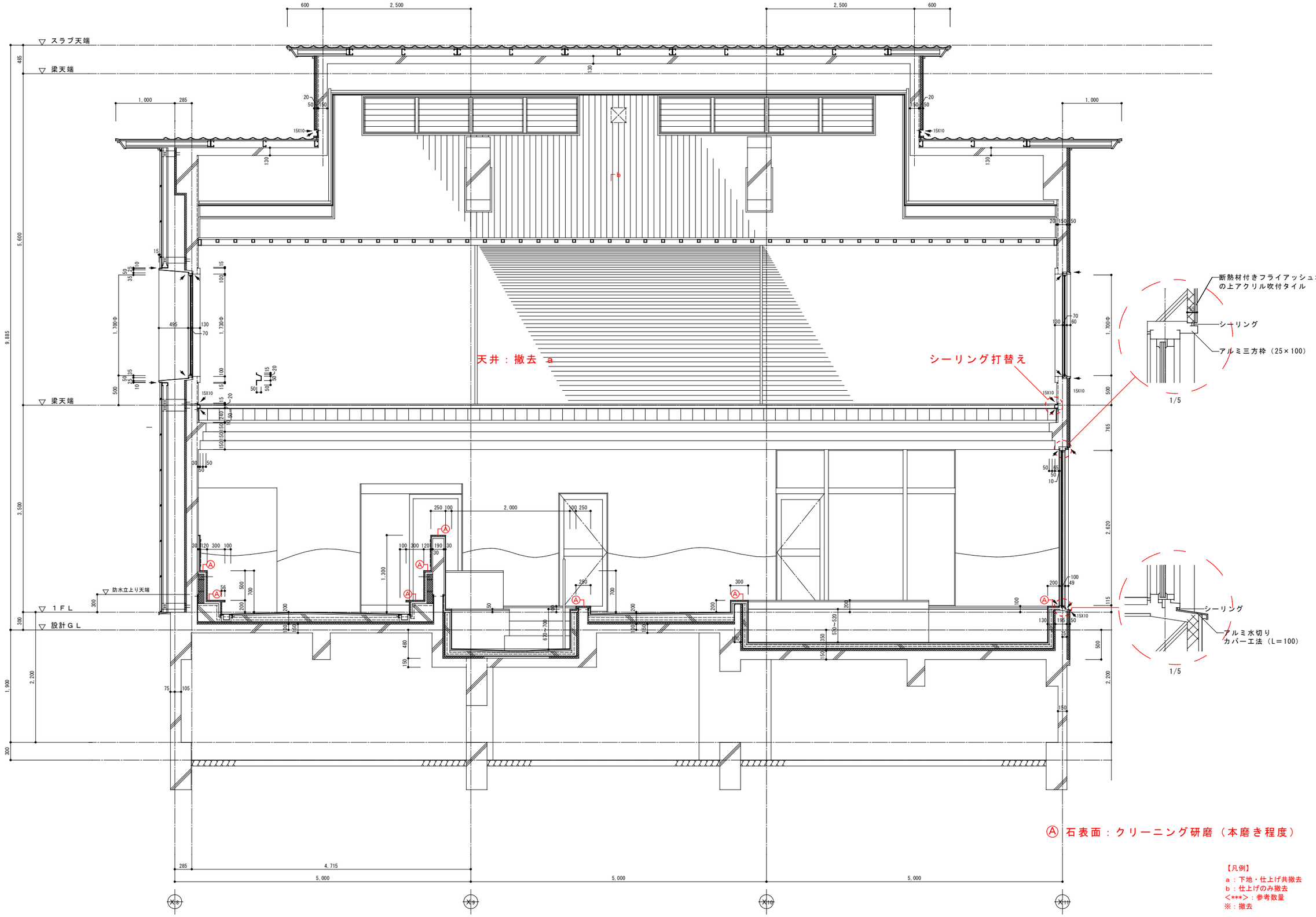
SCALE：[A1] １：３０ [A3] １：６０

年 月 日：Ｒ７．９

Ｎｏ．：Ｋ-１２

CAD FILE No.K-12 既存矩計図-5（休憩コーナー，機械室）

Print out：25-12-26



【凡例】
a：下地・仕上げ共撤去
b：仕上げのみ撤去
＜***＞：参考数量
※：撤去

※特記なきは既存のまま

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録 長野県知事登録（伊那）L第2Y051号
図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上 勉

凡例 備考

工事名称：令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）

図面名称：既存矩計図-6（浴室(1)【松の湯】） ＜既存＞

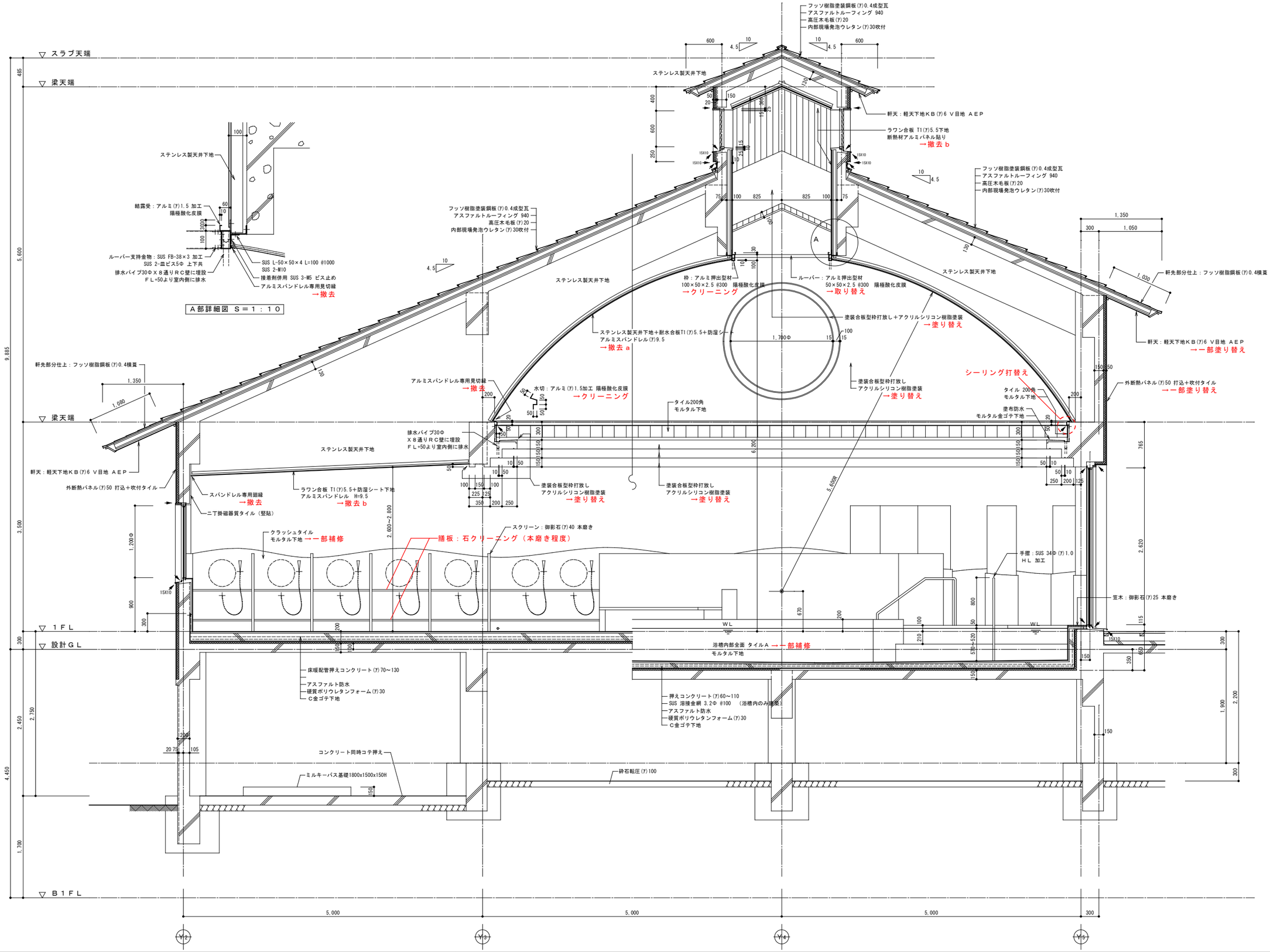
SCALE：[A1] 1：30 [A3] 1：60

年月日：R7.9

No.：K-13

CAD FILE No.K-13 既存矩計図-6（浴室(1)【松の湯】）

Print out：25-12-26



【凡例】
a：下地・仕上げ共撤去
b：仕上げのみ撤去
＜***＞：参考数量

※特記なきは既存のまま

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録 長野県知事登録（伊那）L第2Y051号
図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上 勉

凡例 備考

工事名称：令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）

図面名称：既存矩計図-7（浴室(1)【松の湯】） ＜既存＞

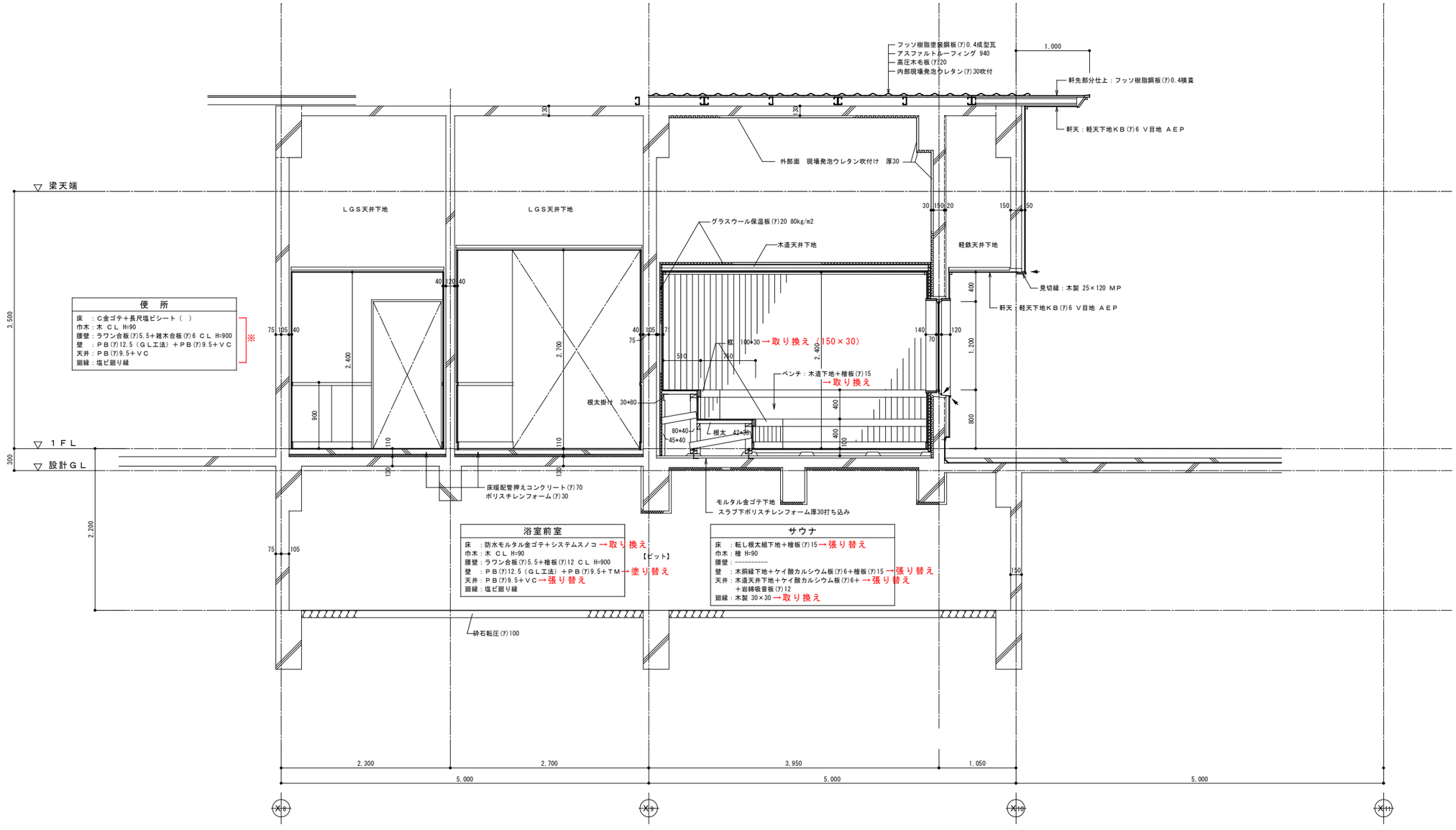
SCALE：[A1] １：３０ [A3] １：６０

年月日：R7.9

No.：K-14

CAD FILE No.K-14 既存矩計図-7（浴室(1)【松の湯】）

Print out：25-12-26



【凡例】
ａ：下地・仕上げ共撤去
ｂ：仕上げのみ撤去
＜***＞：参考数量
※：撤去

※特記なきは既存のまま

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録 長野県知事登録（伊那）Ｌ第２Ｙ051号
図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上 勉

凡例 備考

工事名称：令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）

図面名称：既存矩計図-８（サウナ(1)【松の湯】） ＜既存＞

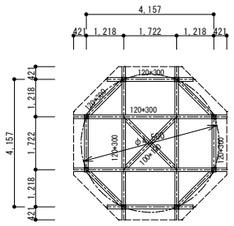
SCALE：[A1] １：３０ [A3] １：６０

年月日：Ｒ７．９

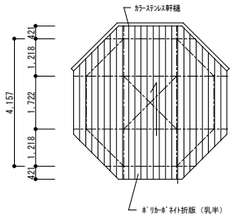
No.：Ｋ-１５

CAD FILE No.K-15 既存矩計図-８（サウナ(1)【松の湯】）

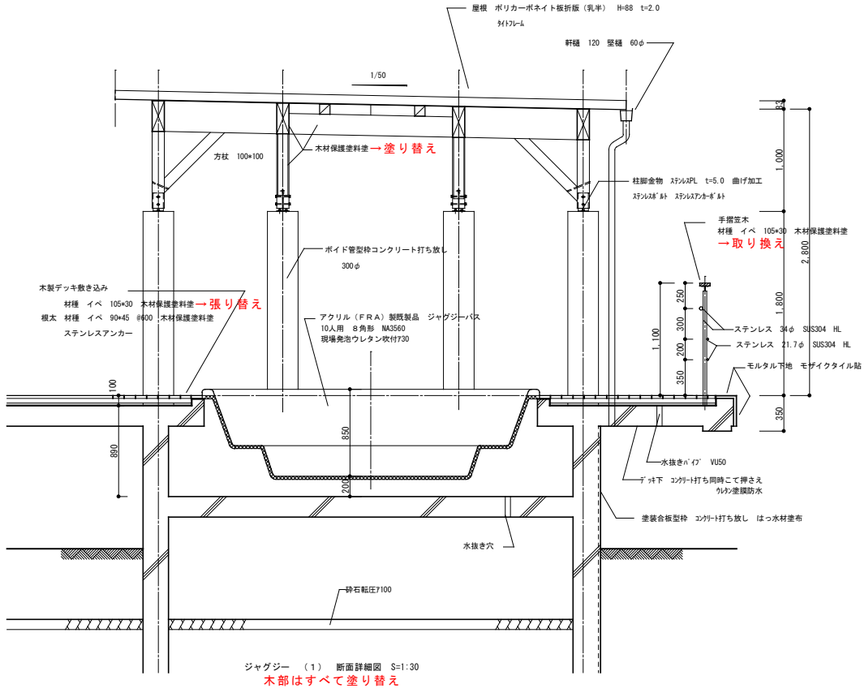
Print out：25-12-26



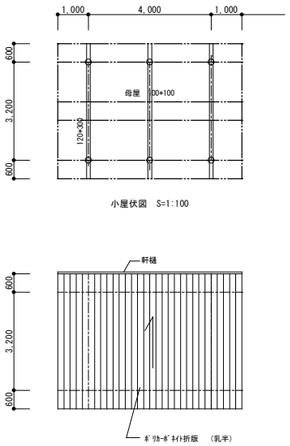
小屋伏図　S=1:100



屋根伏図　S=1:100

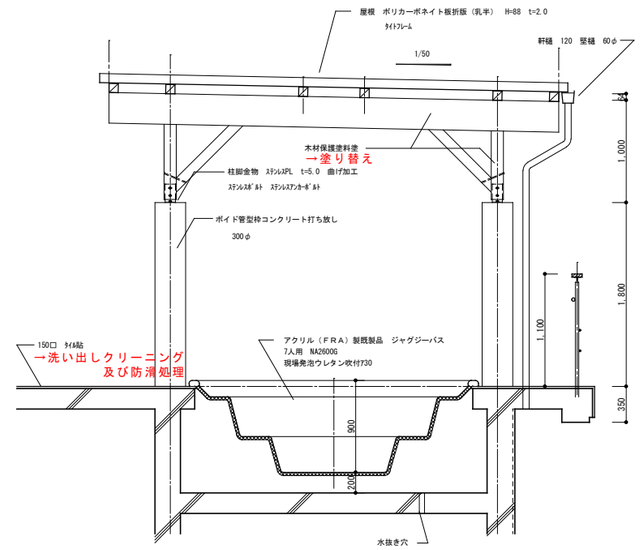


ジャグジー　（１）　断面詳細図　S=1:30
木部はすべて塗り替え

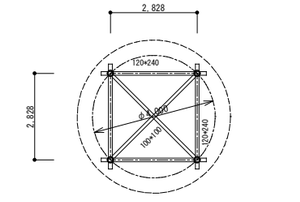


小屋伏図　S=1:100

屋根伏図　S=1:100



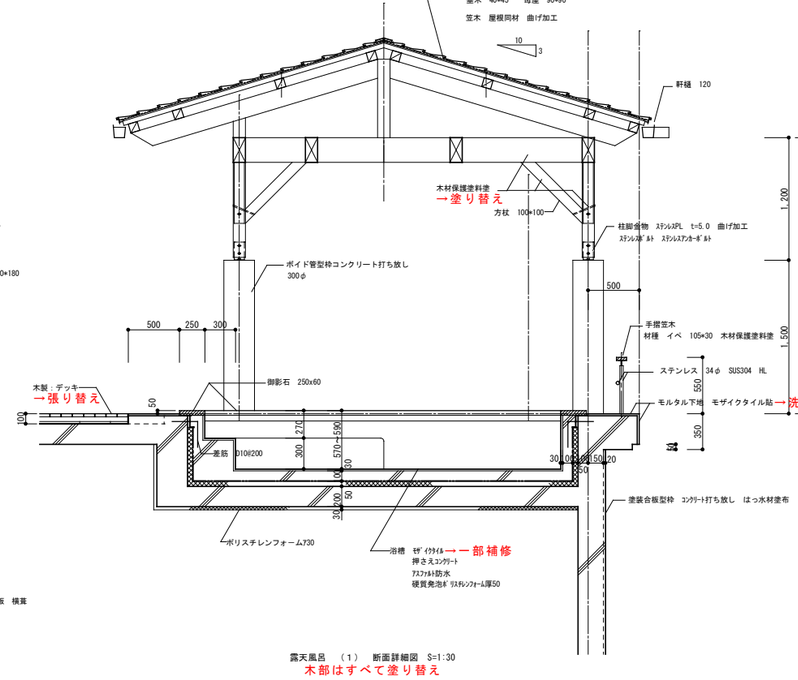
ジャグジー　（２）　断面詳細図　S=1:30
木部はすべて塗り替え



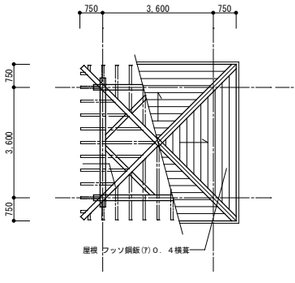
小屋伏図　S=1:100

小屋伏図　S=1:100

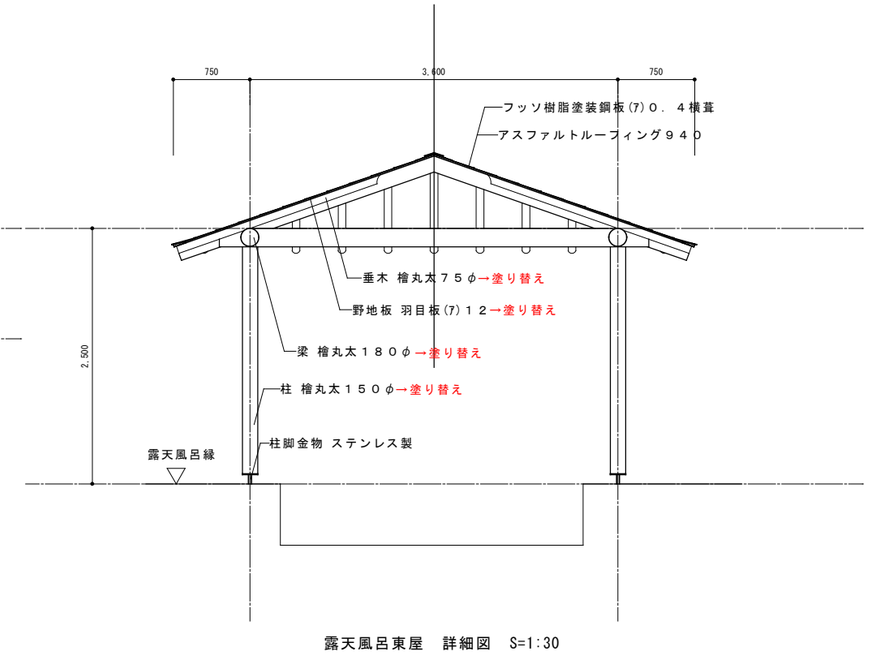
屋根伏図　S=1:100



露天風呂　（１）　断面詳細図　S=1:30
木部はすべて塗り替え



屋根伏図　S=1:100



露天風呂東屋　詳細図　S=1:30

※　全ての木部は木材保護塗料塗とする

【凡例】
ａ：下地・仕上げ共撤去
ｂ：仕上げのみ撤去
＜***＞：参考数量
※：撤去範囲内は全て撤去とする

※特記なきは既存のまま

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録　長野県知事登録（伊那）L第2Y051号
図面を作成した建築士　一級建築士 大臣登録第17957号　井上　勉

凡例　備考

工事名称：令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）

図面名称：既存矩計図-9（露天風呂(1)(2)）＜既存＞

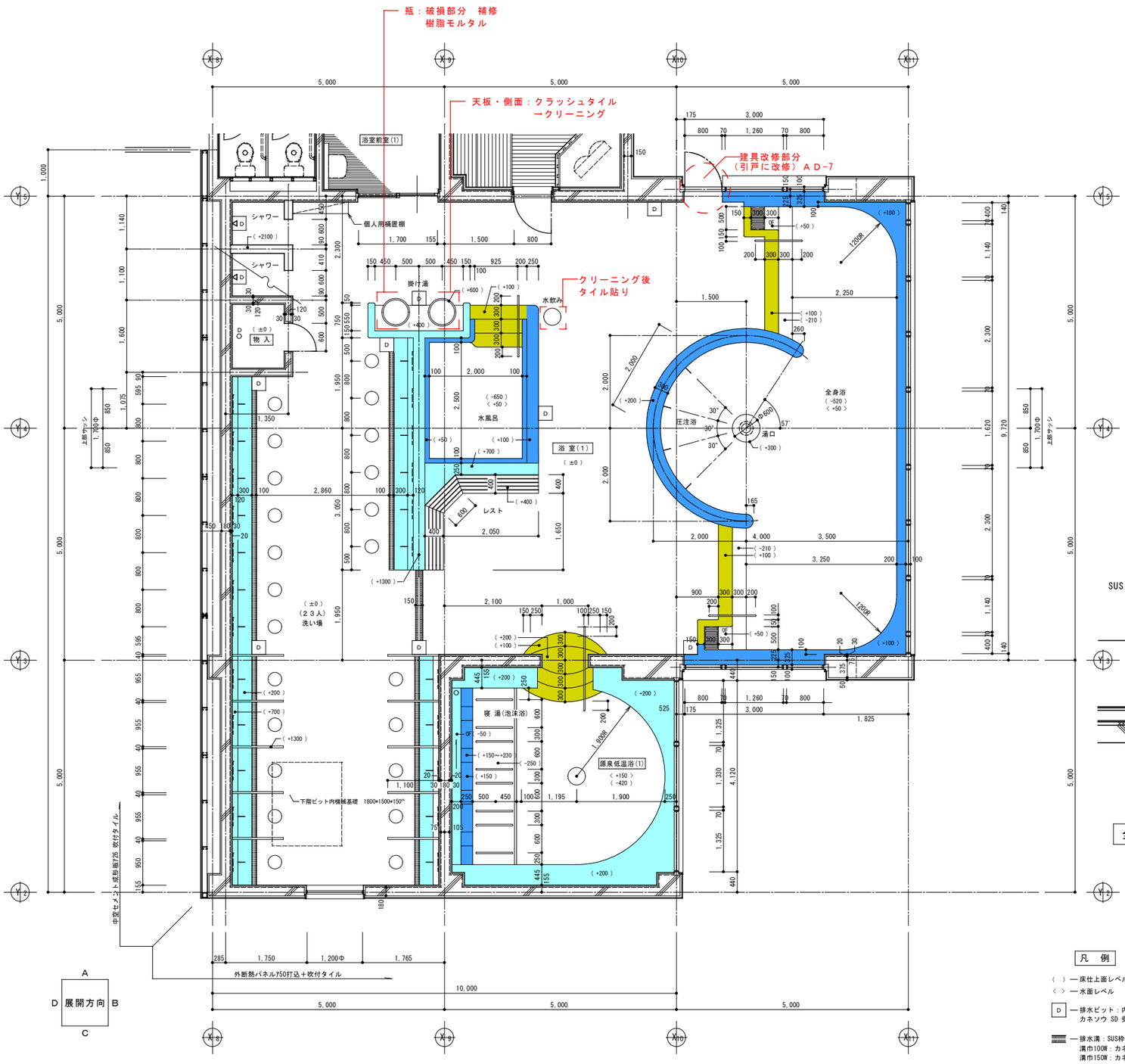
SCALE：[A1]　1：30　[A3]　1：60

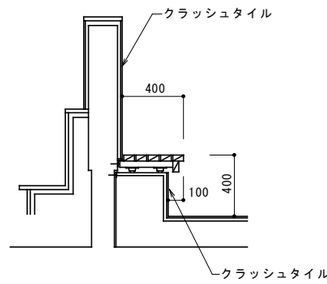
年月日：R7.9

No.：K-16

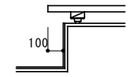
CAD FILE No.K-16 既存矩計図-9（露天風呂(1)(2)【松の湯】【柏の湯】）

Print out：25-12-26

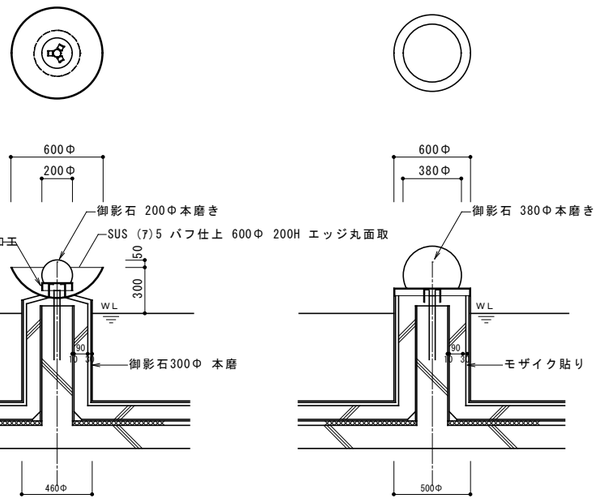




端部断面（共通）　S=1:20



箕星の湯ベンチ　S=1:20



全身浴　浴槽湯口　S=1:20

低温浴　浴槽湯口　S=1:20

凡　例

（　）―床仕上面レベル
〈　〉―水面レベル
D ―排水ピット：内径 250×250 SUS枠・蓋付
カネソウ SD 受枠 SF05B 同等品以上
―排水溝：SUS枠・蓋付
溝巾100W：カネソウ SD 受枠 SF05B 同等品以上
溝巾150W：カネソウ SD-B 受枠 SF20B 同等品以上
○ ―排水用目皿位置
ＯＦ ―オーバーフロー位置

凡　例

笠石・縁石：クリーニング
笠石・縁石：見え掛り部研磨
縁石：防滑加工

【凡例】
ａ：下地・仕上げ共撤去
ｂ：仕上げのみ撤去
＜***＞：参考数量
※：撤去

※特記なきは既存のまま

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録
長野県知事登録
（伊那）L第2Y051号
図面を作成した建築士
一級建築士 大臣登録第177957号
井上　勉

凡例　備考

工事名称
令和８年度 ふれあい交流センター
大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）

図面名称
既存平面詳細図(浴室(1)【松の湯】)
＜既存＞

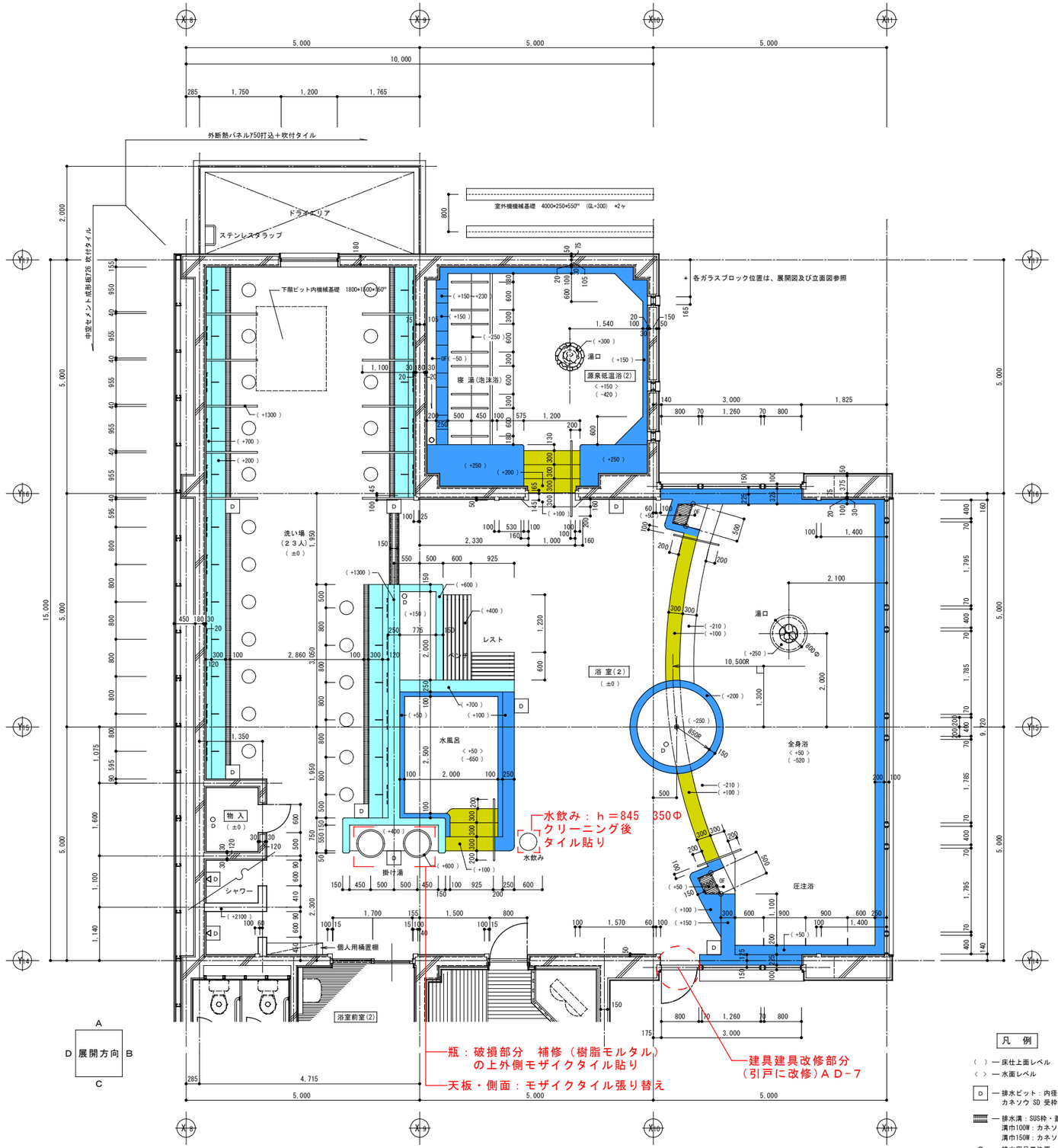
SCALE
[A1]　1：50
[A3]　1：100

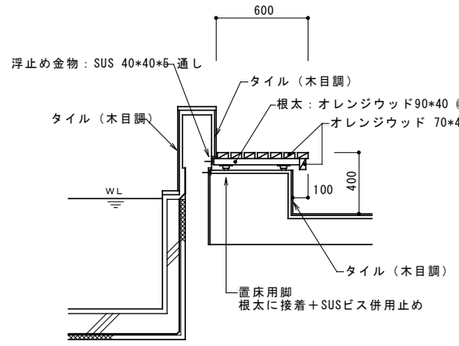
年月日
R7.9

No.
K-17

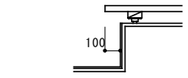
CAD FILE No.K-17 既存平面詳細図(浴室(1)【松の湯】)

Print out：25-12-26

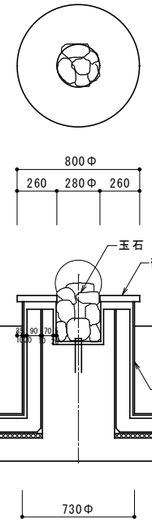




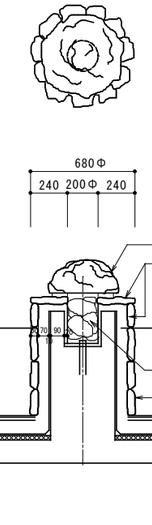
縄文の湯ベンチ S=1:20



端部断面（共通） S=1:20



浴室（2） S=1:20



温泉低温浴（2）湯口 S=1:20

凡 例

( ) ― 床仕上面レベル
< > ― 水面レベル
D ― 排水ピット：内径 250×250 SUS枠・蓋付 カネソウ SD 受枠 SF05B 同等品以上
― 排水溝：SUS枠・蓋付 溝巾100W：カネソウ SD 受枠 SF05B 同等品以上 溝巾150W：カネソウ SD-B 受枠 SF20B 同等品以上
○ ― 排水用目皿位置
○F ― オーバーフロー位置

凡 例

笠石・縁石：クリーニング
笠石・縁石：見え掛り部研磨
縁石：防滑加工

【凡例】
ａ：下地・仕上げ共撤去
ｂ：仕上げのみ撤去
＜***＞：参考数量
※：撤去

※特記なきは既存のまま

株式会社 城取建築設計事務所 〒396−0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271	一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)L第2Y051号	図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上 勉	凡例 備考	工事名称 令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）	図面名称 既存平面詳細図(浴室(2)【桧の湯】) ＜既存＞

SCALE	年月日	No.
[A1] 1：50 [A3] 1：100	R7.9	K-18

CAD FILE No.K-18 既存平面詳細図(浴室(2)【桧の湯】)

Print out：25-12-26

サウナ室機器表　（２室分）					
記号	名　称	仕　様	数	２次側電線	備　考
	ｴﾐﾊﾞｽｻｳﾅﾋｰﾀｰ	EPS-22　3P200V　22.2KW H1　遠赤ﾋｰﾀｰ　2.1KW×2 H2　昇温ﾋｰﾀｰ　9.0KW×2 F:ﾌｧﾝAC　100V　26W×2	2	5.5㎟×3(25)8.0㎟×4(31) 5.5㎟×3(25)8.0㎟×3(31) 2.0㎟×2(19)0.75㎟×4(19) 2.0㎟×2(19)0.75㎟×4(19)	
	側温計	TU-100D	2	0.75㎟×3(19)	
	温度ヒューズ	150°C　溶断型	2	2.0㎟×2(19)	
	照明	IB-3600　60W	1 2	2.0㎟×2(19)	
	火災報知器	150°C　定温式ｽﾎﾟｯﾄ型	2	1.25㎟×4(19)	
	火報ベル	非常用音響措置	2	1.25㎟×2(19)	
	非常用押しボタン	埋込み	2	1.25㎟×2(19)	
	スピーカー	BS-5D	2	1.25㎟×3(19)	
	サウナタイマー	12分計	2	2.0㎟×2(19)	
	操作盤	2　IN　1　ELB付き	2		操作盤ｻｳﾅ業者支給 取付け電気設備工事
	ｼﾞｬﾝｸｼｮﾝﾎﾞｯｸｽ	サウナ工事			
	ｼﾞｬﾝｸｼｮﾝﾎﾞｯｸｽ	電気設備工事			
	サウナ工事				
	電気設備工事				

※　１次側は電気設備工事

サウナ室　電気系統図

【凡例】
ａ：下地・仕上げ共撤去
ｂ：仕上げのみ撤去
＜***＞：参考数量
※：撤去

凡　例
- 笠石・縁石：クリーニング
- 笠石・縁石：見え掛り部研磨
- 縁石：防滑加工

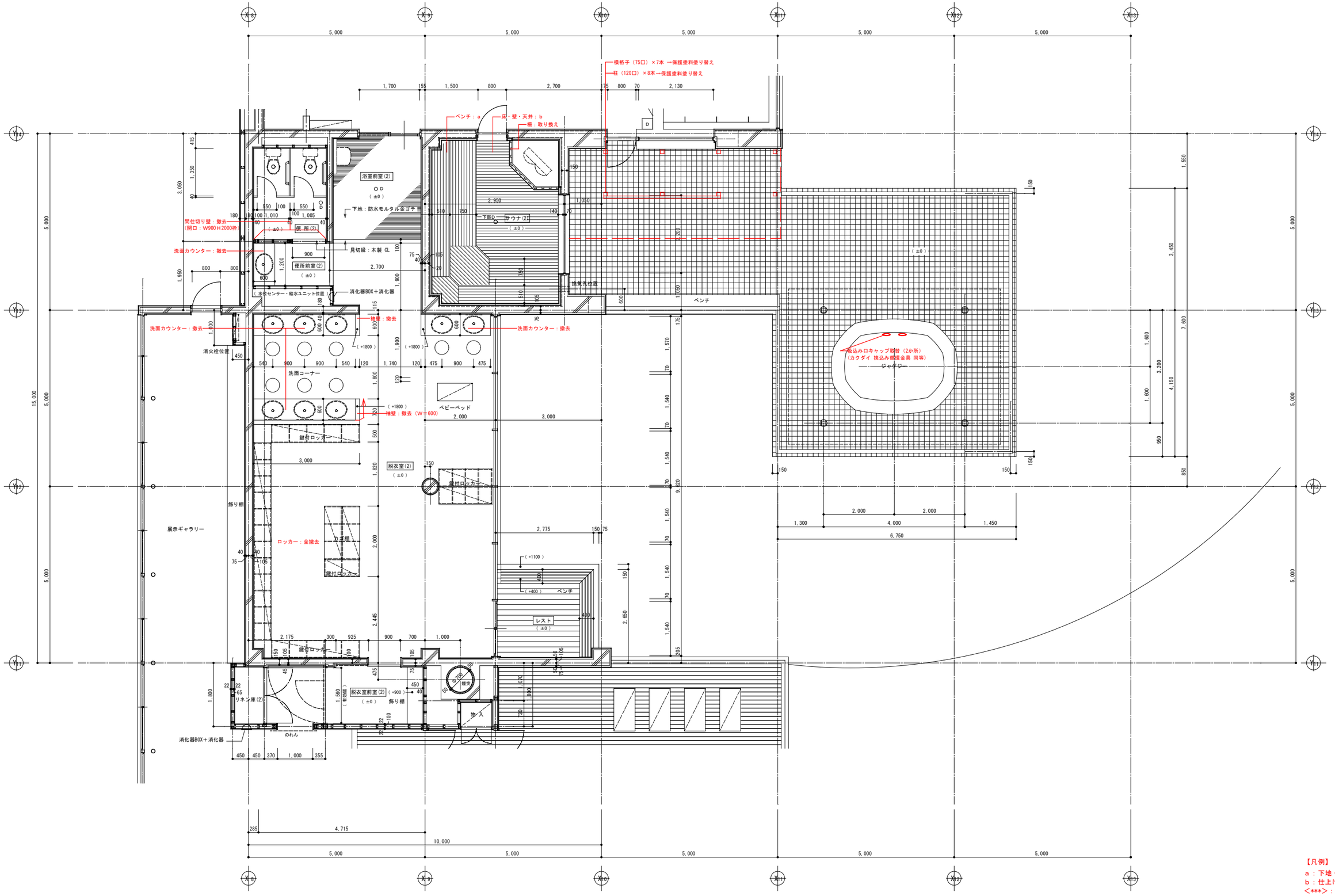
※特記なきは既存のまま

株式会社 城取建築設計事務所 〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271	一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)L第2Y051号	図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上　勉	凡例　備考	工事名称 令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）	図面名称 既存平面詳細図(脱衣室(1)【松の湯】) ＜既存＞

SCALE	年月日	No.
[A1]　1：50 [A3]　1：100	R7.9	K-19

CAD FILE No.K-19 既存平面詳細図(脱衣室(1)、露天風呂(1)【松の湯】)

Print out：25-12-26



【凡例】
a：下地・仕上げ共撤去
b：仕上げのみ撤去
＜***＞：参考数量
※：撤去

※特記なきは既存のまま

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録 長野県知事登録（伊那）L第2Y051号
図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上 勉

凡例 備考

工事名称：令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）

図面名称：既存平面詳細図(脱衣室(2)【桧の湯】)
＜既存＞

SCALE：[A1] 1：50 / [A3] 1：100

年月日：R7.9

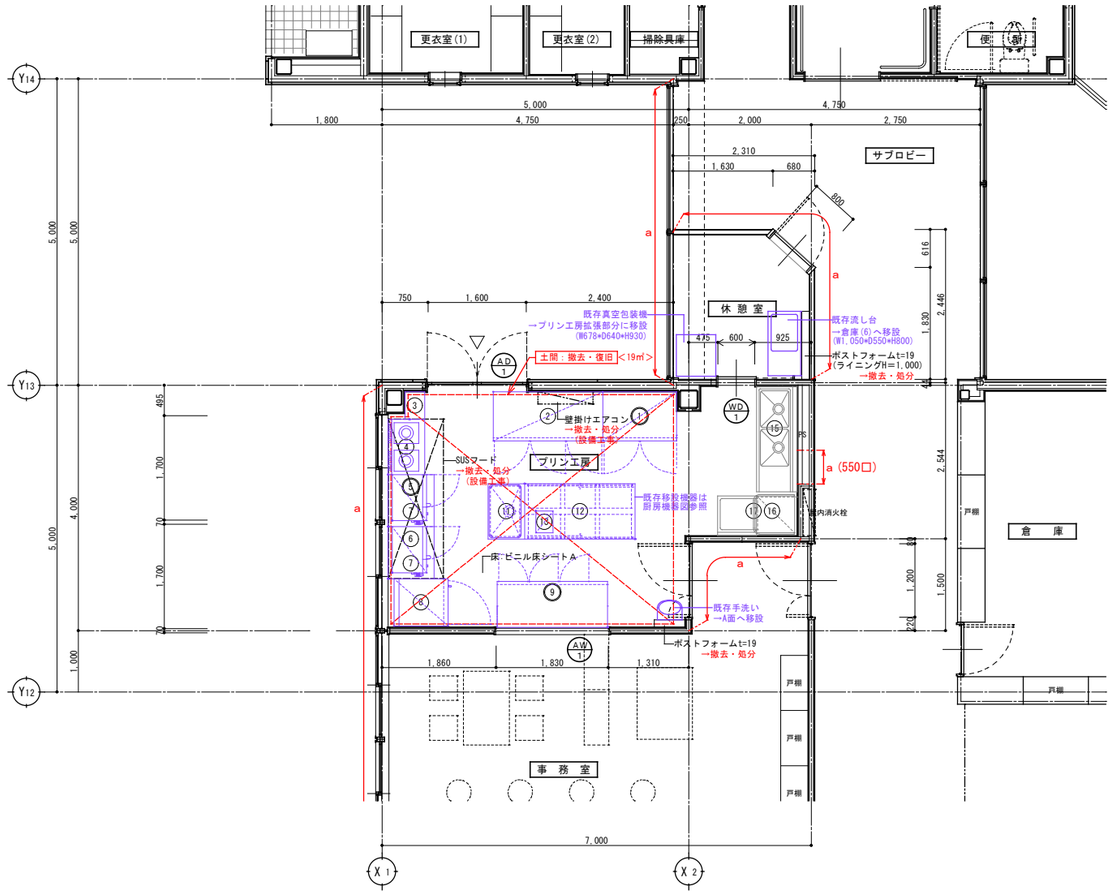
No.：K-20

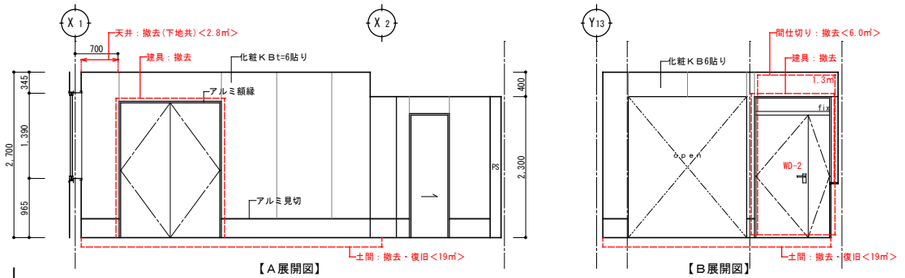
CAD FILE No.K-20 既存平面詳細図(脱衣室(2)，露天風呂(2)【桧の湯】)

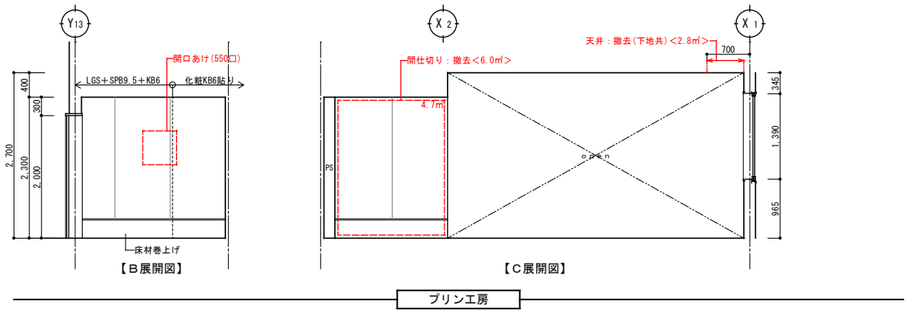
Print out：25-12-26

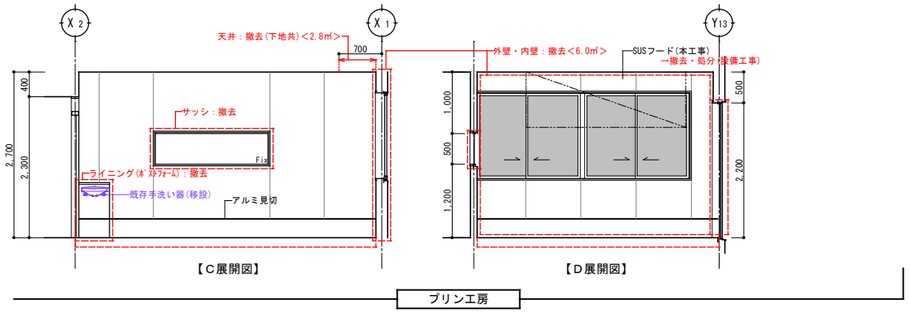
厨房機器参考品番

No.	品名	MODEL	台数	寸法(mm) 間口	奥行	高さ	配管接続口径(A) 給水	給湯	排水	ガス(M) 口径(A)	消費量 kW	電気(kW) 1φ100V	1φ200V	3φ200V	フード	備考
1	冷凍庫	ARD-180RMD	1	1200	800	1950			40					0.54		
2	冷蔵庫	ARD-180RMD	1	1790	800	1950			40					0.31		1676リットル
3	脇台		1	(450)	(250)	800										
4	IHコンロ	TIT-55	1	900	600	800								5.0x2	GF	
5	卓上型スチームコンベクションオーブン	MIC-5TB3	1	750	560	685	15 G.VxZ		40 鋼管					5.9	GF	2/3ホテルパン5段
6	卓上型スチームコンベクションオーブン	MIC-5TC3	1	750	560	685	15 G.VxZ		40 鋼管					5.9	GF	2/3ホテルパン5段
7	台		2	850	750	800										
8	ブラストチラー	QXF-012SFSV2	1	770	880	1882			40					1.88		1/1ホテルパン12枚
9	製品用冷蔵庫		1	1800	750	800			40			0.25				
10	吊戸棚		1	1800	( )	( )										
11	一槽シンク	TX-1S-90NB	1	900	600	800	15	15	50							フタ付
12	引出付調理台	TX-WCT-180BDW	1	1800	900	800										両面仕様 引出6ヶ
13	充填機	4DT	1	276	354	312						0.1				50g/秒
14	移動ラック	D-MPR-90	1	900	600	1500			40							
15	ソイルドテーブル		1	(1720)	660	820	15x2	15x2	50x2							
16	ドアタイプ食器洗浄機	TDWD-4ER	1	598	620	1420		15 G.V	40x2 耐熱管					4.80	○	72～120秒/ラック
17	クリーンテーブル		1	650	645	820										
	総合設備容量										0	0.35	0	29.33		※別途品は想定値











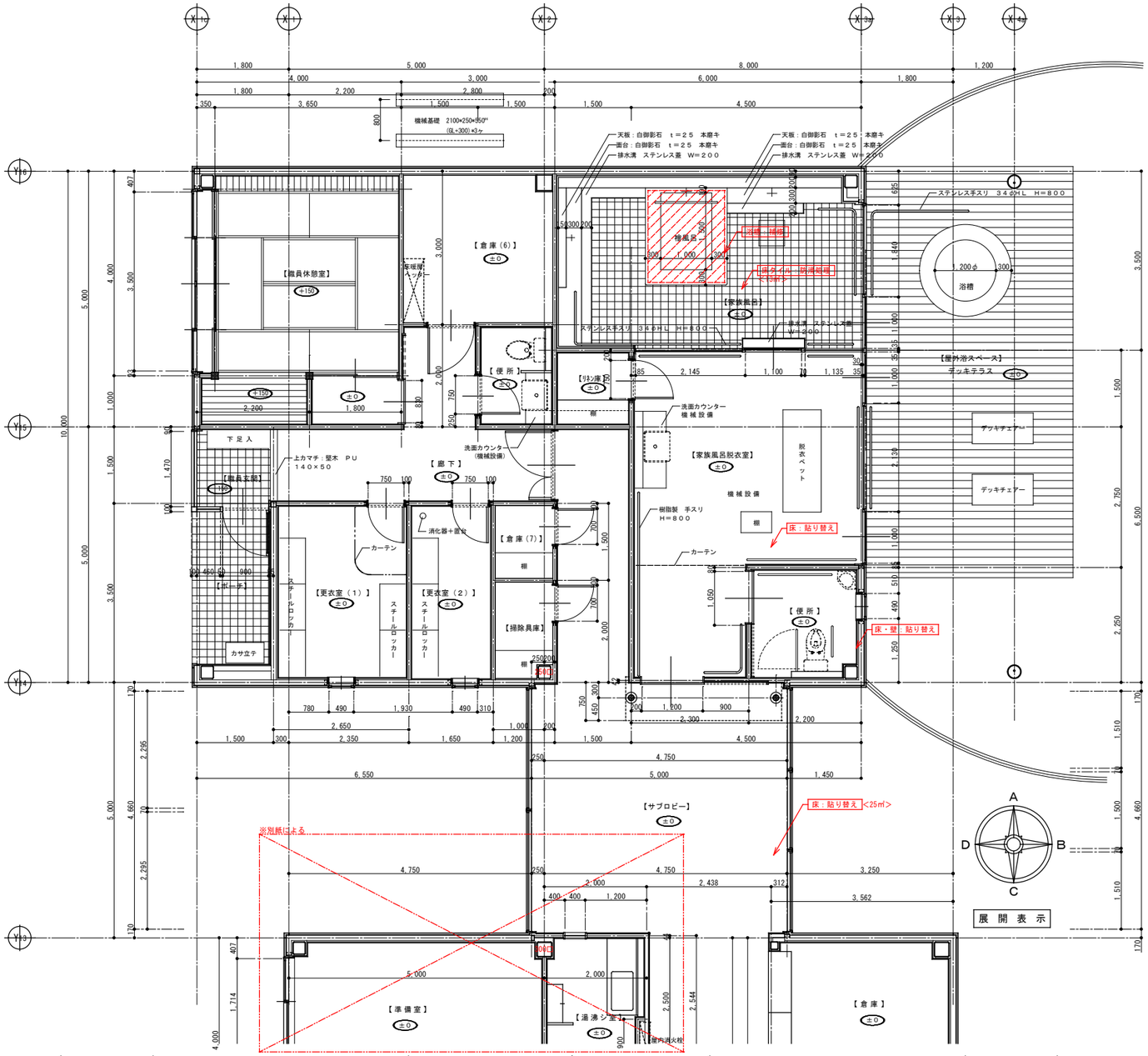
【凡例】
a：下地・仕上げ共撤去
b：仕上げのみ撤去
＜***＞：参考数量

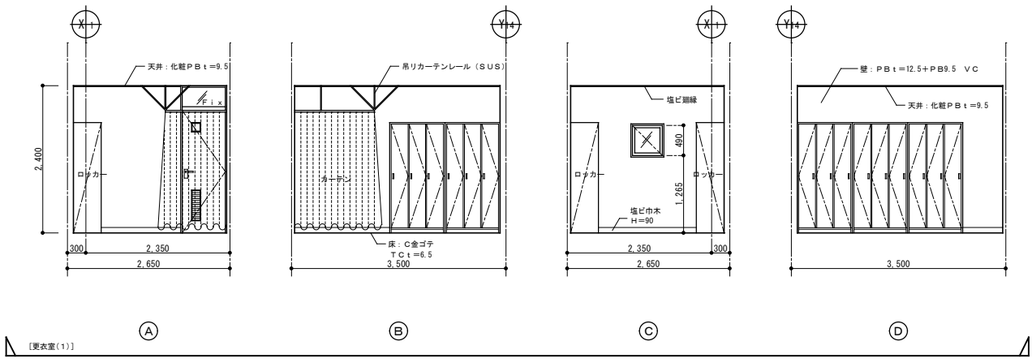
※特記なきは既存のまま

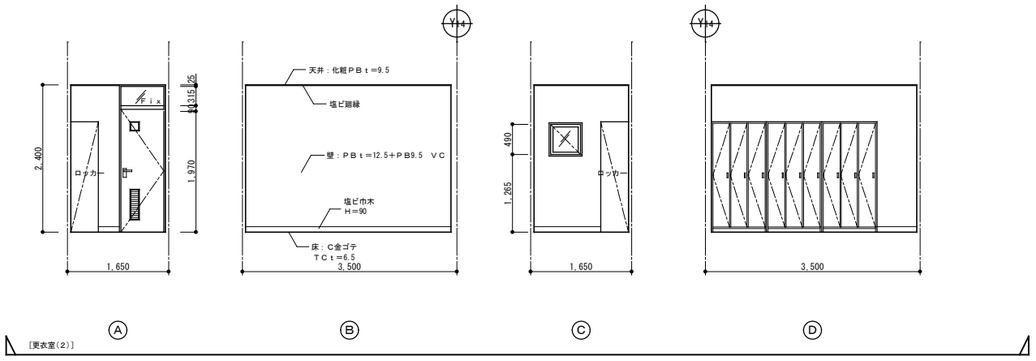
株式会社 城取建築設計事務所 〒396－0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265(72)7271	一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)L第2Y051号	図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上 勉	凡例 備考	工事名称 令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）	図面名称 既存平面詳細図(プリン工房) ＜既存＞ / SCALE [A1] 1：50 [A3] 1：100 / 年月日 R7.9 / No. K-21

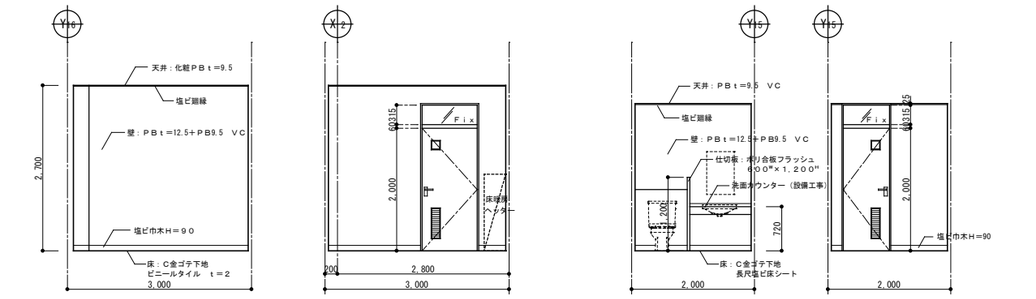
CAD FILE No.K-21 既存平面詳細図・展開図(プリン工房)

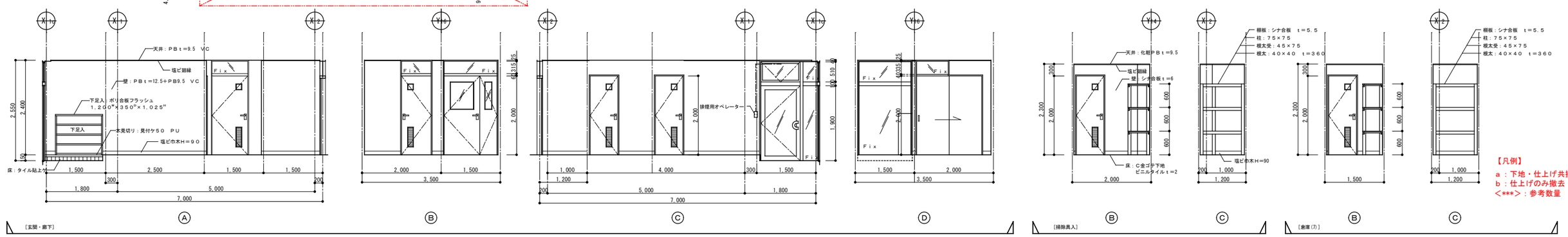
Print out : 25-12-26











【凡例】
ａ：下地・仕上げ共撤去
ｂ：仕上げのみ撤去
＜***＞：参考数量

※特記なきは既存のまま

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録 長野県知事登録（伊那）M第7Y051号
図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上 勉

凡例 備考

工事名称：令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）

図面名称：既存平面詳細図・展開図（家族風呂） ＜既存＞

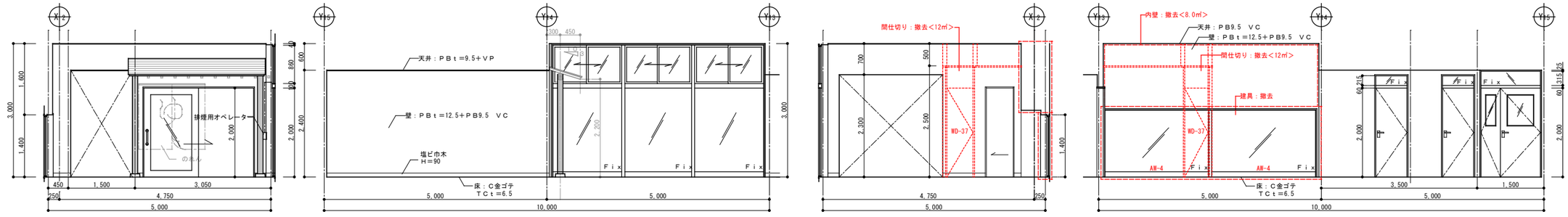
SCALE [A1] 1：50 [A3] 1：100

年月日：R7.9

No.：K-22

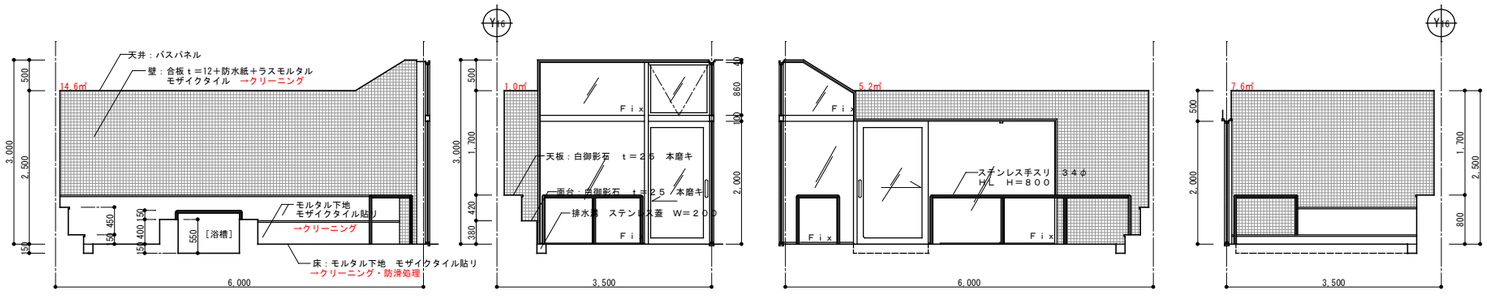
CAD FILE No.K-22 既存平面詳細図・展開図（家族風呂）

Print out：25-12-26



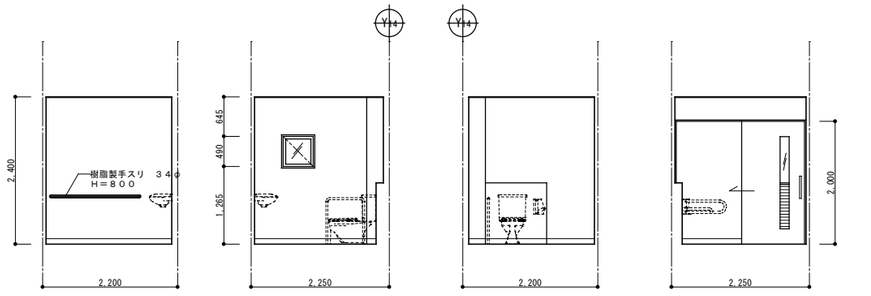
Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ

［サブロビー・廊下］



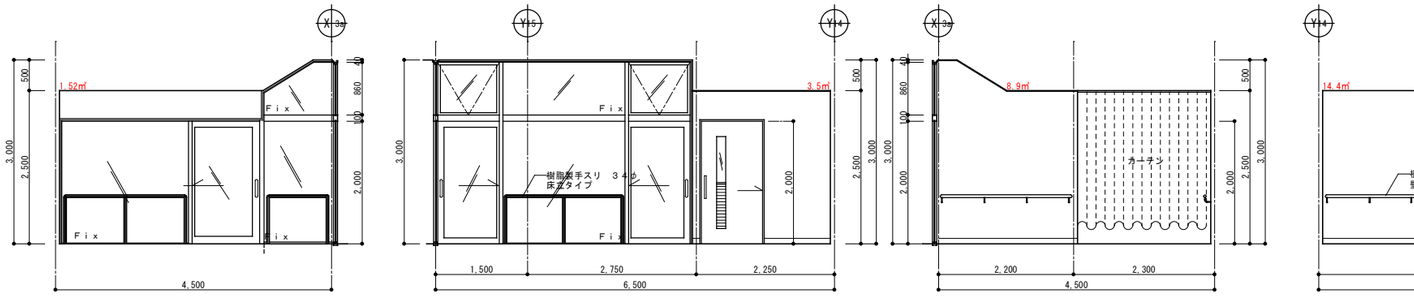
Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ

［家族風呂］ →床タイル：防滑処理＜12.3㎡＞・壁タイル：クリーニング＜28.4㎡＞



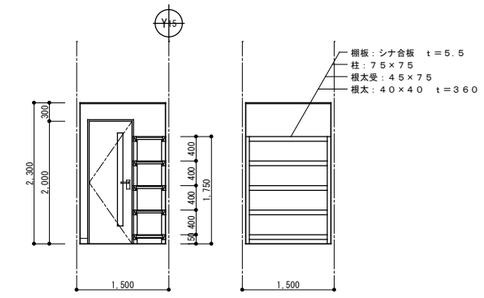
Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ

［便所］ →壁ＶＣ：貼り替え＜20㎡＞・天井ＶＣ：貼り替え＜4.7㎡＞



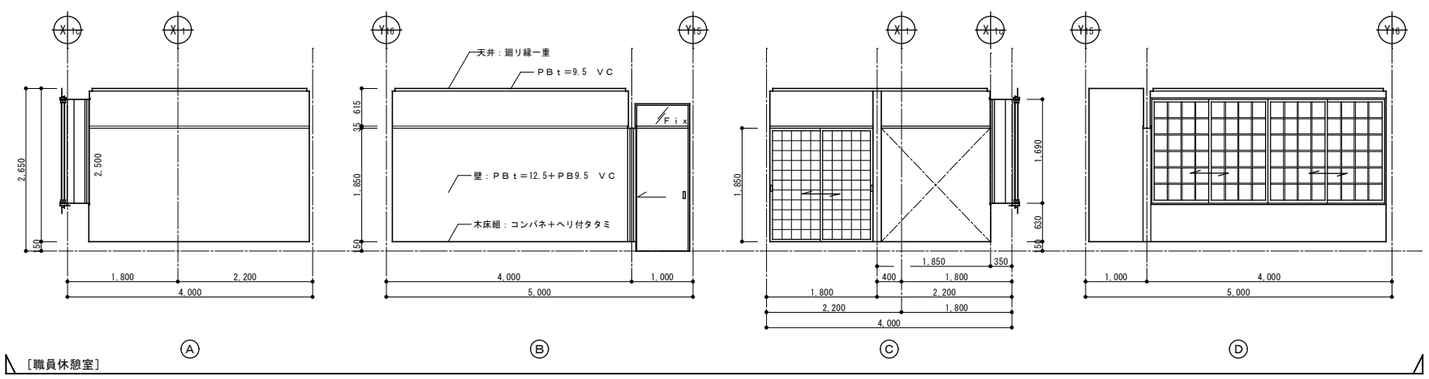
Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ

家族風呂［脱衣室］ →床タイル：貼り替え＜24.3㎡＞・壁タイル：クリーニング＜28.3㎡＞



Ⓑ Ⓒ

［リネン庫］



Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ

［職員休憩室］

【凡例】
ａ：下地・仕上げ共撤去
ｂ：仕上げのみ撤去
＜***＞：参考数量

※特記なきは既存のまま

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録　長野県知事登録（伊那）M第7Y051号
図面を作成した建築士　一級建築士　大臣登録第177957号　井上　勉

凡例　備考

工事名称：令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）

図面名称：既存展開図（家族風呂・サブロビー）＜既存＞

SCALE：［A1］ 1：50　［A3］ 1：100

年月日：R7.9

No.：K-23

CAD FILE No.K-23 既存展開図(家族風呂、サブロビー)

Print out：25-12-26

展 開 表 示

※別紙による（K-2.1）

【サブロビー】

【準備室】 ±0

【湯沸シ室】 ±0

【倉庫】 ±0

【事務室】 ±0

【売店】 ±0

【受付】 ±0

【下足室】 ±0

【ポーチ】 −10

【玄関】 −10

【玄関ホール】 ±0

【男子便所】 −10

消化器＋置台

ステンレス流し台

食器棚

壁内消火栓ボックス

戸棚

打合せテーブル

コピー

事務机

掲示板 1,200W×900H

月下板 1,800W×900H

警報盤・制御盤（設備工事）

飾り棚

天板 シナ合板フラッシュ W 2,300

消火器（壁掛ブラケット）

カウンター天板 コーリアン

シナ合板フラッシュ W 1,200W×450D×2,000H → 撤去

シナ合板フラッシュ W 1,050W×450D×2,000H → 撤去

建具撤去

サッシ・外壁撤去

a 間仕切り撤去 <1.9m> (950×2,050)

a 間仕切り撤去 <1.9m> (950×2,050)

a 下り壁・間仕切撤去

a 間仕切り撤去

床：貼り替え

下足箱（錠付） → 撤去

下足箱（錠付） → 撤去

下足入 → 撤去

撤去

下足入 3,000φ

案内板

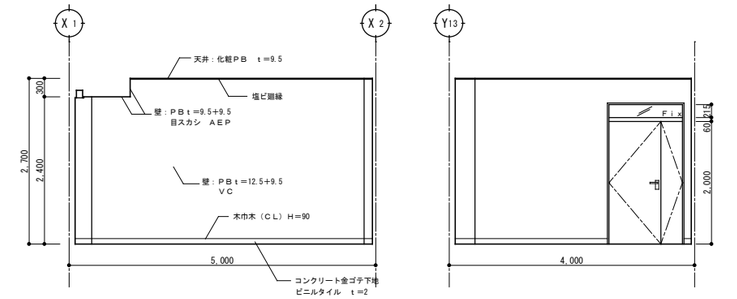
TEL

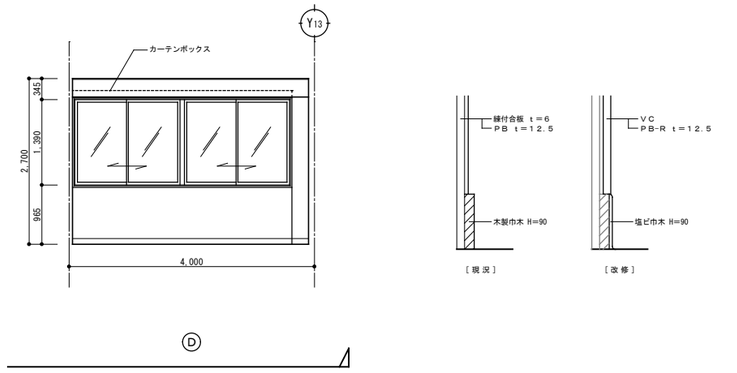
自販機

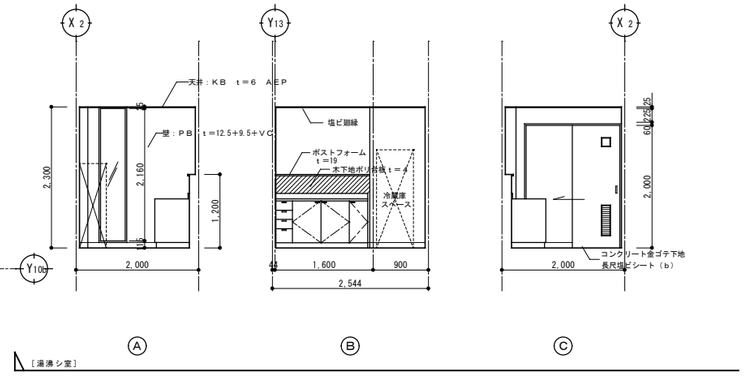
券売機

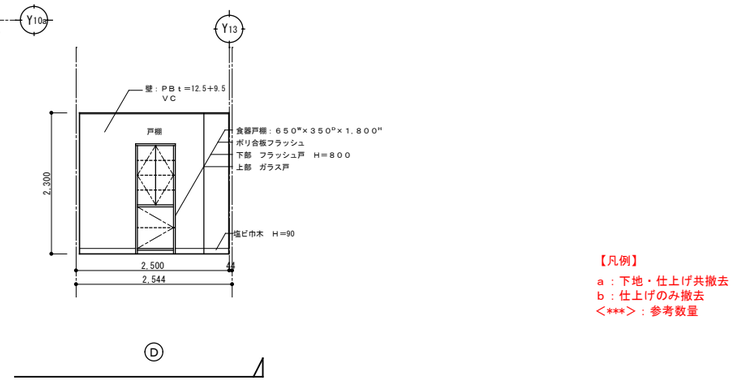
上カマチ：御影石 磨キ（一部バーナー仕上）

黒御影石 （ア）30 水磨キ









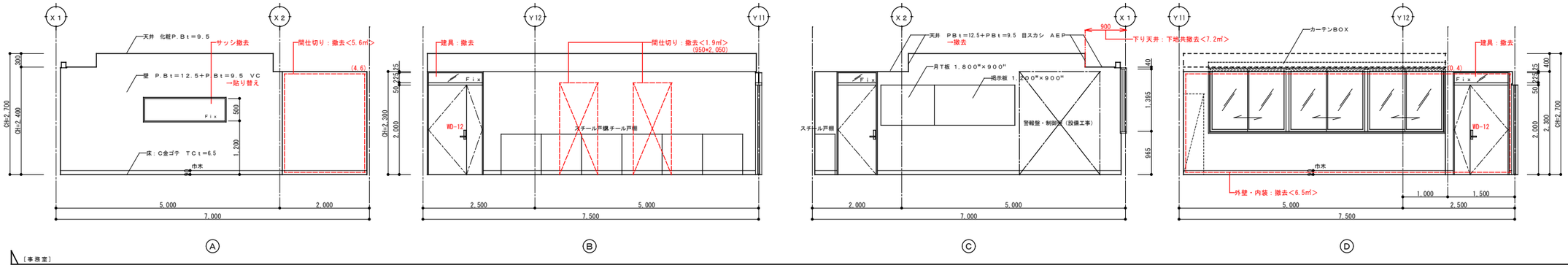
【凡例】
a：下地・仕上げ共撤去
b：仕上げのみ撤去
<***>：参考数量

※特記なきは既存のまま

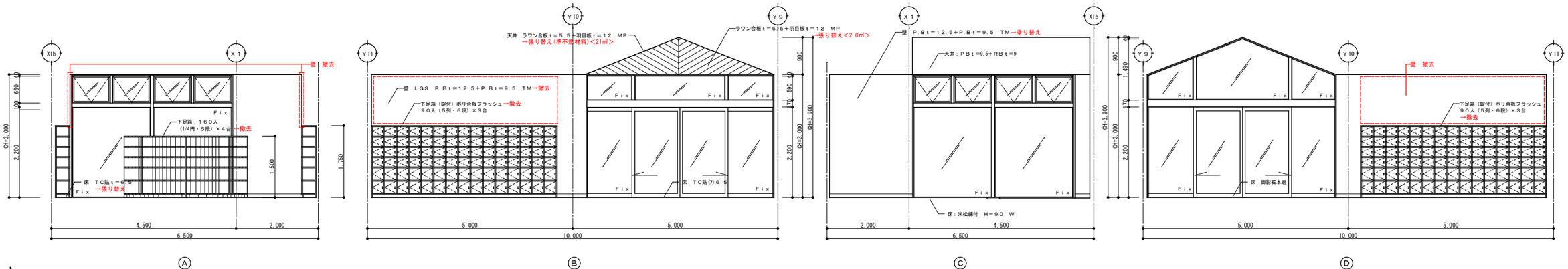
株式会社 城取建築設計事務所 〒396−0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271	一級建築士事務所登録 長野県知事登録（伊那）L第2Y051号	図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上 勉	凡例 備考	工事名称 令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）	図面名称 既存平面詳細図・展開図 ＜既存＞	SCALE [A1] 1：50 [A3] 1：100	年月日 R7.9	No. K-24

CAD FILE No.K-24 既存平面詳細図・展開図(玄関、事務室)

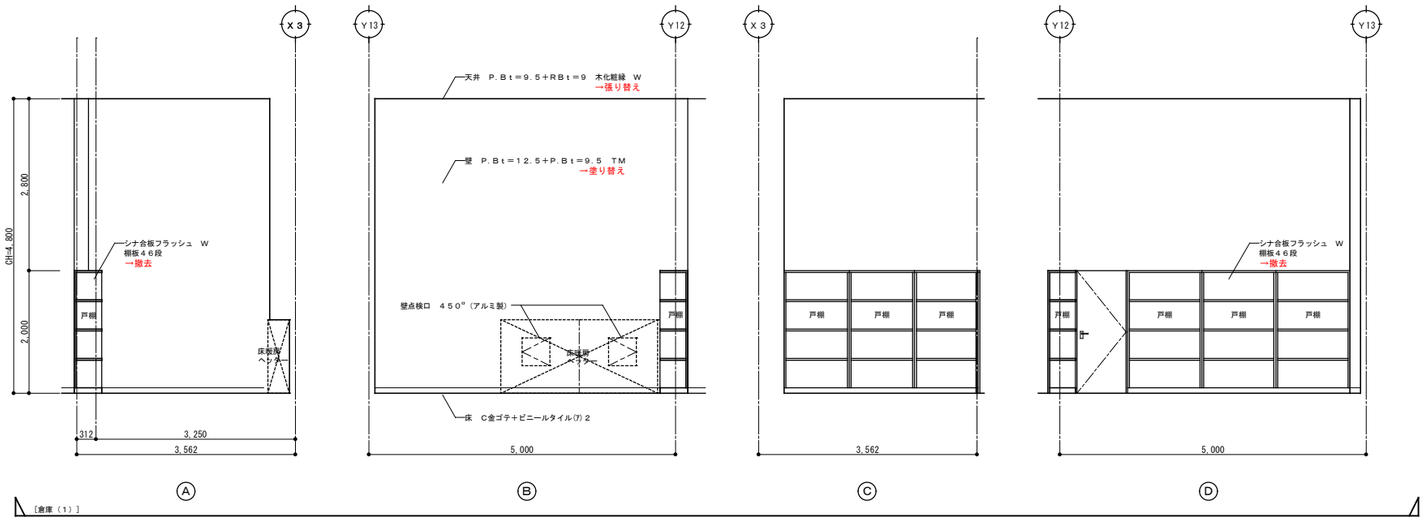
Print out：25-12-26



［事務室］



［玄関・下足室］



［倉庫（１）］

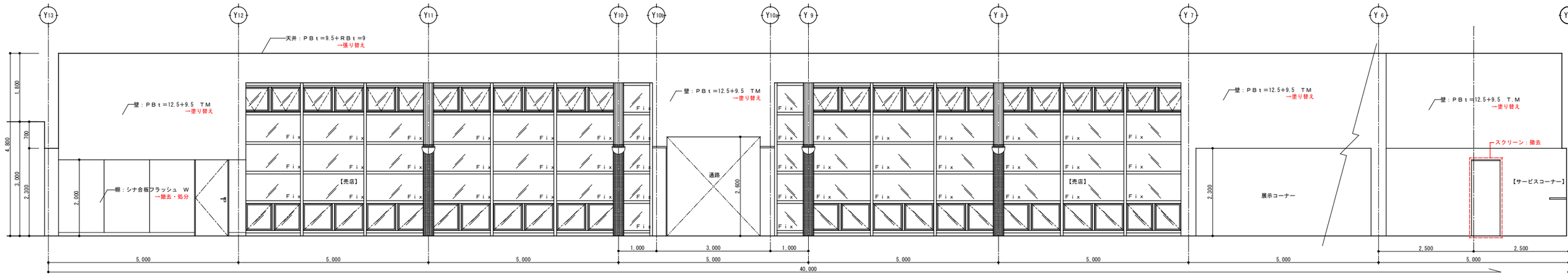
【凡例】
＜***＞：参考数量

※特記なきは既存のまま

株式会社 城取建築設計事務所 〒３９６－００２６　長野県伊那市西町５８６３番地１／TEL ０２６５（７２）７２７１	一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)Ｌ第２Ｙ０５１号	図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上　勉	凡例　備考	工事名称 令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）	図面名称 既存展開図（玄関，事務室） ＜既存＞	SCALE [A1]・１：５０ [A3]・１：１００	年月日 Ｒ７．９	No. K-25

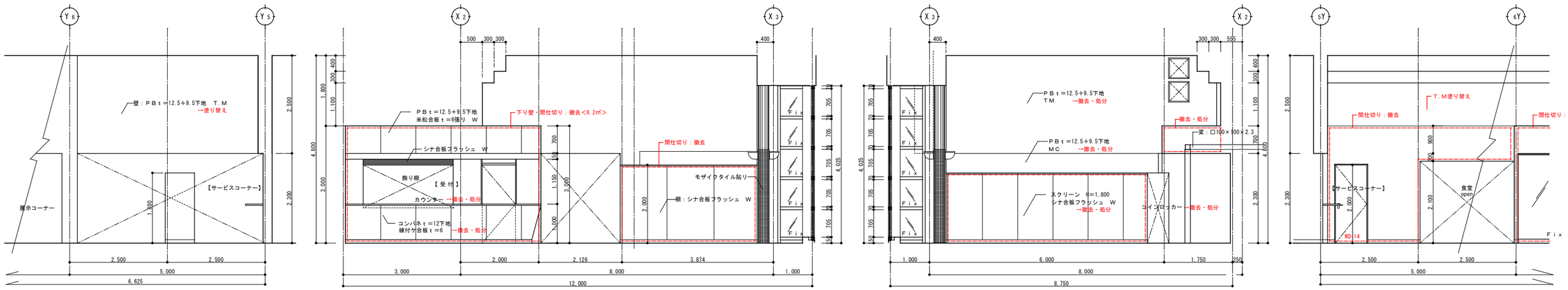
CAD FILE No.K-25 既存展開図(玄関，事務室)

Print out : 25-12-26

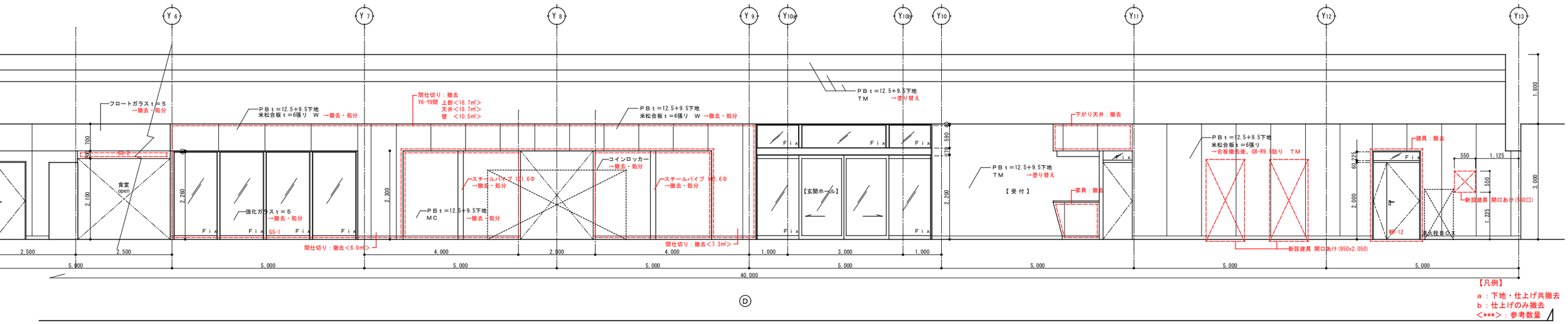


Ⓑ

［ロビー・売店］



Ⓐ　Ⓒ



Ⓓ

【凡例】
ａ：下地・仕上げ共撤去
ｂ：仕上げのみ撤去
＜***＞：参考数量

※特記なきは既存のまま

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録　長野県知事登録（伊那）M第7Y051号
図面を作成した建築士　一級建築士 大臣登録第177857号　井上　勉

凡例　備考

工事名称：令和８年度 ふれあい交流センター　大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）

図面名称：既存展開図（玄関ホール・ロビー）　＜既存＞

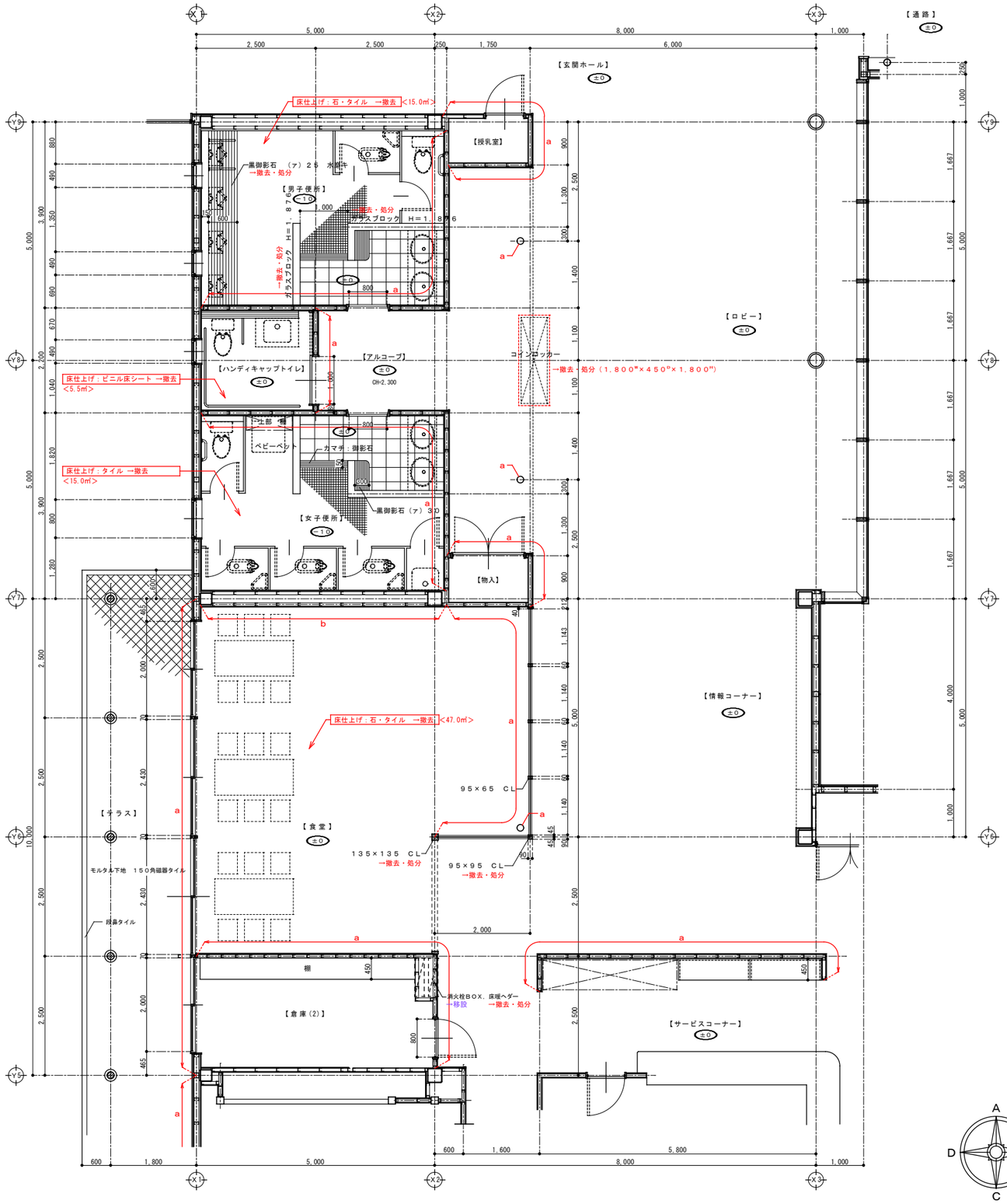
SCALE：［A1］ 1：50　［A3］ 1：100

年月日：R7.9

No.：K-26

CAD FILE No.K-26 既存展開図（玄関ホール、ロビー）

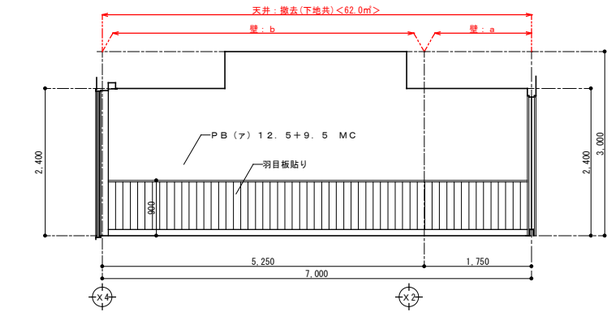
Print out：25-12-26



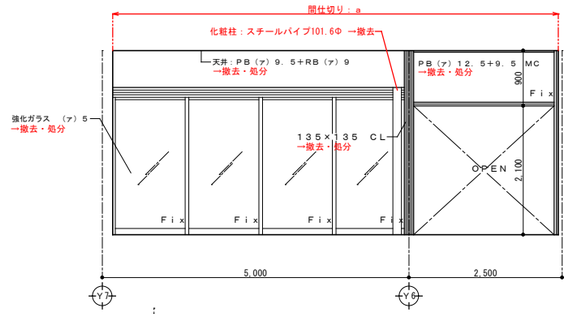
ロビー，食堂，男女便所　平　面　詳　細　図　S＝１：５０



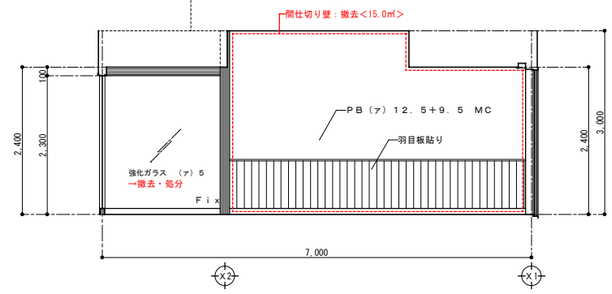
展　開　表　示



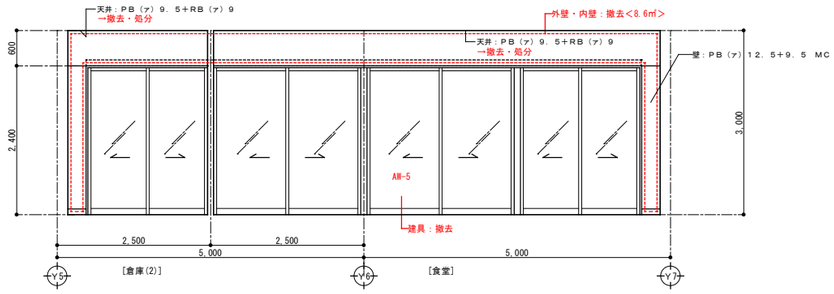
Ⓐ



Ⓑ



Ⓒ



Ⓓ

[倉庫(2)・食堂]　展　開　図　S＝１：５０

【凡例】
a：下地・仕上げ共撤去
b：仕上げのみ撤去
<***>：参考数量

※特記なきは既存のまま

株式会社 城取建築設計事務所
〒３９６－００２６ 長野県伊那市西町５８６３番地１／TEL ０２６５（７２）７２７１
一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)M第７Ｙ０５１号
図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177857号 井上 勉

凡例 備考

工事名称：令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）

図面名称：既存平面詳細図・展開図（トイレ，食堂） <既存>

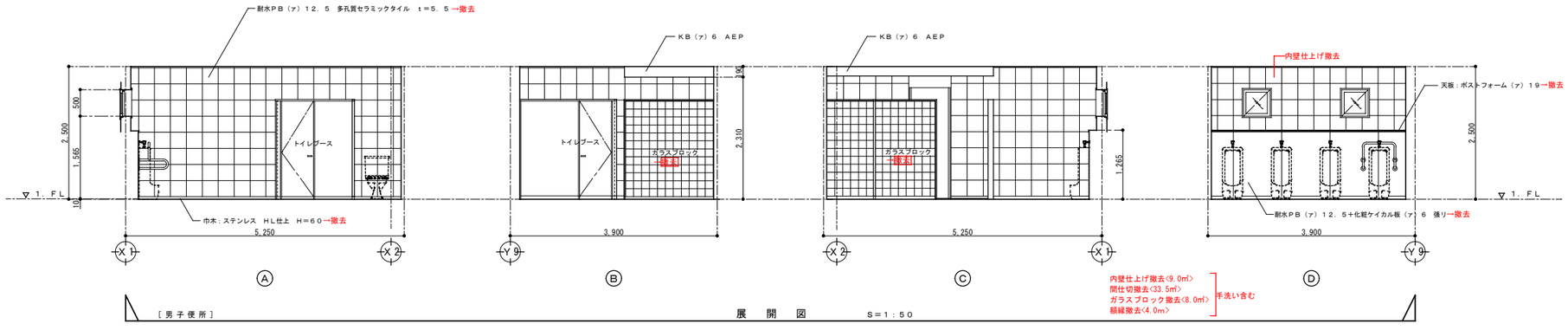
SCALE [A1] １：５０ [A3] １：１００

年月日：R７．９

No.：K-27

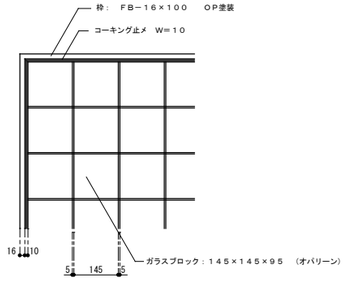
CAD FILE No.K-27 既存平面詳細図・展開図（トイレ，食堂）

Print out：25-12-26

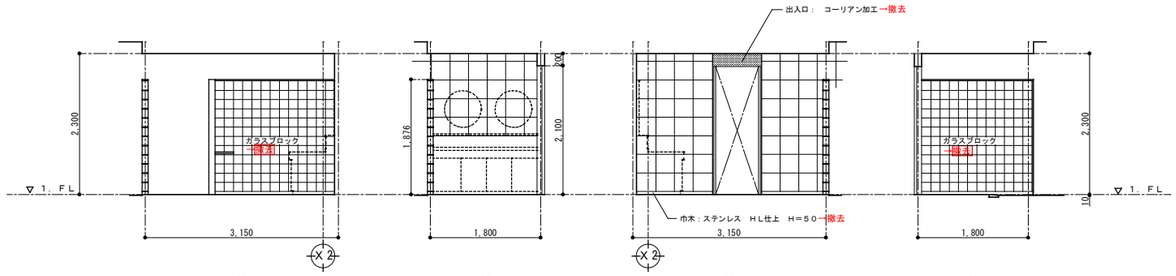


内壁仕上げ撤去〈9.0㎡〉
間仕切撤去〈33.5㎡〉
ガラスブロック撤去〈8.0㎡〉
手洗い含む
額縁撤去〈4.0m〉

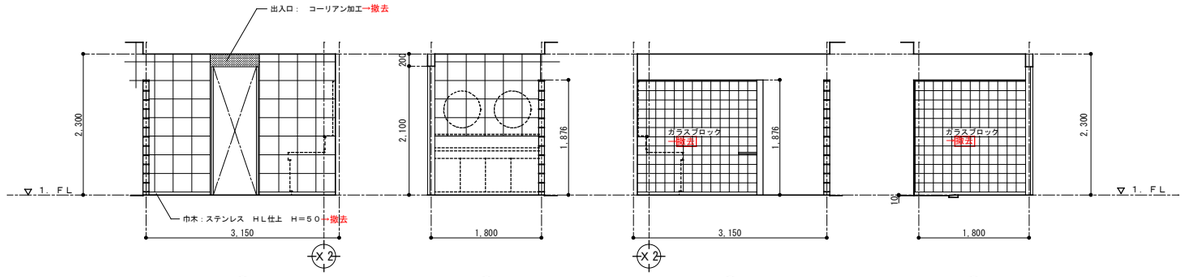
［男子便所］　展　開　図　Ｓ＝１：５０



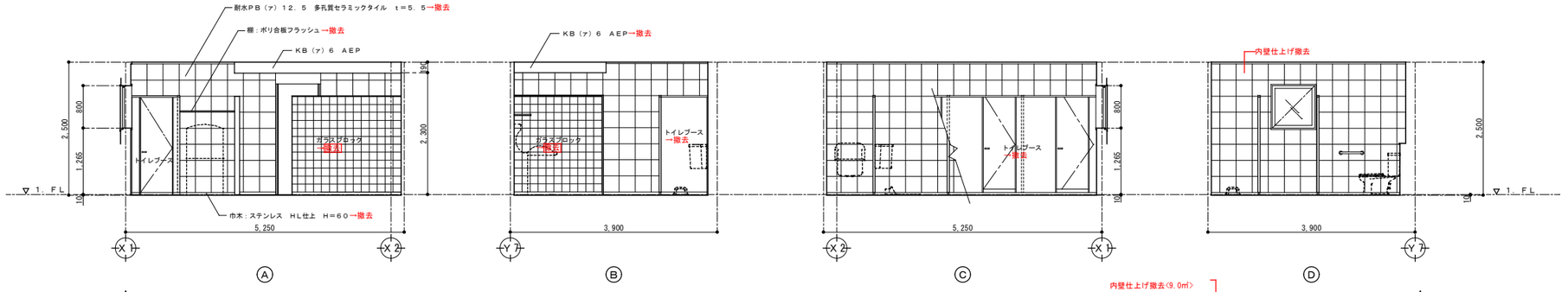
便所仕切り壁詳細　Ｓ＝１：１０



［男子便所　手洗］　展　開　図　Ｓ＝１：５０

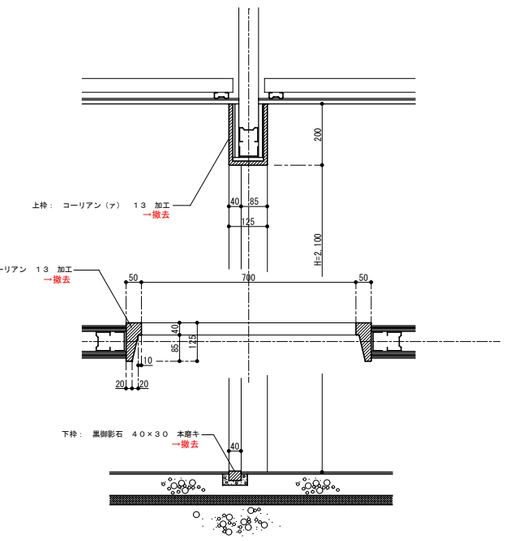


［女子便所　手洗］　展　開　図　Ｓ＝１：５０

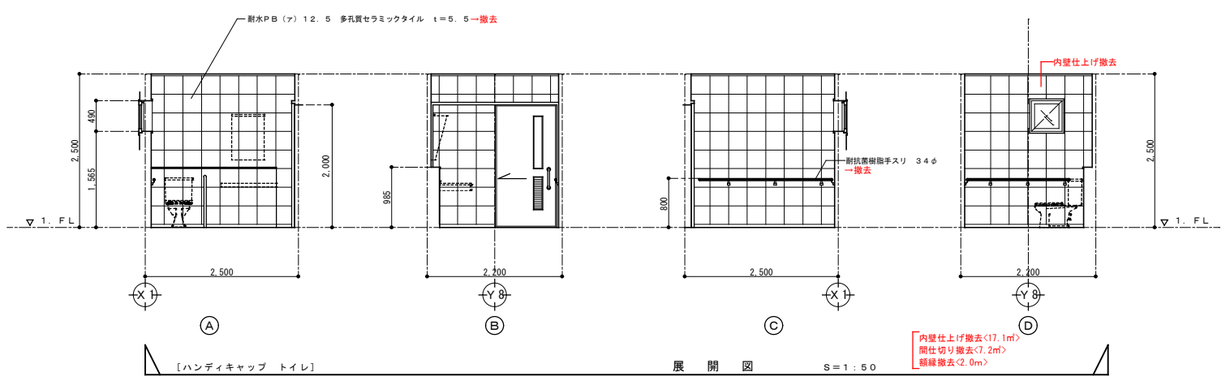


内壁仕上げ撤去〈9.0㎡〉
間仕切撤去〈33.5㎡〉
ガラスブロック撤去〈8.0㎡〉
手洗い含む

［女子便所］　展　開　図　Ｓ＝１：５０

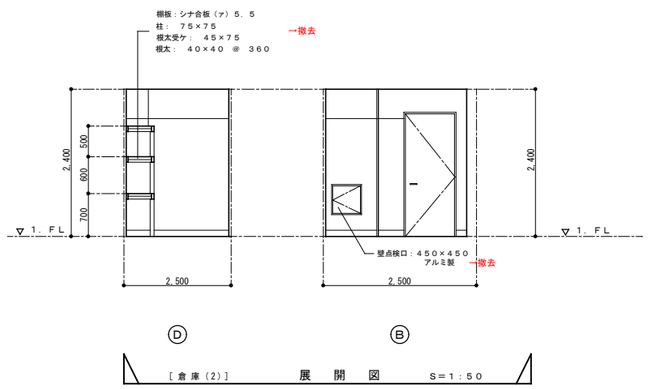


便所出入口詳細　Ｓ＝１：１０



内壁仕上げ撤去〈17.1㎡〉
間仕切り撤去〈7.2㎡〉
額縁撤去〈2.0m〉

［ハンディキャップ　トイレ］　展　開　図　Ｓ＝１：５０



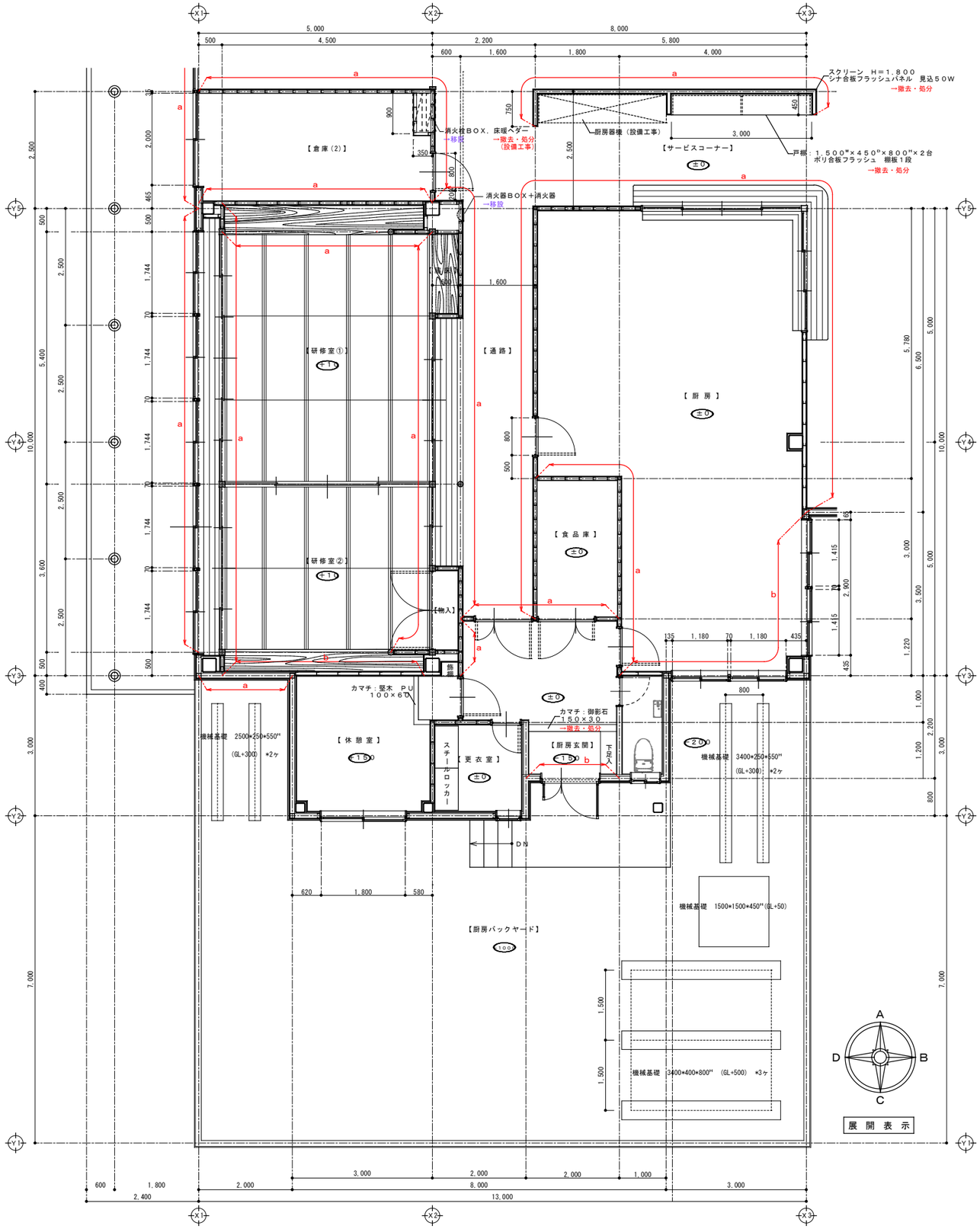
［倉庫（2）］　展　開　図　Ｓ＝１：５０

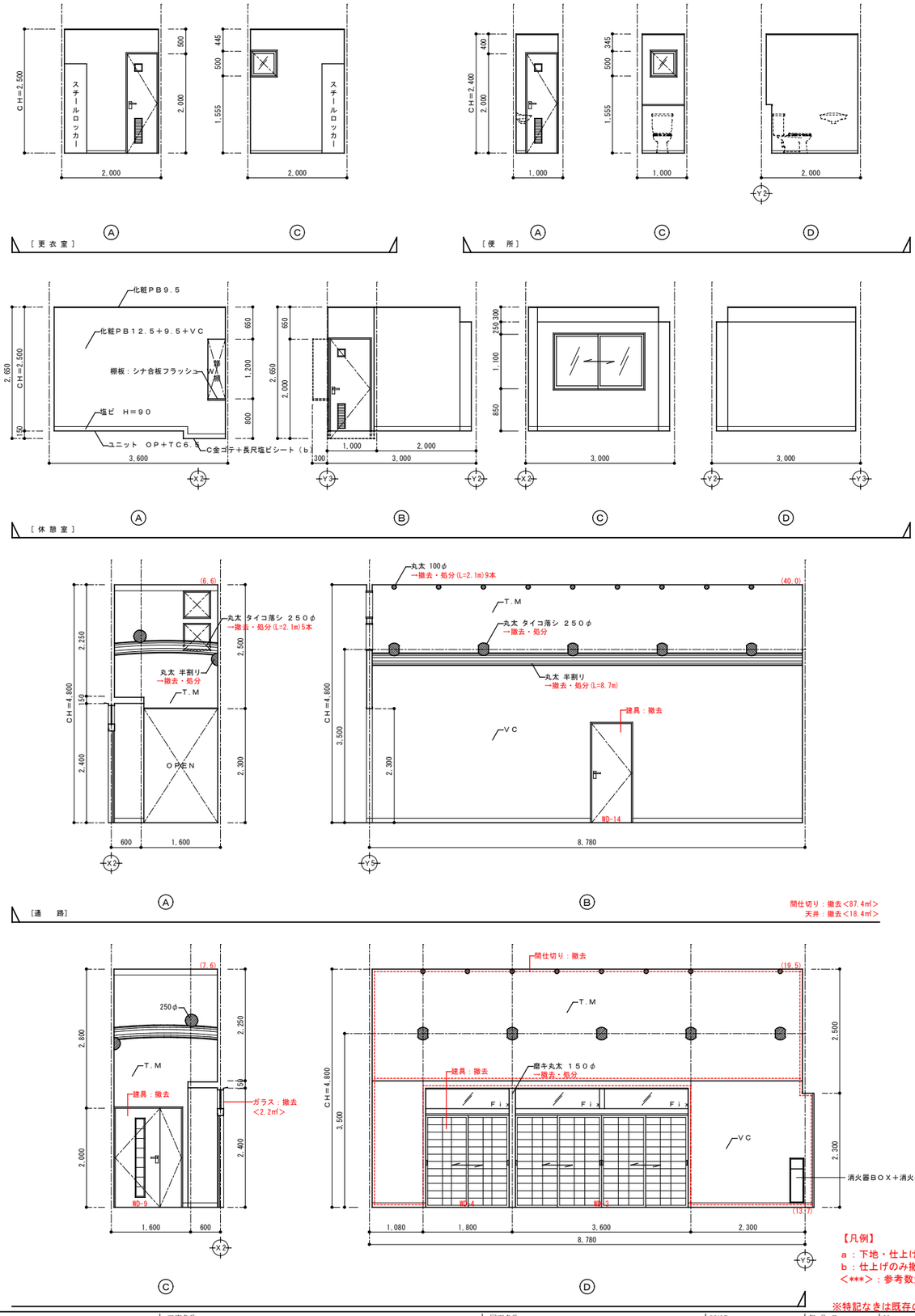
【凡例】
ａ：下地・仕上げ共撤去
ｂ：仕上げのみ撤去
＜***＞：参考数量

※特記なきは既存のまま

株式会社 城取建築設計事務所 〒３９６－００２６　長野県伊那市西町５８６３番地１／TEL ０２６５（７２）７２７１	一級建築士事務所登録 長野県知事登録 （伊那）M第７Ｙ０５１号	図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井　上　勉	凡例　備考	工事名称 令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）	図面名称 既存展開図（トイレ） ＜既存＞	SCALE ［A1］　１：５０ ［A3］　１：１００	年月日 R７．９	No. K－２８

CAD FILE No.K-28 既存展開図(トイレ)　　Print out：25-12-26





【凡例】
ａ：下地・仕上げ共撤去
ｂ：仕上げのみ撤去
＜***＞：参考数量

※特記なきは既存のまま

株式会社 城取建築設計事務所
〒３９６－００２６ 長野県伊那市西町５８６３番地１／TEL ０２６５（７２）７２７１
一級建築士事務所登録 長野県知事登録（伊那）M第７Ｙ０５１号
図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上 勉

凡例 備考

工事名称：令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）

図面名称：既存平面詳細図・展開図（研修室,厨房） ＜既存＞

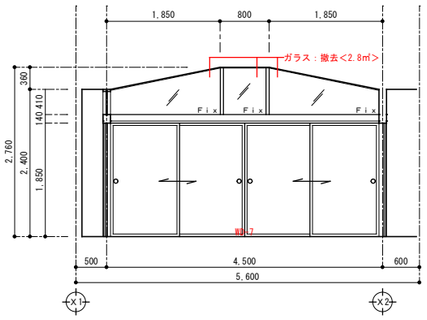
SCALE：[A1] １：５０ [A3] １：１００

年月日：Ｒ７.９

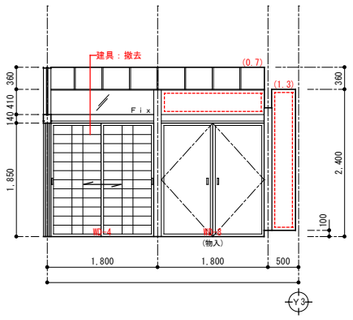
No.：Ｋ-２９

CAD FILE No.K-29 既存平面詳細図・展開図(研修室,厨房)

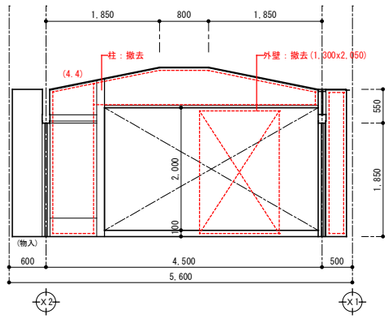
Print out : 25-12-26



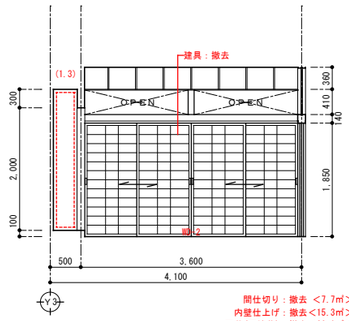
Ⓐ



Ⓑ



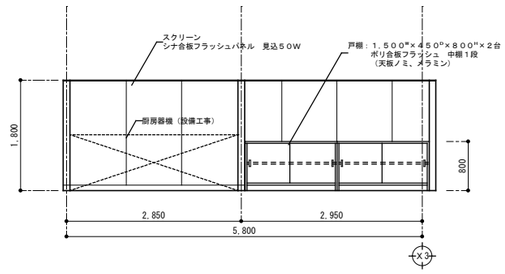
Ⓒ



Ⓓ

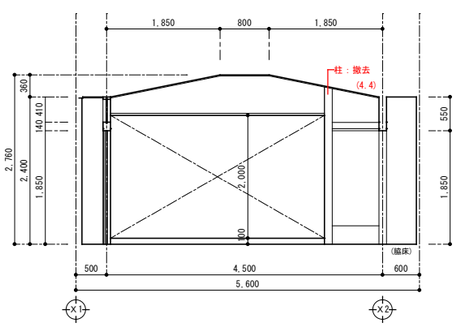
間仕切り：撤去 <7.7㎡>
内壁仕上げ：撤去<15.3㎡>
天井(下地共)：撤去<22.0㎡>
(物入：内壁仕上<6.0㎡>
天井仕上げ<1.0㎡>)

[研修室(2)]

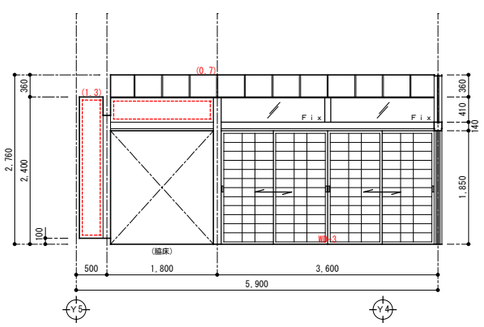


Ⓐ

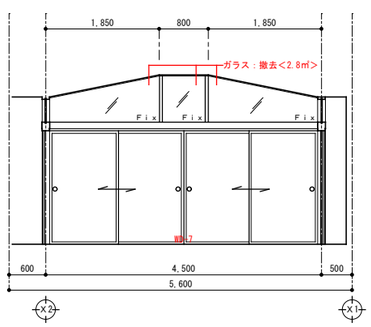
[サービスコーナー]



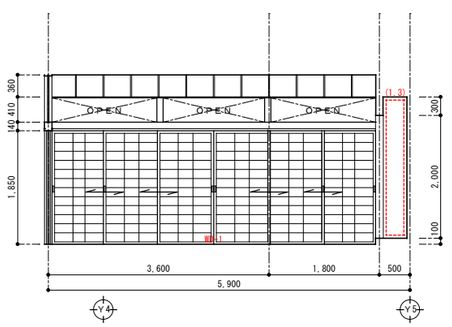
Ⓐ



Ⓑ



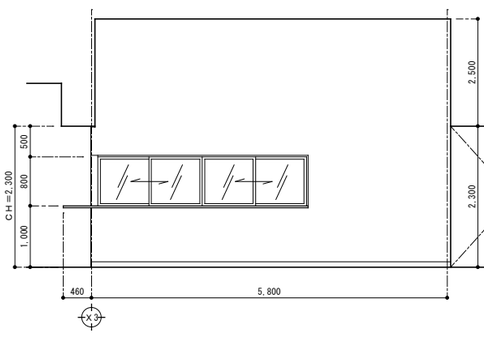
Ⓒ



Ⓓ

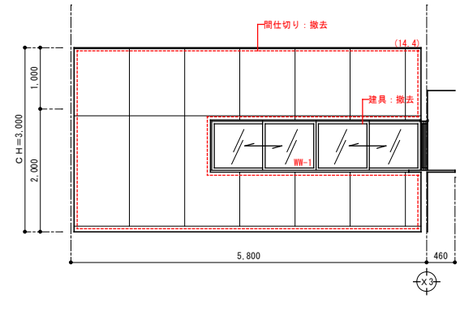
間仕切り：撤去 <7.7㎡>
内装仕上げ：撤去 <15.3㎡>
天井(下地共)：撤去<31.9㎡>
(脇床：内壁仕上げ<6.2㎡>
天井<1.0㎡>)

[研修室(1)]

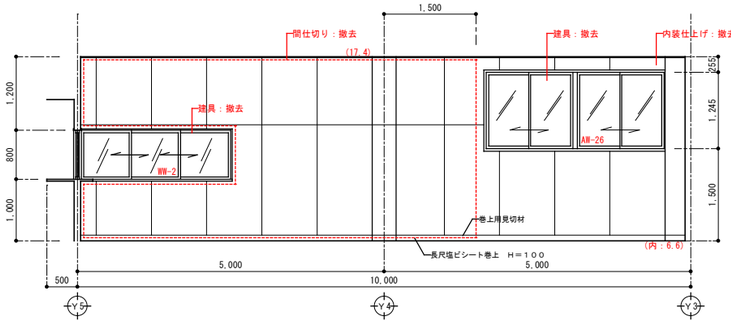


Ⓒ

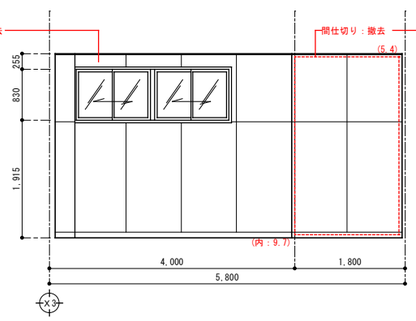
[サービスコーナー]



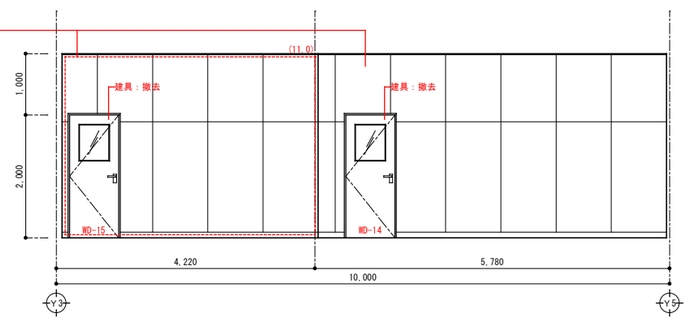
Ⓐ



Ⓑ



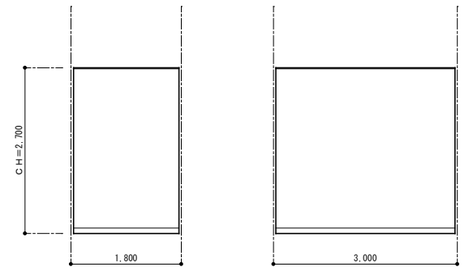
Ⓒ



Ⓓ

内壁仕上げ：撤去<77.0㎡>
天井(下地共)：撤去<49.0㎡>

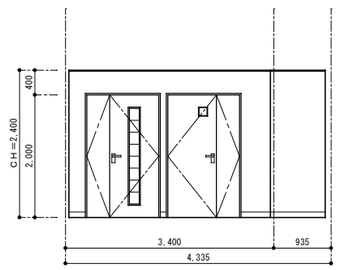
[厨　房]



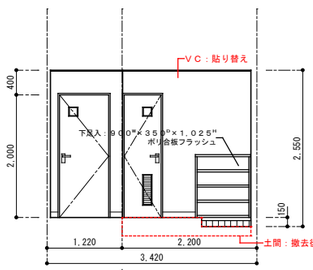
Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ

間仕切り：撤去
天井(下地共)：撤去<4.9㎡>

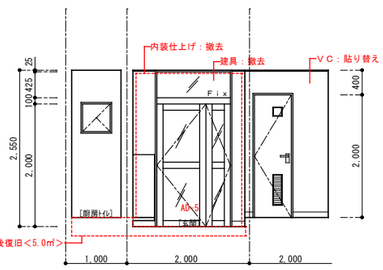
[食品庫]



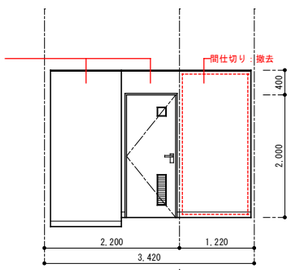
Ⓐ



Ⓑ



Ⓒ



Ⓓ

内装仕上げ：撤去<18.7㎡>
天井(下地共)：撤去<2.0㎡>

[厨房玄関]

【凡例】
ａ：下地・仕上げ共撤去
ｂ：仕上げのみ撤去
＜***＞：参考数量

※特記なきは既存のまま

株式会社 城取建築設計事務所
〒３９６－００２６　長野県伊那市西町５８６３番地１／TEL ０２６５（７２）７２７１
一級建築士事務所登録　長野県知事登録（伊那）M第７Ｙ０５１号
図面を作成した建築士　一級建築士 大臣登録第177857号　井上　勉

凡例　備考

工事名称：令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）

図面名称：既存展開図(研修室,厨房)　＜既存＞

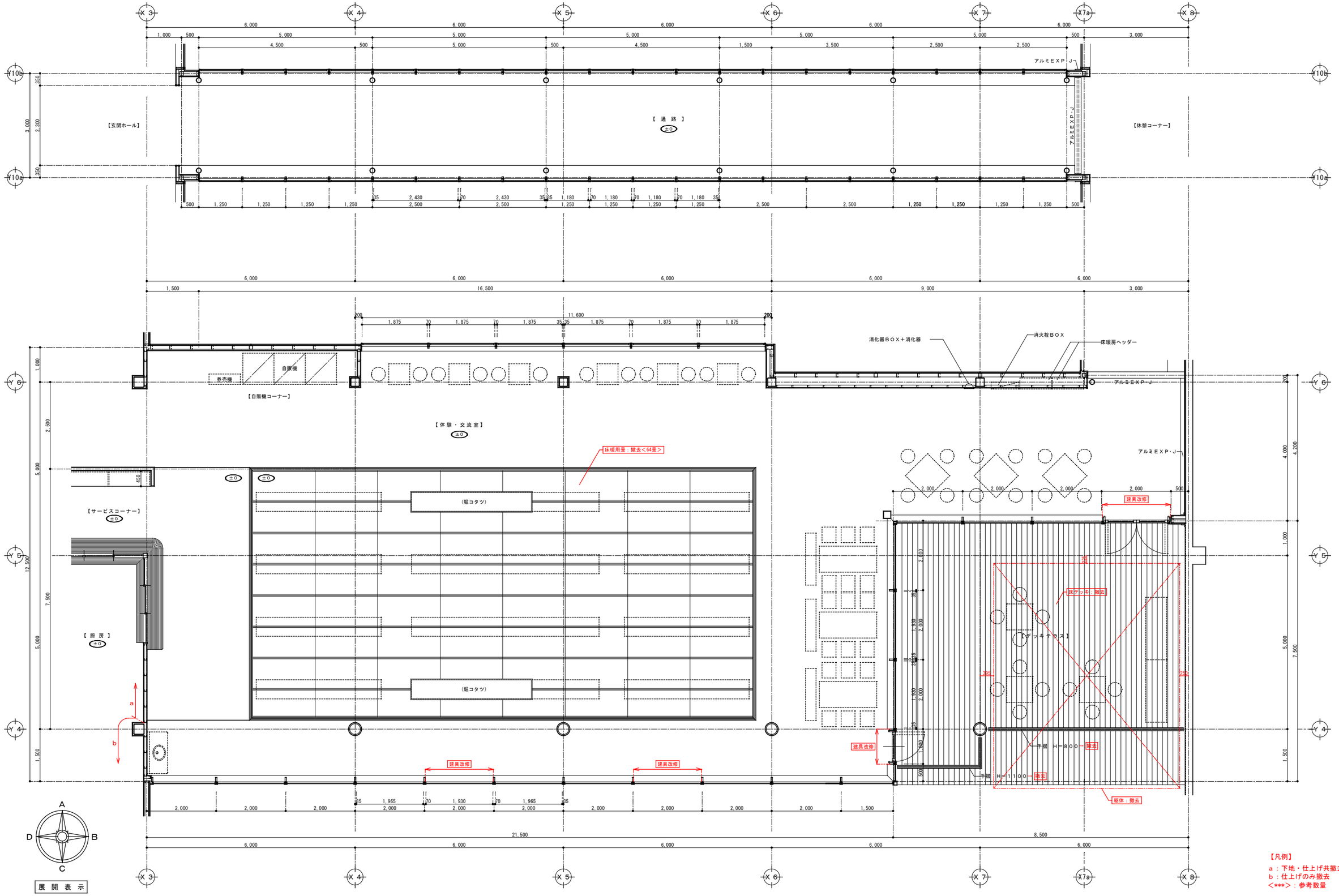
SCALE：[A1] １：５０　[A3] １：１００

年月日：R7.9

No.：K-30

CAD FILE No.K-30 既存展開図(研修室,厨房)

Print out：25-12-26



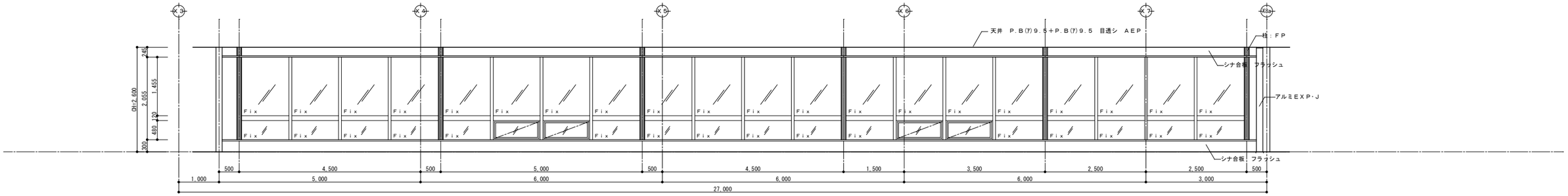
【凡例】
a：下地・仕上げ共撤去
b：仕上げのみ撤去
＜***＞：参考数量

※特記なきは既存のまま

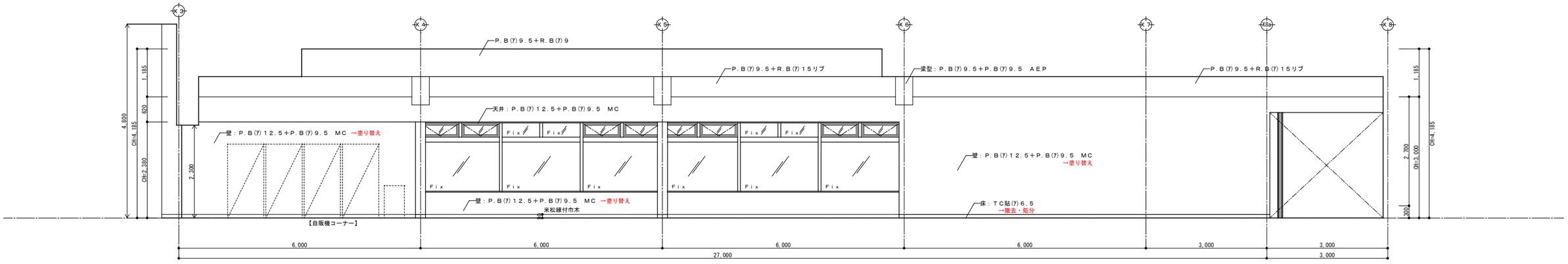
株式会社 城取建築設計事務所 〒396－0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271	一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)1第2Y051号	図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上 勉	凡例 備考	工事名称 令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）	図面名称 既存平面詳細図(体験・交流室) ＜既存＞	SCALE [A1]・１：５０ [A3]・１：１００	年月日 R7.9	No. K-31

CAD FILE No.K-31 既存平面詳細図(体験・交流室)

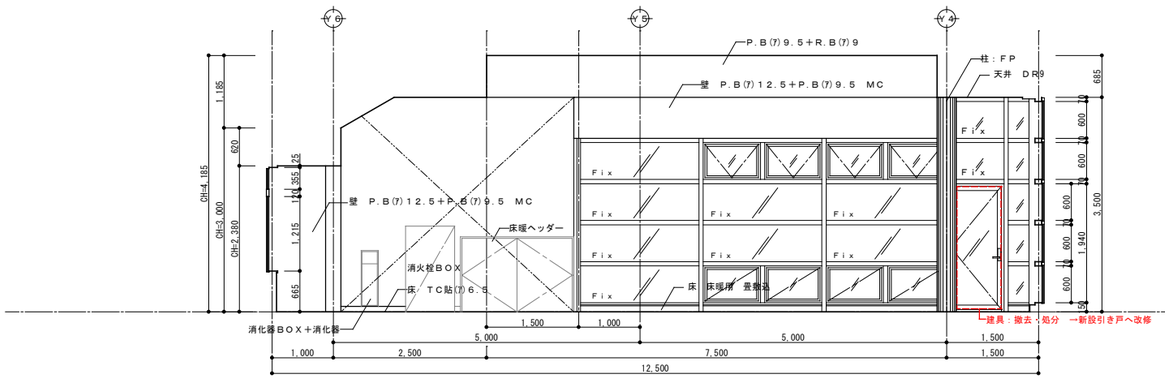
Print out：25-12-26



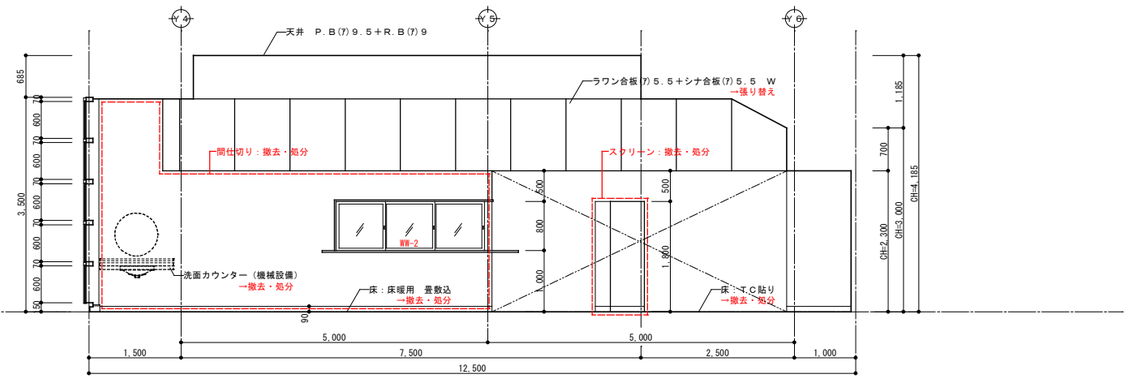
［通路］



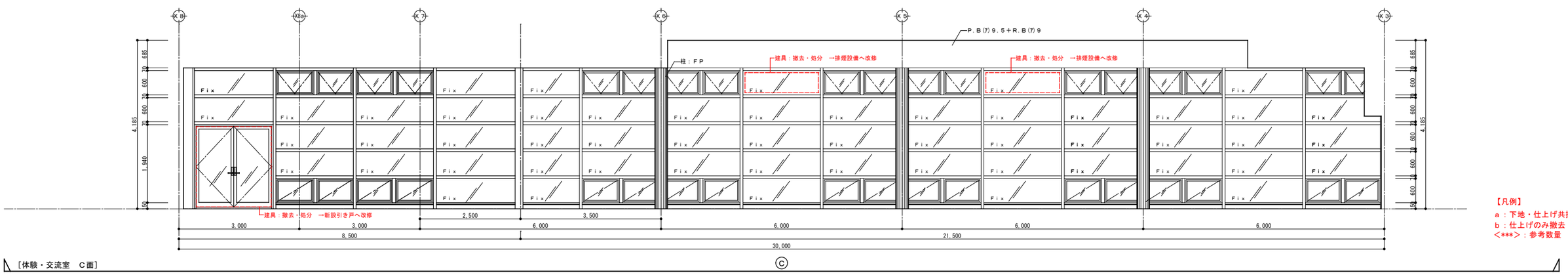
［体験・交流室　A面］



［体験・交流室　B・D面］



［体験・交流室　C面］



【凡例】
a：下地・仕上げ共撤去
b：仕上げのみ撤去
<***>：参考数量

※特記なきは既存のまま

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録　長野県知事登録（伊那）M第7Y051号
図面を作成した建築士　一級建築士　大臣登録第177957号　井上　勉

凡例　備考

工事名称：令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）

図面名称：既存展開図(体験・交流室)　＜既存＞

SCALE：[A1] 1：50　[A3] 1：100

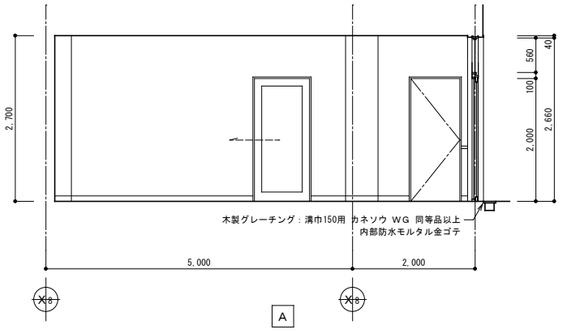
年月日：R7.9

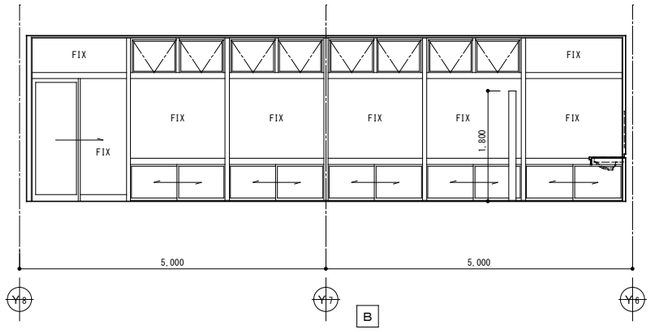
No.：K-32

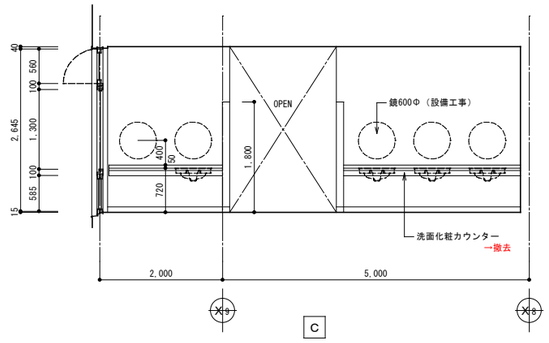
CAD FILE No.K-32 既存展開図(体験・交流室)

Print out：25-12-26

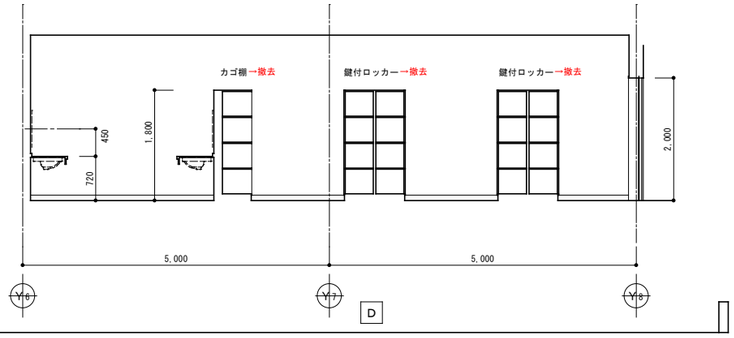
脱衣室（１）	
床	C金ゴテ＋麻タイル 洗面化粧コーナー：C金ゴテ＋コルクタイル(ｱ)5
巾木	木　W　　H=90
腰壁	ラワン合板(ｱ)5.5＋檜板(ｱ)12　W　H=900 笠木：木　32×40H　W
壁	ＰＢ(ｱ)12.5（ＧＬ工法）＋ＰＢ(ｱ)9.5＋ＴＭ
天井	ＫＢ(ｱ)6　Ｖ目地　ＶＰ



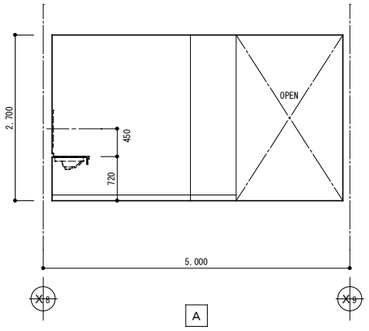


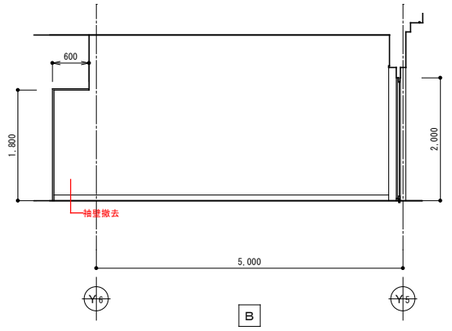


脱衣室（１）

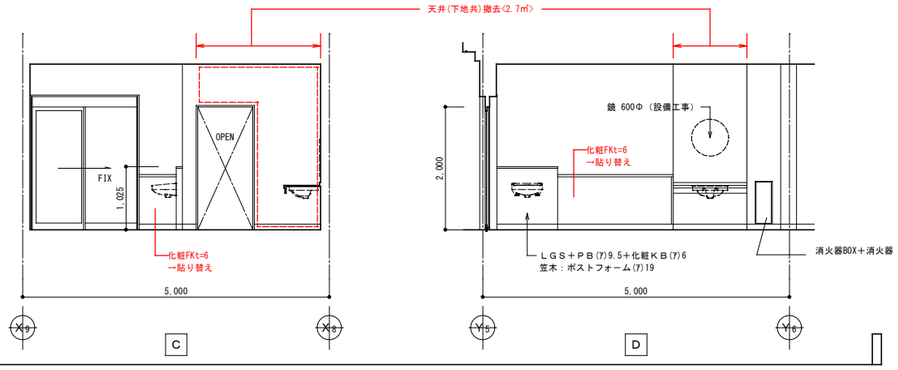


便所前室・浴室前室（１）	
床	C金ゴテ＋麻タイル　一部防水モルタル金ゴテ＋システムスノコ 便所前室：C金ゴテ＋コルクタイル(ｱ)5
巾木	木　W　　H=90
腰壁	ラワン合板(ｱ)5.5+檜板(ｱ)12　W　H=900　一部化粧FKt=6 笠木：木　32×40H　W
壁	ＰＢ(ｱ)12.5（ＧＬ工法）＋ＰＢ(ｱ)9.5＋ＴＭ
天井	ＫＢ(ｱ)6　Ｖ目地　ＶＰ

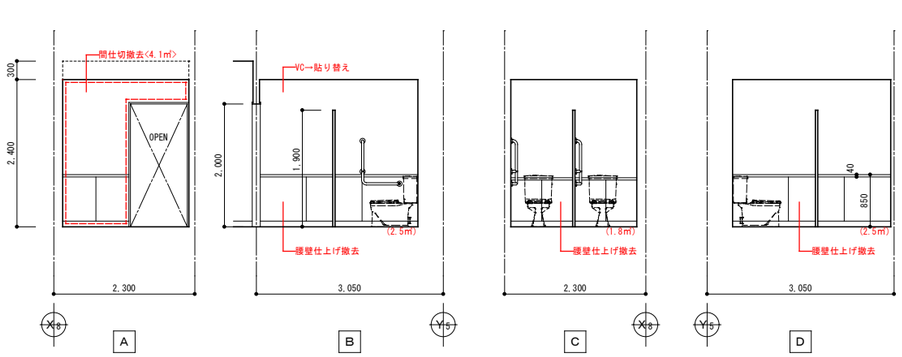




便所前室・浴室前室（１）

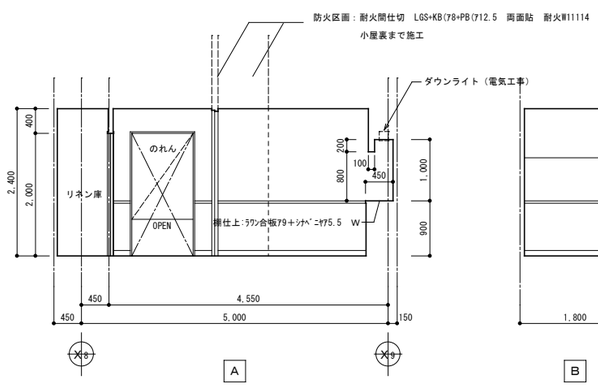


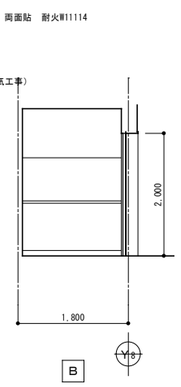
浴室便所（１）	
床	C金ゴテ＋長尺塩ビシート（ｂ）
巾木	木　W　　H=90
腰壁	ラワン合板(ｱ)5.5＋雑木合板(ｱ)6　W　H=850 笠木：木　12×40H　W　　一部化粧FKt=6
壁	ＰＢ(ｱ)12.5（ＧＬ工法）＋ＰＢ(ｱ)9.5＋ＶＣ
天井	ＰＢ(ｱ)9.5＋ＶＣ

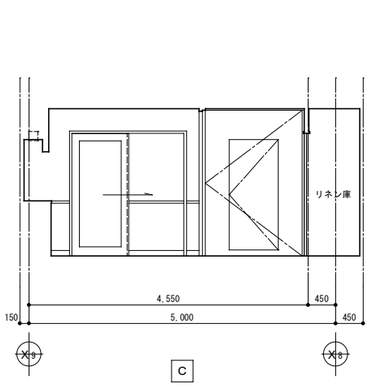


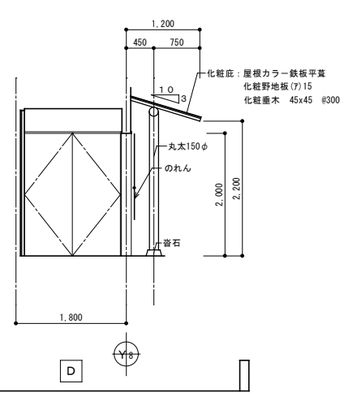
便所（１）

脱衣室前室（１）	
床	C金ゴテ＋ＴＣ(ｱ)6.5
巾木	木　W　　H=90
腰壁	ラワン合板(ｱ)5.5＋羽目板(ｱ)12 H=900 笠木：木　12×40H　W
壁	ＰＢ(ｱ)12.5（ＧＬ工法）＋ＰＢ(ｱ)9.5＋ＴＭ
天井	ＰＢ(ｱ)9.5＋ＲＢ(ｱ)9　ＡＥＰ









【凡例】
a：下地・仕上げ共撤去
b：仕上げのみ撤去
<***>：参考数量

※特記なきは既存のまま

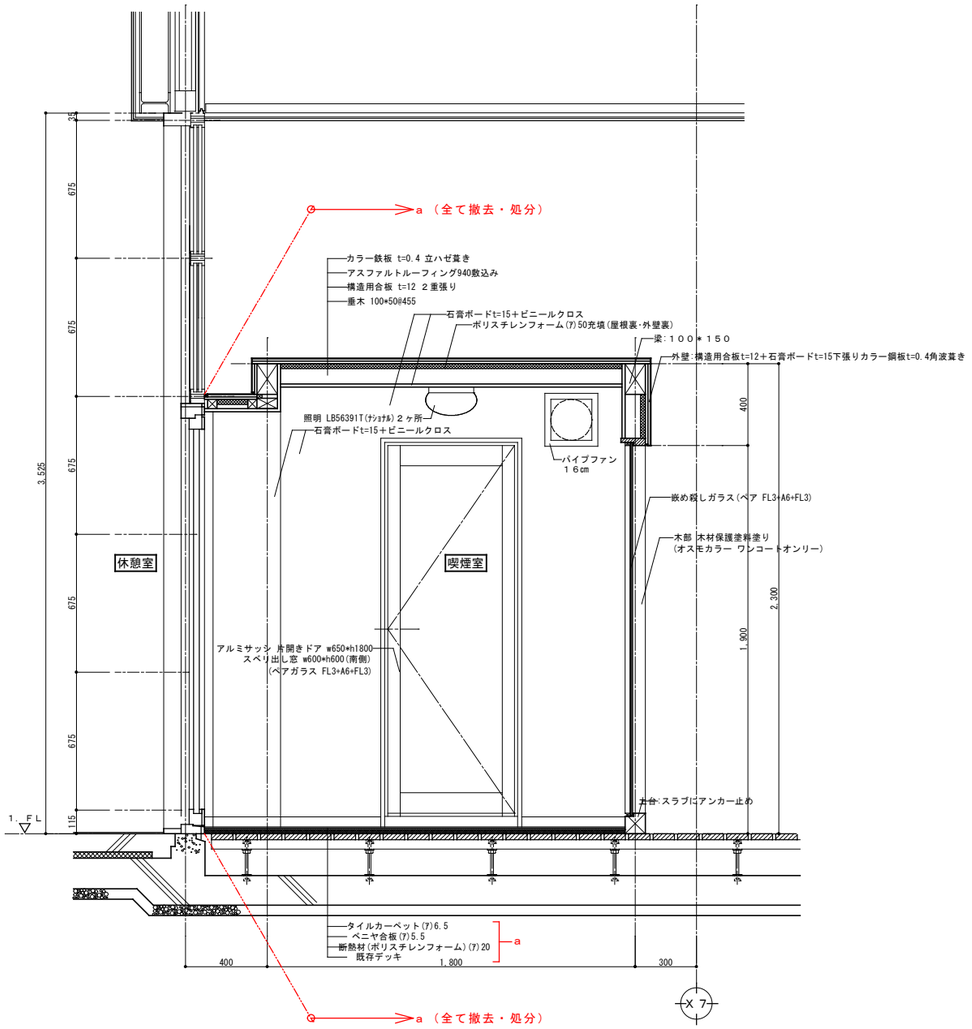
株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録　長野県知事登録（伊那）M第7Y051号
図面を作成した建築士　一級建築士 大臣登録第177957号　井上　勉

凡例　備考

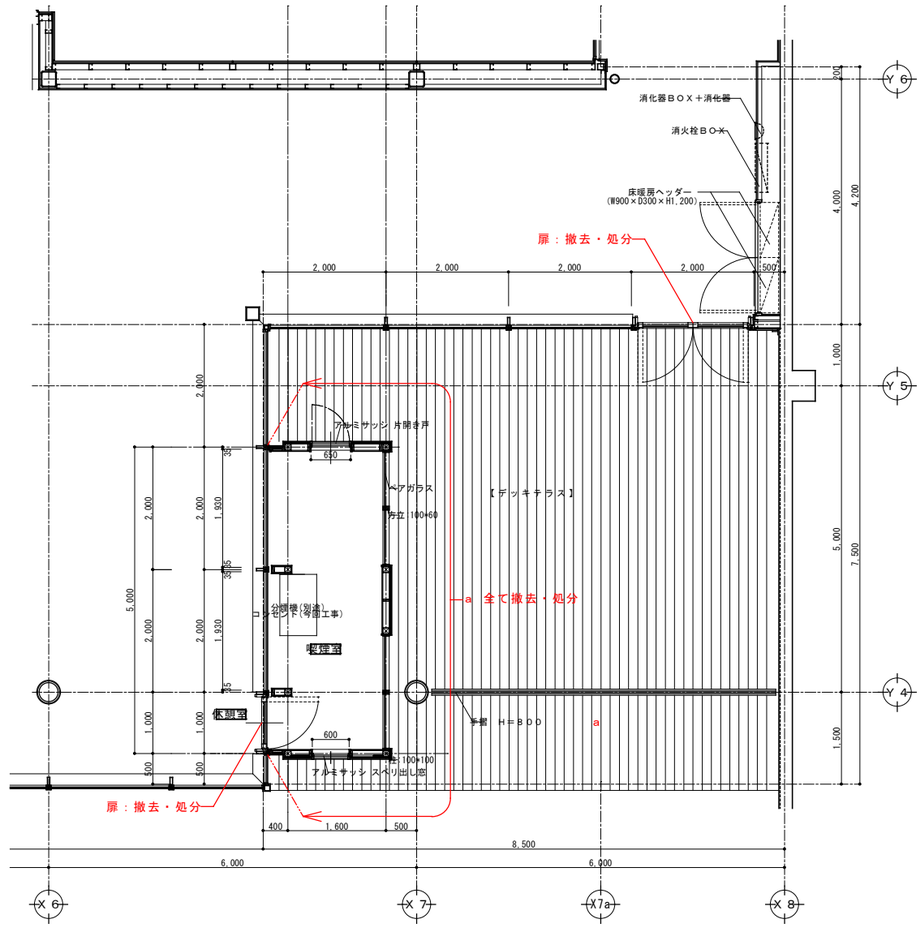
工事名称	令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）
図面名称	既存展開図(脱衣室) ＜既存＞
SCALE	[A1]　1：50 [A3]　1：100
年月日	R7.9
No.	K-33

CAD FILE No.K-33 既存展開図(脱衣室)

Print out：25-12-26



喫煙室 段面図 S=1:15



喫煙室 平面図 S=1:50

【凡例】
a：下地・仕上げ共撤去
b：仕上げのみ撤去
<***>：参考数量

※特記なきは既存のまま

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)M第7Y051号
図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上 勉

凡例 備考

工事名称：令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）

図面名称：既存平面詳細図(喫煙室) ＜既存＞

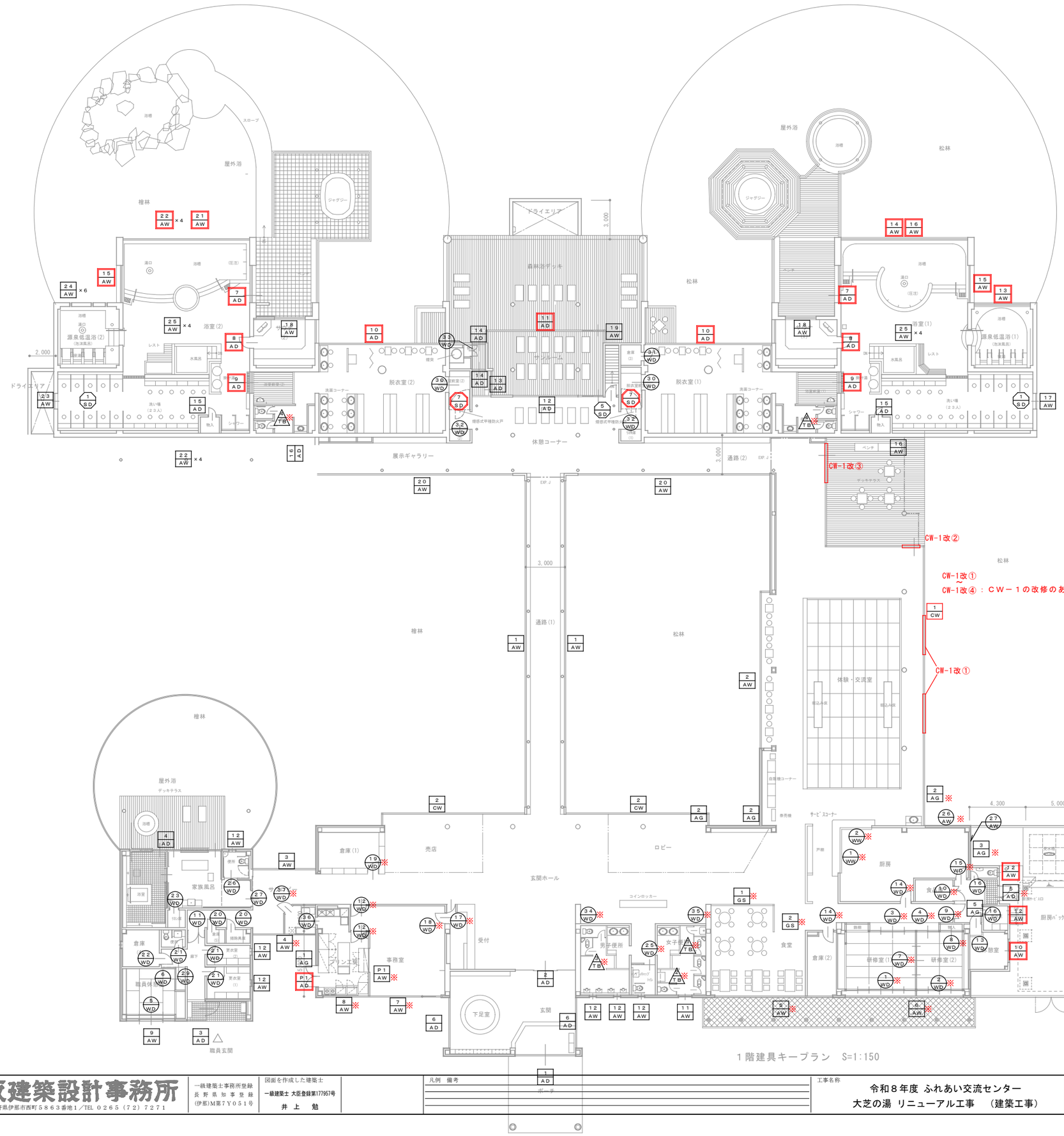
SCALE：[A1] 1：50 [A3] 1：100

年月日：R7.9

No.：K-34

CAD FILE No.K-34 既存平面詳細図(喫煙室)

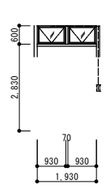
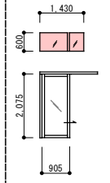
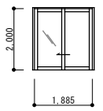
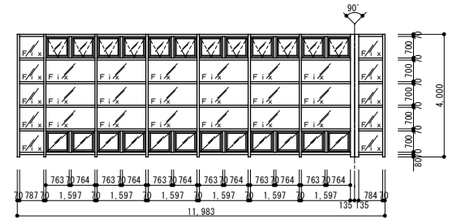
Print out：25-12-26

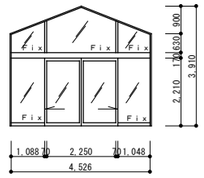
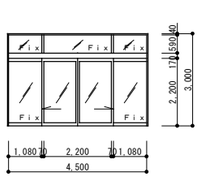
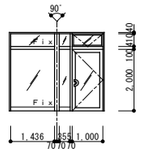
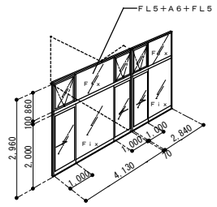
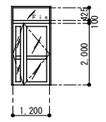
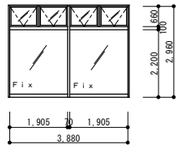


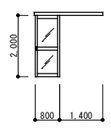
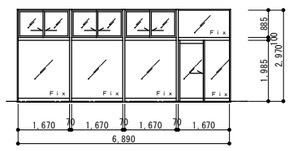
株式会社 城取建築設計事務所 〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271	一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)M第7Y051号	図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上　勉	凡例　備考	工事名称 令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）	図面名称 既存建具キープラン <既存・改修>	SCALE [A1] 1：150 [A3] 1：300	年月日 R7.9	No. K-35

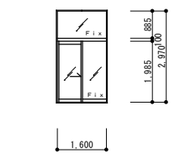
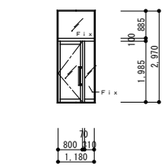
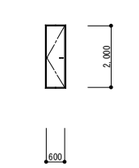
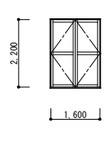
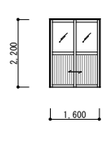
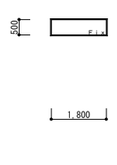
CAD FILE No.K-35 既存建具キープラン

Print out : 25-12-26

記号・ケ所	CW－ 1　1ヶ所　体験・交流室	改修 CW－1改①　2ヶ所	改修 CW－1改②　1ヶ所	改修 CW－1改③　1ヶ所	CW－ 2　2ヶ所　売店 、 ロビー
姿図	一部改修（扉変更、排煙窓追加他）／撤去　引戸に改修／ガラスフィルム貼り／CW-1 改③／CW-1 改②／CW-1 改①／CW-1 改①				
型式	アルミ バックマリオンタイプ カーテンウォール　ハメ殺シ、両開キ、片開キ、スベリ出シ、内倒シ	２連倒し排煙窓　（60°開放）	片き分けハンガードア	片引きハンガードア（片側固定）	アルミ バックマリオンタイプ カーテンウォール　ハメ殺シ、スベリ出シ、内倒シ
材質	アルミ	カラーアルミ	木	木	アルミ
見込	２００mm	７０mm	-	-	２００mm
仕上	陽極酸化被膜　B種	陽極酸化被膜	ＣＬ塗装	ＣＬ塗装	陽極酸化被膜
ガラス	ＦＬ３＋Ａ６＋ＦＬ５　ドアのみＦＬ５＋Ａ６＋ＦＬ５	ＦＬ３＋Ａ６＋ＦＬ３	ＦＬ３＋Ａ６＋ＦＬ３	ＦＬ３＋Ａ６＋ＦＬ３	ＦＬ３＋Ａ６＋ＦＬ３
金物	アルミ水切、排煙オペレーター、附属金物一式	アルミ水切、排煙オペレーター、附属金物一式	引き棒、シリンダー錠 ハンガー金物一式、ソフトクローザー	同左	アルミ水切、排煙オペレーター、附属金物一式
備考	アミ戸付	網戸付き	既存アルミ枠に取り付け　上部：ﾌｨﾙﾑ貼り	既存アルミ枠に取り付け	アミ戸付

記号・ケ所	ＡＤ－ 1　1ヶ所　玄関	ＡＤ－ 2　1ヶ所　下足室	ＡＤ－ 3　1ヶ所　職員玄関	ＡＤ－ 4　1ヶ所　家族風呂、脱衣室	ＡＤ－ 5　1ヶ所　厨房玄関	ＡＤ－ 6　2ヶ所　玄関、下足室
姿図						
型式	両引分ケ自動扉　＋　両袖、ランマ　ハメ殺シ	同　左	片開キ　＋　両袖、ランマ　ハメ殺シ（一部外倒シ）	両袖片引キ戸　＋　片引キ戸　＋　片引キ戸、ハメ殺シ　ランマ：　ハメ殺シ（一部外倒シ）	親子開キカマチ戸　ランマ：ハメ殺シ	ハメ殺シ　＋　ランマ：外倒シ
材質	厚サイディング用　カラーアルミフロント（ウッディフロント）	同　左	同　左	アルミ下枠フラットサッシ	アルミ	厚サイディング用カラーアルミフロント（ウッディフロント）
見込	７０mm	同　左	同　左	同　左	同　左	同　左
仕上	陽極酸化被膜　B種	同　左	同　左	同　左	同　左	同　左
ガラス	ＦＬ５＋Ａ６＋ＦＬ５	ＦＬ５　ランマＦＬ３	同　左	（外部）ＦＬ５＋Ａ６＋ＦＬ５　ランマＦＬ３＋Ａ６＋ＦＬ３　（内部）ＦＬ５　ランマＦＬ３	ＦＬ５　ランマ：ＦＬ３	Ｆｉｘ：ＦＬ５＋Ａ６＋ＦＬ５　ランマ：ＦＬ３＋Ａ６＋ＦＬ３
金物	シリンダー錠、アルミアングル、附属金物一式	同　左	ﾌﾛｱﾋﾝｼﾞ、ﾄﾞｱﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、ｱﾙﾐｱﾝｸﾞﾙ、排煙用ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ、附属金物一式	アルミ縦板、排煙用オペレーター、附属金物一式	フランス落シ、アルミアングル、附属金物一式	同　左　排煙用オペレーター
備考	ガラス留メ　シーリングＣ種	同　左	同　左、アミ戸付	同　左	同　左　下枠ステンレス	同　左、アミ戸付

記号・ケ所	ＡＤ－ 7　2ヶ所　浴室（1）（2）	改修 ＡＤ－7改　2ヶ所	ＡＤ－ 8　2ヶ所　サウナ	ＡＤ－ 9　2ヶ所　浴室（1）（2）	ＡＤ－ 10　2ヶ所　脱衣室（1）（2）	ＡＤ－ 11　1ヶ所　サンルーム	ＡＤ－ 12　1ヶ所　サンルーム
姿図	一部改修（扉変更、ｶﾞﾗｽ入れ替え）／撤去　引戸に改修／水切・躯体撤去（外部側）ガラス：入替PVB６		一部改修（枠等塗装）／枠・框：補修塗装	改修（ｶﾞﾗｽ入れ替え、枠等塗装）／枠・框：補修塗装／ガラス：入替 PVB６	改修（ｶﾞﾗｽ入れ替え）／ガラス：入替　PVB６	改修（ｶﾞﾗｽ入れ替え）／ガラス：入替　PVB６	
型式	片開キ戸　内倒しランマ　＋　ハメ殺シ２段窓　３連窓	片引きハンガードア（外付け）	片開キ戸	片引キ自動ドア	片引キ戸　ハメ殺シ２段窓　＋　引違イ　ハメ殺シ　外倒シ（一部ハメ殺シ）　３段窓　６連窓	片引キ戸　ハメ殺シ２段窓　＋　引違イ　ハメ殺シ　外倒シ　３段窓　５連窓　両側面　ハメ殺シ　３段窓　天井部　ハメ殺シ	片引キ戸　ハメ殺シ２段窓　＋　ハメ殺シ　引違イ窓　２段窓　４連窓
材質	アルミ	アルミ	同　左	同　左	アルミ下枠フラットサッシ（片引戸）	アルミ　スカイフリーシステム	アルミ樹脂一体サッシ（木目）
見込	７０mm	７０mm	同　左	同　左	同　左	同　左	同　左
仕上	陽極酸化被膜　B種	陽極酸化被膜　B種	同　左	同　左	同　左	同　左	同　左
ガラス	ＦＬ５＋Ａ６＋ＦＬ５　ランマ：ＦＬ３＋Ａ６＋ＦＬ３	合わせガラス　Ｔ６（3+3）	強化ガラス（ア）５mm	ポリカーボネート５mm	ＦＬ５＋Ａ６＋ＦＬ５　ランマ：ＦＬ３＋Ａ６＋ＦＬ３　地窓：強化４＋Ａ６＋ＦＬ３	同　左	ＦＬ５　ランマ：ＦＬ３
金物	フロアヒンジ、シリンダー錠、レバーハンドル、アルミ水切、附属金物一式	シリンダー錠、下枠SUS、附属金物一式	下枠ステンレス、ドアハンドル、附属金物一式	下枠ステンレス（フラット）、附属金物一式	排煙オペレーター、附属金物一式	軒樋　竪樋　片引キ戸下枠ステンレス（フラット）、排煙オペレーター、附属金物一式	下枠ステンレス（フラット）、排煙オペレーター、附属金物一式
備考	ガラス留メ　シーリングＣ種　オペレーター	※水切・躯体撤去	同　左　サウナ室側権裾貼	同　左	同　左、アミ戸付	同　左	同　左

記号・ケ所	ＡＤ－ 13　1ヶ所　サンルーム	ＡＤ－14　1ヶ所　ＡＤ－14’　1ヶ所　風除室	ＡＤ－ 15　2ヶ所　浴室物入	※ ＡＤ－Ｐ１　1ヶ所	改修 ＡＤ－Ｐ1改　1ヶ所　プリン工房	※ ＡＷ－ Ｐ１　1ヶ所　プリン工房
姿図						
型式	片引キ戸　ハメ殺シ２段窓	片開キ戸　＋　ハメ殺シ　ランマ：　ハメ殺シ	片開キフラッシュ戸	両開きアルミ框戸	引違い框戸	FIX窓
材質	アルミ	同　左	同　左	アルミ	アルミ	-
見込	７０mm	同　左	同　左	70	70	70
仕上	陽極酸化被膜　B種	同　左	同　左	-	-	
ガラス	ＦＬ５　ランマＦＬ３	AD14:FL5+A6+FL5　ﾗﾝﾏFL3+A6+FL3　AD14’:FL5　ﾗﾝﾏFL3		アルミパネル	Ｔ５（下部：アルミパネル）	
金物	下枠ステンレス（フラット）、附属金物一式	フロアヒンジ、ドアハンドル、下枠ステンレス（フラット）、附属金物一式	附属金物一式	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、本締錠、D.C.丁番、アルミ三方枠 外壁材端部用アングル(三方)、外部曲げ水切(アルミ製)	可動網戸、アルミ三方枠、附属金物一式	アルミ４方枠
備考	ガラス留メ　シーリングＣ種	同　左	同　左	-	-	

凡例
※は撤去
特記無きは既存のまま

株式会社 城取建築設計事務所
〒３９６－００２６　長野県伊那市西町５８６３番地１／TEL ０２６５（７２）７２７１
一級建築士事務所登録　長野県知事登録（伊那）M第７Ｙ０５１号
図面を作成した建築士　一級建築士 大臣登録第177957号　井 上　勉

凡例　備考

工事名称：令和８年度 ふれあい交流センター　大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）

図面名称：既存建具表-１　＜既存・改修＞

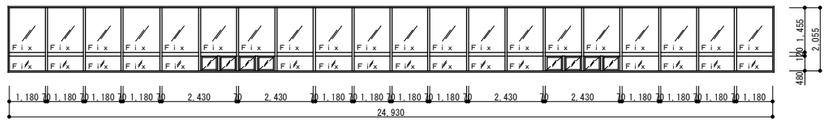
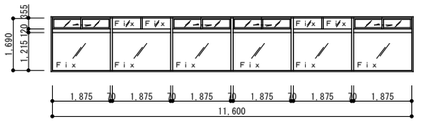
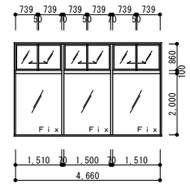
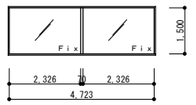
SCALE：［A１］１：１００　［A３］１：２００

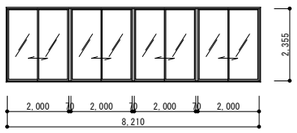
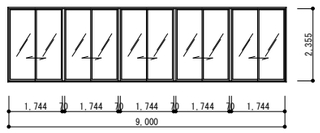
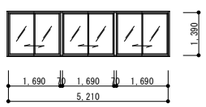
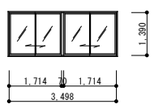
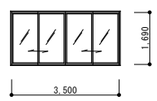
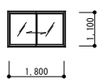
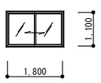
年月日：R７.９

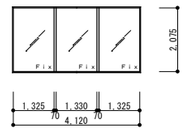
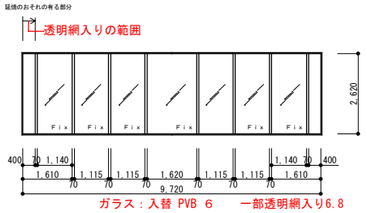
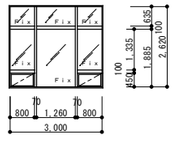
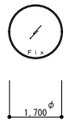
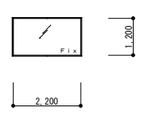
No.：K-36

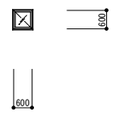
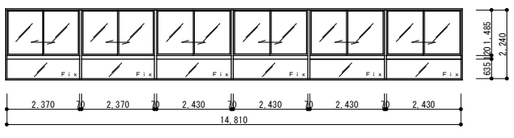
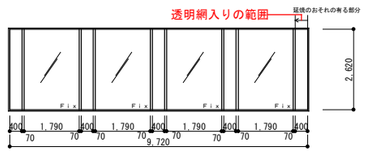
CAD FILE No.K-36 既存建具表-1

Print out：25-12-26

記号・ヶ所	AW－ 1 2ヶ所 通路（1）	AW－ 2 1ヶ所 体験・交流室	AW－ 3 1ヶ所 サブロビー	※ AW－ 4 1ヶ所 サブロビー
姿図				
型式	ハメ殺シ+ハメ殺シ 横スベリ出シ+ハメ殺シ 16連窓	ハメ殺シ ＋ 引違イ （一部ハメ殺シ窓） 6連窓	ハメ殺シ ＋ ランマ：引違イ 3連窓	ハメ殺シ 2連窓
材質	アルミ樹脂一体サッシ（木目）	同 左	同 左	同 左
見込	98mm	同 左	同 左	同 左
仕上	陽極酸化被膜 B種	同 左	同 左	同 左
ガラス	FL3＋A6＋FL3	FL5＋A6＋FL5 ランマFL3＋A6＋FL3	FL5＋A6＋FL5 ランマFL3＋A6＋FL3	FL5＋A6＋FL5
金物	附属金物一式	排煙用オペレーター、附属金物一式	同 左	附属金物一式
備考	アミ戸付	同 左	同 左	

記号・ヶ所	※ AW－ 5 1ヶ所 食堂	※ AW－ 6 1ヶ所 研修室（1）（2）	※ AW－ 7 1ヶ所 事務室	※ AW－ 8 1ヶ所 準備室（プリン工房）	AW－ 9 1ヶ所 職員休憩室	※ AW－ 10 1ヶ所 休憩室	改修 AW－10改 1ヶ所	AW－ 11 1ヶ所 女子便所
姿図								
型式	引違イ 4連窓	引違イ 6連窓	引違イ 3連窓	引違イ 2連窓	同 左	引違イ 窓	引違イ 窓 （防火設備）	横スベリ出シ窓
材質	アルミ樹脂一体サッシ（木目）	同 左	同 左	同 左	同 左	同 左	アルミ（ビル用）	アルミ樹脂一体サッシ（木目）
見込	98mm	同 左	同 左	同 左	同 左	同 左	70mm	98mm
仕上	陽極酸化被膜 B種	同 左	同 左	同 左	同 左	同 左	陽極酸化被膜 B種	陽極酸化被膜 B種
ガラス	FL5＋A6＋FL5	同 左	FL3＋A6＋FL3	同 左	同 左	同 左	FL3＋A6＋F3	FL3＋A6＋F4
金物	附属金物一式	同 左	同 左	4方アルミ額縁	同 左	同 左	附属金物一式	附属金物一式
備考	アミ戸付	同 左	同 左	同 左	同 左	同 左	アミ戸付	アミ戸付

記号・ヶ所	※ AW－ 12 8ヶ所 男子便所、更衣室 他	改修 AW－12改 2ヶ所	AW－ 13 1ヶ所 源泉低温浴（1）	AW－ 14 1ヶ所 浴室（1）	AW－ 15 2ヶ所 浴室（1）（2）	AW－ 16 2ヶ所 浴室（1）	AW－ 17 1ヶ所 浴室（1）	AW－ 18 2ヶ所 サウナ
姿図	2ヶ所（厨房WC・厨房更衣室）のみ防火設備に改修 	（厨房WC・厨房更衣室） 	改修（ｶﾞﾗｽ入れ替え） 	改修（ｶﾞﾗｽ入れ替え） 3方枠新設，水切り（カバー工法） 延焼のおそれの有る部分 透明網入りの範囲 	改修（ｶﾞﾗｽ入れ替え） 	改修（ｶﾞﾗｽ入れ替え） 		
型式	横スベリ出シ窓	横スベリ出シ窓 （防火設備）	ハメ殺シ 3連窓	ハメ殺シ 5連窓	スベリ出シ窓＋ハメ殺シ2段 3連窓	円形 ハメ殺シ窓	円形 ハメ殺シ窓	ハメ殺シ窓
材質	アルミ樹脂一体サッシ（木目）	アルミ（ビル用）	アルミ	同 左	同 左	アルミ	アルミ	アルミ
見込	98mm	70mm	70mm	同 左	同 左	70mm	70mm	70mm
仕上	陽極酸化被膜 B種	陽極酸化被膜 B種	同 左	同 左	同 左	同 左	陽極酸化被膜 B種	陽極酸化被膜 B種
ガラス	FL3＋A6＋F4	FL3＋A6＋網入り型6.8	FL5＋A6＋FL5	FL8＋A6＋FL8 延焼のおそれの有る部分：PW6，8＋A6＋FL8	FL5＋A6＋FL5 ランマFL3＋A6＋FL3	ステンドグラス6	FL3＋A6＋F4	FL5＋A6＋耐火ガラス（ア）5mm
金物	附属金物一式	附属金物一式	アルミ水切、附属金物一式	水切り：カバー工法	同 左	アルミ円形水切W＝495、附属金物一式	アルミ円形水切、附属金物一式	アルミ水切、附属金物一式
備考	アミ戸付	アミ戸付	ガラス留メ シーリングC種	同 左	同 左	同 左	同 左	同 左

記号・ヶ所	AW－ 19 1ヶ所 倉庫	AW－ 20 2ヶ所 展示ギャラリー	AW－ 21 1ヶ所 浴室（2）	AW－ 22 8ヶ所 浴室（2）	AW－ 23 1ヶ所 浴室（2）	AW－ 24 6所 源泉低温浴（2）	
姿図			改修（ｶﾞﾗｽ入れ替え） 3方枠新設，水切り（カバー工法） 透明網入りの範囲 延焼のおそれの有る部分 				凡例 ※は撤去 特記無きは既存のまま
型式	横スベリ出シ窓	ハメ殺シ＋引違イ 6連窓	ハメ殺シ窓	同 左	同 左	カラーアルミフロントガラスブロック用	
材質	アルミ樹脂一体サッシ	アルミ樹脂一体サッシ	アルミ	同 左	アルミ	同 左	
見込	98mm	98mm	70mm	同 左	70mm	100mm	
仕上	陽極酸化被膜 B種	陽極酸化被膜 B種	同 左	同 左	陽極酸化被膜 B種	陽極酸化被膜 B種	
ガラス	FL3＋A6＋F4	FL5＋A6＋FL5	FL8＋A6＋FL8 FL5＋A6＋FL3 延焼のおそれの有る部分：PW6，8＋A6＋FL6	ステンドグラス6	FL5＋A6＋FL5	ガラスブロック	
金物	附属金物一式	附属金物一式	アルミ水切、附属金物一式	同 左	附属金物一式	附属金物一式	
備考		アミ戸付	ガラス留メ シーリングC種	同 左		ガラス留メ シーリングC種	

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)M第7Y051号
図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上 勉

凡例 備考

工事名称：令和8年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）

図面名称：既存建具表-2 ＜既存・改修＞

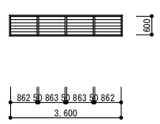
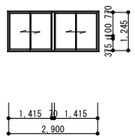
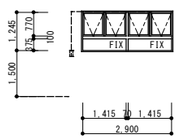
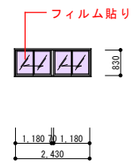
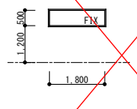
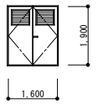
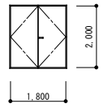
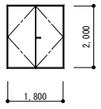
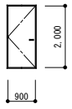
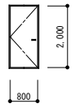
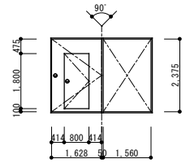
SCALE [A1] 1：100 [A3] 1：200

年月日：R7.9

No.：K-37

CAD FILE No.K-37 既存建具表-2

Print out : 25-12-26

記号・ヶ所	AW－ 25 8ヶ所 浴室（1）（2）	※ AW－ 26 1ヶ所 厨 房	改修 AW－26改 1ヶ所	AW－ 27 1ヶ所 厨 房	※ AW－ P1 1ヶ所 プリン工房		
姿 図		改修（排煙窓に取り換え） 		改修（フィルム貼り） フィルム貼り 	~~  ~~		
型 式	ジャロジー（電動）	引違イ（2連）	FIX付外倒し排煙窓（2連）	引違イ（2連）	~~嵌め殺し窓（住宅用）~~		
材 質	アルミ	同 左	同 左	アルミ	~~アルミ~~		
見 込	70mm	同 左	70mm	70mm	~~80mm~~		
仕 上	陽極酸化被膜 B種	同 左	陽極酸化被膜 B種	陽極酸化被膜 B種	~~~~		
ガ ラ ス	フロート6mm	FL3＋A6＋F4	FL3＋A6＋F4	FL3＋A6＋F4	~~FL3~~		
金 物	標準金物一式	同 左	標準金物一式 4方アルミ額縁（L=110）3方アルミ製雨切り（L=410）	標準金物一式	~~標準金物一式~~		
備 考	オペレーター、網戸	網戸	オペレーター、網戸	網戸	~~~~		
記号・ヶ所	AG－ 1 1ヶ所 準備室天井内	※ AG－ 2 3ヶ所 情報コーナー屋根・厨房（天井）	※ AG－ 3 1ヶ所 厨房天井内	AG－ 4 2ヶ所 機械室	※ AG－ 5 1ヶ所 厨房		
姿 図		1ヶ所（厨房天井のみ）撤去 	※枠残し 		※枠残し 		
型 式	固定式ガラリ	同 左	同 左	同 左	同 左		
材 質	アルミ	同 左	同 左	同 左	同 左		
見 込	70mm	同 左	同 左	同 左	同 左		
仕 上	陽極酸化被膜 B種	同 左	同 左	同 左	同 左		
ガ ラ ス							
金 物	アルミ水切、附属金物一式	同 左	同 左	同 左	同 左		
備 考	ステンレス防虫アミ付	同 左	同 左	同 左	同 左		
記号・ヶ所	SD － 1 2ヶ所 配管ピット	SD － 2 1ヶ所 電気室	SD － 3 1ヶ所 機械室	SD － 4 1ヶ所 消火栓ポンプ室	SD － 5 1ヶ所 休憩コーナー（機械室入口）	SD － 6 2ヶ所 機械室	SD－ 7 2ヶ所 脱衣室前室
姿 図							改修（塗装塗り替え）  塗り替えSOP→DP
型 式	両開キ戸	同 左	同 左 （片扉 180°開キ）	片開キ戸	片開キ戸 （甲種防火戸）	片開キ戸	戸袋付き片開き戸＋小扉 （煙感知器連動 甲種防火戸）
材 質	スチール	同 左	同 左	同 左	同 左	同 左	同 左
見 込	86	同 左	同 左	同 左	同 左	同 左	同 左
仕 上	FP塗装	OP	FP塗装	OP	同 左	同 左	同 左
ガ ラ ス							
金 物	シリンダー錠、フランス落シ、附属金物一式	同 左	同 左	シリンダー錠、附属金物一式	同 左 ドアチェック	空錠	付属金物一式
備 考	下枠ステンレス	同 左	同 左	同 左	同 左	同 左	
記号・ヶ所							
姿 図							凡例 ※は撤去 特記無きは既存のまま
型 式							
材 質							
見 込							
仕 上							
ガ ラ ス							
金 物							
備 考							

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録 長野県知事登録（伊那）M第7Y051号
図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上 勉

凡例 備考

工事名称 令和8年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）

図面名称 既存建具表-3 ＜既存・改修＞

SCALE [A1] 1：100 [A3] 1：200

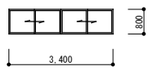
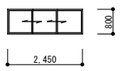
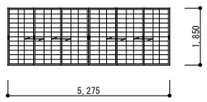
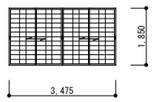
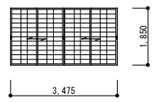
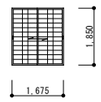
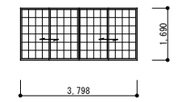
年月日 R7.9

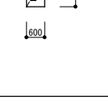
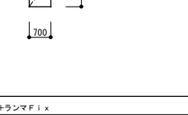
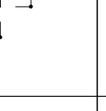
No. K-38

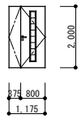
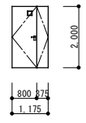
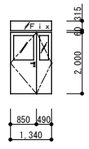
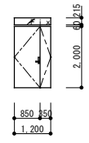
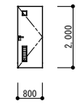
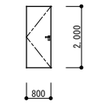
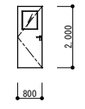
CAD FILE No.K-38 既存建具表-3

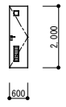
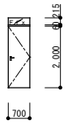
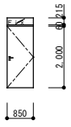
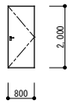
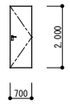
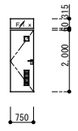
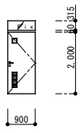
Print out : 25-12-26

※　ガラス留メハ全テ、シーリングＣ種トスル

記号・ヶ所	※ WW－ 1　1ヶ所	※ WW－ 2　1ヶ所	※ WD－ 1　1ヶ所	※ WD－ 2　1ヶ所	※ WD－ 3　1ヶ所	※ WD－ 4　1ヶ所	WD－ 5　1ヶ所
	厨房	厨房	研修室（1）	研修室（2）	研修室（1）	研修室（2）	職員休憩室
姿　図							
型　式	４枚引違イガラス戸	３枚引違イガラス戸	６本引障子戸	４本引障子戸	同　左（両面桟）	２本引障子戸（両面桟）	４本引障子戸
材　質	木　製	同　左	同　左	同　左	同　左	同　左	同　左
見　込	４０mm	同　左	３０mm	同　左	同　左	同　左	同　左
仕　上	ポリ合板	同　左	スプルス　ワックス塗り、ハトロン紙貼	同　左	同　左	同　左	同　左
ガ　ラ　ス	透明ガラス（ア）５㎜	同　左					
金　物	取手、戸車、Ｍレール	同　左	木製舟底引手、敷居スベリ	同　左	同　左	同　左	同　左
備　考							

記号・ヶ所	WD－ 6　1ヶ所	※ WD－ 7　1ヶ所	※ WD－ 8　1ヶ所				
	職員休憩室	研修室（1）（2）	研修室（2）				
姿　図							
型　式	２本引障子戸	４本引襖戸	２枚開キ襖戸				
材　質	木　製	同　左	同　左				
見　込	３０mm	３６mm	同　左				
仕　上	スプルス　ワックス塗り、ハトロン紙貼	両面：襖貼	片面：襖貼　片面：ベニヤ				
ガ　ラ　ス							
金　物	木製舟底引手、敷居スベリ	引手、敷居スベリ	取手・丁番・ローラーキャッチ				
備　考							

記号・ヶ所	※ WD－ 9　1ヶ所	※ WD－１０　1ヶ所	WD－１１　1ヶ所	※ WD－１２　2ヶ所	WD－１３　1ヶ所	※ WD－１４　2ヶ所	WD－１５　1ヶ所
	研修室前通路	食品庫	職員廊下	事務室、準備室	休憩室	厨房、サービスコーナー摸倉庫(2)	厨房
姿　図							
型　式	親子開キフラッシュ戸	同　左	親子開キフラッシュ戸＋ランマＦｉｘ	同　左	片開キフラッシュ戸	同　左	同　左
材　質	木　製	同　左	同　左	同　左	同　左	同　左	同　左
見　込	４０mm	同　左	同　左	同　左	同　左	同　左	同　左
仕　上	ポリ合板	同　左	同　左	銘木突板　Ｗ	ポリ合板	同　左	同　左
ガ　ラ　ス	型板ガラス（ア）４㎜	同　左	フロート（ア）３㎜	ランマ部：フロート（ア）３㎜	型板ガラス（ア）４㎜		型板ガラス（ア）４㎜
金　物	丁番、レバーハンドル（サムターン付）、ドアチェック、フランス落シ、戸当リ	同　左	同　左	同　左	丁番、レバーハンドル、ドアチェック、戸当	同　左	同　左
備　考							

記号・ヶ所	WD－ 16　2ヶ所	WD－ 17　1ヶ所	WD－ 18　1ヶ所	WD－ 19　1ヶ所	WD－ 20　2ヶ所	WD－ 21　3ヶ所	便所 WD－ 22　1ヶ所	
	厨房トイレ、更衣室	受付	受付	倉庫(1)（売店）	掃除具入れ、倉庫(7)	更衣室（1）（2）、	倉庫(6)（職員休憩室横）	
姿　図								凡例 特記無きは既存のまま ※は撤去（キープラン参照）
型　式	片開キフラッシュ戸	片開キフラッシュ戸＋ランマＦｉｘ	同　左	片開キフラッシュ戸	片開キフラッシュ戸	片開キフラッシュ戸＋ランマＦｉｘ	同　左	
材　質	木　製	同　左	同　左	同　左	同　左	同　左	同　左	
見　込	４０mm	同　左	同　左	同　左	同　左	同　左	同　左	
仕　上	ポリ合板	銘木突板　Ｗ	同　左	シナ合板　Ｗ	ポリ合板	同　左	同　左	
ガ　ラ　ス	型板ガラス（ア）４㎜	ランマ部：フロート（ア）３㎜	同　左			型板ガラス（ア）４㎜　ランマ部：フロート（ア）３㎜	同　左	
金　物	丁番、レバーハンドル、ドアチェック、戸当	同　左	同　左	同　左	同　左	同　左	同　左	
備　考	ガラリ付					ガラリ付	同　左	

※

株式会社 城取建築設計事務所
〒３９６－００２６　長野県伊那市西町５８６３番地１／TEL ０２６５（７２）７２７１
一級建築士事務所登録　長野県知事登録（伊那）M第７Ｙ０５１号
図面を作成した建築士　一級建築士 大臣登録第177957号　井　上　勉

凡例　備考

工事名称：令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）

図面名称：既存建具表-4　＜既存＞

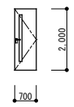
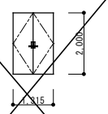
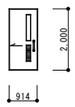
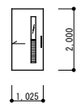
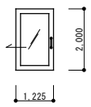
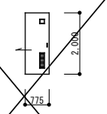
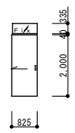
SCALE：［Ａ１］１：１００　［Ａ３］１：２００

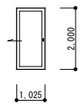
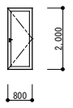
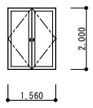
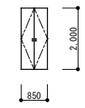
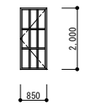
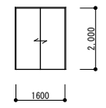
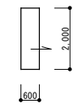
年 月 日：Ｒ７．９

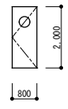
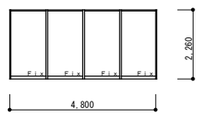
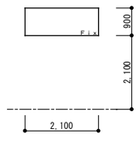
Ｎｏ．：Ｋ-３９

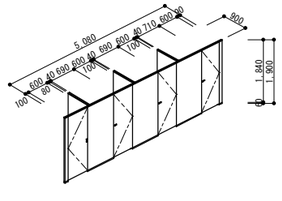
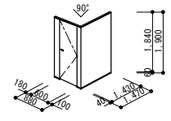
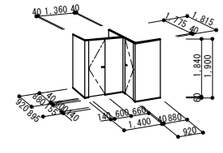
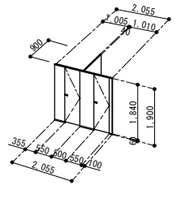
CAD FILE No.K-39 既存建具表-4

Print out：25-12-26

記号・ヶ所	WD－ 23 1ヶ所	WD－ 24 1ヶ所	※ WD－ 25 1ヶ所	WD－ 26 1ヶ所	WD－ 27 1ヶ所	WD－ 28 1ヶ所	WD－ 29 1ヶ所
	リネン庫（家族風呂）	体験・交流室倉庫(3)	ハンディキャップトイレ	家族風呂便所	家族風呂脱衣室	湯沸シ	職員休憩室
姿図							
型式	片開キフラッシュ戸	両開きフラッシュ戸	片引きフラッシュ戸	同 左	カマチ片引戸	片引きフラッシュ戸	片引きフラッシュ戸＋ランマＦｉｘ
材質	木 製	同 左	同 左	同 左	同 左	同 左	同 左
見込	４０mm	同 左	同 左	同 左	同 左	同 左	同 左
仕上	ポリ合板	同 左	同 左	同 左	銘木突板	ポリ合板	同 左
ガラス	型板ガラス（ア）４㎜		型板ガラス（ア）４㎜	同 左	強化ガラス（ア）５㎜ フィルム貼り	型板ガラス（ア）４㎜	ランマ部：フロート（ア）３㎜
金物	丁番、レバーハンドル、ドアチェック、戸当	丁番、レバーハンドル	ドアハンドル、戸車、ハンガーレール、表示付引戸錠	同 左	ドアハンドル、戸車、ハンガーレール	把手、戸車、Ｍレール	同 左
備考			ガラリ付	同 左		ガラリ付	

記号・ヶ所	WD－ 30 2ヶ所	WD－ 31 1ヶ所	WD－ 32 2ヶ所	WD－ 33 1ヶ所	※ WD－ 34 1ヶ所	※ WD－ 35 1ヶ所	WD－ 36 1ヶ所
	脱衣室前室	脱衣室倉庫	脱衣室前室物入	サンルーム風除室物入	授乳室	物入れ	プリンエ房
姿図							
型式	片引キ框戸	片開キフラッシュ戸	片引きフラッシュ戸	両開キフラッシュ戸	片開キ框戸	引き違いフラッシュ戸	片引きフラッシュ戸
材質	木 製	同 左	同 左	同 左	同 左	同 左	同 左
見込	４０mm	同 左	同 左	同 左	同 左	同 左	同 左
仕上	ポリ合板	同 左	同 左	同 左	同 左	ポリ合板	同 左
ガラス	ＦＬ３ フィルム貼				ＦＬ３	－	
金物	ハンガー戸車、ハンガーレール、取手	丁番、レバーハンドル	同 左	同 左	同 左	戸車、取手	戸車、取手
備考		化粧目地	同 左				

記号・ヶ所	※ WD－ 37 1ヶ所	※ GS－ 1 1ヶ所	※ GS－ 2 1ヶ所
	前室	食堂	食堂
姿図			
型式	片開きフラッシュ戸	ガラススクリーン	ガラススクリーン
材質	木 製	－	－
見込	４０mm	９０mm	９０mm
仕上	ポリ合板	－	－
ガラス	ＦＬ３ フィルム貼	Ｔ５ フィルム貼	ＦＬ５ フィルム貼
金物	丁番、レバーハンドル	－	－
備考			

記号・ヶ所	※ TB－ 1 1ヶ所	※ TB－ 2 1ヶ所	※ TB－ 3 1ヶ所	※ TB－ 4 2ヶ所
	女子便所	女子便所	男子便所	浴室便所
姿図				
型式	トイレブース	同 左	同 左	トイレブース
材質	木 製	同 左	同 左	同 左
見込	４０mm	同 左	同 左	４０mm
仕上	ポリ合板	同 左	同 左	同 左
ガラス				
金物	標準金物一式、アルミ製エッジ、ステンレス製笠木、ステンレス製巾木 内開キ表示付スライドボルト（非常開錠付）、取手	標準金物一式、アルミ製エッジ、ステンレス製笠木、ステンレス製巾木 内開キ表示付スライドボルト（非常開錠付）	標準金物一式、アルミ製エッジ、ステンレス製笠木、ステンレス製巾木 内開キ表示付スライドボルト（非常開錠付）、取手	標準金物一式、アルミ製エッジ、ステンレス製笠木、ステンレス製巾木 内開キ表示付スライドボルト（非常開錠付）、取手
備考	金具ハ全テ、ステンレス製	同 左	同 左	金具ハ全テ、ステンレス製

凡例
※は撤去（キープラン参照）
特記無きは既存のまま

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録 長野県知事登録（伊那）M第7Y051号
図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井上 勉

凡例 備考

工事名称：令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）

図面名称：既存建具表-5 ＜既存＞

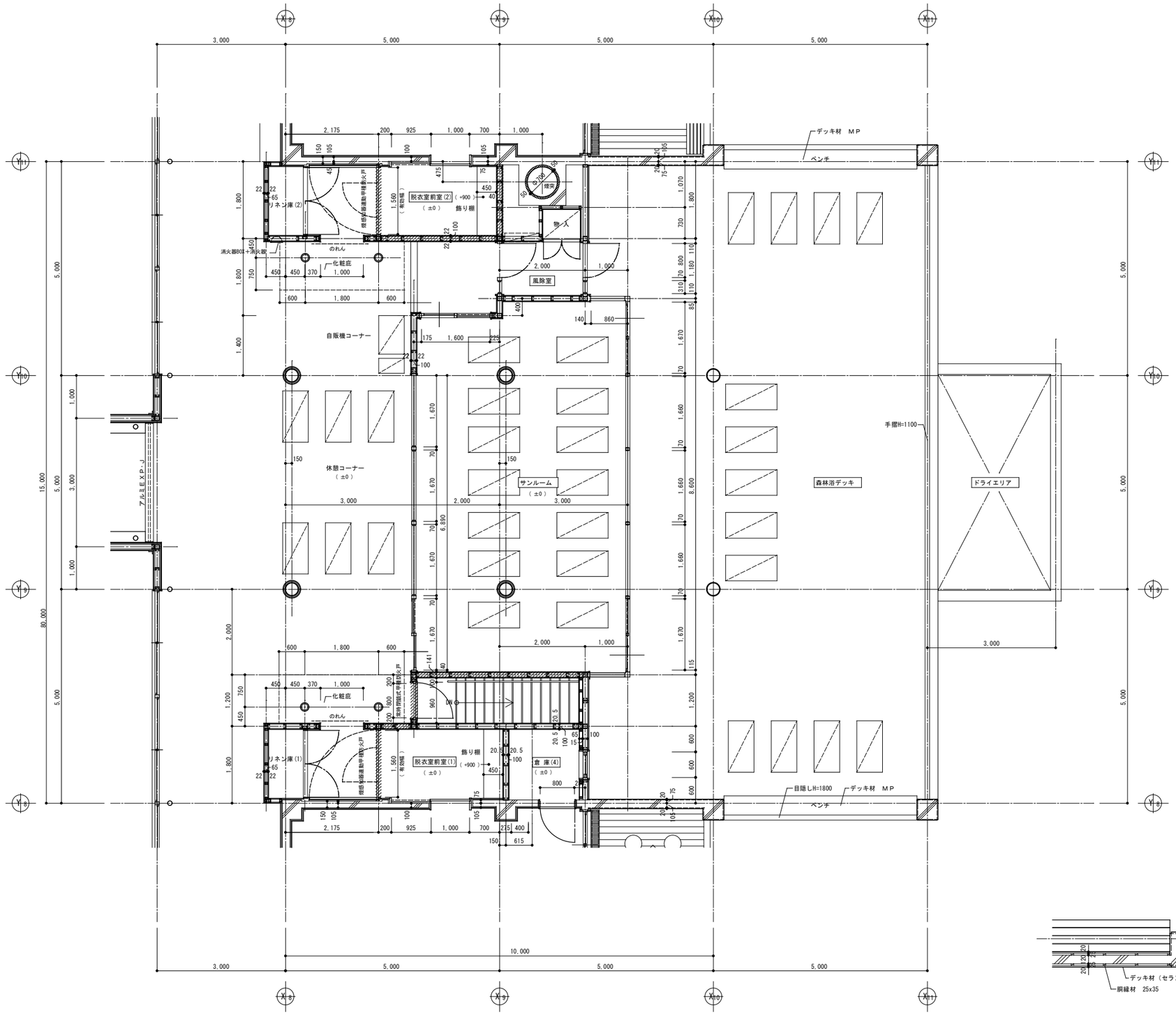
SCALE：［A１］１：１００ ［A３］１：２００

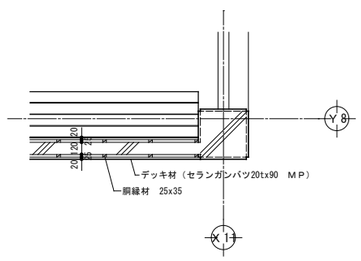
年 月 日：R７．９

No.：K-40

CAD FILE No.K-40 既存建具表-5

Print out : 25-12-26





目隠し部分詳細図 1:30

：防火区画を示す 耐火間仕切り LGS+KB(?8+PB(?12.5 両面貼 耐火W114

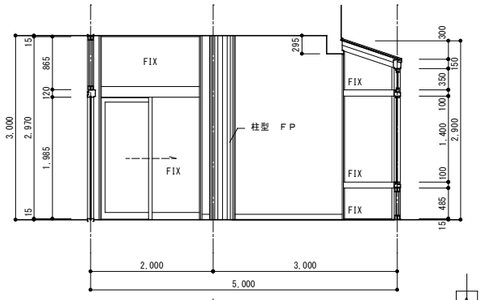
【凡例】
※は撤去
特記なきは既存のまま

株式会社 城取建築設計事務所 〒396－0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271	一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)M第7Y051号	図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177957号 井 上 勉	凡例 備考	工事名称 令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）	図面名称 浴室棟平面詳細図（3） ＜既存＞	SCALE [A1] 1：50 [A3] 1：100	年月日 R7.9	No. K-41

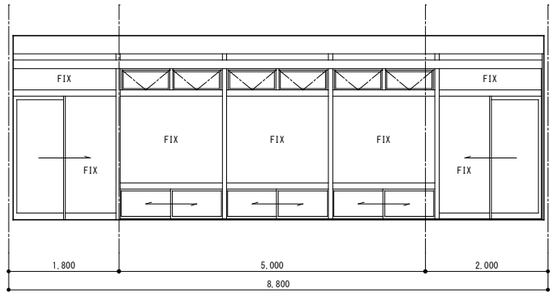
CAD FILE No.K-41 浴室棟平面詳細図(3)

Print out : 25-12-26

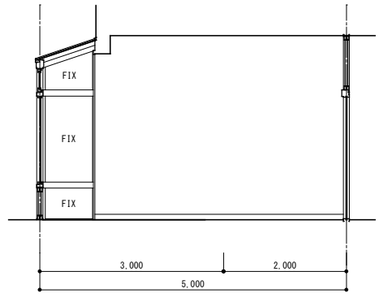
サンルーム	
床	耐水ベニヤ12の上TO6.5 →貼り替え 転し根太組み
巾木	木　W　H=90
腰壁	
壁	ＰＢ(ｱ)12.5＋ＰＢ(ｱ)9.5＋ＶＰ →塗り替え
天井	ＫＢ(ｱ)6 Ｖ目地 ＡＥＰ →塗り替え



A

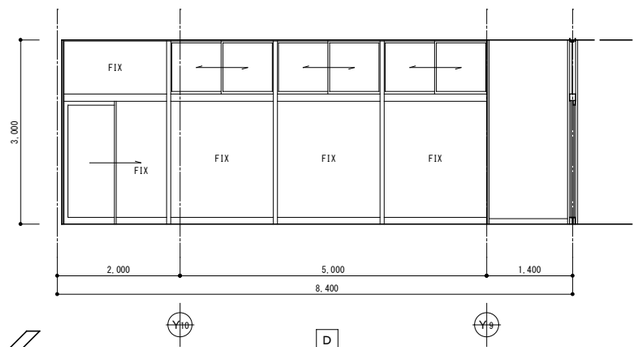


B



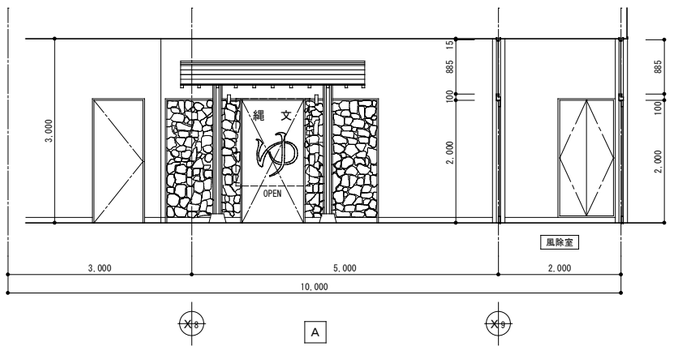
C

サンルーム

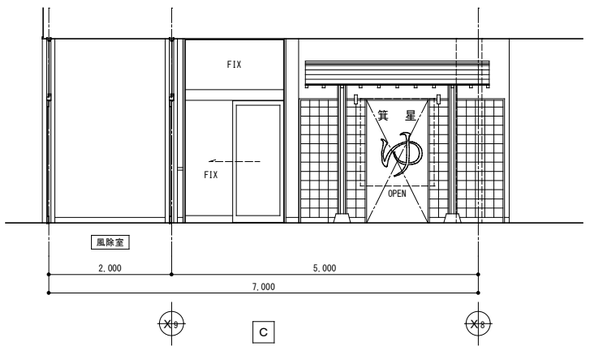


D

休憩コーナー・廊下・風除室	
床	Ｃ金ゴテ＋ＴＣ(ｱ)6.5 →貼り替え
巾木	木　W　H=90
腰壁	
壁	ＰＢ(ｱ)12.5（ＧＬ工法）＋ＰＢ(ｱ)9.5＋ＴＭ →塗り替え
天井	ＰＢ(ｱ)9.5＋ＶＣ →貼り替え

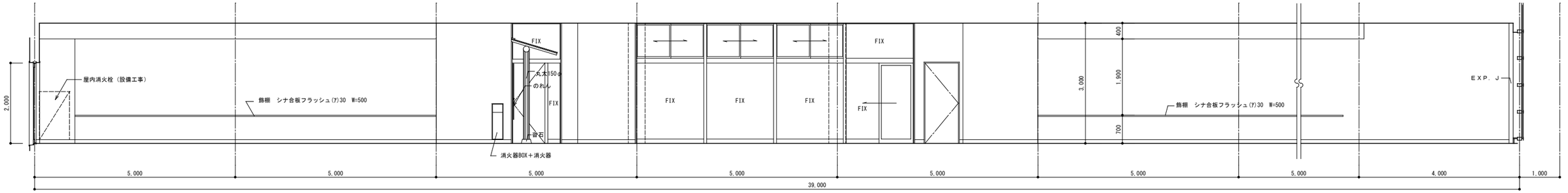


A

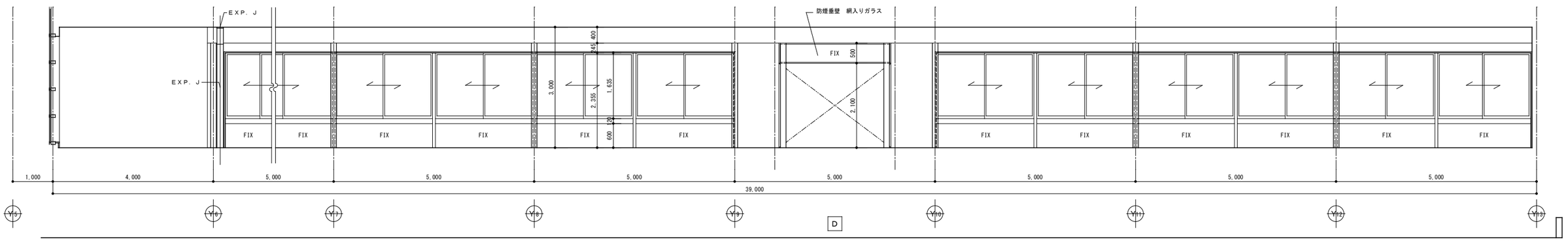


C

休憩コーナー・廊下・風除室



B



D

【凡例】
ａ：下地・仕上げ共撤去
ｂ：仕上げのみ撤去
＜***＞：参考数量
※特記なきは既存のまま

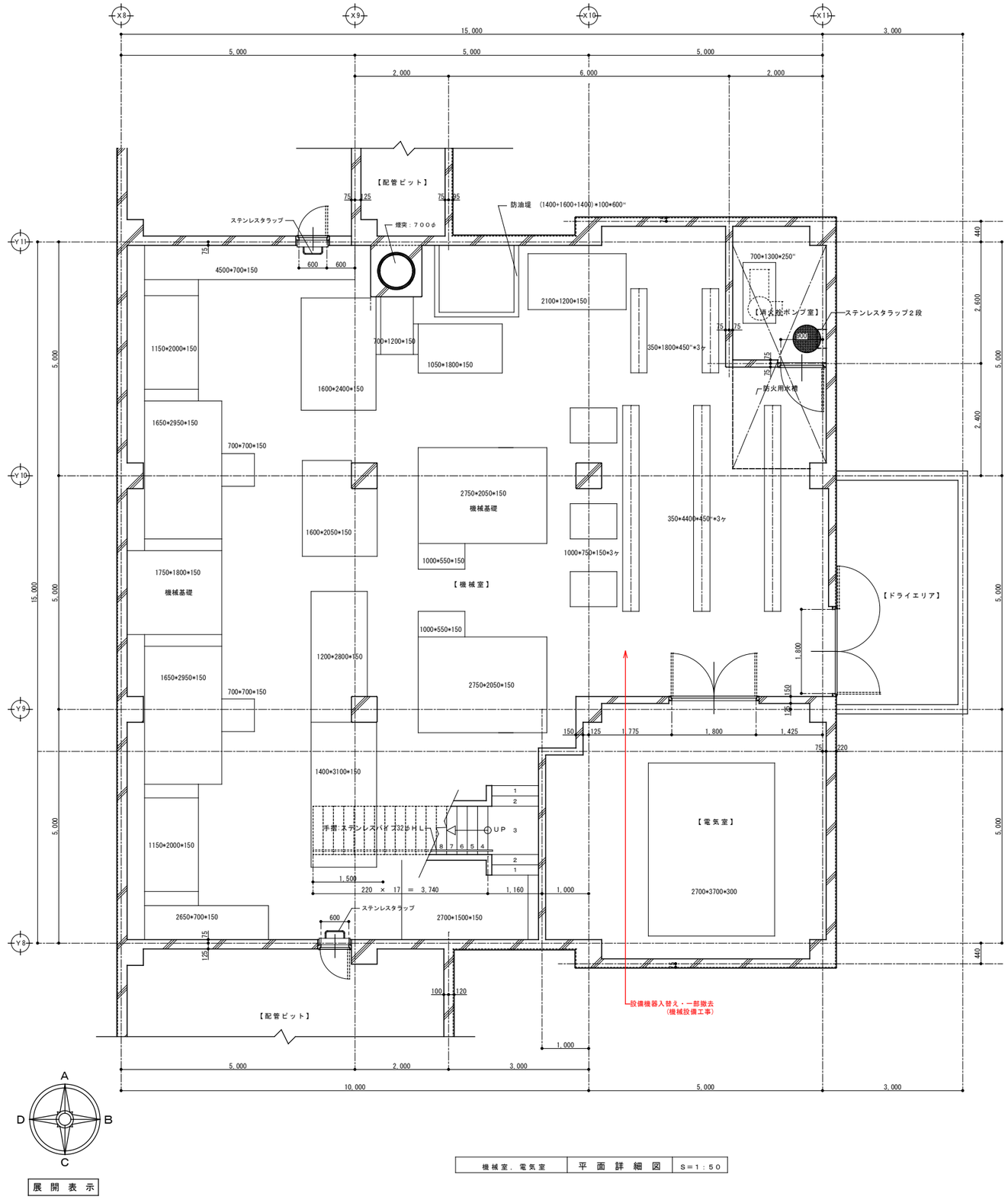
株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録　長野県知事登録（伊那）M第7Y051号
図面を作成した建築士　一級建築士 大臣登録第177957号　井上　勉

凡例　備考

工事名称	図面名称	SCALE	年月日	No.
令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）	浴室棟展開図（４） ＜既存＞	[A1] 1：50 [A3] 1：100	R7.9	K-42

CAD FILE No.K-42 浴室棟展開図(4)

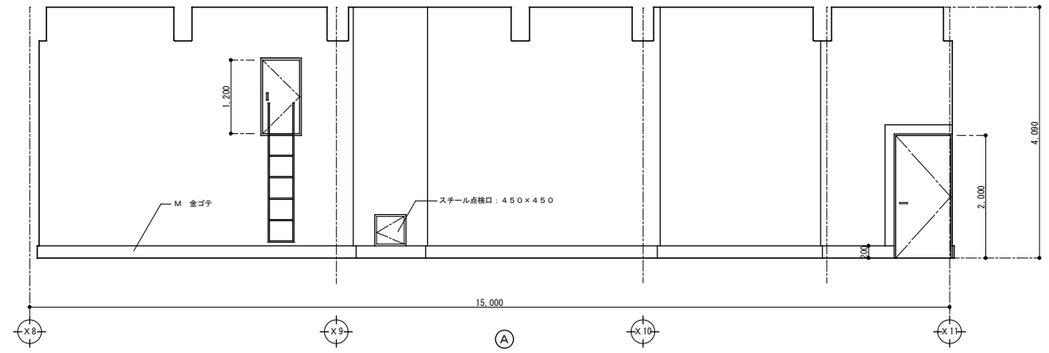
Print out : 25-12-26

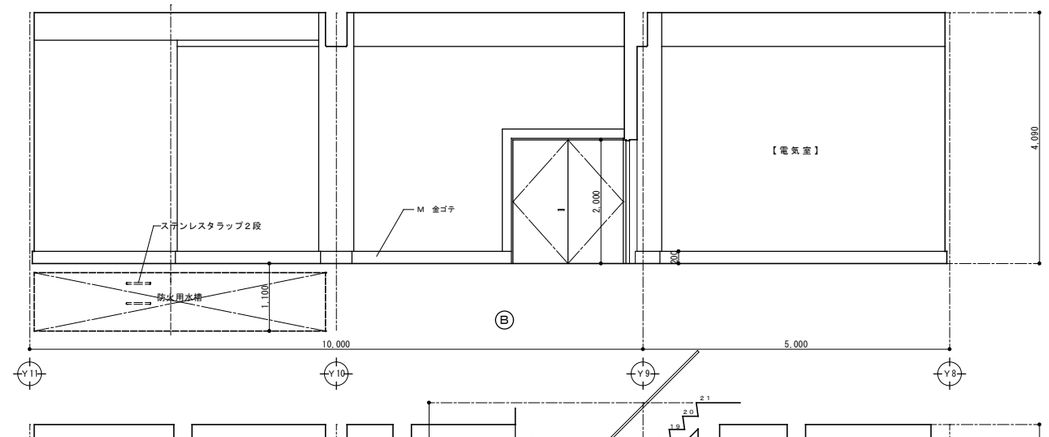


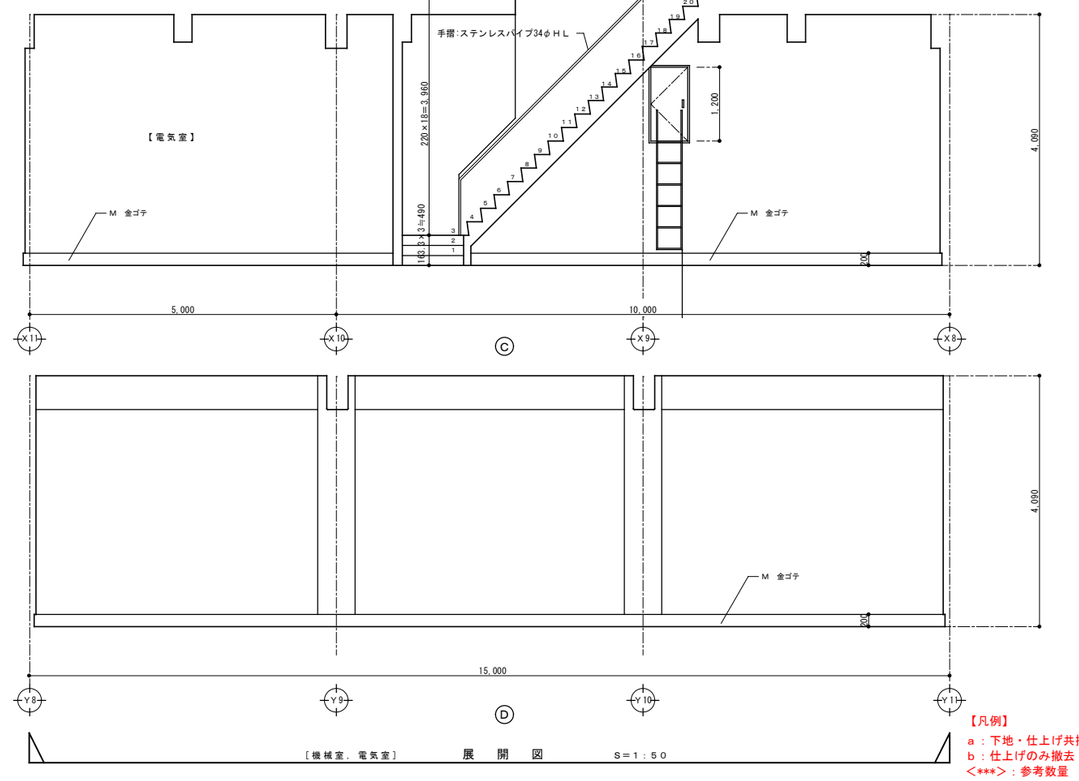
A
D
B
C

展　開　表　示

機械室，電気室	平　面　詳　細　図	S＝１：５０







［機械室，電気室］　展　開　図　S＝１：５０

【凡例】
ａ：下地・仕上げ共撤去
ｂ：仕上げのみ撤去
＜***＞：参考数量
※特記なきは既存のまま

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026　長野県伊那市西町５８６３番地１／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録　長野県知事登録（伊那）M第７Ｙ０５１号
図面を作成した建築士　一級建築士 大臣登録第177957号　井上　勉

凡例　備考

工事名称	図面名称	SCALE	年月日	No.
令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）	機械室　平面詳細図・展開図 ＜既存＞	[A1]　１：５０ [A3]　１：１００	R7.9	K-43

CAD FILE No.K-43 機械室平面詳細図・展開図

Print out 25-12-26

構造設計標準仕様

適用は ☐印を記入する.

1. 建築物の構造内容

(1) 建物概要

(a) 工事名称　令和７年度 ふれあい交流センター増改築　建設工事

建築場所　長野県諏上伊那郡南箕輪村大芝

(b) 工事種別　■ 新築　☐ 増築　■ 増改築　☐ 改築

(c) 構造設計一級建築士の関与　☐ 必要　■ 必要としない

☐ 法20条第二号（ ☐ RC造高さ20m超 ☐ S造4階建以上 ☐ 木造13m超　■ その他）

(d) 主要用途

棟別概要	構造 － 階建	延べ面積(㎡)	最高/軒高(m)	計算ﾙｰﾄ	適判
① 事務室増築	S－1F	**.**	3.245 / 3.245	1-1 / 1-1	無
② 宴会場増築	S－1F	**.**	3.10 / 3.10	1-1 / 1-1	無
③ 子育てｽﾍﾟｰｽ増築	S－1F	**.**	5.59 / 5.59	1-1 / 1-1	無
④ 別棟機械室	S－1F	**.**	7.55 / 5.325	1-2 / 1-2	無

(e) 屋上付属物

☐ 広告塔　☐ 高架水槽　kN　☐ 屋外機

☐ 煙突　☐ キュービクル　kN　☐ 化粧パラペット立ち上がり

(f) 増築計画　☐ 有（　　）　☐ 無

(g) 付帯工事

☐ 門塀　☐ 擁壁　☐　☐　☐

(2) 積載荷重　（ N/m^2 ）

室　名	床(折版)用	小梁用	架構・基礎用	地 震 用	備　考
屋根	1000	1000	600	300	
					☐ 基礎、梁に考慮しない

(3) 地震荷重　建物用地係数　☐ I＝1.25

(4) 積雪荷重　(a) 垂直最深積雪量　52 cm 、単位荷重 20N/㎡／cm

(b) 緩勾配屋根の積雪強化　☐ 無　■ 有　α ＝　(c) 風圧力の割増　☐ 1.15

(5) 風荷重　基準風速 Vo = 30 m/s 、地表面粗度区分 Ⅲ

(6) 土圧、水位　土圧係数　☐ KA = 0.5　☐

設計地下水位　■ GL －なし m

(7) 特別な荷重

☐ エレベータ　ton　人　m/s　☐ リフト　kg　☐

☐ 高架水槽　m3　☐

2. 使用構造材料

(1) コンクリート

適用箇所	種　類	設計基準強度 Fc=N／mm^2	スランプ cm	備　考
均しコンクリート	■ 普通	☐13.5 ☐16 ■18	18	
土間コンクリート	■ 普通	☐18 ■21	15	
基礎・基礎梁	■ 普通	☐18 ■21 ☐24	15・18	
柱・梁・床・壁	■ 普通 ☐ 軽量	☐18 ■21 ☐24	18	
デッキコンクリート	☐ 普通 ☐ 軽量	☐18 ☐21 ☐24	15	
押えコンクリート	☐ 普通 ☐ 軽量	☐13.5 ☐16 ☐18	18	比重 2.3
ラップルコンクリート	☐ 普通	☐13.5 ☐16 ☐18	15	

(2) コンクリートブロック（CB）

☐ A種　☐ B種　☐ C種　厚 ☐ 100　☐ 120　☐ 150　☐ 190

(3) 鉄　筋

	種　類	径	使用箇所	継手工法
異径鉄筋	■SD295A	D10 ～ D16	基礎・床版　等	■ 重ね継手
	☐SD295B			
	■SD345	D19 ～ D25	柱・梁・主筋	■ ガス圧接継手 D19以上柱・梁
	☐			
丸　鋼	☐SR235			☐ 特殊継手
溶接丸鋼	☐SR235	6φ-100□		（　　）

(4) 鉄　骨

	種　類	使用箇所	現場溶接	備　考
鋼　材	■SS400 ☐SM400 ■SN400B	柱. 梁. PL	☐ 有 ■ 無	詳細は鉄骨部材リストによる
	■STKR400 ☐STKR490 ■STK400	胴縁、間柱、耐風梁	☐ 有 ☐ 無	
	■BCR295 ☐BCP235 ☐BCP325	柱	☐ 有 ■ 無	
	☐SM490A ■SN490C ☐	D.F. PL、B.PL	☐ 有 ■ 無	
	☐ ☐		☐ 有 ☐ 無	

(5) ボルト

■ 高力ボルト ☐ F10T ☐ S8T ■ S10T　認定品（ ■M16 ■M20 ☐M22 ）

■ 中ボルト　M12　M16　高力ボルトすべり係数試験 ☐ 要 ■ 否

■ アンカーボルト ☐ SS400 ■ ABR400 ■転造ﾈｼﾞ（■ M16 ■M20 ☐M22 ）

☐ ABR490 ☐転造ﾈｼﾞ（☐ M20 ☐M22 ☐ ）

☐ 露出既成柱脚(ハイベースNEO工法)

☐ 頭付スタッド

(6) 屋根、床、壁　　使用箇所

☐ 折　版　型式

☐ デッキプレート　型式

☐ フッラトデッキ　型式

☐ キーストンプレート　型式

☐ 押し出し成形セメント板　型式　厚

■ ＡＬＣ版　型式　厚 100、50　外壁

■ 窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ　型式　厚 16　外壁

■ 鉄板ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ（アルミスパンドレル）　型式　厚　外壁

3. 地　盤

(1) 地盤調査資料

■ 有（■敷地内 ☐ 近隣）■ボーリング調査 ☐ 平板載荷試験 ☐ 水平地盤反力係数の測定

☐ 無（調査予定 ☐ 有 ☐ 無）　☐

(2) 地盤調査計画

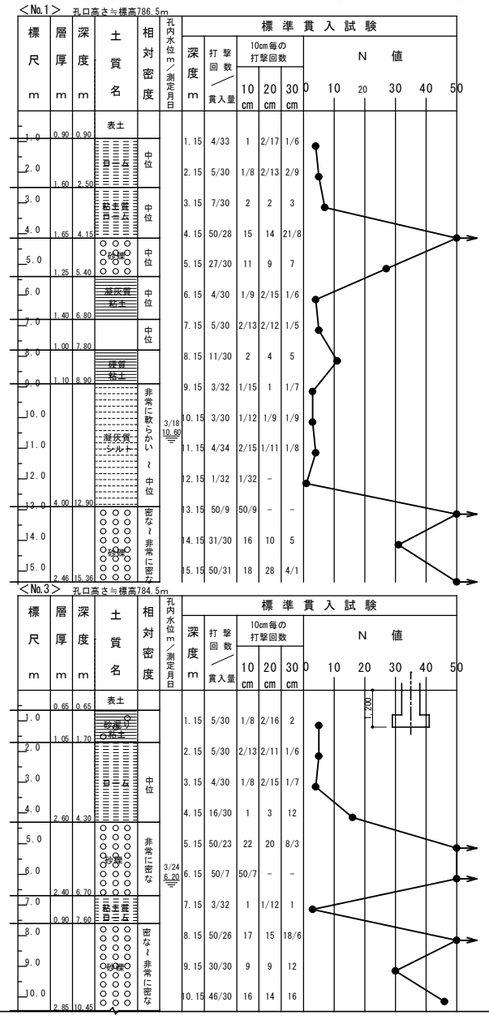
☐ ボーリング調査 ☐ 静的貫入試験 ☐ 標準貫入試験 ☐ 水平地盤反力係数の測定

☐ 土質試験 ☐ 物理探査 ☐ 平板載荷試験 ☐

(3) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長，杭種，直接基礎の深さ，形状を変更する場合もある。

(4) ボーリング標準貫入値，土質構成　　出典：　平成11年度南箕輪ふれあい交流センター地質調査

＜No.1＞　孔口高さ≒標高786.5m



＜No.3＞　孔口高さ≒標高784.5m

4. 地業工事

(1) 直接基礎

■ ベタ基礎　☐ 布基礎　☐ 独立基礎　試験堀 ☐ 有 ■ 無

深さ ／ 支持層　1.0m ／ 粘土、ローム　載荷試験 ☐ 有 ■ 無

長期許容支持力度　50 kN/m^2

(2) 杭基礎

杭　種	材　料	施　工　法	備　考
☐RC ☐PC	RC （☐A種 ☐B種 ☐C種	☐ 打ち込み	ロックオーガー（ケーシング仕様）
☐PHC ☐SC	PHC（☐A種 ☐B種 ☐C種	☐ 埋込み（ｾﾒﾝﾄﾐﾙｸ工法）	
☐鋼管 ☐摩擦杭	鋼材 ☐SS400 ☐STK400	☐ 回転圧入	
☐羽根付鋼管杭	SC杭鋼管 ☐SKK490	☐	
☐ 場所打ち コンクリート杭			

杭仕様　☐ 施工計画書承認　☐ 杭施工結果報告書

試験杭　（☐ 有 ☐ 無）　（☐ 打ち込み ☐ 載荷）

5. 鉄筋コンクリート工事

(1) コンクリート

■ コンクリートはＪＩＳ認定工場の製品とし施工に関してはＪＡＳＳ５による。

■ セメントは、ＪＩＳ　Ｒ５２１０の普通ポルトランドセメントを標準とする。

■ 調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。

■ 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調合、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。

■ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（財）国土開発技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し承認を得る。

測定検査の回数は、通常の場合、１日１回以上とし、１回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて３回行い、その平均値を試験値とする。

■ 構造体コンクリート現場の圧縮強度試験供試体（ＪＡＳＳ５Ｔ－６０３）は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごとをとする。また、打ち込み量が１５０m^{3}をこえる場合は１５０m^{3}ごとまたは、その端数ごとに一回を標準とする。

一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた３台の運搬車からその必要本数を採取する。

供試体の数量は、特別指示なき場合は１回当たり６本以上とし、そのうち４週用に３本を用いる。

■ ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ちコンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。

なお、打ち込み継続中における打ち継ぎ時間間隔の限度は、外気温が２５℃未満の場合は１５０分、２５℃以上の場合は１２０分以内とする。

■ JASS5の適用

コンクリートの計画供用期間：Fdは、☐ 短期　■ 標準　☐ 長期　☐ 超長期　とし、

設計基準強度：Fc= 21 N/mm^{2}または、Fd= 18 N/mm^{2}の大きい値を品質基準強度：Fqとする。

→　品質基準強度：Fq=21 N/mm^{2}とする。

なお寒中、暑中ｺﾝｸﾘｰﾄの適用を受ける期間に当たる場合は工事監理者と協議の上決定する事。

調合管理強度：Fmは、Fqに構造体強度補正値(S)加えた値とする。

Ｓ値　普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄｾﾒﾝﾄの場合

θ：打込みから材令28日までの予想平均気温

$8 \leqq \theta$　Ｓ＝3N／mm^2 、 $0 \leqq \theta < 8$　Ｓ＝6N／mm^2

暑中におけるｺﾝｸﾘｰﾄの取り扱いを受ける時期　Ｓ＝6N／mm^2

(2) 鉄　筋

■ 鉄筋はＪＩＳ　Ｇ３１１２の規格品を標準とする。

■ 鉄筋の加工方法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ構造配筋標準図」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図」による。

■ Ｄ１９未満は、全て重ね継手とする。継手（Ｄ１９以上）をガス圧接とする場合は日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。

■ ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと（２００箇所を超えるときは２００箇所ごと）に１回行い、１回の試験は超音波試験の場合 ３０箇所、引張試験の場合３本以上とする。

外観検査 ☐ 有 ■ 無　引張試験 ☐ 有 ☐ 無　超音波探傷試験 ■ 有 ☐ 無

■ 柱の帯筋（ＨＯＯＰ）の加工方法は、　■ Ｈ型（タガ型）　☐ Ｗ型（溶接型）

☐ Ｓ型（スパイラル型）とする。

■ 鉄筋の試験は第三者検査機関とし、工事監理者の承認を得る事。

(3) 型　枠

■ 材料　合板厚 12mm を標準とする。　☐

■ 型枠存置期間

種　類	せ き 板				支　柱		
部　位	基礎・はり側・柱・壁		スラブ下・はり下		スラブ下		はり下
セメントの種類 ／ 存置期間の平均温度	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント 普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種
コンクリートの圧縮強度 15℃以上	２日	３日	４日	６日	８日	１７日	２８日
コンクリートの圧縮強度 5℃～15℃	３日	５日	６日	１０日	１２日	２５日	２８日
コンクリートの圧縮強度 5℃未満	５日	８日	１０日	１６日	１５日	２８日	２８日
コンクリートの圧縮強度	5N/ mm^2		設計基準強度の５０％		設計基準強度の ８５％		１００％

注）１　片持梁，庇，スパン９．０ｍ以上のはり下は、工事監理者の指示による。

注）２　大梁の支柱の盛りかえは行わない。また、その他の梁の場合も原則として行わない。

注）３　支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。

注）４　盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。

注）５　支柱の盛りかえは、小梁が終わってから、スラブを行う。

一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。

注）６　上表以外のセメントを使用する場合は、工事監理者の指示による。

6. 鉄骨工事

(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による

■ 日本建築学会「ＪＡＳＳ６」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」

■ 鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」

■ 建設大臣官房官庁営繕部監修「建築工事共通仕様書」最新版

(2) 工事監理者の承認を必要とするもの

■ 制作工場　■ 製作要領書　■ 工作図　■ 施工計画書

■ 認定工場　（大臣認定　グレード登録　ランク以上）

■ 材料規格証明書または試験成績書

■ 鋼材　■ 高力ボルト　■ 特殊ボルト　☐ スタッドボルト

■ 社内検査表　☐　☐

(3) 工事監理者が行う検査項目

（ ☐ 印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること）

☐ 現寸検査　■ 組立・開先検査　■ 製品検査

■ 建方検査　☐　☐

(4) 接合部の溶接は下記によること

■日本建築学会「溶接工作基準、同解説Ⅰ．Ⅱ．Ⅲ．Ⅳ．Ⅴ．Ⅵ．Ⅶ．Ⅷ．Ⅸ」

(5) 接合部の検査

■ 溶接部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数 社内	第三者	工事監理者	備　考
■ 突合せ溶接部	超音波探傷試験	100 % 個	30 % 個	% 個	
■	外観（目視）検査	100 %	30 %	%	
☐	マクロ試験・その他	個	個	個	
第三者検査機関名					
第三者検査機関名とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。					

注）　現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行うこと。

■ 国土交通省告示1464号に関する溶接部の検査　（社）鉄骨建設業協会「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル 告示1464号対応マニュアル」による。

■ 高力ボルトは「ＪＩＳ　Ｂ１１８６の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを座金外径２倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した、赤さび状態であること。

ただし、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あらさが５０Ｓ以上である場合は、赤さびは発生しないままでよい。

■ 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するよう注意して行う。また、締付けは原則として２度締めとする。

締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行われているか検査する。

(6) 防錆塗装

■ 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。

耐火被覆範囲は防錆塗装は行わない。

使　用　箇　所	塗　　装	素地ごしらえ	塗り回数 工場	塗り回数 現場	備　　考
見え掛かり	JIS K 5674：1種	B種	2	ﾀｯﾁｱｯﾌﾟ	1層、2層で色を変える。
見え隠れ		C種			
ﾃﾗｽ 丸柱	JIS K 5552:2種 + K 5551:A種	C種	3		

■ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し２回塗りとする。

(7) ☐ 耐火被覆の材料　湿式岩面　比重　3.0kN/m3 × 2.5cm

7. 設備関係

■ 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない、設ける場合は設計者の承認を得ること。

■ 設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。

■ 床スラブ内に設備配管等を埋め込む場合はスラブ厚さの１／３以下とし管の間隔を 5cm以上とする。

施行令129条の2の3による構造一級建築士の関与について

■ 建築設備（昇降機を除く）、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれのないものとすること。

■ 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに属するもの（以下「屋上水槽等」）は、支持構造部又は、建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に緊結すること。

■ 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備（給湯設備*1を除く）は、

・風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。

・建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の破損防止のための措置を講ずること。

・管の伸縮その他の変形により当該管に破損が生ずる恐れがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な破損防止のための措置を構ずること。

■ 給湯設備※は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。

満水時の質量が15kgを超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造として、平成12年建設省告示第1388号第5に規定する構造方法によること

「給湯設備※」：建築物に設ける電気給湯器その他の給湯設備で、屋上水槽等のうち給湯設備に該当するものを除いたもの

8. その他

■ 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。

■ 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。

構造設計者　神城取建築設計事務所　長野県知事登録（伊那）第7Y051号
伊那市西町5863-1　一級建築士　宮脇　博一　登録 第177958号
0265-72-7271　構造設計一級建築士　第 1983 号

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026　長野県伊那市西町５８６３番地１／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録 長野県知事登録（伊那）Ｌ第２Ｙ０５１号

図面を作成した建築士
一級建築士　大臣登録第177958号
構造設計一級建築士 大臣登録第1983号
宮脇　博一

凡例　備考

工事名称	図面名称	SCALE	年月日	No.
令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）	構造標準仕様書	[A1]・ － [A3]・ －	R7.5	S－01

CAD FILE No. ふれあい増改築　S-01構造設計標準仕様

Print out : 25-11-20

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）

※修正箇所は下線を引くこと

１．一般事項

（1） 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。

（2） 記号

d…異形棒鋼の呼び名に用いた数値　丸鋼では径　D…部材の成　R…直径

e…間隔　r…半径　CL…中心線　ℓ0…部材間の内法距離　ho…部材間の内法高さ

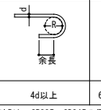
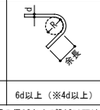
ST…あばら筋　HOOP…帯筋　S.HOOP…補強帯筋　φ…直径又は丸鋼

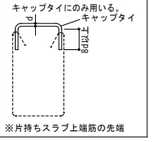
（3）鉄筋の表示記号

表示記号	•	×	○	●	⌀	⊙	⊠
鉄筋径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29

２．鉄筋加工、かぶり

（1） 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°
図			
鉄筋の余長	4d以上	6d以上（※4d以上）	8d以上（※4d以上）
折曲げ内法寸法Rは、SR235～SD345の径16およびD16以下は3d以上、SD295～SD345のD19～D38は4d以上、D41および SD390は5d以上。スラブ筋、壁筋には丸鋼は使用しない。			



※片持ちスラブ上端筋の先端

（2） 鉄筋中間部の折曲げ形状　鉄筋の折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内のりり寸法（R）
	帯　筋 あばら筋 スパイラル筋	SR235、SR295 SD295A・B SD345	16φ D16　以下	3d以上
			19φ D19　以上	4d以上
	上記以外の鉄筋	SD295A・B SD345 SD390	D16　以下	4d以上
			D19～D25	6d以上
			D29～D41	8d以上

（3） 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。

主筋及び耐力壁の鉄筋重ね継手の長さは特記による。特記なき場合は40d(軽量ｺﾝ 50d)と、下記表Ｌ1の大きな値とする。

鉄筋の種別	設計基準強度 F_c(N/mm²)	フックなし L_1	フックなし L_2	フックなし L_3 小梁	フックなし L_3 床版	フックあり L_1h	フックあり L_2h	フックあり L_3h 小梁	L_a	L_b
SD295A SD295B	21	40 d	35 d	20 d	10d 且つ 150mm 以上	30 d	25 d	10 d	15 d	15 d
	24、27	35 d	30 d			25 d	20 d			
	30、33、36									
SD345	21	45 d	35 d			30 d	25 d		20 d	20 d
	24、27	40 d								15 d
	30、33、36	35 d	30 d			25 d	20 d			
SD390	21	50 d	40 d			35 d	30 d		20 d	20 d
	24、27	45 d								
	30、33、36	40 d	35 d			30 d	25 d			15 d

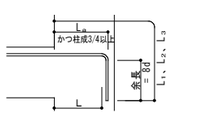
（注）１．L_1：継手並びに下記２、及び３、以外の定着の長さ。

２．L_2：割裂破壊の恐れのない箇所への定着の長さ。

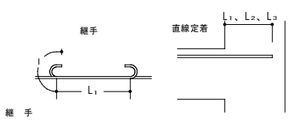
３．L_3：小梁及び床版の下端筋の定着の長さ。
ただし、基礎耐圧版、これを受ける小梁は除く。

４．フックのある場合のL_1，L_2及びL_3は下記に示すようにフックの部分 ℓ を含まない。

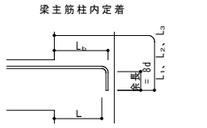
５．軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加える。



梁主筋柱内定着



継　手



小梁、床筋　梁内定着
折り曲げ定着

1．末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない

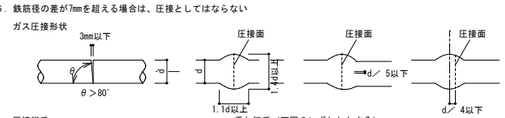
2．継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする

3．直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする

4．D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない

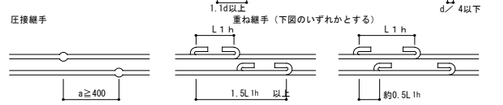
5．鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない

ガス圧接形状



圧接継手

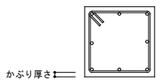
重ね継手（下図のいずれかとする）



（4） かぶり厚さ　（単位：mm）

ひびわれ誘発目地部などと鉄筋のかぶり、厚さが部分的に減少する箇所についても最少かぶり厚さを確保する。

部位			設計かぶり厚さ(mm)	最少かぶり厚さ(mm)
土に接しない部分	屋根スラブ 床　スラブ 非耐力壁	屋　内	30	20
		屋　外	40 (1)	30 (20) (5)
	柱 はり 耐力壁	屋　内	40	30
		屋　外	50 (2)	40 (1) (30) (5)
	擁　壁		50 (3)	40
土に接する部分	柱・はり・床スラブ・耐力壁		50	40 (4)
	基　礎・擁　壁		70	60 (4)



〔注〕（1）耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承諾を受けて30mmとすることができる。

（2）耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承諾を受けて40mmとすることができる。

（3）コンクリートの品質および施工方法に応じ、工事監理者の承諾を受けて40mmとすることができる。

（4）軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。

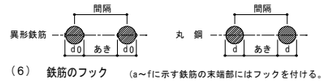
（5）（　）内は仕上げがある場合。

（6）土に接する部分のかぶりは増加する厚さを打ち増しとする。

（5） 鉄筋のあき

丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上

粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上



（6） 鉄筋のフック　（a～fに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。）

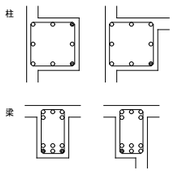
a.丸鋼　b.あばら筋、帯筋　c.煙突の鉄筋

d.柱、梁（基礎梁は除く）の出すみ部分の鉄筋（右図参照）

e.単純梁の下端筋

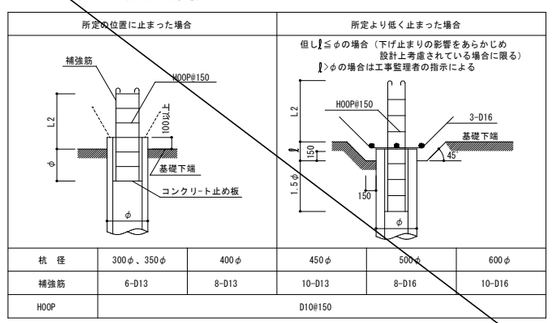
f.その他、本配筋標準に記載する箇所

図の●印の鉄筋の重ね継手の末端にはフックが必要



３．杭　（地震力等の水平力を考慮して別途検討すること。）

（1） PHC杭、又はPHC杭の全てに補強を行う

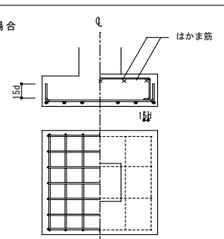


杭　径	300φ、350φ	400φ	450φ	500φ	600φ
補強筋	6-D13	8-D13	10-D13	8-D16	10-D16
HOOP	D10@150				

４．基礎

（１） 直接基礎の場合

（独立基礎）



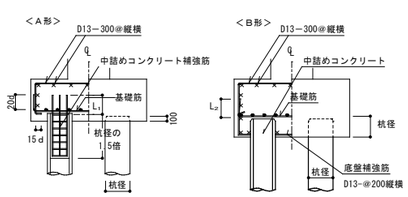
（２） 杭基礎の場合

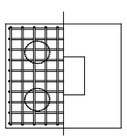
（Ⅰ）既製コンクリート杭の杭頭補強の方法は下図のＡ形又はＢ形とし適用は特記による。

特記がなければＢ形とする。

（Ⅱ）中詰めコンクリートは、基礎のコンクリートと同じ調合のコンクリートを使用する。

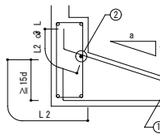
（Ⅲ）既製コンクリート杭以外の場合は、特記による。





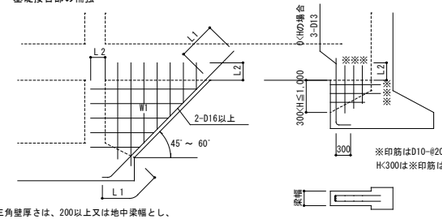
（3） べた基礎

ハンチを付けた場合（a≧3）



1. 耐圧版鉄筋の継手位置は床スラブにならう
但し上筋と下筋を読みかえる
2. ①の鉄筋はスラブ主筋の径以上とする
3. ②の鉄筋はD13以上
4. 埋戻し土のある場合は40を70とする

（4） 基礎接合部の補強



※印筋はD10-@200とする
HK300は※印筋は不用とする

W1の三角壁厚さは、200以上又は地中梁幅とし、

配筋は同厚の壁リストにならう

５．地中梁

Ａ．基礎梁主筋の継手及び定着

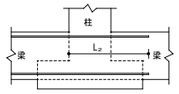
（１） 一　般　事　項

（Ⅰ） 上端主筋の定着は、やむを得ない場合、上向きとすることができる。

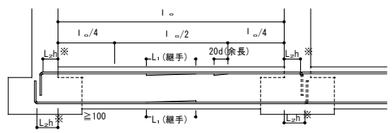
（Ⅱ） 梁筋は、原則として柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着する。

ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、下図による。

（Ⅲ） 梁筋を柱内に定着する場合は、梁筋は、柱の中心軸を越えてから定着する。

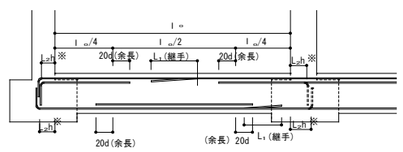


（２） 基礎梁に床版がつかない独立基礎の場合

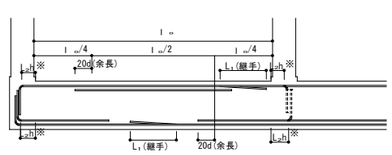


（３） 基礎梁に床版がつく独立基礎の場合

ただし耐圧スラブが付く場合は（４）による。



（４） 連続基礎及びべた基礎の場合



（注）１．図示のない事項は６．Ａによる。

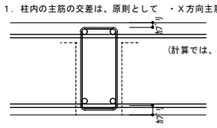
２．＿＿＿＿ 印は継手、及び余長位置を示す。

３．破線は、柱内定着の場合を示す。

※　Ｌ2hを確保できない場合は、本RC標準図(1)、２(3)による。

（５） 地中梁主筋の交差について

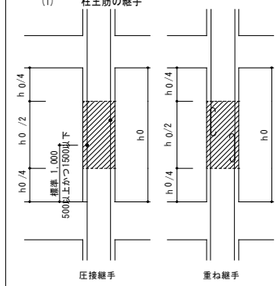
１．柱内の主筋の交差は、原則として　・Ｘ方向主筋　・Ｙ方向主筋を外側に配筋する。



(計算では、X方向筋ｶﾌﾞﾘ　上端筋7.0cm、下端筋7.5cm
Y方向筋ｶﾌﾞﾘ　上端筋9.5cm、下端筋5.0cm)

６．柱

（1） 柱主筋の継手

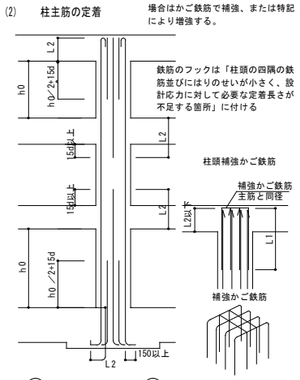


継手の好ましい位置

［注］SA級、A級継手を使用する場合の継手位置は特記による。

（2） 柱主筋の定着

柱、梁の定着L2以上が確保されない場合はかご鉄筋で補強、または特記により増強する。



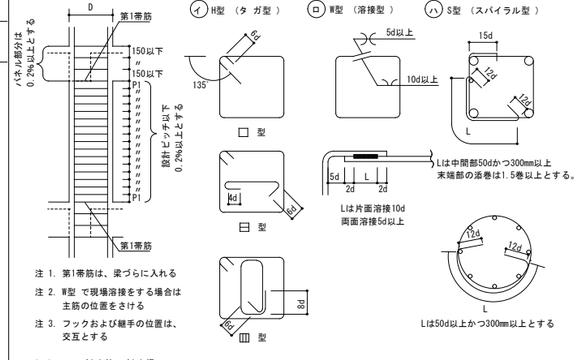
鉄筋のフックは「柱頭の四隅の鉄筋並びには りのせいが小さく、設計応力に対して必要な定着長さが不足する箇所」に付ける

柱頭補強かご鉄筋

補強かご鉄筋
主筋と同径

補強かご鉄筋

（3） 帯　筋



注 1. 第1帯筋は、梁づらに入れる

注 2. Ⅱ型 で現場溶接をする場合は主筋の位置をさける

注 3. フックおよび継手の位置は、交互とする

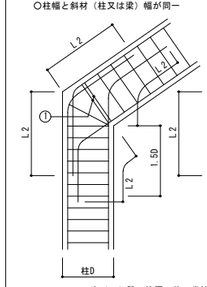
L1は片面溶接10d
両面溶接5d以上

L1は中間部50dかつ300mm以上
末端部の添巻は1.5巻以上とする。

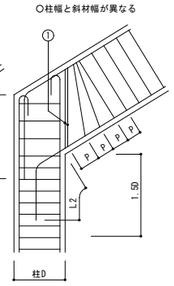
L1は50d以上かつ300mm以上とする

（4） 斜め柱・斜め梁

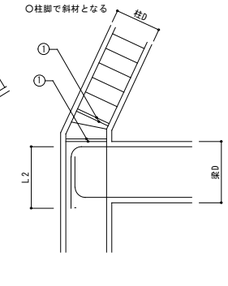
○柱幅と斜材（柱又は梁）幅が同一



○柱幅と斜材幅が異なる



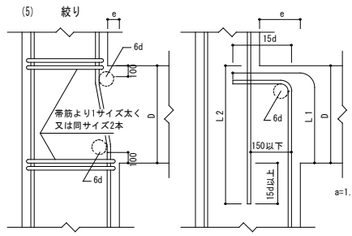
○柱脚で斜材となる



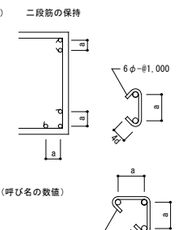
注 1. 1.5Dの範囲の柱の帯筋は一段太いものか、又はダブル巻きとし@100以下とする

注 2. ①鉄筋は2-D13かつ、2本の一段太い鉄筋とする

(5) 絞り



(6) 二段筋の保持



構造設計者　㈱城取建築設計事務所　長野県知事登録（伊都）第7Y051号
伊那市西町5863-1　一級建築士　宮脇　博一　登録 第177958号
0265-72-7271　構造設計一級建築士　第 1983 号

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録　長野県知事登録（伊都）L第2Y051号
図面を作成した建築士　一級建築士　大臣登録第177958号　構造設計一級建築士 大臣登録第1983号　宮脇　博一

凡例　備考

工事名称	図面名称	SCALE	年月日	No.
令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）	[A1]・ — [A3]・ —	R7.5	S－02

CAD FILE No. ふれあい増改築　S-02鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ構造配筋標準図(1)

Print out : 25-11-20

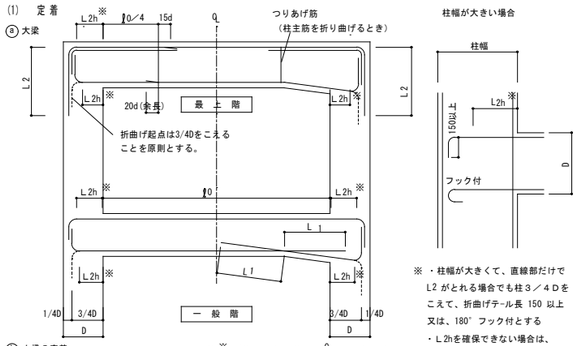
鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）

※修正箇所は下線を引くこと

７．大梁、小梁、片持梁

(1) 定着

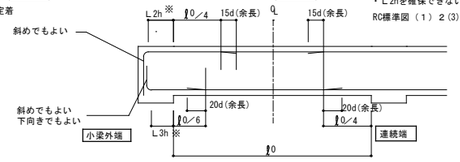
ⓐ 大梁

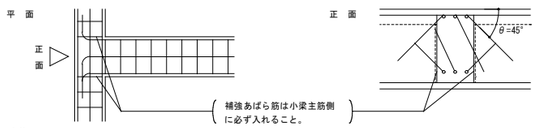


柱幅が大きい場合

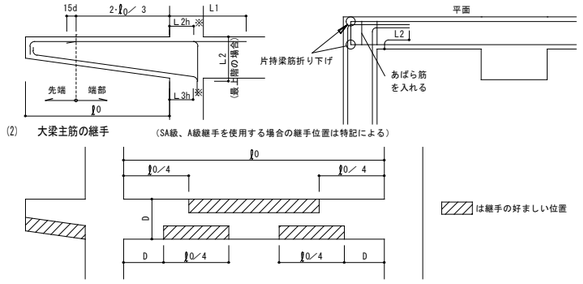
※・柱幅が大きくて、直線部だけでL2 がとれる場合でも柱３／４Ｄをこえて、折曲げテール長 150 以上又は、180° フック付とする
・L 2h を確保できない場合は、RC標準図（１）２(3)による。

ⓑ 小梁の定着



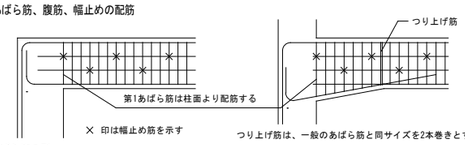


ⓒ 片持梁の定着

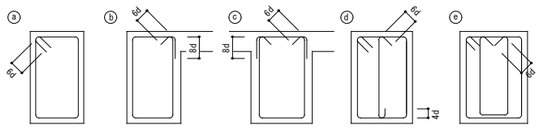


(2) 大梁主筋の継手 （SA級、A級継手を使用する場合の継手位置は特記による）

(3) あばら筋、腹筋、幅止めの配筋



(4) あばら筋の型 （注、床版がない場合は135° 以上のフックとする）

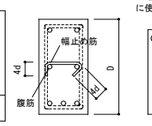


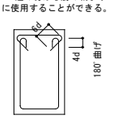
（イ）原則としてⓐのフック先曲げとする。片側床版付（L型）梁でⓑ、両側床版付（T型）梁でⓒ又はⓑとすることができる。
（ロ）フックの位置はⓐにあっては交互、ⓑ にあってはスラブ付側とする。

(5) 幅止め筋の本数、加工

腹 筋	D<600	不要
	600≦D<900	2-D10（9φ）1段
	900≦D<1,200	4-D10（9φ）2段
	1,200≦D	D10（9φ）@300以内
幅止め筋	D10（9φ）@1,000以内で割り付ける	

ⓕ 梁成の大きい場合やSRC造のあばら筋の納まりに使用することができる。

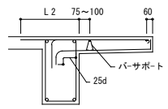




８．床板

(1) 定着および継手

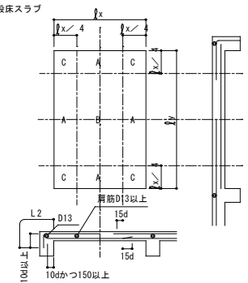
ⓐ 片持床スラブ



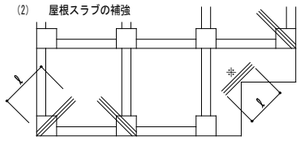
継手位置は原則として下表による。

		標準継手位置
上端筋	短 辺 方 向	B
	長 辺 方 向	B
下端筋	短辺・長辺方向	A C

ⓑ 一般床スラブ



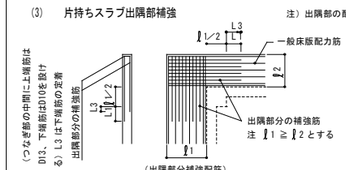
(2) 屋根スラブの補強

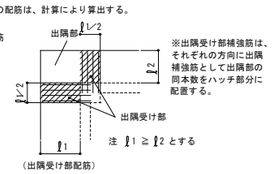


ⓐ 補強筋は各3-D13 又はスラブ主筋の同一径で2=1,500とし、上端筋の下に配筋する
ⓑ ※の箇所（入隅）は各階補強する

(3) 片持ちスラブ出隅部補強

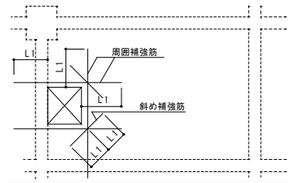
注）出隅部の配筋は、計算により算出する。



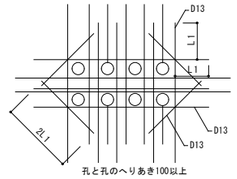


※出隅受け部補強筋は、それぞれの方向に出隅補強筋として出隅部の同本数をハッチ部分に配置する。

(4) 床板開口部の補強 （開口の径500程度の場合）



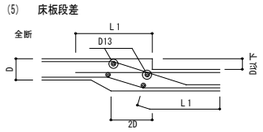
床板厚さD	周 囲	斜 め
D≦150	各 切断鉄筋/2	各 1-D13
150<D≦200	各 切断鉄筋/2	各 2-D13
200<D≦300	各 切断鉄筋/2	各 2-D16

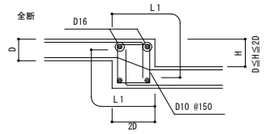


孔と孔のへりあき100以上

注）設備の小開口が連続してあく場合は縦、横、斜補強筋とは別に開口によって切られる鉄筋と同じ鉄筋を開口をさけて補強する。

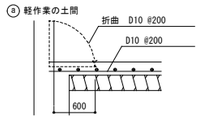
(5) 床板段差



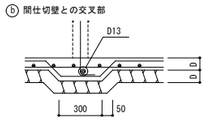


(6) 土間コンクリート

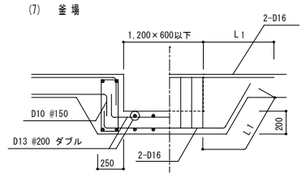
ⓐ 軽作業の土間



ⓑ 間仕切壁との交叉部



(7) 釜 場

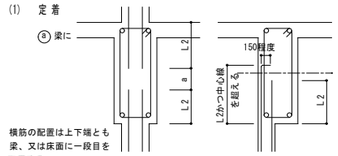


(8) 打継ぎ補強 （ダメ穴打継面について）
・ 設計配筋間隔の1／2ピッチ 長さ2xL 以上
・ 無筋部分D10-@200 長さ800以上

９．壁

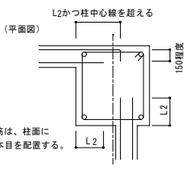
(1) 定着

ⓐ 梁に



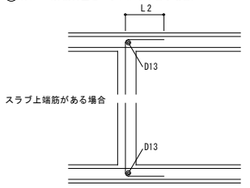
横筋の配置は上下端とも梁、又は床面に一段目を配置する。

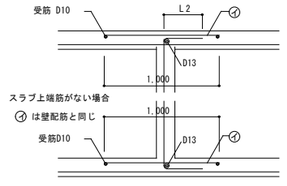
ⓑ 柱に（平面図）



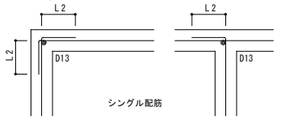
縦筋は、柱面に一本目を配置する。

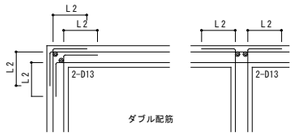
ⓒ 床に （非耐力壁とスラブが取り合う場合）



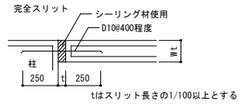


ⓓ 壁と壁（平面図）



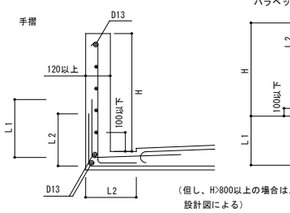


(2) スリット部 （設計図に記入のあるとき）

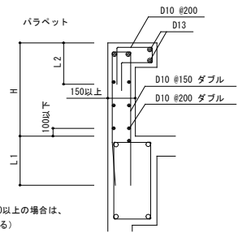


tはスリット長さの1/100以上とする

(3) 手摺、パラペット

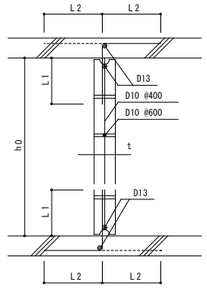


（但し、H>800以上の場合は、設計図による）

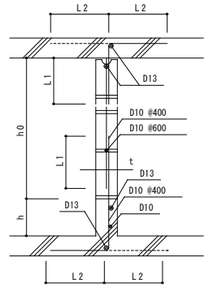


(4) コンクリートブロック帳壁

一般の場合



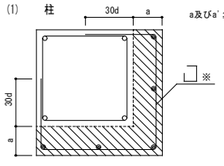
下部防水立上りのある場合



注）h ≦25tかつ3,500以下とする。但し直交方向25t以内に壁、又は柱がある場合は除く
注）hはコンクリートブロック段数調節寸法とする。但し、200≦h≦400
注）継手部は必ずモルタルを充填すること

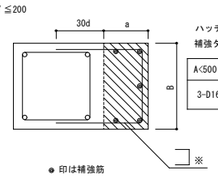
１０．柱、梁打ち増しコンクリート補強 （増打するときは事前に設計者、及び工事監理者と打合せのこと）

(1) 柱



ハッチ部分は増打コンクリートを示す。

a及びa' ≦200



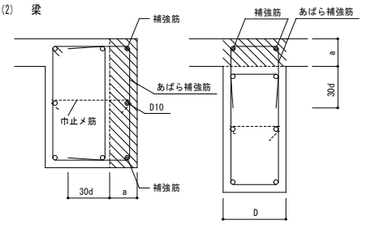
● 印は補強筋

ハッチ部分の面積 Acm² による、補強タテ筋本数

A<500	500≦A<1,000	1,000≦A<1,500
3-D16	4-D16	6-D16

※ 柱と同径、同ピッチとする。

(2) 梁

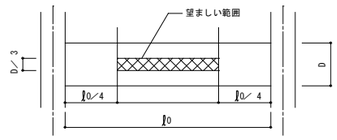


●補強筋は、梁主筋の1段落し径（D16以上）とする。
●あばら補強筋は、梁と同径、同ピッチとする。
●腹筋D10ピッチは、梁の腹筋と合せる。
●D≧350の場合は補強筋を3本とする。
●aは100～200程度。
●梁下端増打コンクリートの場合も上端増打コンクリート補強と同様とする。
●ハッチ部分は増打コンクリートを示す。

１１．梁貫通補強 （開口補強については計算により確認すること）

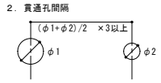
(1) 設置可能範囲

梁端部（スパン l0／10以内かつ2D以内）は原則として避ける（地中梁は除く）

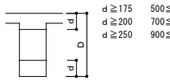


守秘事項

1．φ≦D／ 3とする
2．貫通孔間隔



3．へりあき間隔

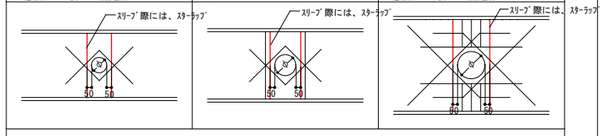


d ≧175　500≦ D <700
d ≧200　700≦ D <900
d ≧250　900≦ D

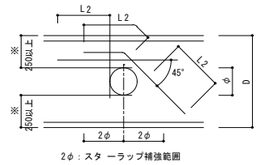
4．スリーブ隙50mmにはｽﾀｰﾗｯﾌﾟを設ける。

(2) 鉄筋標準配筋

80<φ≦100	100<φ≦150	150<φ≦200
折 筋 2-（2-D13）	折 筋 2-（2-D13）	斜 筋 4-2-D13
縦 筋 ST 2-D13	縦 筋 ST 2-D13	縦 筋 ST 2-D13 @50
	2-（2-D13）	横 筋 2-2-D13
		上下 縦筋 2- 2-D13
共通仕様 7.2 表7.1 配筋種別：H 1	共通仕様 7.2 表7.1 配筋種別：H 2	共通仕様 7.2 表7.1 配筋種別：H 3



孔補強の有効範囲と定着長さのとり方



※ D≧900の場合

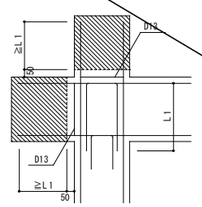
(3) 既製品 （使用するときには、設計者又は工事監理者と打合せのこと）

ウェブレン、ダイヤレン 等 日本建築センター評価取得品とする。
施工前に計算書を提出し、承認を得ること。
設計時に使用する評価取得品については計算書を提出する事。

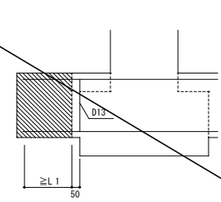
□ リング型 □ パイプ型 □ 金網型 □ プレート型

１２．増築予定 （将来増築予定のコンクリート増打ち部分は、増築時の鉄筋継手工法を考慮して措置する）

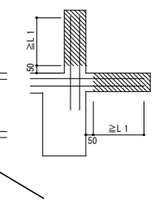
(1) 柱、梁



(2) 地中梁



(3) 床版、壁



構造設計者　㈱城取建築設計事務所　長野県知事登録（伊都）第7Y051号
伊那市西町5863-1　一級建築士　宮脇　博一　登録 第177958号
0265-72-7271　構造設計一級建築士　第 1983 号

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録 長野県知事登録（伊那）L第2Y051号
図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177958号 構造設計一級建築士 大臣登録第1983号 宮脇 博一

凡例 備考

工事名称	図面名称	SCALE	年月日	No.
令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）	[A1]・ － [A3]・ －	R7.5	S－03

CAD FILE No. ふれあい増改築 S-03鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ構造配筋標準図(2)

Print out : 25-11-20

鉄 骨 構 造 標 準 図 （ 1 ）

1．一般事項

(1) 材料及び検査

(a) 構造設計特記仕様による

(b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
但し、ベースプレートの厚さは除く

(c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する

(2) 工作一般

(a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承諾を得る

(b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による

(c) 高張力鋼の歪み矯正は、冷間矯正とする

(3) 高力ボルト接合

(a) 本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない

(b) 高力ボルトの摩擦面の処理は黒皮などを座金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した赤さび状態であること。但し、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で荒さが50μmR2以上である場合は、赤さびは発生しないままでよい。

(c) 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく整備されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分に密着するよう注意して行う

(4) 溶接接合

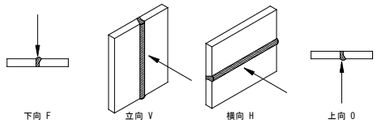
(a) 平成12年建設省告示第1464号第二号イ、ロによる、溶接部の性能、溶着金属の性能を満足すること。

(b) 溶接技能者
溶接技能者は施工する溶接に適応するJIS Z3801（手溶接）又はJIS Z3841（半自動溶接）の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする

(c) 溶接機器
（イ） 交流アーク溶接機 300A～500A
（ロ） アークエアーガウジング機（直流）
（ハ） サブマージアーク溶接機一式
（ニ） 炭酸ガスアーク半自動溶接機
（ホ） 溶接電流を測定する電流計
（ヘ） 溶接棒乾燥器

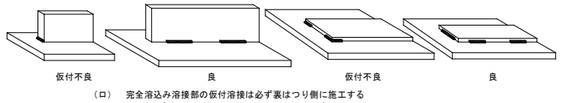
(d) 溶接方法
アーク手溶接 （MC）
セルフ（ノンガス）シールドアーク半自動溶接 （NGC）
ガスシールドアーク半自動溶接 （GC）
アークエアーガウジング （AAG）

(e) 溶接姿勢

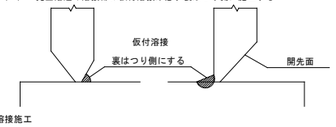


(f) 組立溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う

（イ） 仮付位置
組立溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける

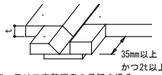


（ロ） 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する



(g) 溶接施工

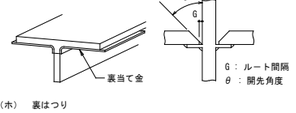
（イ） エンドタブ
1) 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける
2) エンドタブの材質は、母材と同質とする
3) エンドタブの長さは、MC:35mm以上
NGC、GC:40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、
母材より10mm程度残し切断して、グラインダ-仕上げとする
4) プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出し設計者、又は工事監理者の承諾を得る



（ロ） 裏当て金
材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上、巾は25mm以上を原則とする。但し、溶接性能が確認できれば監理者の承認を得て変更することができる

（ハ） 柱-梁仕口部フランジ突合せ溶接は基本的にはノンスカラップ工法とする。

（ニ） ノンスカラップ工法



（ホ） 裏はつり
規準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を励行し、部材に確認マークをつける

（ヘ） 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部を傷めない様に養生を行う

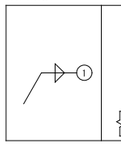
(5) 塗 装

コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

2．溶接規準図

（注）f:余盛 G:ルート間隔 R:フェース S:脚長 （単位mm）

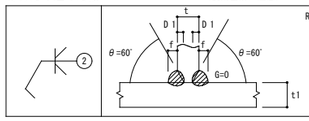
(1) 隅肉溶接



t≦16mm															
t	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16		
S	3	4	5	5	6	7	8	8	9	10	10	11	12		

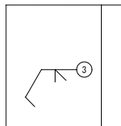
・但し片面溶接の場合はS=tとする
・tはt1、t2の小なる方とする
余盛は（1+0.1S）mm以下とする
・軸力が加わる場合のSは母材と同厚とすることが望ましい

(2) 部分溶け込み溶接 （使用箇所に注意）

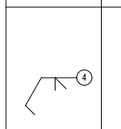


t	t>16mm
溶接姿勢	F.V

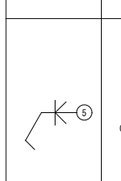
(3) 完全溶込み溶接 （平継手 T形継手）



t	6<t<19mm
溶接姿勢	F.V

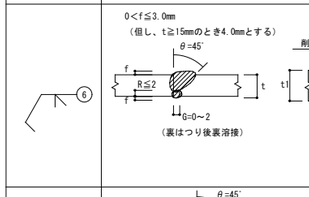


	MC NGC				GC			
tmm	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L
6≦t<12	45°	6	6	5	45°	6	6	5
12≦t≦16	35°	9	9	8	45°	6	9	8
16≦t	35°	9	9	8	35°	9	9	8
溶接姿勢	F.V							

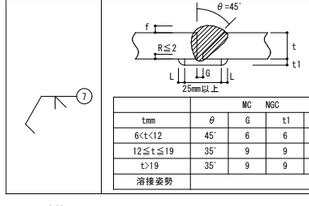


のど厚tmm	余盛の高さmm
t≦4	1
4<t≦12	2
12<t≦19	3
t>19	4

t	t≧19mm
溶接姿勢	F.V

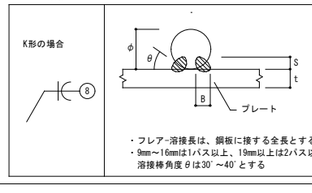


t	6<t<19mm
溶接姿勢	F.V



	MC NGC				GC			
tmm	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L
6<t<12	45°	6	6	5	45°	6	6	5
12≦t≦19	35°	9	9	5	45°	6	9	5
t>19	35°	9	9	8	35°	9	9	8
溶接姿勢	F.V							

(4) フレア-溶接



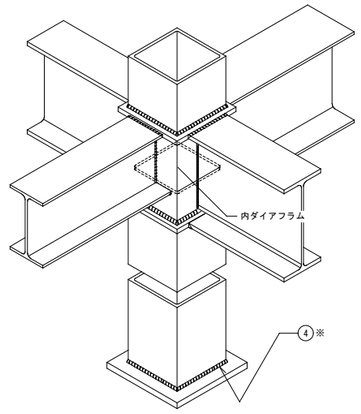
寸法 （mm）		
φ	B	S
9	7	4
13	8	4.5
16	9	5
19	10	6
22	11	7
25	12	8

・フレア-溶接長は、鋼板に接する全長とする
・9mm～16mmは1パス以上、19mm以上は2パス以上とする
溶接棒角度θは30°～40°とする

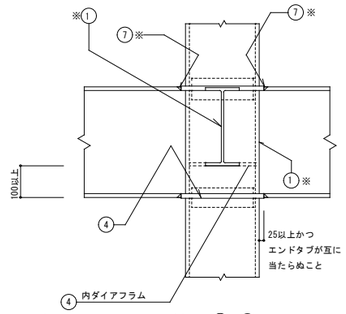
パイルスラットは適応しない

※溶接記号番号を○中に記入のこと

◎ BOX型 （通しダイアフラムの場合）



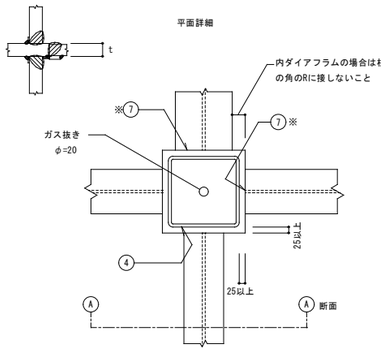
A-A 断面図



①※ t>16mmの場合の溶接は ② 又は ③～⑤ とする。

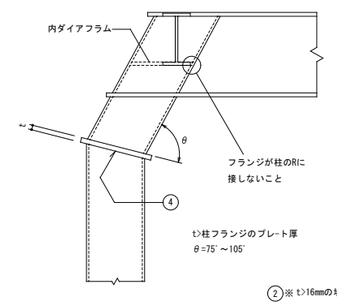
⑦※ 梁フランジは、通しダイアフラムの厚み(t)の内部で溶接する事。

平面詳細

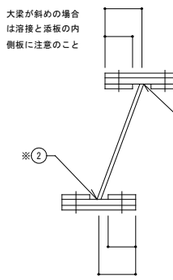


外ダイアフラム厚は、接合する梁の最大厚の2サイズアップ以上とする。
<柱材料：BCR295,BCP325を使用する場合>
ダイアフラムは、柱フランジ厚16mm未満の場合 SN490C SN490B
柱フランジ厚16mm以上の場合 SN490C を使用する。

◎ 柱が途中で折れる場合
及梁成が異なる場合



大梁が斜めの場合は溶接と添板の内側板に注意のこと



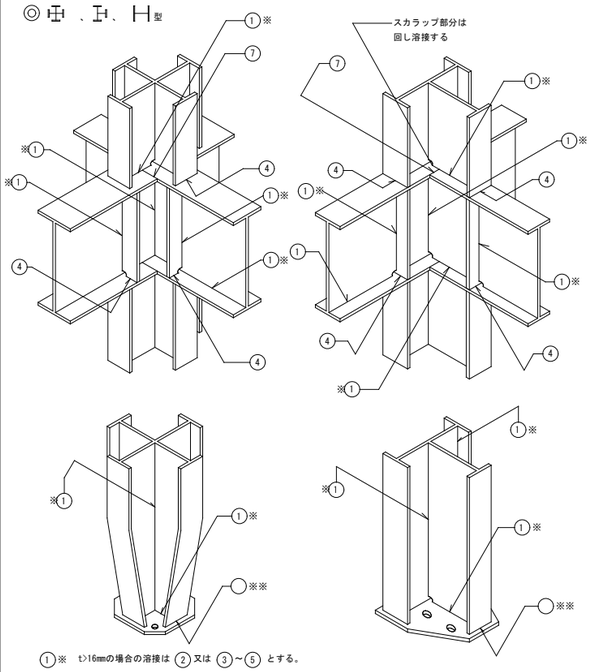
②※ t>16mmの場合の溶接は ③～⑤ とする。

◎ 鋼材種別による溶接条件

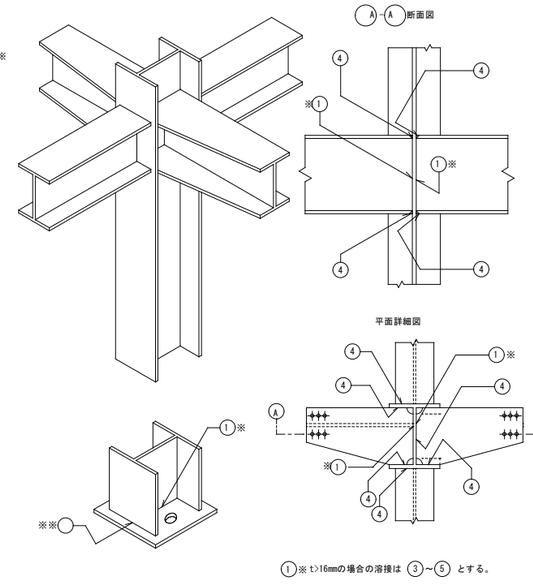
鋼材の種類	溶接材料		入熱（KJ/cm）	パス温度差 C°
400N級鋼	JIS Z 3211,3212,3214		40以下	350以下
	JIS Z 3312	YGW-11,15		
		YGW-18,19		
	JIS Z 3315	YGA-50W,50P		
490N級鋼	JIS Z 3212,3214		40以下	350以下
	JIS Z 3312	YGW-11,15	30以下	250以下
		YGW-18,19	40以下	350以下
	JIS Z 3315	YGA-50W,50P		

注）STKR,BCR,BCP材は、JIS Z 3312 のみ使用可
「構造設計特記仕様 6.鉄骨工事(2)口認定または登録 工場」のグレード別に定められた適用範囲と溶接条件制限事項による

◎ 田、工、H型



◎ BH. 方式



①※ t>16mmの場合の溶接は ② 又は ③～⑤ とする。
◯※※ 印は設計者が記入すること。

①※ t>16mmの場合の溶接は ③～⑤ とする。

構造設計者 ㈱城取建築設計事務所 長野県知事登録（伊那）M第7Y051号
伊那市西町5863-1 一級建築士 宮脇 博一 登録 第177958号
0265-72-7271 構造設計一級建築士 第 1983 号

株式会社 城取建築設計事務所 〒396-0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271	一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)L第2Y051号	図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177958号 構造設計一級建築士 大臣登録第1983号 宮脇 博一	凡例 備考	工事名称 令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）	図面名称 鉄骨構造標準図（１）
					SCALE [A1]・ — [A3]・ —
					年 月 日 R7.5
					No. S－04

CAD FILE No.ふれあい増改築 S-04鉄骨構造標準図(1)

Print out : 25-11-20

鉄 骨 構 造 標 準 図 （ ２ ）

３．継手規準図、その他

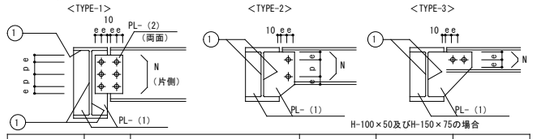
(1) 高力ボルト、ボルト、アンカーボルトのピッチ (P)

ボルト穴径、最小縁端距離 (mm)

呼び径 d		ボルト穴径	最小縁端距離 (e) (1)	(2)	(3)	(2)(3)の標準	ピッチ (P) 最小	標準
M16		18	40	28	22	40	40	60
M20		22	50	34	26	40	50	60
M22		24	55	38	28	40	55	60
M24		26	60	44	32	45	60	70
アンカーボルト・ボルト（）内はボルトを示す	M16	21 (16.5)		28	22	(40)	(40)	(60)
	M20	25 (20.5)		34	26	(40)	(50)	(60)
	M22	27 (22.5)		38	28	(40)	(55)	(60)
	M24	29 (24.5)		44	32	(45)	(60)	(70)
	M27	32		49	36			
	M30	35		54	40			
	M34以上	呼び径+5		9d/5	4d/3			

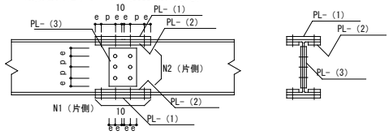
〔注〕 (1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが3本以上並ばない場合の応力方向の縁端距離
(2) せん断縁・手動ガス切断縁の場合の縁端距離
(3) 圧延縁・自動ガス切断縁・のこ引き縁・機械仕上縁の場合の縁端距離

(2) ピン接合梁継手リスト



符 号	タイプ	部 材	PL-(1)	PL-(2)	N-径

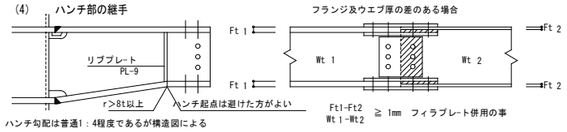
(3) 剛接合梁継手リスト (SCSS-H97による)



注）端部をBHとする場合の部材は設計図による

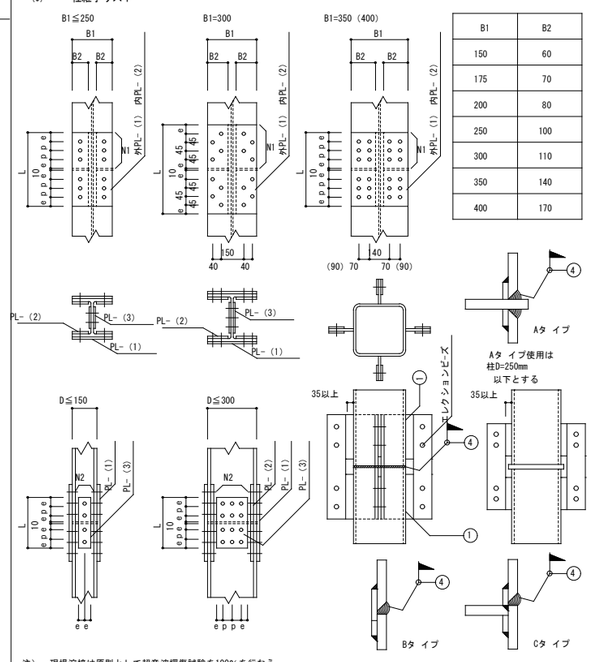
符 号	部 材	フランジ PL-(1)	PL-(2)	N1-径	ウエブ PL-(3)	N2-径

(4) ハンチ部の継手



ハンチ勾配は普通1：4程度であるが構造図による
r：半径 t：板厚

(5) 柱継手リスト

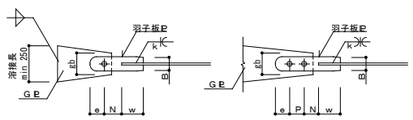


B1	B2
150	60
175	70
200	80
250	100
300	110
350	140
400	170

注） 現場溶接は原則として超音波探傷試験を100%を行なう

符 号	部 材	フランジ PL-(1)	PL-(2)	N1-径	ウエブ PL-(3)	N2-径

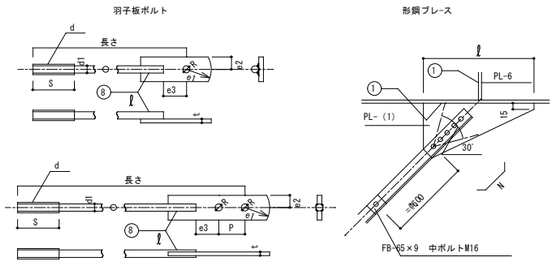
(6) 鉄筋ブレース （JIS規格品とする…JISA5540…1982/5541・5542 …2003）



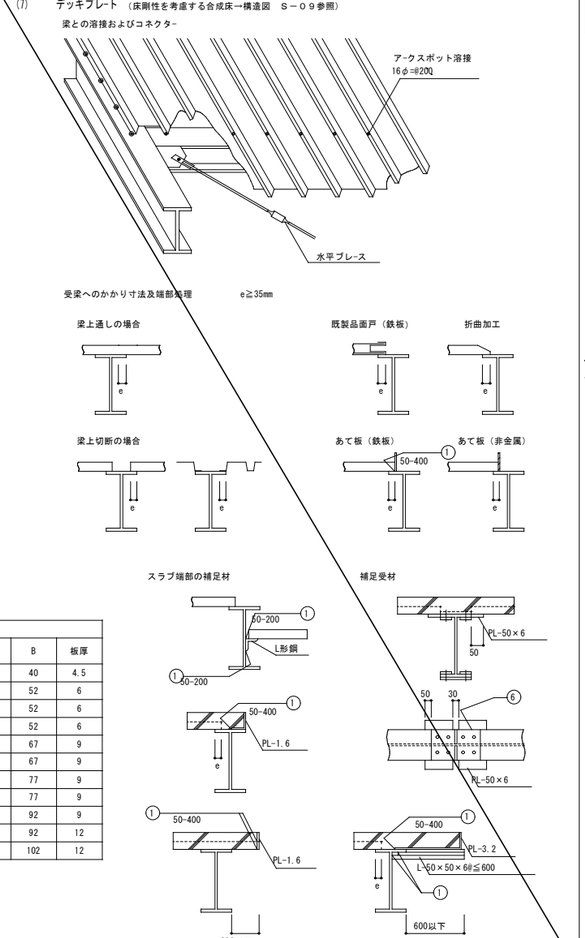
ＪＩＳターンバックル筋かい 採用	部材	全断面積	高力ボルト (F10T)	G.PL 厚×必要幅	溶接サイズ	G.PLの必要有効溶接長 タイプ(1)	羽子板形状 ピート幅	へりあき e	P	w	B	板厚
	M10	60.5	1-M12	6×60	5	60	5	30	—	35	40	4.5
○	M12	88.0	1-M16	6×60	6	60	6	35	—	40	52	6
	M14	121	1-M16	6×70	6	60	6	40	—	50	52	6
	M16	163	1-M16	9×75	7	80	7	45	—	55	52	6
	M18	203	1-M20	9×85	8	80	8	50	—	60	67	9
○	M20	256	1-M20	9×85	8	80	8	50	—	75	67	9
	M22	316	1-M22	9×85	9	80	9	55	—	85	77	9
○	M24	369	2-M20	12×100	10	100	10	50	60	85	77	9
	M27	479	2-M20	12×100	11	100	11	50	60	90	92	9
	M30	587	2-M22	12×110	14	103	14	55	60	95	92	12
	M33	723	2-M22	12×110	15	127	15	55	60	110	102	12

(b) 形鋼ブレース

符 号	部 材	PL-(1)	N-径	ℓ

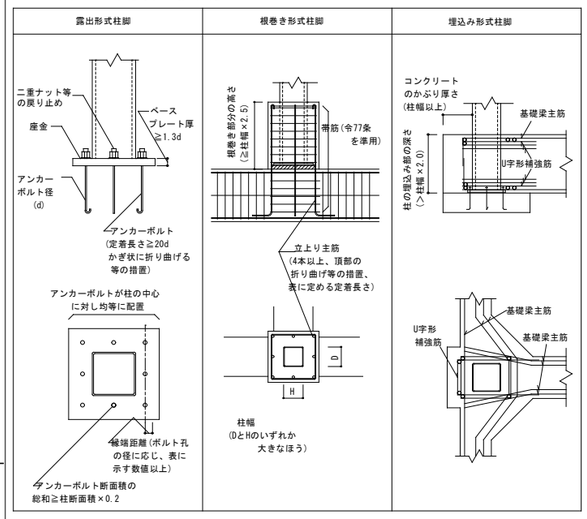


(7) デッキプレート （床剛性を考慮する合成床→構造図 S－０９参照）



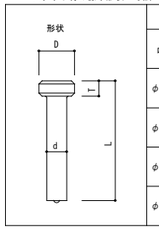
(8) 柱脚

注）許容応力度計算を行わなかった場合の構造形式



(9) 頭付きスタッド （JIS B 1198）

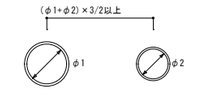
スタッド材の標準形状・寸法



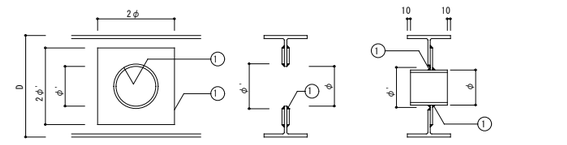
呼び名	スタッド材 軸径 d mm	頭径 D mm	頭高さ T mm	溶接後の長さ L mm
φ13mm	13.0 12.7	22.0 25.4	10.0 7.9	50, 80, 100, 130
φ16mm	16.0 15.8	29.0 31.7	10.0 7.9	80, 100, 130
φ19mm	19.0 19.0	32.0 31.7	10.0 9.5	80, 100, 130, 150
φ22mm	22.0 22.2	35.0 34.9	10.0 9.5	100, 130, 150

(10) 梁貫通補強

・計算で確認された場合は下記の位置、寸法及び補強方法によらなくて良い
・梁端部（内法スパン ℓ の1／10以内かつ2D以内）は避ける
　・φ≦0.4D
　・φ'は補強板の穴径を示す



貫通孔の間隔



プレート補強の板厚

スリーブ径	補 強 板
φ≦0.15D	補強板不要
φ≦D/4	Web板厚以上（片面）
φ≦D/3	Web板厚×1.2倍以上（片面）
φ≦D/0.4D	Web板厚以上（両面）

構造設計者 ㈱城取建築設計事務所 長野県知事登録（伊都）第7Y051号
伊那市西町5863-1 一級建築士 宮脇 博一 登録 第177958号
0265-72-7271 構造設計一級建築士 第 1983 号

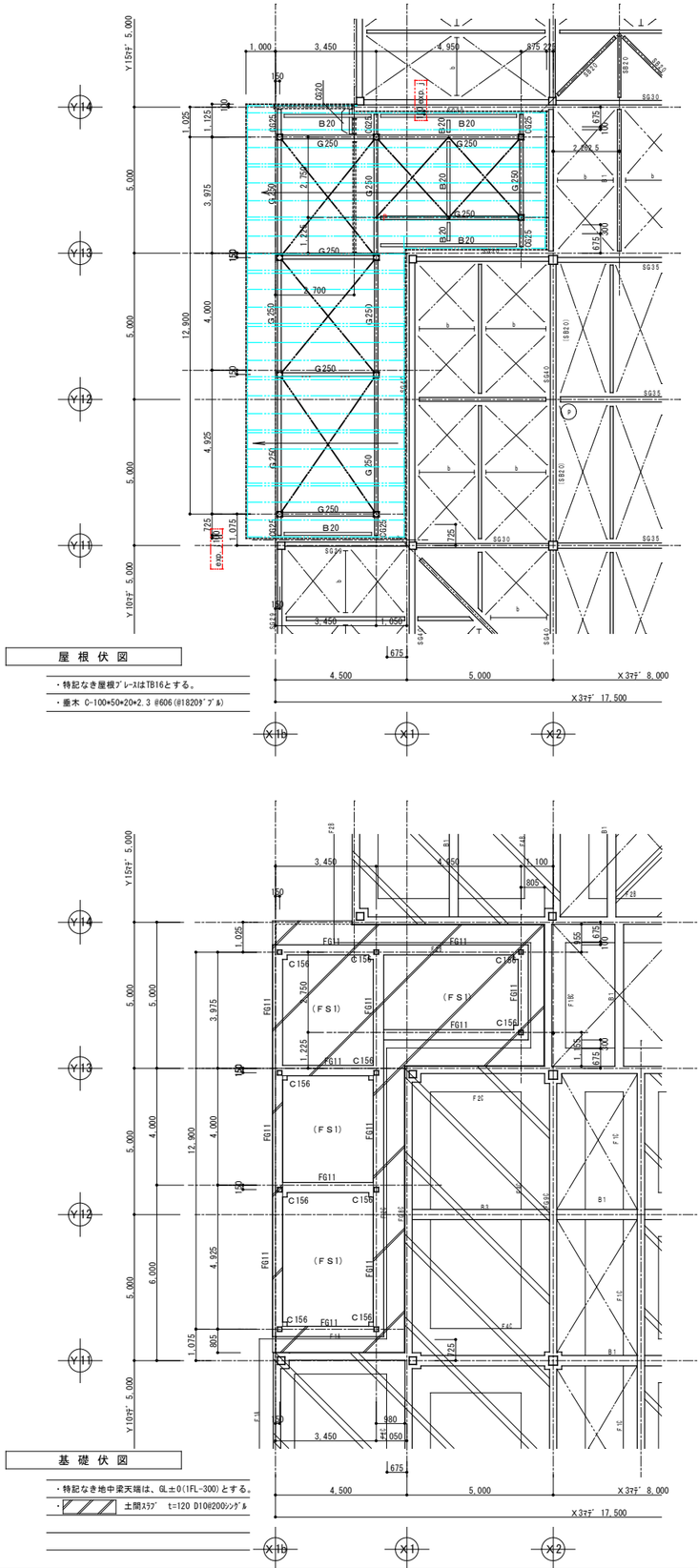
株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026 長野県伊那市西町５８６３番地１／TEL ０２６５（７２）７２７１
一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)Ｌ第２Ｙ０５１号
図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177958号 構造設計一級建築士 大臣登録第1983号 宮脇 博一

凡例 備考

工事名称	図面名称	SCALE	年月日	No.
令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）	鉄骨構造標準図（２）	[A1]・ — [A3]・ —	R7.5	S－05

CAD FILE No. ふれあい増改築 S-05鉄骨構造標準図(2)

Print out : 25-11-20

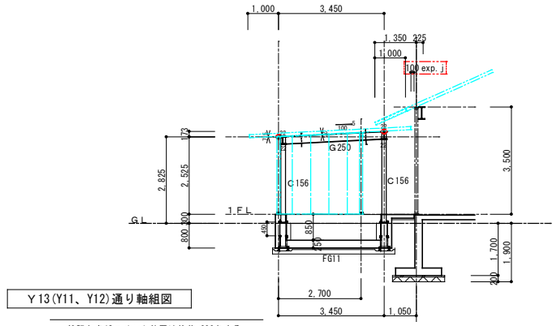


屋 根 伏 図

・特記なき屋根ﾌﾞﾚｰｽはTB16とする。
・垂木 C-100*50*20*2.3 @606(@1820ﾌﾟﾛﾙ)

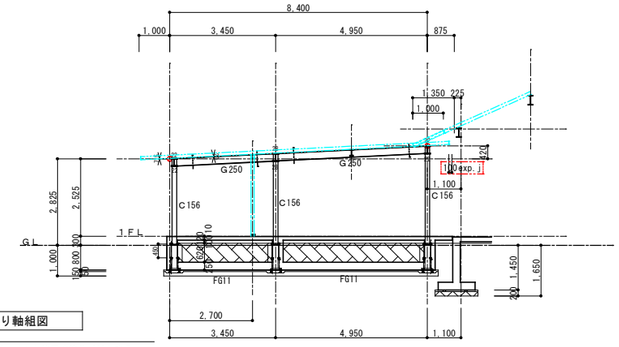
基 礎 伏 図

・特記なき地中梁天端は、GL±0(1FL-300)とする。
・ ： 土間ｽﾗﾌﾞ t=120 D10@200ｼﾝｸﾞﾙ



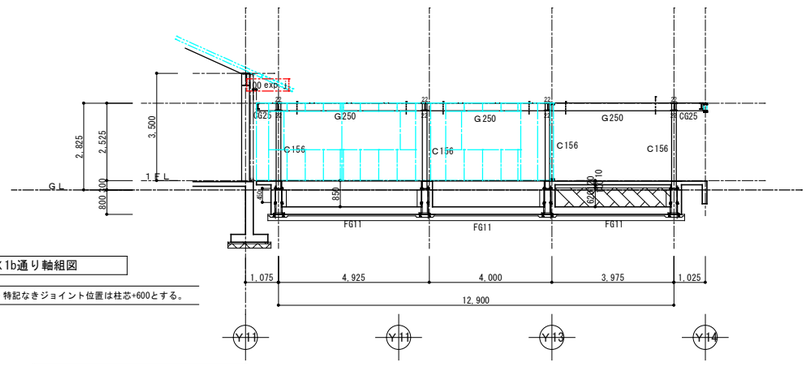
Y13(Y11、Y12)通り軸組図

・特記なきジョイント位置は柱芯+600とする。



Y14-1025通り軸組図

・特記なきジョイント位置は柱芯+600とする。



X1b通り軸組図

・特記なきジョイント位置は柱芯+600とする。

Y11 Y11 Y13 Y14

鉄 骨 部 材 リ ス ト

柱ー梁仕口はノンスカラップ工法とする。

部位	符号	材種	部 材	接合部 等		備考
				剛接継手	ピン継手	
柱	C156	STKR400	□ー150×150×6	B.PL-16、A.Bolts 2-M16 L=550(450)WN		ﾊｲﾍﾟｰNEO工法
梁	G250	SS400	H－250×125×6×9	GJ-25		ノンスカラップ工法
	CG25	SS400	H－250×125×6×9			
	B200	SS400	H－200×100×5.5×8		BJ-20	
	CG20	SS400	H－200×100×5.5×8			
その他	屋根ﾌﾞﾚｰｽ	SNR400	M16 JIS T B締め	G.PL-9、羽子板PL-9 1-M16 HTB		
	垂木	SSC400	C-100*50*20*2.3 @606	ﾋﾞｰｽPL-4.5 1-M12(4T)		
	胴縁	SSC400	C-100*50*20*2.3 @600(@3000ﾀﾞﾌﾞﾙ)	ﾋﾞｰｽPL-4.5 1-M12(4T)		

地中梁リスト

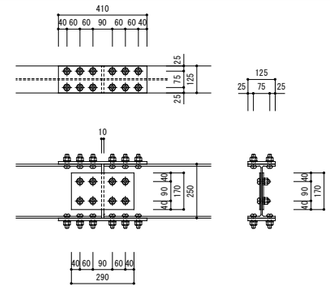
地中梁	B×D		左端	中央	右端	ｽﾀｰﾗｯﾌﾟ
FG11	350×800	上端筋		3-D19		D10@200
		下端筋		3-D19		
		上端筋				
		下端筋				
		上端筋				
		下端筋				
		上端筋				
		下端筋				

スラブリスト

符号	厚		短辺	長辺	備考
土間	120	ｼﾝｸﾞﾙ配筋	D10@200	D10@200	
FS1	250	上端筋	D13@200	D13@250	設計地耐力(長期) 50kN/㎡
		下端筋	D13@200	D13@250	

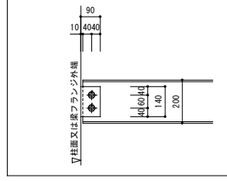
GJ-25

梁 サイズ	H-250*125*6*9				
フランジ 外側添板	PL-12*125*410	(2枚)	ウェブ 両面添板	PL-6*170*290	(2枚)
フランジ 内側添板	———		ウェブ	———	
ＨＴＢ	24-M16	L=50	ＨＴＢ	8-M16	L=45



BJ-20

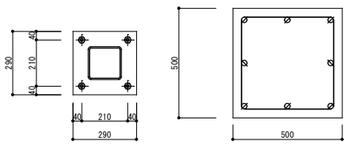
梁 サイズ	H-200*100*5.5*8
ｶﾞｾｯﾄﾌﾟﾚｰﾄ	G.PL-6
ＨＴＢ	2-M16



Web断面積	Awe=tw*(H-n*r) =	902 mm2
G.PL断面積	Age=tg*(Hg-n*r) =	624 mm2
許容せん断力	Q=min(Awe,Age)*Lfs=	56.4 kN
高力ﾎﾞﾙﾄ必要数	n=Q/R =	1.9 本

Lfs=90.4N/mm2
R=30.2kN/本

C156柱脚



適 用 柱	C156	基礎柱	500 × 500
ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄ	B.PL-22*290*290(SN490C)	主 筋	8-D16 (SD295A)
ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ	A.Bolts 4-M16 L=550(450)WN (ABR400)	HOOP	D10@100 (SD295A)

C156 □-150*150*6 A=33.63cm²
ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ 16φ A=2.00cm²
4-M16 4×2.0=8.0cm² ＞ 33.63cm²×20%=6.726cm²
ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄ M16×1.3=20.8 ＞ PL-22

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)M第7Y051号
図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177958号 構造設計一級建築士 大臣登録第1983号 宮脇 博一

凡例 備考

工事名称：令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）

図面名称：構造図 事務室増築

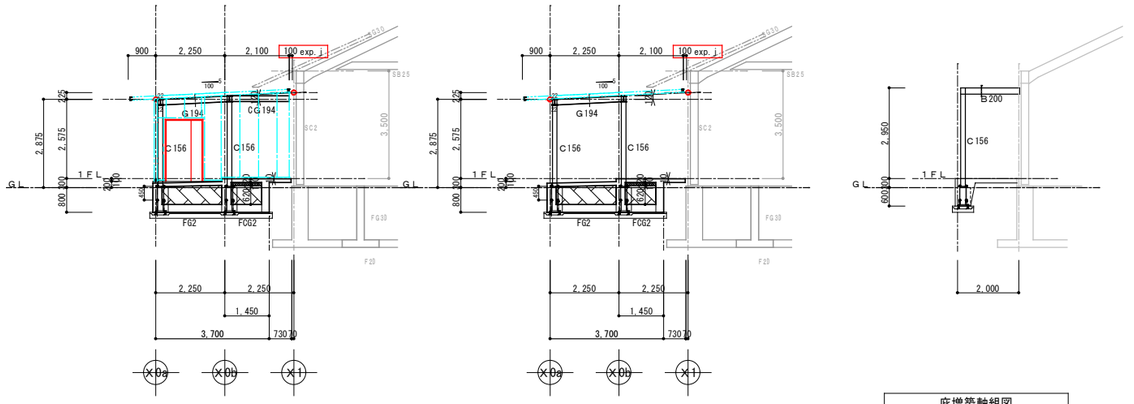
SCALE：[A1]・1：100 [A3]・1：200

年月日：R7.5

No.：S-a1

CAD FILE No.ふれあい増改築 S-a1 事務室増築構造図

Print out：25-11-20



Y3通り（Y7）軸組図

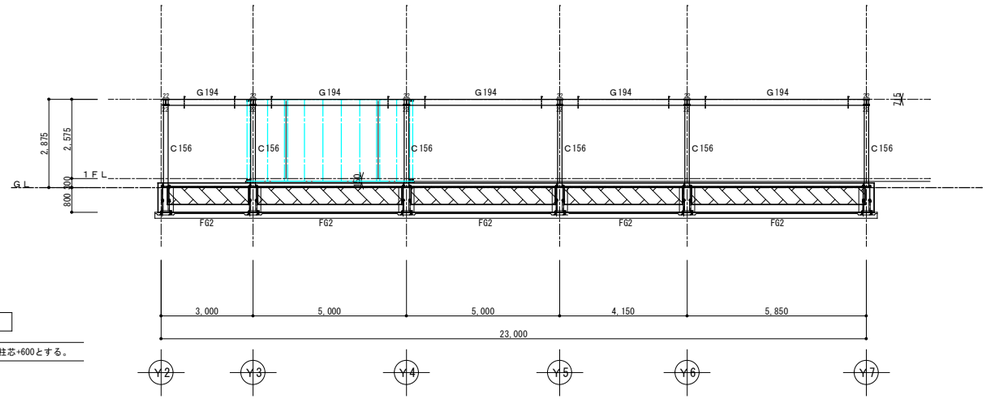
・特記なきジョイント位置は柱芯+600とする。

Y2通り（Y4、Y5）軸組図

・特記なきジョイント位置は柱芯+600とする。

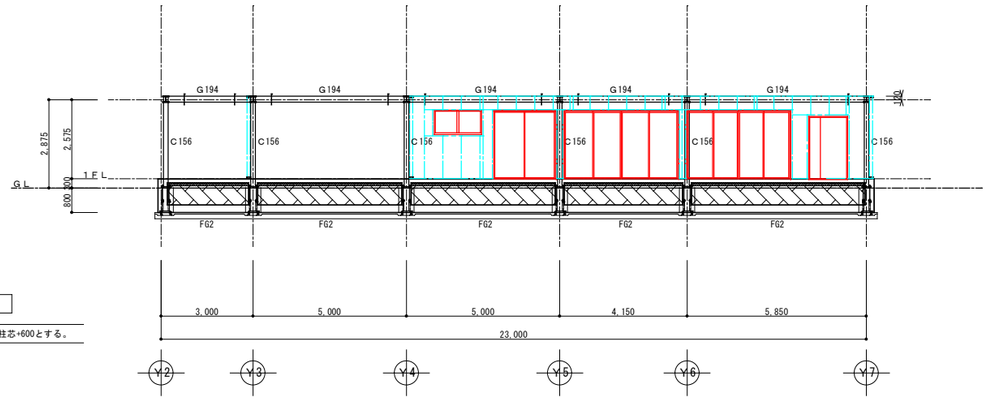
庇増築軸組図

・特記なきジョイント位置は柱芯+600とする。



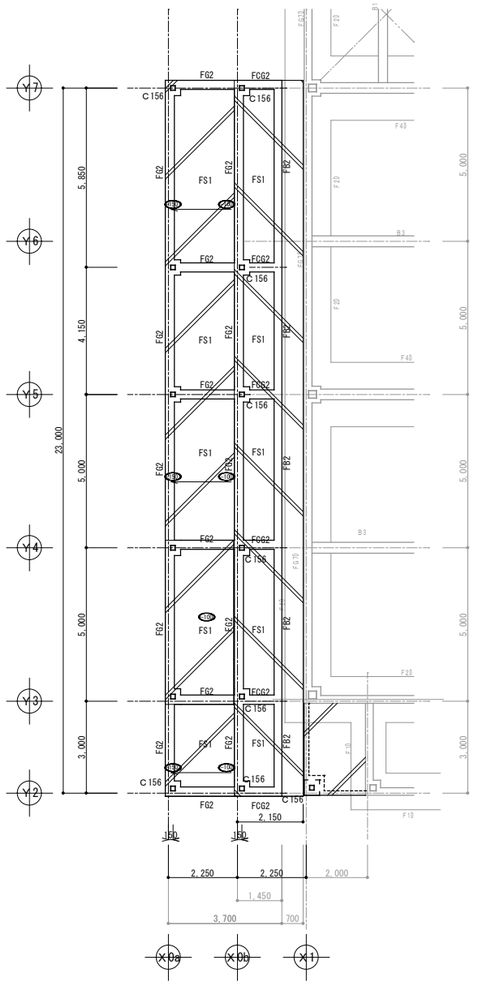
X0a通り軸組図

・特記なきジョイント位置は柱芯+600とする。



X0b通り軸組図

・特記なきジョイント位置は柱芯+600とする。

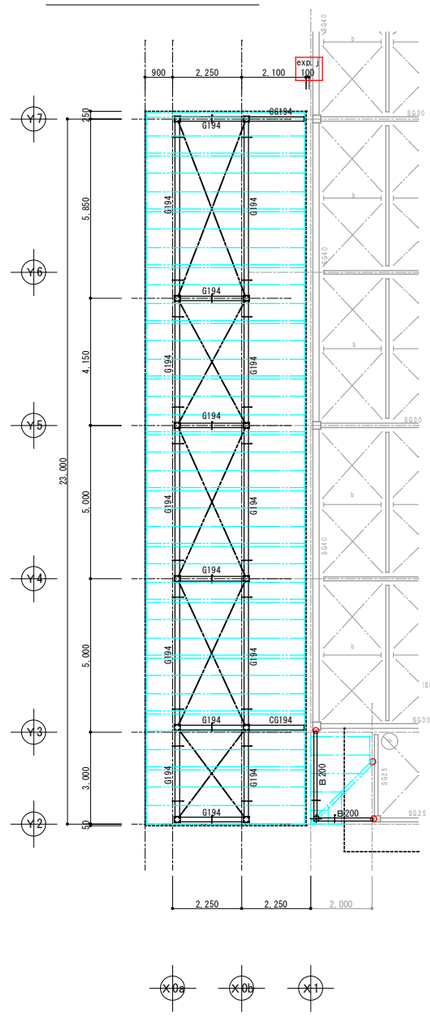


基礎伏図

・特記なき地中梁天端は、GL±0(1FL-300)とする。

・ 1FL-100 土間ｽﾗﾌﾞ t=120 D10@200ｼﾝｸﾞﾙ

・ 1FL-180 土間ｽﾗﾌﾞ t=120 D10@200ｼﾝｸﾞﾙ



屋根伏図

・特記なき屋根ﾌﾞﾚｰｽはTB16とする。

・垂木 C-100×50×20×3.2 @606(@18209ﾌﾞﾙ)

・ ―・―・― 梁ジョイント位置を示す。

鉄骨部材リスト

柱ー梁仕口はノンスカラップ工法とする。

部位	符号	材種	部材	接合部 剛接継手	接合部 ピン継手	備考
柱	C156	STKR400	□ー150×150×6	B.PL-16、A.Bolts 2-M16 L=550(450)WN		
梁	G194	SS400	H－194×150×6×9	GJ-194		ノンスカラップ工法
梁	B200	SS400	H－200×100×5.5×8	GJ-20	G.PL-6、2-M16	G.PL既存柱溶接
その他	屋根ﾌﾞﾚｰｽ	SNR400	M16 JISＴ級締め	G.PL-9、羽子板PL-9 1-M16 HTB		
その他	胴縁	SSC400	C-100×50×20×2.3@600(@3000ﾌﾞﾙ)	ﾋﾞｽPL-4.5 1-M12(4T)		
その他	庇増築 垂木	SSC400	C-100×50×20×3.2 @606	ﾋﾞｽPL-4.5 1-M12(4T)		
その他	庇増築 昇り垂木	SSC400	2C-100×50×20×2.3	ﾋﾞｽPL-4.5 1-M12(4T)		

地中梁リスト

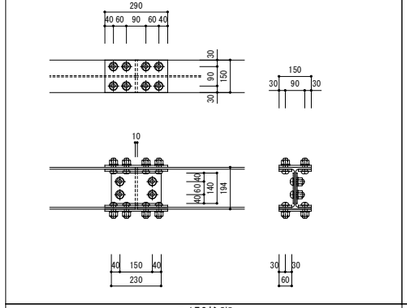
地中梁	B×D		左端	中央	右端	ｽﾀｰﾗｯﾌﾟ
FG2	300×800	上端筋	3-D19			D10@200
		下端筋	3-D19			
FCG2	300×800	上端筋	3-D19			D10@200
		下端筋	3-D19			
FB2	250×800	上端筋	2-D19			D10@200
		下端筋	2-D19			
		上端筋				
		下端筋				

スラブリスト

符号	厚		短辺	長辺	備考
土間	120	ｼﾝｸﾞﾙ配筋	D10@200	D10@200	仕上げ10mm
FS1	250	上端筋	D13@200	D13@250	設計地耐力(長期)
		下端筋	D13@200	D13@250	50kN/㎡

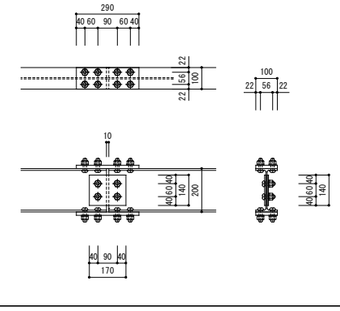
GJ-194

梁サイズ	H-194×150×6×9				
フランジ 外側添板	PL-9×150×290	(2枚)	ウェブ 両面添板	PL-6×140×230	(2枚)
フランジ 内側添板	PL-9×60×290	(4枚)	ウェブ	―――	
フランジ ＨＴＢ	16-M20	L=60	ウェブ ＨＴＢ	4-M20	L=50

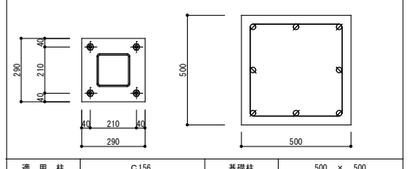


GJ-20

梁サイズ	H-200×100×5.5×8				
フランジ 外側添板	PL-16×100×290	(2枚)	ウェブ 両面添板	PL-6×140×170	(2枚)
フランジ 内側添板	―――		ウェブ	―――	
フランジ ＨＴＢ	16-M16	L=50	ウェブ ＨＴＢ	4-M16	L=45



C156柱脚



適用柱	C156	基礎柱	500 × 500
ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄ	B.PL-22×290×290 (SN490C)	主筋	8-D16 (SD295A)
ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ	A.Bolts 4-M16 L=550(450)WN (ABR400)	HOOP	D10@100 (SD295A)

C156 □-150×150×6 A=33.63㎠

ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ 16φ A=2.00㎠

4-M16 4×2.0=8.0㎠ ＞ 33.63㎠×20%=6.726㎠

ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄ M16×1.3=20.8 ＞ PL-22

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)M第7Y051号
図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177958号 構造設計一級建築士 大臣登録第1983号 宮脇 博一

凡例 備考

工事名称：令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）

図面名称：構造図 / 宴会場増築

SCALE：[A1]・１：１００ [A3]・１：２００

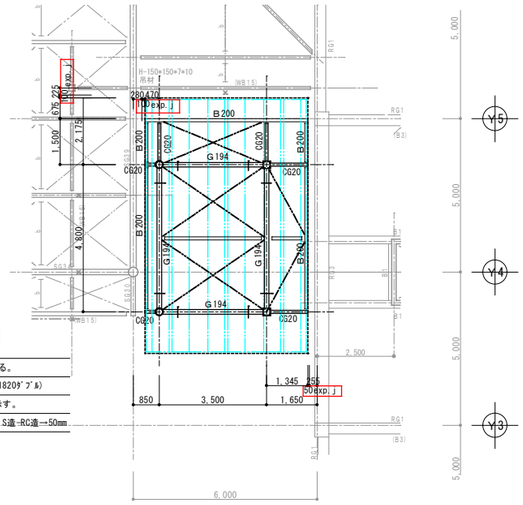
年月日：Ｒ7.5

No.：Ｓ－b1

CAD FILE No. ふれあい増改築 S-b1 宴会場増築構造図

Print out：25-11-20

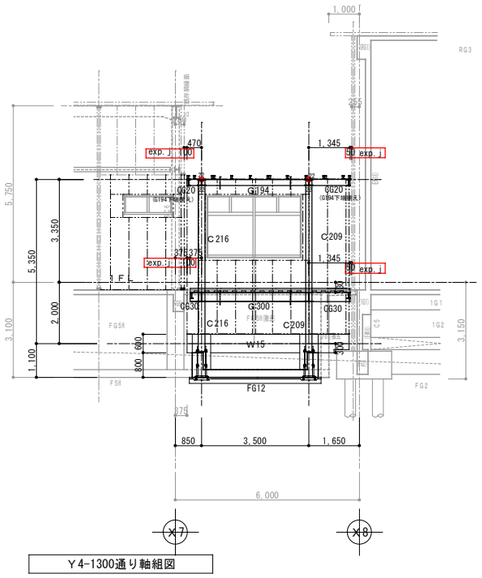
屋 根 伏 図



・特記なき屋根ﾌﾞﾚｰｽはTB16とする。
・垂木 C-100*50*20*2.3 @606(@1820ﾀﾞﾌﾞﾙ)
・ー・ー・ー 梁ジョイント位置を示す。
・exp. j 間隔　S造-S造→100mm、S造-RC造→50mm

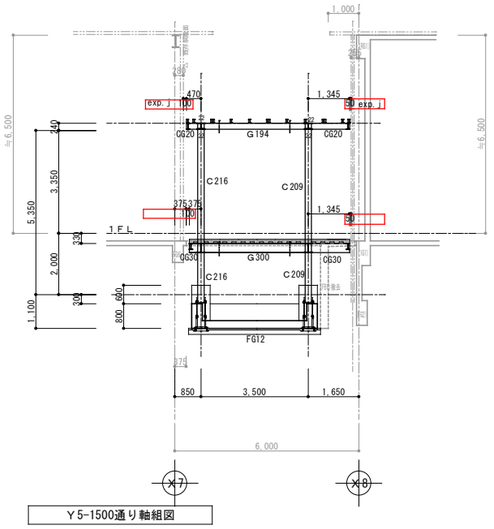
Y4-1300通り軸組図

・特記なきジョイント位置は柱芯+600とする。

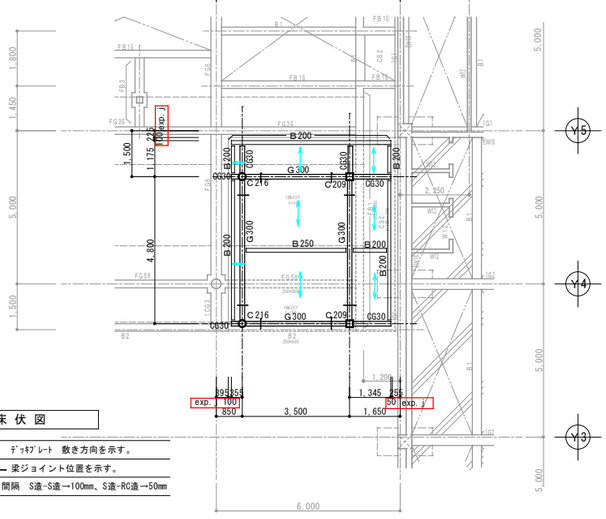


Y5-1500通り軸組図

・特記なきジョイント位置は柱芯+600とする。

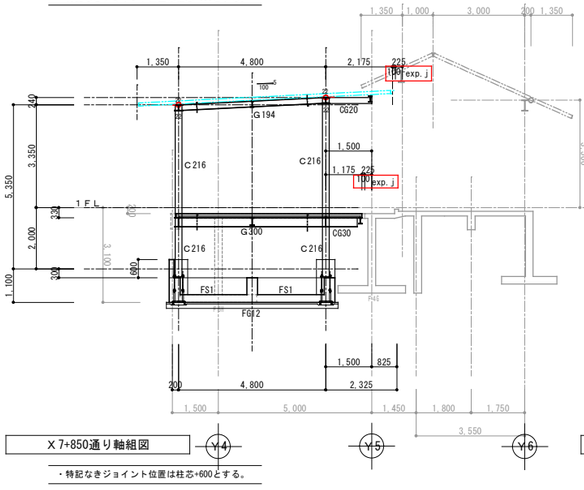


1 階 床 伏 図



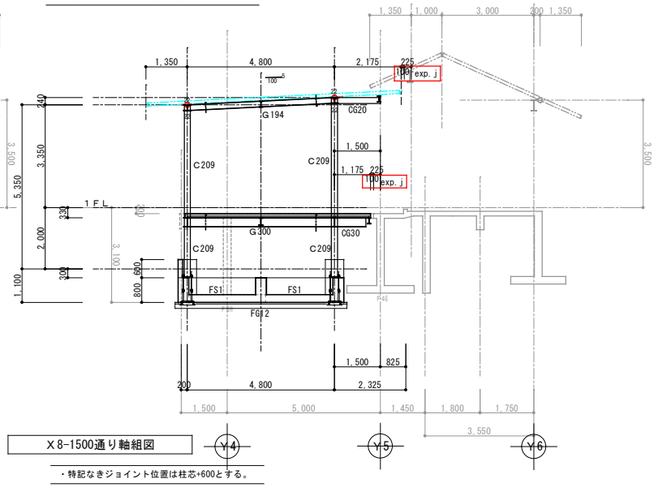
・ ⟶ ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ 敷き方向を示す。
・ー・ー・ー 梁ジョイント位置を示す。
・exp. j 間隔　S造-S造→100mm、S造-RC造→50mm

X7+850通り軸組図



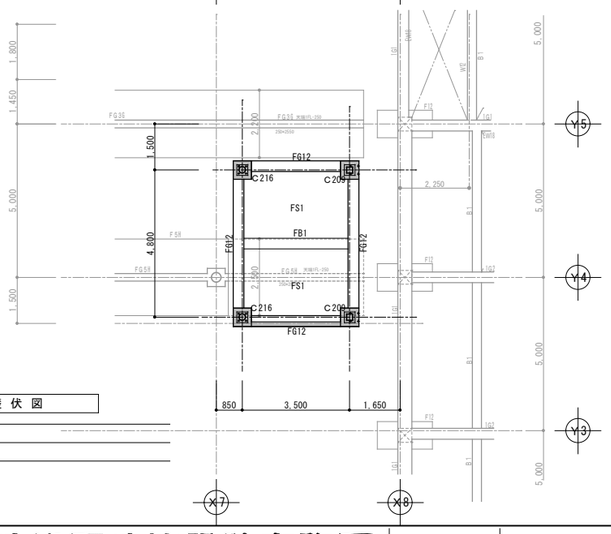
・特記なきジョイント位置は柱芯+600とする。

X8-1500通り軸組図



・特記なきジョイント位置は柱芯+600とする。

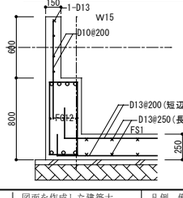
基 礎 伏 図



鉄 骨 部 材 リ ス ト

柱ー梁仕口はノンスカラップ工法とする。

部位	符号	材種	部　材	接合部　等		備考
				剛接継手	ピン継手	
柱	C209	BCR295	□ー200×200×9　R=22.5	根巻柱脚　根巻600角H=600		
	C216	STK400	○ー216.3×8.0	根巻柱脚　根巻600角H=600		
梁	G194	SS400	H－194×150×6×9	GJ-194		ノンスカラップ工法
	G300 G630	SS400	H－300×150×6.5×9	GJ-300		ノンスカラップ工法
	G620	SS400	H－200×100×5.5×8		BJ-20	ノンスカラップ工法
	B250	SS400	H－250×125×6×9		BJ-25	
	B200	SS400	H－200×100×5.5×8		BJ-20	
その他	屋根ﾌﾞﾚｰｽ	SNR400	M16　JIST B締め	G.PL-9、羽子板PL-9　1-M16 HTB		
	合成床板		QL99-50　t=1.2 + con山上 80	焼抜き栓溶接ﾃﾞｯｷｽﾊﾟﾝ方向@600、桁方向@300		
	垂木	SSC400	C-100*50*20*2.3 @606　(@1820 ﾀﾞﾌﾞﾙ)	ﾋﾞｽPL-4.5　1-M12(4T)		
	胴縁	SSC400	C-100*50*20*2.3 @600　(@3000 ﾀﾞﾌﾞﾙ)	ﾋﾞｽPL-4.5　1-M12(4T)		

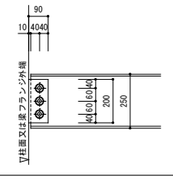


地中梁リスト

地中梁	B×D		左端	中央	右端	ｽﾀｰﾗｯﾌﾟ
FG12	350×800	上端筋		3-D22		D13@250
		下端筋		3-D22		
FB1	350×800	上端筋				D13@250
		下端筋	3-D22	4-D22	3-D22	
		上端筋	3-D22	3-D22	3-D22	
		下端筋				

BJ-25

梁　サイズ	H-250*125*6*9
ｶﾞｾｯﾄﾌﾟﾚｰﾄ	G.PL-9
ＨＴＢ	3-M20

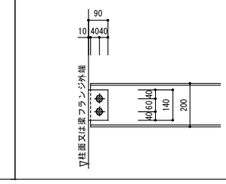


Web断面積	Awe=tw*(H-n*r) =	1,104	mm2
G.PL断面積	Afe=tf*(Hg-n*r)=	1,206	mm2
許容せん断力	Qmin(Awe,Afe)*Lfs=	99.8	kN
高力ﾎﾞﾙﾄ必要数	n=Q/R =	2.2	本

Lfs=90.4N/mm2
R=47.1kN/本

BJ-20

梁　サイズ	H-200*100*5.5*8
ｶﾞｾｯﾄﾌﾟﾚｰﾄ	G.PL-6
ＨＴＢ	2-M16



Web断面積	Awe=tw*(H-n*r) =	902	mm2
G.PL断面積	Afe=tf*(Hg-n*r)=	624	mm2
許容せん断力	Qmin(Awe,Afe)*Lfs=	56.4	kN
高力ﾎﾞﾙﾄ必要数	n=Q/R =	1.9	本

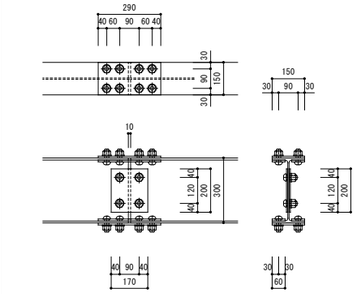
Lfs=90.4N/mm2
R=30.2kN/本

スラブリスト

符号	厚		短辺	長辺	備考
FS1	250	上端筋	D13@200	D13@250	設計地耐力(長期) 70kN/㎡
		下端筋	D13@200	D13@250	

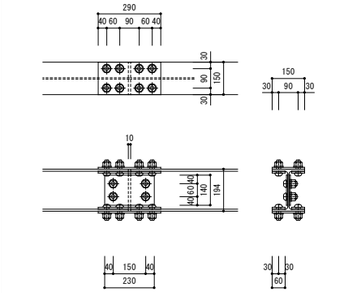
GJ-30

梁　サイズ		H-300*150*6.5*9				
フランジ	外側添板	PL-9*150*290	(2枚)	ウェブ	両面添板	PL-6*200*170 (2枚)
	内側添板	PL-9*60*290	(4枚)			
	ＨＴＢ	16-M20	L=60		ＨＴＢ	4-M20 L=50

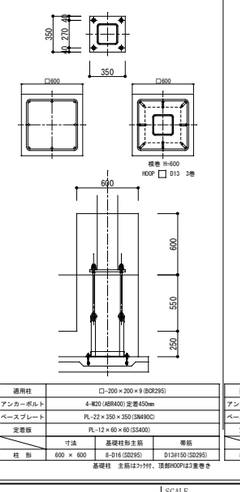


GJ-194

梁　サイズ		H-194*150*6*9				
フランジ	外側添板	PL-9*150*290	(2枚)	ウェブ	両面添板	PL-6*140*230 (2枚)
	内側添板	PL-9*60*290	(4枚)			
	ＨＴＢ	16-M20	L=60		ＨＴＢ	4-M20 L=50



C209

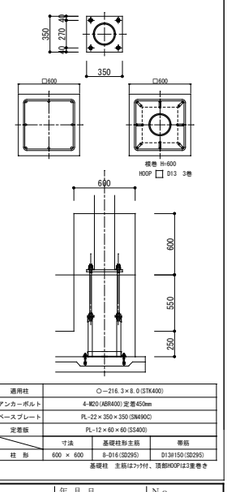


適用柱	□-200×200×9(BCR295)
アンカーボルト	4-M20(ABR400)定着450mm
ベースプレート	PL-22×350×350(SM490C)
定着筋	PL-12×60×60(SS400)

	寸法	基礎柱取り主筋	帯筋
柱　脚	600 × 600	8-D16(SD295)	D13@150(SD295)

基礎柱　主筋はｶｯﾌﾟ対ｲ、頂部HOOP計3重巻き

C216



適用柱	○-216.3×8.0(STK400)
アンカーボルト	4-M20(ABR400)定着450mm
ベースプレート	PL-22×350×350(SM490C)
定着筋	PL-12×60×60(SS400)

	寸法	基礎柱取り主筋	帯筋
柱　脚	600 × 600	8-D16(SD295)	D13@150(SD295)

基礎柱　主筋はｶｯﾌﾟ対ｲ、頂部HOOP計3重巻き

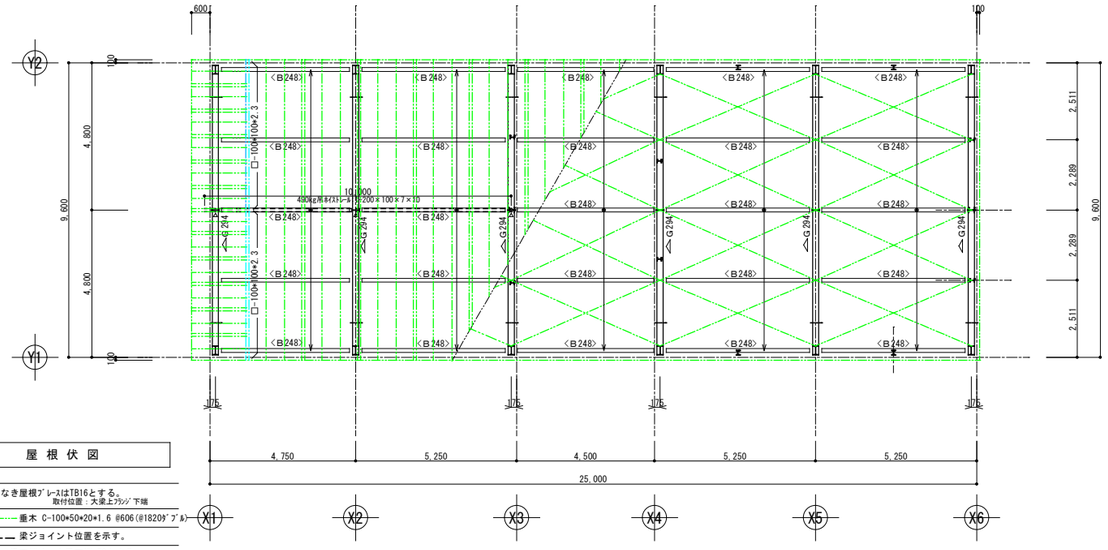
株式会社 城取建築設計事務所
〒396-0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265(72)7271

一級建築士事務所登録
長野県知事登録
(伊那)M第7Y051号

図面を作成した建築士
一級建築士　大臣登録第177958号
構造設計一級建築士 大臣登録第1983号
宮脇　博一

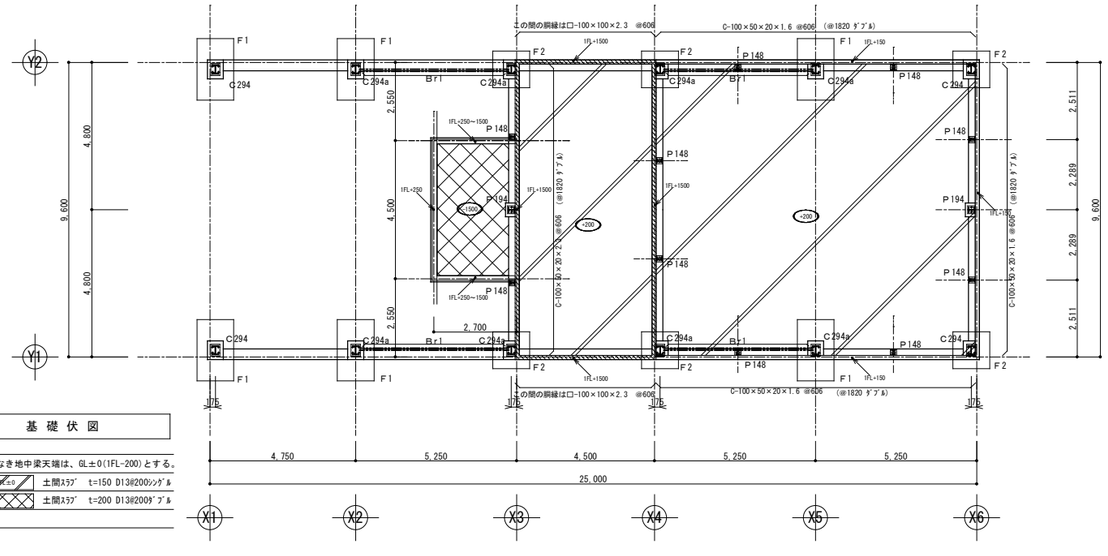
凡例　備考

工事名称	令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）
図面名称	構造図 子育てスペース増築
SCALE	[A1]・1:100、1:30 [A3]・1:200、1:60
年月日	R7.5
No.	S-c1



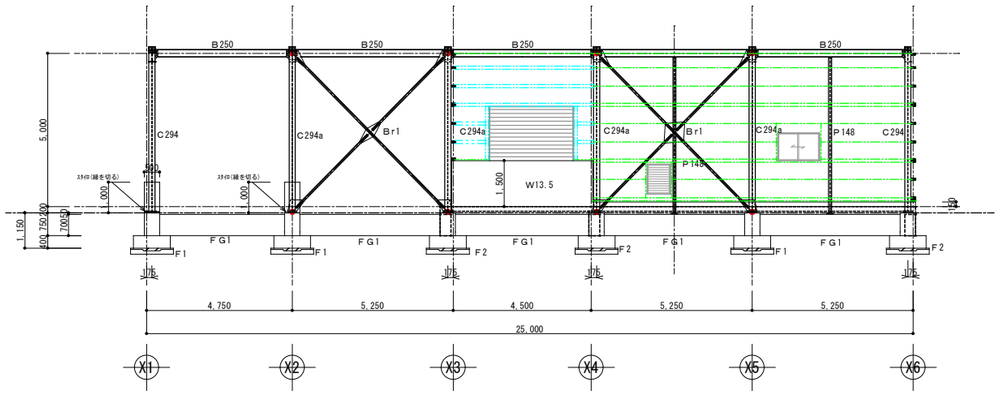
屋 根 伏 図

・特記なき屋根ﾌﾞﾚｰｽはTB16とする。
・ ---------- 垂木 C-100*50*20*1.6 @606(@1820ﾀﾞﾌﾞﾙ)　取付位置：大梁上ﾌﾗﾝｼﾞ下端
・ ---- ---- 梁ジョイント位置を示す。
・〈B**〉梁天端は、大梁天端+50とする。



基 礎 伏 図

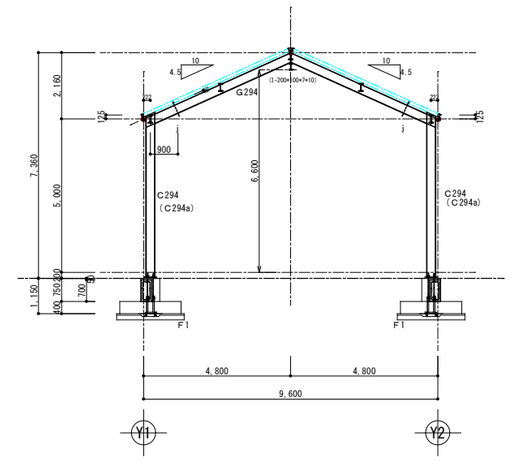
・特記なき地中梁天端は、GL±0(1FL-200)とする。
・ ▨ 土間ｽﾗﾌﾞ t=150 D13@200ｼﾝｸﾞﾙ
・ ▩ 土間ｽﾗﾌﾞ t=200 D13@200ﾀﾞﾌﾞﾙ



C294a柱脚は、柱脚座金補強

Y 1（Y 2）通 り 軸 組 図

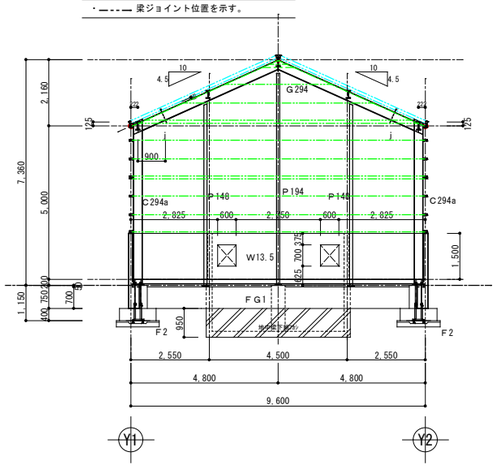
・ ---------- 横胴縁 □-100*100*2.3 @606
・ ---------- 横胴縁 C-100*50*20*1.6 @606(@1820ﾀﾞﾌﾞﾙ)
・ ---- ---- 梁ジョイント位置を示す。



C294a柱脚は、柱脚座金補強

X 1,（X 2、X 5）通 り 軸 組 図

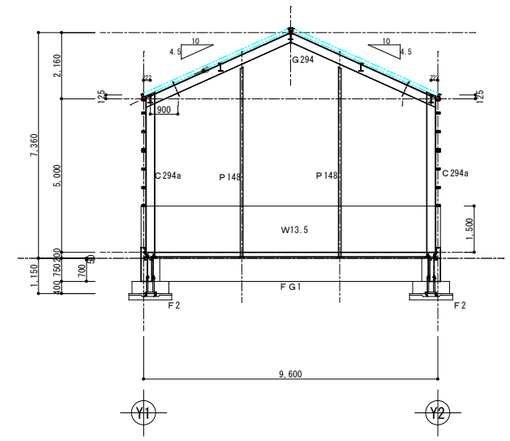
・ ---- ---- 梁ジョイント位置を示す。



C294a柱脚は、柱脚座金補強

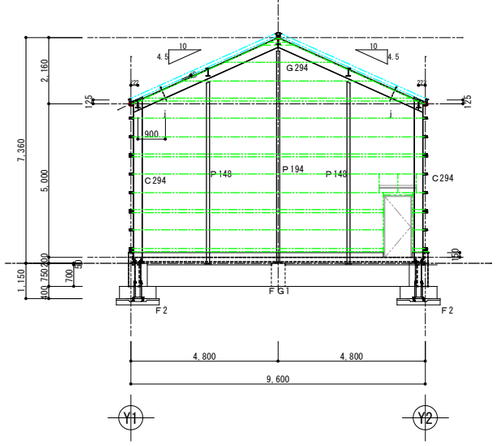
X 3 通 り 軸 組 図

・ ---------- 横胴縁 C-100*50*20*1.6 @606(@1820ﾀﾞﾌﾞﾙ)
・ ---- ---- 梁ジョイント位置を示す。



X 4通 り 軸 組 図

・ ---- ---- 梁ジョイント位置を示す。



X 6通 り 軸 組 図

・ ---------- 横胴縁 C-100*50*20*1.6 @606(@1820ﾀﾞﾌﾞﾙ)
・ ---- ---- 梁ジョイント位置を示す。

株式会社 城取建築設計事務所
〒396－0026　長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271
一級建築士事務所登録　長野県知事登録（伊那）M第7Y051号
図面を作成した建築士　一級建築士　大臣登録第177958号　構造設計一級建築士　大臣登録第1983号　宮脇　博一

凡例　備考

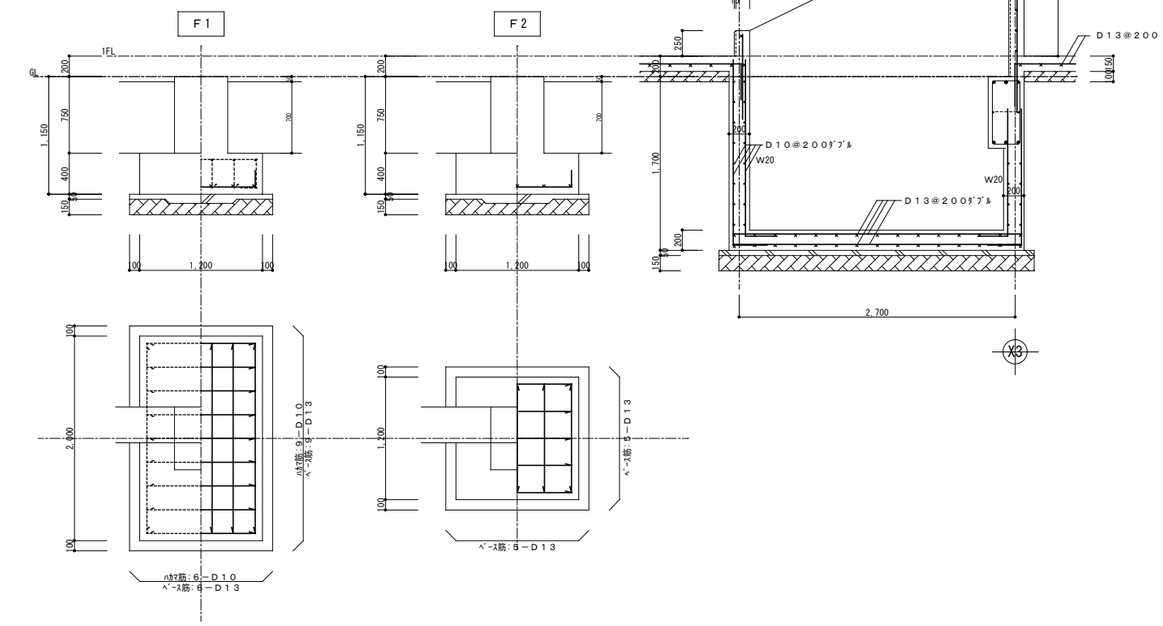
工事名称	令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事　（建築工事）
図面名称	構造図（1）　別棟機械室
SCALE	[A1]・１：１００　[A3]・１：２００
年月日	R7.5
No.	S－d1

CAD FILE No. ふれあい増改築　S-d1 別棟機械室構造図

Print out : 25-11-20

基 礎 リ ス ト

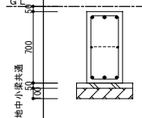
・設計地耐力 70kN/㎡(長期)
・支持層は、ローム層(自然堆積)とする。
・平板載荷試験で70kN/㎡(長期設計地耐力)を確認のこと。



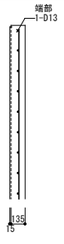
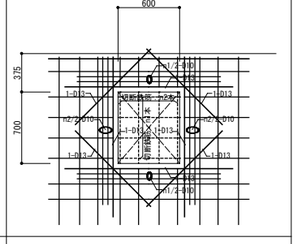
・コンクリート強度
土間コンクリートｔ＝150は、Ｆｃ＝21Ｎ/mm²
基礎、地中梁、壁、土間コンクリートｔ＝200は、Ｆｃ＝24Ｎ/mm²とする。

地 中 梁 リ ス ト

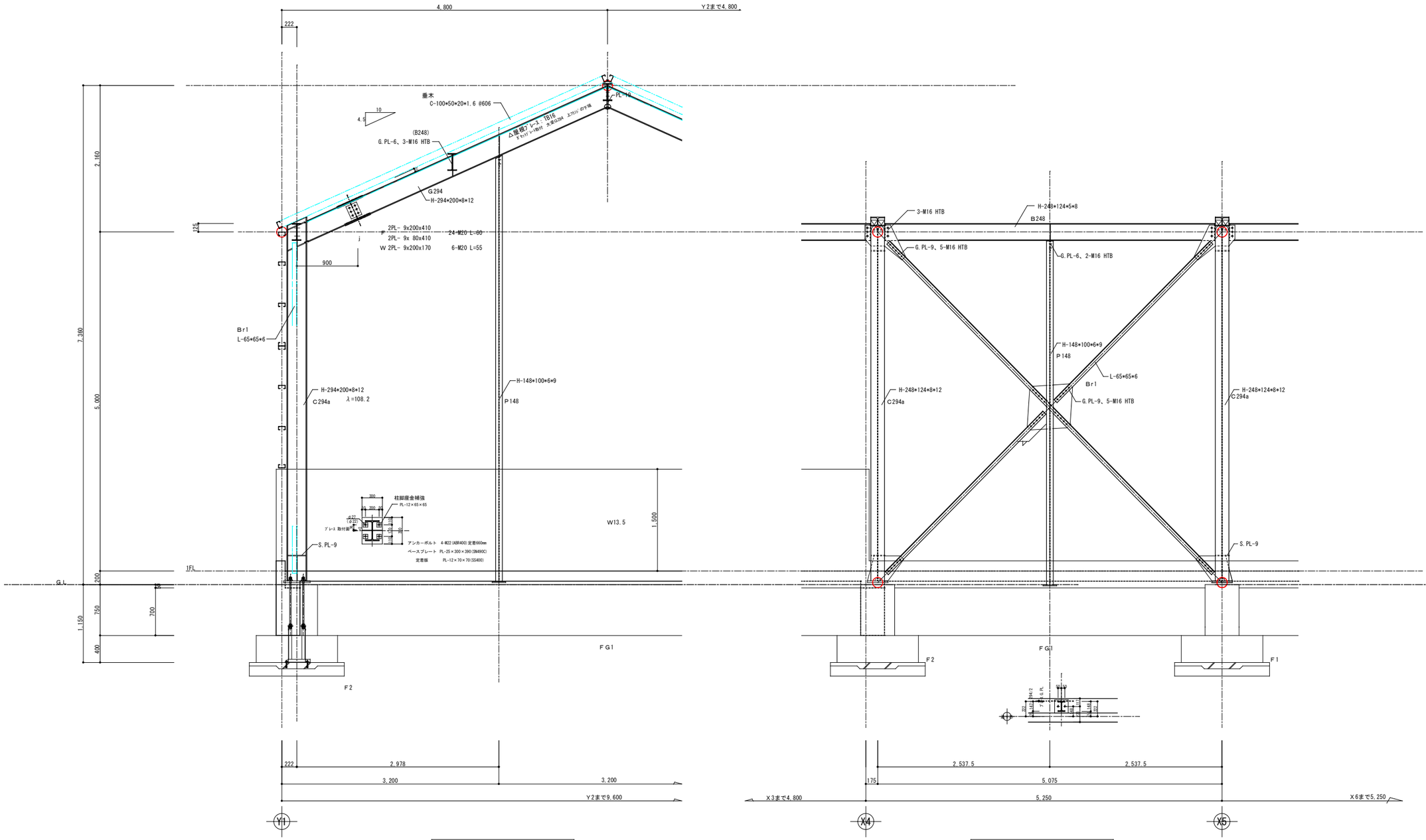
腹筋、幅止め筋(D10@100程度)
600≦Ｄ＜900　1段 2-D10

符 号	FG1		
寸 法	350×700		
位 置	全断面		
			
上端筋	3－D19		
下端筋	3－D19		
ｽﾀｰﾗｯﾌﾟ	D13@250		

壁リスト

符 号		W13.5	開口補強要領
壁			
縦 筋		D10@200ｼﾝｸﾞﾙ	
横 筋		D10@200ｼﾝｸﾞﾙ	
巾止筋		－	
開口補強筋	縦筋	1－D13+切断筋/2 を片側に設ける。	
	横筋	1－D13+切断筋/2 を片側に設ける。	
	ﾅﾅﾒ筋	1－D13	

端部
1-D13
600
375
700
1-D13
2-D10
1-D13
1-D13
1-D13



X4通り鉄骨詳細図

Y1通り鉄骨詳細図

株式会社 城取建築設計事務所 〒396－0026 長野県伊那市西町5863番地1／TEL 0265（72）7271	一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)M第7Y051号	図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第177958号 構造設計一級建築士 大臣登録第1983号 宮脇 博一	凡例 備考	工事名称 令和８年度 ふれあい交流センター 大芝の湯 リニューアル工事 （建築工事）	図面名称 構造図（3） 別棟機械室	SCALE [A1]・１：３０ [A3]・１：６０	年月日 R7.5	No. S－d3

CAD FILE No. ふれあい増改築 S-d3別棟機械室構造図(3)

Print out : 25-11-20